

豊島区障害者等実態・意向調査
報告書

平成29年3月

豊島区

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の設計	3
3. 回収結果	4
4. この報告書のみかた	4
第2章 調査結果のまとめ	7
1. 福祉に関する相談や情報	9
2. 外出の状況	12
3. 就労状況	17
4. 社会参加等	19
5. 障害者の権利	24
6. 豊島区等への要望	28
第3章 身体障害者調査	29
1. 身体障害者調査の結果のまとめ	31
2. 回答者の属性	35
(1) 生活の本拠	35
(2) 調査票記入者	35
(3) 性別・年齢	36
(4) 同居家族	36
(5) 主な収入	37
(6) 居住地区	37
(7) 身体障害者手帳の等級	37
(8) 障害の種類	38
(9) 医療機器の使用の有無	38
(10) 使用している医療機器	39
(11) 手帳の取得時期	39
(12) 他に取得している手帳等	40
(13) 介護保険の認定の状況	41
3. 福祉に関する相談や情報	42
(1) 健康・福祉に関する情報の入手手段	42
(2) よく利用する相談窓口	43
(3) 相談対応の満足度	43
(4) 不満を感じる理由	44
4. サービスの利用や今後の利用	45
(1) サービスの利用状況	45
(2) サービスについての考え	46

(3) 視覚障害者向けサービスの利用状況（視覚障害の方）	46
(4) 点字の利用状況（視覚障害の方）	47
(5) 点字を読めないことで不利に思うこと（視覚障害の方）	47
(6) 聴覚障害者向けサービスの利用状況（聴覚障害の方）	48
(7) 聴覚障害者向けサービスの利用状況（聴覚障害の方）	48
(8) 手話の利用状況（聴覚障害の方）	49
(9) 手話ができないことで不利に思うこと（聴覚障害の方）	49
5. 介助	50
(1) 介助の必要性	50
(2) 主な介助者	50
6. 外出の状況	51
(1) 外出の頻度	51
(2) 外出しない理由	51
(3) よく利用する外出手段	52
(4) 外出時にけがをした経験	52
(5) けがをした理由	53
(6) 外出時のけがの種類	53
(7) 外出時に危険を感じたこと	54
(8) 自宅内でけがをした経験	54
(9) けがをした自宅内の場所	55
(10) 自宅内のけがの種類	55
(11) まちのバリアフリーについての満足度	56
(12) 急いでバリアフリーを進めてほしい施設	57
7. 住居の状況	58
(1) 住居形態	58
(2) 住まいについて困っていること	58
8. 就労の状況	59
(1) 現在の就労状況と今後の就労意向	59
(2) 現在の就労の形態	59
(3) 現在の月収	60
(4) 現在の仕事・作業等を見つけた方法	60
(5) 現在の仕事・作業等に対する悩みや不満	61
(6) 現在仕事・作業等をしていない主な理由	62
(7) 今後希望する就労の形態	63
9. 社会参加等	64
(1) 最近1年間に行った活動	64
(2) 活動しにくい理由	65
(3) 近所つき合い	66
(4) 現在楽しんでいる余暇活動	66
(5) 地域の方々の障害・疾病に対する理解	67

(6) 運動やスポーツへの活動意向と現況	68
(7) 運動やスポーツの実施頻度	68
(8) 運動やスポーツを行いにくいと感ずること	69
10. 障害者の権利	70
(1) 障害者の権利を守るために充実すべき内容	70
(2) 成年後見制度の利用意向	70
(3) 虐待を受けた経験	71
(4) 受けたことがある虐待の内容	71
(5) 虐待を受けた相手	72
(6) 虐待について相談した相手	72
(7) 障害者への差別を感ずること	73
(8) 差別を感ずるとき	73
(9) 差別の相談経験	74
(10) 差別についての相談先	74
(11) 選挙投票への参加状況（18歳以上の方）	75
(12) 選挙に行かない理由（18歳以上の方）	75
11. 豊島区等への要望	76
(1) 行政に対する要望	76

第4章 知的障害者調査	77
1. 知的障害者調査の結果のまとめ	79
2. 回答者の属性	82
(1) 生活の本拠	82
(2) アンケート記入者	82
(3) 性別・年齢	83
(4) 同居家族	83
(5) 収入	84
(6) 居住地区	84
(7) 愛の手帳の等級	85
(8) 手帳の取得時期	85
(9) 他に取得している手帳等	86
(10) 介護保険の認定状況	87
3. 福祉に関する相談や情報	88
(1) 健康・福祉に関する情報の入手手段	88
(2) よく利用する相談窓口	89
(3) 相談対応の満足度	89
(4) 不満を感ずる理由	90
4. 介助	91
(1) 介助の必要性	91
(2) 主な介助者	91

5. サービスの利用状況や今後の利用意向	92
(1) サービスの利用状況	92
(2) サービスについての考え	93
6. 外出の状況	94
(1) 外出の頻度	94
(2) 外出しない理由	94
(3) よく利用する外出手段	95
(4) 外出時にけがをした経験	95
(5) けがをした理由	96
(6) 外出時のけがの種類	96
(7) 外出時に危険を感じたこと	97
(8) 自宅内でけがをした経験	97
(9) けがをした自宅内の場所	98
(10) 自宅内のけがの種類	98
(11) まちのバリアフリーについての満足度	99
(12) 急いでバリアフリーを進めてほしい施設	100
7. 住居の状況	101
(1) 住居形態	101
(2) 住まいについて困っていること	101
8. 就労の状況	102
(1) 現在の就労状況と今後の就労意向	102
(2) 現在の就労の形態	102
(3) 現在の月収	103
(4) 現在の仕事・作業などを見つけた方法	103
(5) 現在の仕事・作業などに対する悩みや不満	104
(6) 現在仕事・作業などをしていない主な理由	105
(7) 今後希望する就労の形態	106
9. 社会参加等	107
(1) 最近1年間に行った活動	107
(2) 活動しにくい理由	108
(3) 近所つき合い	109
(4) 現在楽しんでいる余暇活動	109
(5) 地域の方々の障害・疾病に対する理解	110
(6) 運動やスポーツへの活動意向と現況	111
(7) 運動やスポーツの実施頻度	111
(8) 運動やスポーツを行いにくいと感ずること	112
10. 障害者の権利	113
(1) 障害者の権利を守るために充実すべき内容	113
(2) 成年後見制度の利用意向	113
(3) 虐待を受けた経験	114

(4) 受けたことがある虐待の内容	114
(5) 虐待を受けた相手	115
(6) 虐待について相談した相手	115
(7) 障害者への差別を感じる事	116
(8) 差別を感じる時	116
(9) 差別の相談経験	117
(10) 差別についての相談先	117
(11) 選挙投票への参加状況 (18歳以上の方)	118
(12) 選挙に行かない理由 (18歳以上の方)	118
11. 豊島区等への要望	119
(1) 行政に対する要望	119

第5章 精神障害者調査	121
1. 精神障害者調査の結果のまとめ	123
2. 回答者の属性	126
(1) 調査票記入者	126
(2) 性別・年齢	126
(3) 同居家族	127
(4) 主な収入	127
(5) 居住地区	128
(6) 近年の状況	128
(7) 精神障害者保健福祉手帳の等級	129
(8) 精神障害者保健福祉手帳を持っていない理由	130
(9) 手帳の取得時期	130
(10) 他に取得している手帳等	131
3. 福祉に関する情報や相談	132
(1) 健康・福祉に関する情報の入手手段	132
(2) よく利用する相談窓口	133
(3) 病気に対する家族の理解	133
(4) 相談対応の満足度	134
(5) 不満を感じる理由	134
4. サービスの利用状況や今後の利用意向	135
(1) サービスの利用状況	135
(2) サービスについての考え	136
(3) 障害者のための就労施設を利用して良かったこと	137
(4) 障害者のための就労施設に対する要望	138
5. 住居の状況	139
(1) 住居形態	139
(2) 住まいについて困っていること	139
6. 外出の状況	140

(1) 外出の頻度	140
(2) 外出しない理由	140
(3) よく利用する外出手段	141
(4) 外出時にけがをした経験	141
(5) けがをした理由	142
(6) 外出時のけがの種類	142
(7) 外出時に危険を感じたこと	143
(8) 自宅内でけがをした経験	143
(9) けがをした自宅内の場所	144
(10) 自宅内のけがの種類	144
7. 就労の状況	145
(1) 現在の就労状況と今後の就労意向	145
(2) 現在の就労の形態	145
(3) 現在の月収	146
(4) 現在の仕事・作業等を見つけた方法	146
(5) 現在の仕事・作業等に対する悩みや不満	147
(6) 現在仕事・作業等をしていない主な理由	148
(7) 今後希望する就労の形態	149
8. 社会参加等	150
(1) 最近1年間に行った活動	150
(2) 活動しにくい理由	151
(3) 近所つき合い	152
(4) 現在楽しんでいる余暇活動	152
(5) 地域の方々の障害・疾病に対する理解	153
(6) 運動やスポーツへの活動意向と現況	154
(7) 運動やスポーツの実施頻度	154
(8) 運動やスポーツを行いにいと感ずること	155
9. 障害者の権利	156
(1) 障害者の権利を守るために充実すべき内容	156
(2) 成年後見制度の利用意向	156
(3) 虐待を受けた経験	157
(4) 受けたことがある虐待の内容	157
(5) 虐待を受けた相手	158
(6) 虐待について相談した相手	158
(7) 障害者への差別を感じることに	159
(8) 差別を感じる時	159
(9) 差別の相談経験	160
(10) 差別についての相談先	160
(11) 選挙投票への参加状況（18歳以上の方）	161
(12) 選挙に行かない理由（18歳以上の方）	161

10. 豊島区等への要望	162
(1) 行政に対する要望	162
第6章 難病患者調査	163
1. 難病患者調査の結果のまとめ	165
2. 回答者の属性	169
(1) 調査票記入者	169
(2) 性別・年齢	169
(3) 同居家族	170
(4) 主な収入	170
(5) 居住地区	171
(6) 医療券の種類	171
(7) 他に取得している手帳等	172
3. 病気や医療の状況	173
(1) 難病患者福祉手当を受給している対象の疾病	173
(2) 難病患者福祉手当を受けている病気を発病した時期	173
(3) 医療機関の受診状況	174
(4) 医療機関の所在地	174
(5) 通院の頻度	175
(6) 医療機関への交通手段	175
(7) 過去3年以内の入院経験	176
(8) 過去3年以内の通算入院期間	177
(9) 保険外治療を受けた経験	177
4. 介助	178
(1) 介助の必要性	178
(2) 介助が必要なこと	178
(3) 主な介助者	179
5. 日常生活の状況や就労状況	180
(1) 日常生活の状況	180
(2) 現在の就労の形態	180
(3) 現在の月収	181
(4) 現在の仕事・作業等を見つけた方法	181
(5) 仕事を休む頻度	182
(6) 仕事・作業等をしていない理由	182
(7) 今後希望する就労の形態	183
6. 住居の状況	184
(1) 住居形態	184
(2) 住まいについて困っていること	184
7. 外出の状況	185
(1) 外出の頻度	185

(2) 外出をしない理由	185
(3) よく利用する外出手段	186
(4) 外出時にけがをした経験	186
(5) けがをした理由	187
(6) 外出時のけがの種類	187
(7) 外出時に危険を感じたこと	188
(8) 自宅内でけがをした経験	188
(9) けがをした自宅内の場所	189
(10) 自宅内のけがの種類	189
(11) まちのバリアフリーについての満足度	190
(12) 急いでバリアフリーを進めてほしい施設	191
8. 福祉に関する相談や情報	192
(1) 健康・福祉に関する情報の入手手段	192
(2) よく利用する相談窓口	193
(3) 病気についての相談相手	193
(4) 相談対応の満足度	194
(5) 不満の理由	194
9. 社会参加等	195
(1) 近所つき合い	195
(2) 現在楽しんでいる余暇活動	195
(3) 地域の方々の障害・疾病に対する理解	196
(4) 運動やスポーツへの活動意向と現況	197
(5) 運動やスポーツの実施頻度	197
(6) 運動やスポーツを行いにくいと感ずること	198
10. 障害者の権利	199
(1) 障害者の権利を守るために充実すべき内容	199
(2) 成年後見制度の利用意向	200
(3) 虐待を受けた経験	200
(4) 受けたことがある虐待の内容	201
(5) 虐待を受けた相手	201
(6) 虐待について相談した相手	202
(7) 障害者への差別を感じることに	203
(8) 差別を感じる時	203
(9) 差別の相談経験	204
(10) 差別についての相談先	204
(11) 選挙投票への参加状況（18歳以上の方）	205
(12) 選挙に行かない理由（18歳以上の方）	205
11. サービスの利用状況や今後の利用意向	206
(1) サービスの利用状況	206
12. 豊島区等への要望	207

(1) 行政に対する要望	207
--------------	-----

第7章 自由回答	209
----------	-----

(付) 使用した調査票	231
-------------	-----

1. 身体障害者	233
----------	-----

2. 知的障害者	241
----------	-----

3. 精神障害者	252
----------	-----

4. 難病患者	260
---------	-----

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

豊島区障害者・障害福祉計画の改定を行うにあたり、障害者等の実態を把握・分析し、改訂作業に向けて必要となる基礎資料を得ることを目的として実施しました。

2. 調査の設計

身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者の区分で、計4種類の調査を実施しました。

(1)調査対象

①身体障害者

豊島区に住所を有する身体障害者手帳所持者（平成28年10月1日現在）

②知的障害者

豊島区に住所を有する愛の手帳所持者（平成28年10月1日現在）

③精神障害者

自立支援給付受給者および地域活動支援センター、障害福祉サービス事業所、家族会、当事者団体、医療機関等利用者

④難病患者

難病患者福祉手当受給者（平成28年10月1日現在）

(2)調査人数

①身体障害者2,000人 ②知的障害者500人 ③精神障害者500人 ④難病患者685人

(3)抽出方法

①身体障害者 ②知的障害者

年齢を問わずに無作為抽出

③精神障害者

自立支援給付受給者は悉皆、その他各関係機関を通じて承諾を得られた方に調査票を配布

④難病患者

悉皆

(4)調査方法

①身体障害者 ②知的障害者 ③精神障害者 ④難病患者

郵送配布、郵送回収

※精神障害者については一部、関係機関を通じて直接調査票を配布し、郵送回収

(5)調査期間

平成28年10月26日（水）～平成28年11月21日（月）

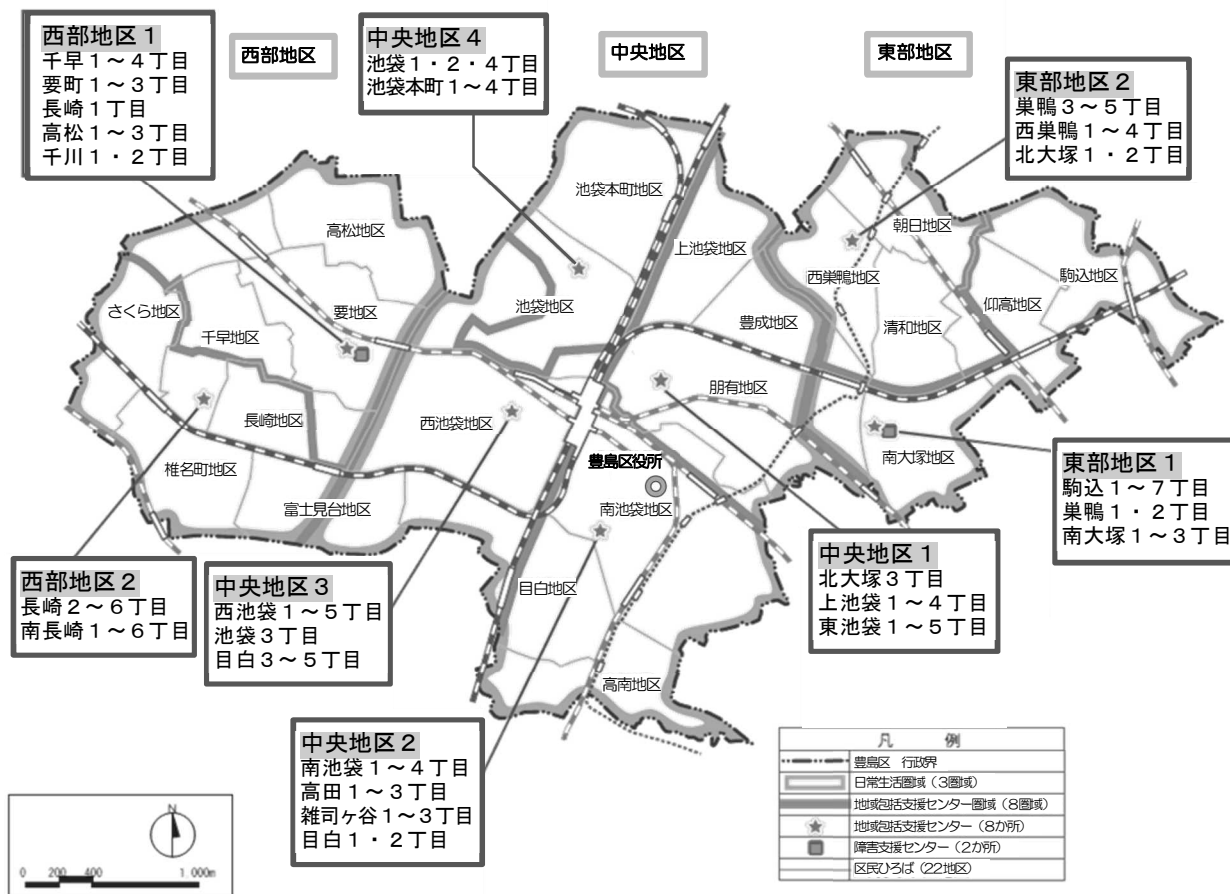
3. 回収結果

	身体障害者	知的障害者	精神障害者	難病患者	合計
調査人数	2,000	500	500	685	3,685
有効回収数	862	229	192	346	1,629
有効回収率	43.1%	45.8%	38.4%	50.5%	44.2%
前回回収率	47.0%	53.6%	28.0%	58.5%	47.4%

4. この報告書のみかた

- (1) 身体障害者と知的障害者に対する調査では、最初に、現在生活している場所（生活の本拠）について質問しました。本調査は、地域生活の実態を把握するために実施しているため、この質問で施設等に入所していると回答した方は、以後の質問で、集計の対象から除外しました。
- (2) 図表中の「n」は、各質問の回答者数を示します。
- (3) 調査結果の比率は、nを基数として比率を算出し、小数点以下第2位を四捨五入して第1位まで示しました。したがって、すべての選択肢の比率を合計しても100%にならない場合があります。
- (4) 複数回答の設問においてもnを基数として比率を算出しているため、すべての選択肢の比率の合計は、通常100%を超えます。
- (5) 選択肢の文言が長い場合は、本文や図表中では、選択肢中のかっこ内の文言を省略した表現を用いた場合があります。
- (6) 第2章のクロス集計による分析では、身体障害者について、主な障害の種類により「肢体不自由」、「内部障害」、「視覚」、「聴覚」、「身体（その他）」の5つに区分して集計を行いました。「身体（その他）」には、平衡機能障害、音声・言語・そしゃく障害と、主な障害の種類について無回答の方の回答を含めて集計しました。
- (7) 第2章のクロス集計による分析では、数表中、障害の各区分において最も比率の高い選択肢を網かけ及び太文字で、2番目に比率の高い選択肢を太文字で表示しました。ただし、第1位の選択肢が同率で2項目以上ある場合は、2番目に比率の高い選択肢は太文字で表示していません。また、満足度等の設問では、同系統の合計値（例：「満足」と「やや満足」の合計）を数表中で示し、比率の高い系統を網かけ及び太文字で表示しました。2択の設問では多い方を網かけ及び太文字で表示しました。なお、表の最下段には、前回（平成26年度）調査の「全体」の数値を表示しました。（前回と同じ設問のみ）
- (8) 特定の選択肢を選んだ方だけに質問するなどの質問の流れによっては、質問の回答者数が少なくなる場合があります。回答者数が30人未満の場合、有効な分析をする回答者数を満たしているとはいえませんが、参考として図表あるいは集計の結果を示しました。なお、参考としての図表である場合は、下記（例）のように示しています。
 （例）回答者が少ないため、図は参考程度となります。

(9) 居住地区の集計では、現住所についての回答から、豊島区内8か所の地域包括支援センターの圏域に沿って、以下の図のように8つの地区に区分して示しました。



第2章 調査結果のまとめ

1. 福祉に関する相談や情報

(1) 健康・福祉に関する情報の入手手段

健康・福祉に関する情報の入手手段は、全体では「広報紙（東京都・豊島区）」が36.6%で最も多く、以下、「区役所の窓口（障害福祉課、東部・西部障害支援センター、保健所、健康相談所を含む）」（25.3%）、「病院・診療所」（22.2%）が2割台となっています。

障害区分別にみると、内部障害では「病院・診療所」、知的障害、精神障害では「区役所の窓口（障害福祉課、東部・西部障害支援センター、保健所、健康相談所を含む）」が第1位にあげられています。また、視覚障害では「テレビ・ラジオ」、聴覚障害では「障害者福祉のしおり」、精神障害では「通っている学校、事業所など」が第2位にあげられています。

前回調査との比較では、「区役所窓口」の割合が増加するとともに、第5位に「インターネット」があげられています。

(%)

障害区分	順位	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体	n=1,595	広報紙 (東京都・豊島区) 36.6	区役所窓口 (障害福祉課、東部・西部 障害支援センター、保健 所、健康相談所を含む) 25.3	病院・診療所 22.2	テレビ・ラジオ 18.0	インターネット (携帯電話利用を含 む) 16.6
身体(計)	n=839	広報紙 (東京都・豊島区) 33.5	区役所窓口 (障害福祉課、東部・西部 障害支援センター、保健 所、健康相談所を含む) 26.3	病院・診療所 22.6	障害者福祉のしお り 21.5	テレビ・ラジオ 17.2
肢体不自由	n=364	広報紙 (東京都・豊島区) 34.3	区役所窓口 (障害福祉課、東部・西部 障害支援センター、保健 所、健康相談所を含む) 26.6	障害者福祉のしお り 24.7	病院・診療所 16.8	テレビ・ラジオ 15.9
内部障害	n=279	病院・診療所 35.8	広報紙 (東京都・豊島区) 34.4	区役所窓口 (障害福祉課、東部・西部 障害支援センター、保健 所、健康相談所を含む) 29.7	インターネット (携帯電話利用を含 む) 20.4	ホームページ (東京都・豊島 区) 20.1
視覚	n=71	広報紙 (東京都・豊島区) 26.8	テレビ・ラジオ 23.9	ホームページ(東京都・豊島区) / インターネット(携帯電話利用を含む) / 友人・知人 19.7		
聴覚	n=54	広報紙 (東京都・豊島区) 42.6	障害者福祉のしお り 31.5	区役所窓口 (障害福祉課、東部・西部 障害支援センター、保健 所、健康相談所を含む) 25.9	インターネット (携帯電話利用を含 む) 22.2	ホームページ (東京都・豊島 区) 16.7
身体(その他)	n=71	広報紙 (東京都・豊島区) 25.4	区役所窓口(障害福祉課、東部・西部障害支援センター、保健所、健康相談所を含む) / テレビ・ラジオ 19.7		病院・診療所 18.3	障害者福祉のしお り 16.9
知的	n=218	区役所窓口 (障害福祉課、東部・西部 障害支援センター、保健 所、健康相談所を含む) 37.2	広報紙 (東京都・豊島区) 33.5	通っている学校、 事業所など 26.1	障害者福祉のしお り 25.2	家族・親戚 22.5
精神	n=192	区役所窓口 (障害福祉課、東部・西部 障害支援センター、保健 所、健康相談所を含む) 31.3	通っている学校、 事業所など 28.6	病院・診療所 27.1	広報紙 (東京都・豊島区) 26.0	インターネット (携帯電話利用を含 む) 18.2
難病	n=346	広報紙 (東京都・豊島区) 51.7	病院・診療所 29.5	テレビ・ラジオ 26.9	インターネット (携帯電話利用を含 む) 24.6	一般の新聞・雑誌 22.3
前回(全体)	n=1,670	広報紙 (東京都・豊島区) 39.9	病院・診療所 29.7	区役所窓口 (保健福祉センター、保健 所、健康相談所を含む) 18.0	テレビ・ラジオ 17.2	一般の新聞・雑誌 14.6

※全体で第1位になっている「広報紙（東京都・豊島区）」を網かけで示しました。

第2章 調査結果のまとめ

(2) よく利用する相談窓口

よく利用する相談窓口は、全体では「区の障害福祉課」が19.7%、「病院・診療所」が14.4%となっています。また、「特にない」は32.5%となっています。

障害区分別にみると、身体障害、肢体不自由、内部障害、視覚障害、聴覚障害では「区の障害福祉課」に次いで「東部・西部障害支援センター」の利用が多くなっています。精神障害と難病患者では「病院・診療所」、「保健所・健康相談所」、知的障害と精神障害では「通っている学校、事業所など」も他の区分より多くなっています。また、「特にない」は難病患者、視覚障害、聴覚障害で4割台となっています。

前回調査との比較では、「区の障害福祉課」「東部・西部障害支援センター」が6ポイント増加、一方、「病院・診療所」が5ポイント減少しています。

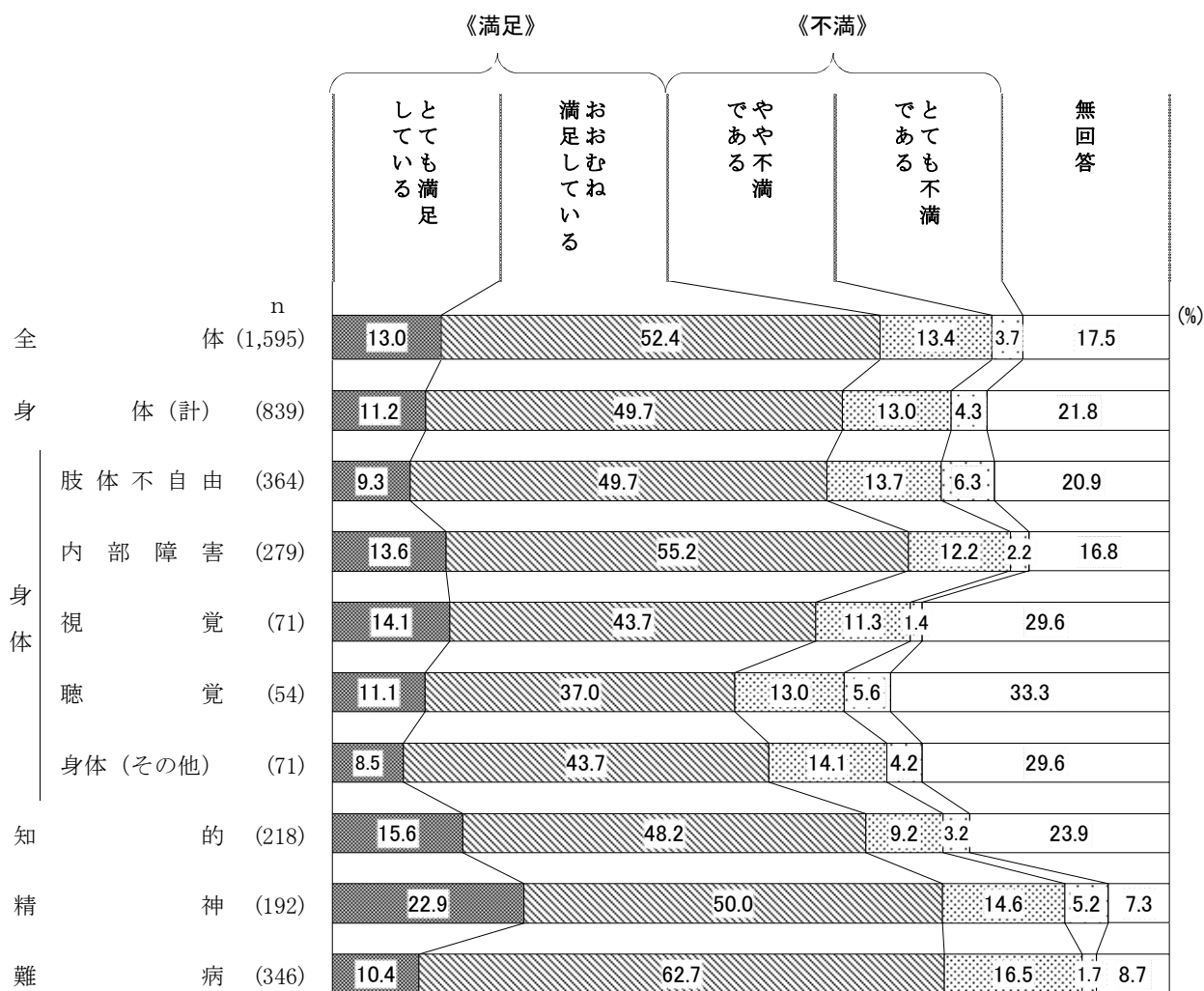
	調査数	区の障害福祉課	東部・西部障害支援センター	保健所・健康相談所	左記以外の区役所窓口	社会福祉協議会	通っている学校、事業所など	民生委員・児童委員	病院・診療所	東京都難病相談・支援センター	その他	特にない	無回答
全 体	1,595	19.7	11.3	4.8	1.3	0.4	5.6	0.3	14.4	0.5	2.8	32.5	6.3
身 体 (計)	839	24.7	18.1	1.7	0.5	0.6	1.2	0.1	11.8	-	1.5	33.4	6.4
肢 体 不 自 由	364	26.1	19.2	1.9	0.3	0.8	1.6	-	9.1	-	2.2	33.5	5.2
内 部 障 害	279	21.1	20.1	2.2	0.7	-	1.1	-	16.8	-	1.1	31.2	5.7
視 覚	71	25.4	15.5	-	-	1.4	-	-	7.0	-	1.4	40.8	8.5
聴 覚	54	29.6	13.0	1.9	-	-	1.9	-	5.6	-	-	40.7	7.4
身体(その他)	71	26.8	11.3	-	1.4	1.4	-	1.4	15.5	-	1.4	28.2	12.7
知 的	218	25.7	2.3	1.8	1.8	-	19.7	0.9	6.0	-	5.5	25.7	10.6
精 神	192	17.7	5.2	12.5	3.1	-	18.8	-	18.2	-	7.3	12.5	4.7
難 病	346	5.2	4.0	10.1	1.7	0.3	-	0.3	24.0	2.3	1.7	46.0	4.3
参考 前回(全体)	1,670	25.1*		4.9	2.9	1.1	4.6	0.4	19.0	*	2.5	35.7	3.8

*：前は「区の保健福祉センター」として、両者をあわせて聞いていました。

(3) 相談窓口の対応の満足度

相談窓口の対応の満足度は、全体では「とても満足している」が13.0%、「おおむね満足している」が52.4%で両者をあわせた《満足》は65.4%となっています。一方、《不満》（「とても不満である」と「やや不満である」の計）は17.1%となっています。

障害区分別にみると、いずれの区分も《満足》が《不満》を上回っており、精神障害と難病患者では7割台と多くなっています。



(%)

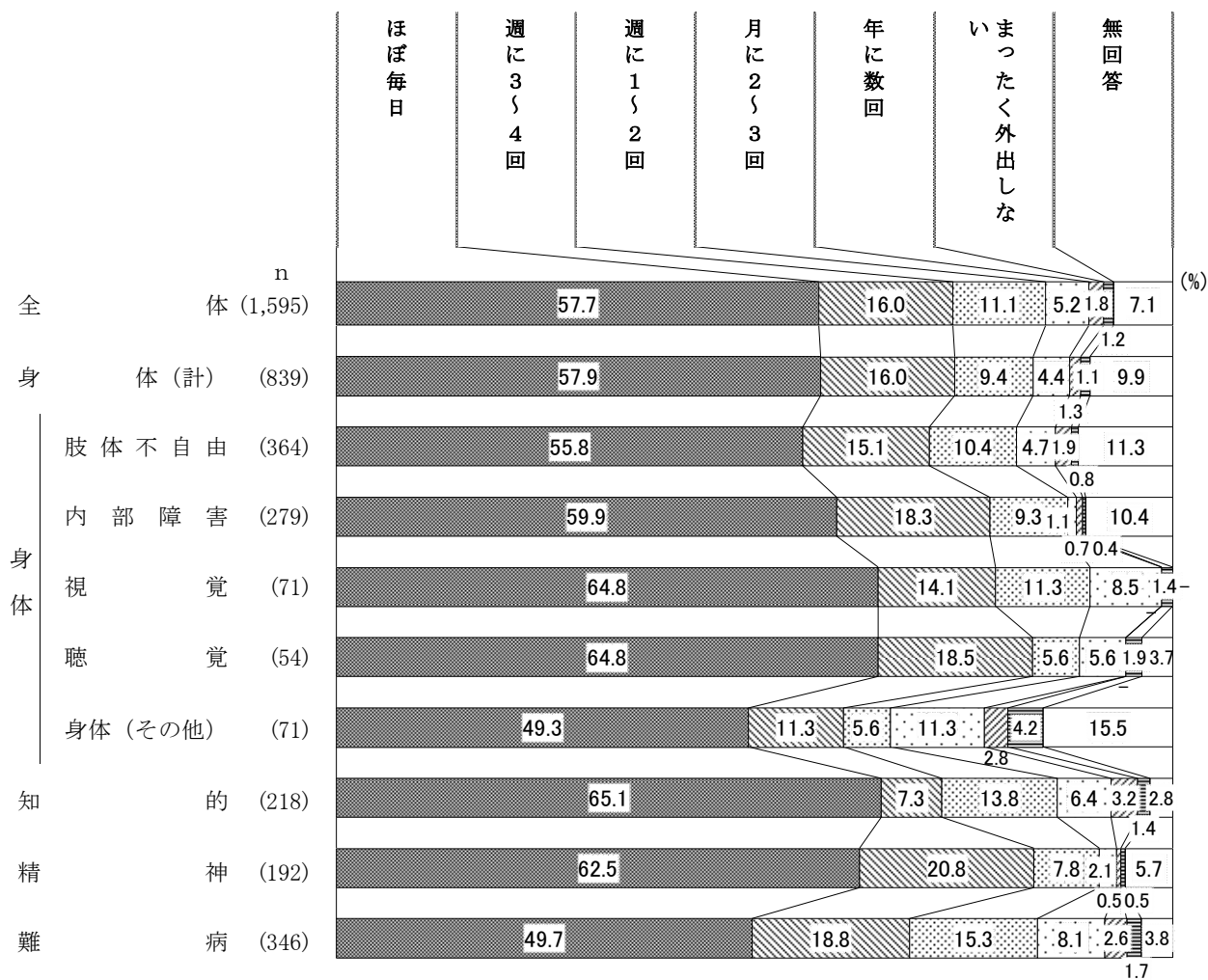
	調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	大変不満	無回答	満足(計)	不満(計)
全体	1,595	13.0	52.4	13.4	3.7	17.5	65.4	17.1
身体 (計)	839	11.2	49.7	13.0	4.3	21.8	60.9	17.3
肢体不自由	364	9.3	49.7	13.7	6.3	20.9	59.0	20.0
内部障害	279	13.6	55.2	12.2	2.2	16.8	68.8	14.4
視覚	71	14.1	43.7	11.3	1.4	29.6	57.8	12.7
聴覚	54	11.1	37.0	13.0	5.6	33.3	48.1	18.6
身体(その他)	71	8.5	43.7	14.1	4.2	29.6	52.2	18.3
知的	218	15.6	48.2	9.2	3.2	23.9	63.8	12.4
精神	192	22.9	50.0	14.6	5.2	7.3	72.9	19.8
難病	346	10.4	62.7	16.5	1.7	8.7	73.1	18.2
参考 前回 (全体)	1,670	12.9	51.2	15.1	3.3	17.5	64.1	18.4

2. 外出の状況

(1) 外出の頻度

外出の頻度をみると、全体では「ほぼ毎日」が57.7%、「週に3～4回」(16.0%)、「週に1～2回」(11.1%)が1割台となっています。

障害区分別にみると、ほとんどの区分で「ほぼ毎日」が5割以上となっており、視覚障害、聴覚障害、知的障害、精神障害で6割台となっています。

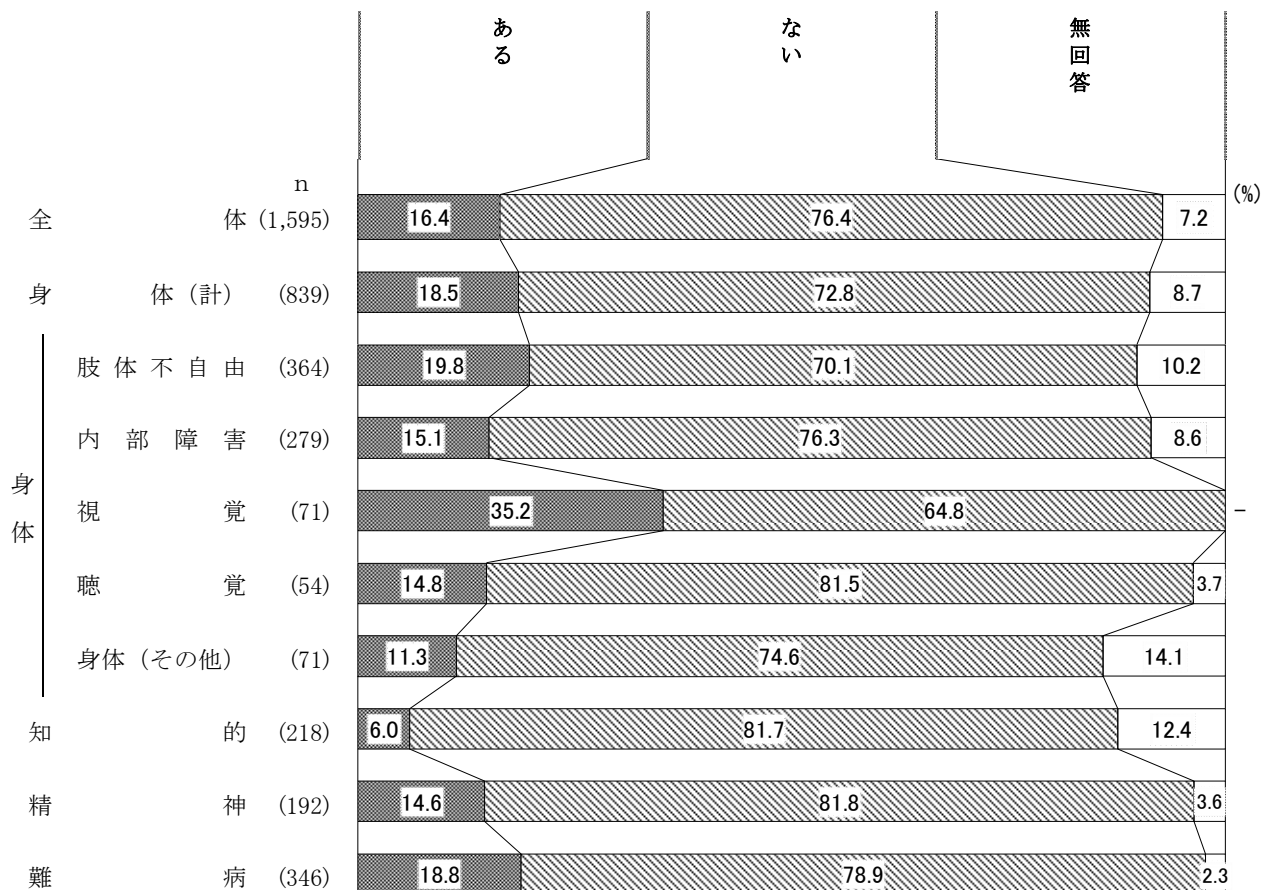


	調査数	ほぼ毎日	週に3～4回	週に1～2回	月に2～3回	年に数回	まったく外出しない	無回答
全体	1,595	57.7	16.0	11.1	5.2	1.8	1.2	7.1
身体 (計)	839	57.9	16.0	9.4	4.4	1.3	1.1	9.9
肢体不自由	364	55.8	15.1	10.4	4.7	1.9	0.8	11.3
内部障害	279	59.9	18.3	9.3	1.1	0.7	0.4	10.4
視覚	71	64.8	14.1	11.3	8.5	-	1.4	-
聴覚	54	64.8	18.5	5.6	5.6	-	1.9	3.7
身体(その他)	71	49.3	11.3	5.6	11.3	2.8	4.2	15.5
知的	218	65.1	7.3	13.8	6.4	3.2	1.4	2.8
精神	192	62.5	20.8	7.8	2.1	0.5	0.5	5.7
難病	346	49.7	18.8	15.3	8.1	2.6	1.7	3.8
参考 前回 (全体)	1,132	55.2	19.0	12.2	5.3	2.7	1.3	4.3

(2) 外出時にけがをした経験

外出時にけがをした経験は、全体では「ある」が16.4%、「ない」が76.4%となっています。

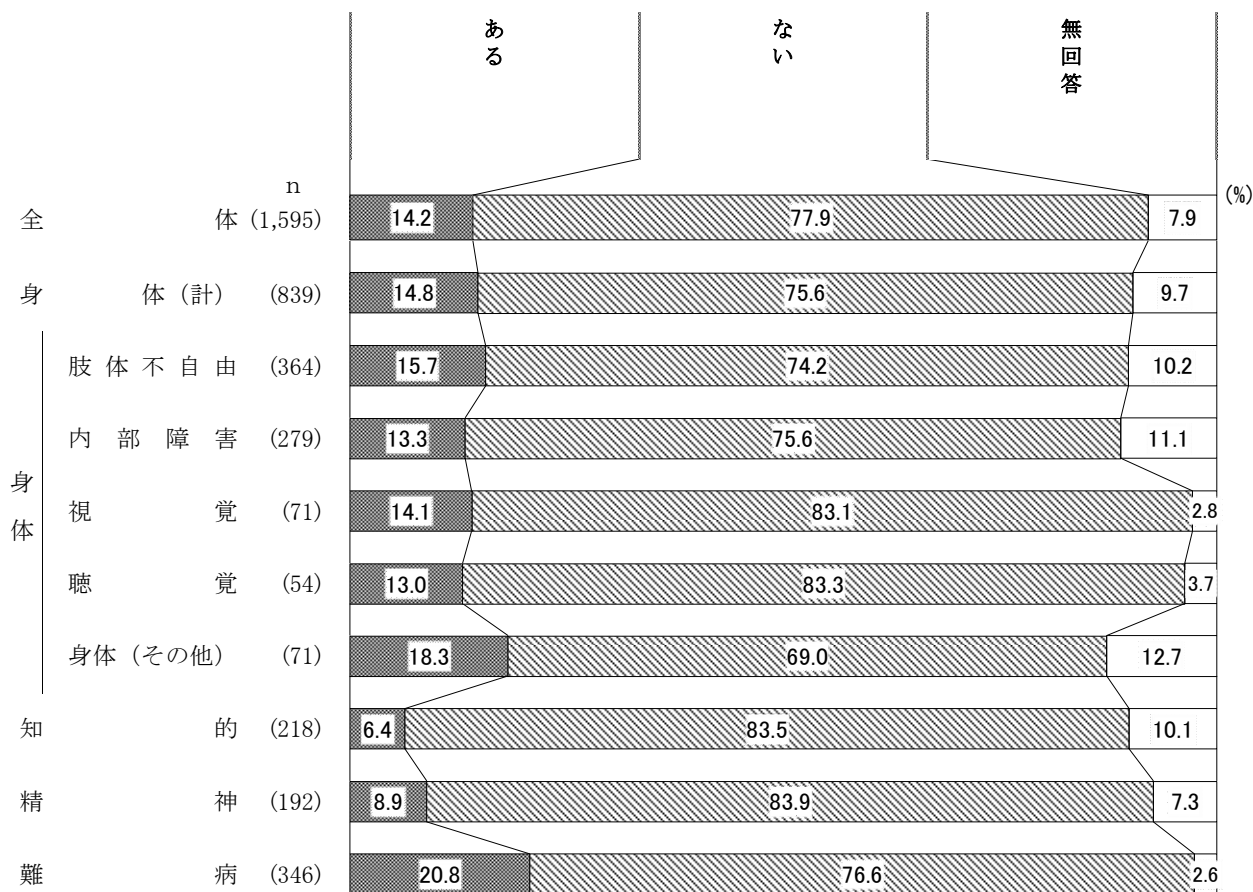
障害区分別にみると、「ある」は多くの区分で1割台となっていますが、視覚障害では35.2%と他の区分より多くみられます。



	調査数	ある (%)	ない (%)	無回答 (%)
全体	1,595	16.4	76.4	7.2
身体 (計)	839	18.5	72.8	8.7
肢体不自由	364	19.8	70.1	10.2
内部障害	279	15.1	76.3	8.6
視覚	71	35.2	64.8	-
聴覚	54	14.8	81.5	3.7
身体 (その他)	71	11.3	74.6	14.1
知的	218	6.0	81.7	12.4
精神	192	14.6	81.8	3.6
難病	346	18.8	78.9	2.3
参考 前回 (全体)	1,670	18.1	77.4	4.5

(3) 自宅内でけがをした経験

自宅内でけがをした経験は、全体では「ある」が14.2%、「ない」が77.9%となっています。障害区分別にみると、「ある」は多くの区分で1割台となっていますが、難病患者（20.8%）と身体（その他）（18.3%）で2割前後と他の区分より多くなっています。

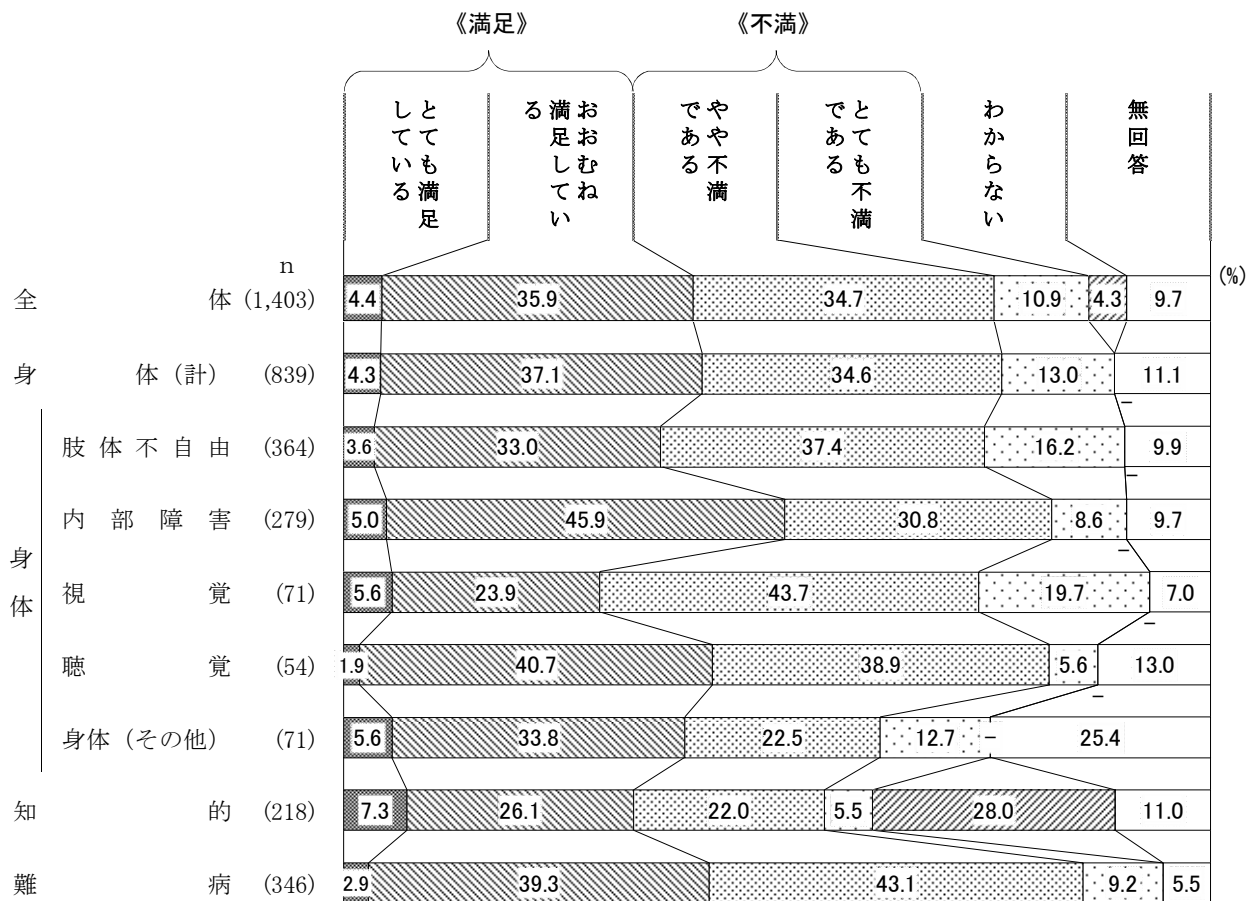


	調査数	ある (%)	ない (%)	無回答 (%)
全体	1,595	14.2	77.9	7.9
身体 (計)	839	14.8	75.6	9.7
肢体不自由	364	15.7	74.2	10.2
内部障害	279	13.3	75.6	11.1
視覚	71	14.1	83.1	2.8
聴覚	54	13.0	83.3	3.7
身体 (その他)	71	18.3	69.0	12.7
知的	218	6.4	83.5	10.1
精神	192	8.9	83.9	7.3
難病	346	20.8	76.6	2.6
参考 前回 (全体)	1,670	14.7	79.6	5.7

(4) まちのバリアフリーについての満足度

まちのバリアフリーについての満足度は、全体では「とても満足している」が4.4%、「おおむね満足している」が35.9%で両者をあわせた《満足》は40.3%となっています。一方、《不満》（「とても不満である」と「やや不満である」の計）は45.6%となっており、《満足》よりやや多くなっています。

障害区分別にみると、内部障害、身体（その他）、知的障害では《満足》が《不満》より多くなっていますが、それ以外の区分では《不満》が《満足》より多く、視覚障害が63.4%、肢体不自由、難病患者では5割台となっています。

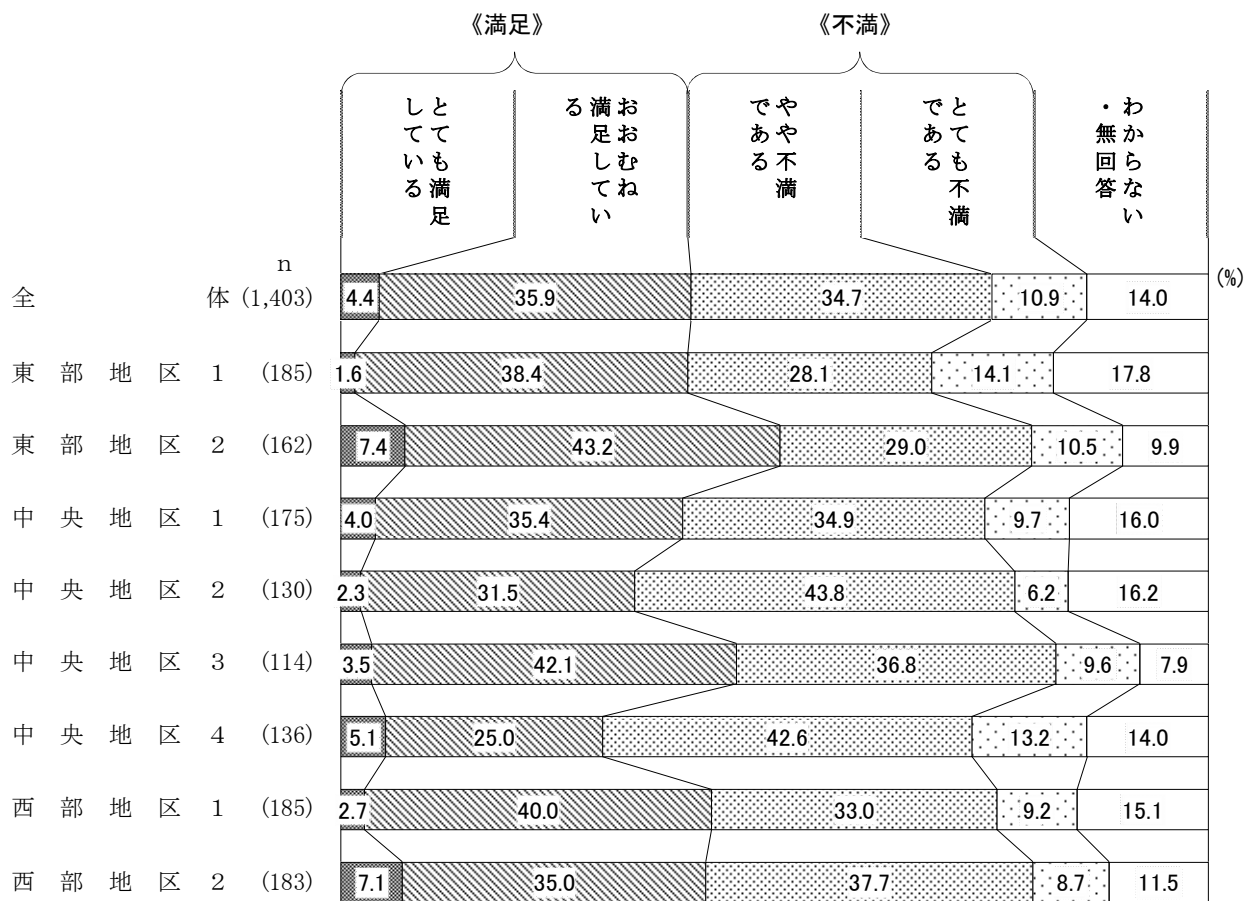


区分	調査数	(%)							
		とても満足	おおむね満足	やや不満	とても不満	わからない	無回答	満足(計)	不満(計)
全体	1,403	4.4	35.9	34.7	10.9	4.3	9.7	40.3	45.6
身体(計)	839	4.3	37.1	34.6	13.0	-	11.1	41.4	47.6
肢体不自由	364	3.6	33.0	37.4	16.2	-	9.9	36.6	53.6
内部障害	279	5.0	45.9	30.8	8.6	-	9.7	50.9	39.4
視覚	71	5.6	23.9	43.7	19.7	-	7.0	29.5	63.4
聴覚	54	1.9	40.7	38.9	5.6	-	13.0	42.6	44.5
身体(その他)	71	5.6	33.8	22.5	12.7	-	25.4	39.4	35.2
知的	218	7.3	26.1	22.0	5.5	28.0	11.0	33.4	27.5
難病	346	2.9	39.3	43.1	9.2	-	5.5	42.2	52.3
参考 前回(全体)	1,530	4.9	38.2	34.5	11.2	3.4	7.8	43.1	45.7

※知的障害調査では「わからない」の選択肢を加えて質問しました。

第2章 調査結果のまとめ

まちのバリアフリーについての満足度を居住地区別にみると、東部地区2では《満足》が50.6%と《不満》を上回っています。西部地区1は《満足》と《不満》がともに42%台で《満足》がやや上回っていますが、それ以外の地区では、《不満》の方が4割以上と多くなっており、中央地区2、中央地区4では5割台となっています。（各地区の丁目は5ページを参照）



調査数	満足							不満	
	しとていも満足	る満お足おしむねい	であやる不満	でとあても不満	いわからぬ回答	満足(計)	不満(計)		
全体	1,403	4.4	35.9	34.7	10.9	14.0	40.3	45.6	
東部地区1	185	1.6	38.4	28.1	14.1	17.8	40.0	42.2	
東部地区2	162	7.4	43.2	29.0	10.5	9.9	50.6	39.5	
中央地区1	175	4.0	35.4	34.9	9.7	16.0	39.4	44.6	
中央地区2	130	2.3	31.5	43.8	6.2	16.2	33.8	50.0	
中央地区3	114	3.5	42.1	36.8	9.6	7.9	45.6	46.5	
中央地区4	136	5.1	25.0	42.6	13.2	14.0	30.1	55.9	
西部地区1	185	2.7	40.0	33.0	9.2	15.1	42.7	42.2	
西部地区2	183	7.1	35.0	37.7	8.7	11.5	42.1	46.4	

※精神障害者調査では該当の設問はありません。身体障害、知的障害、難病患者の回答を集計した結果を示しています。

※知的障害調査では「わからない」の選択肢を加えて質問しました。

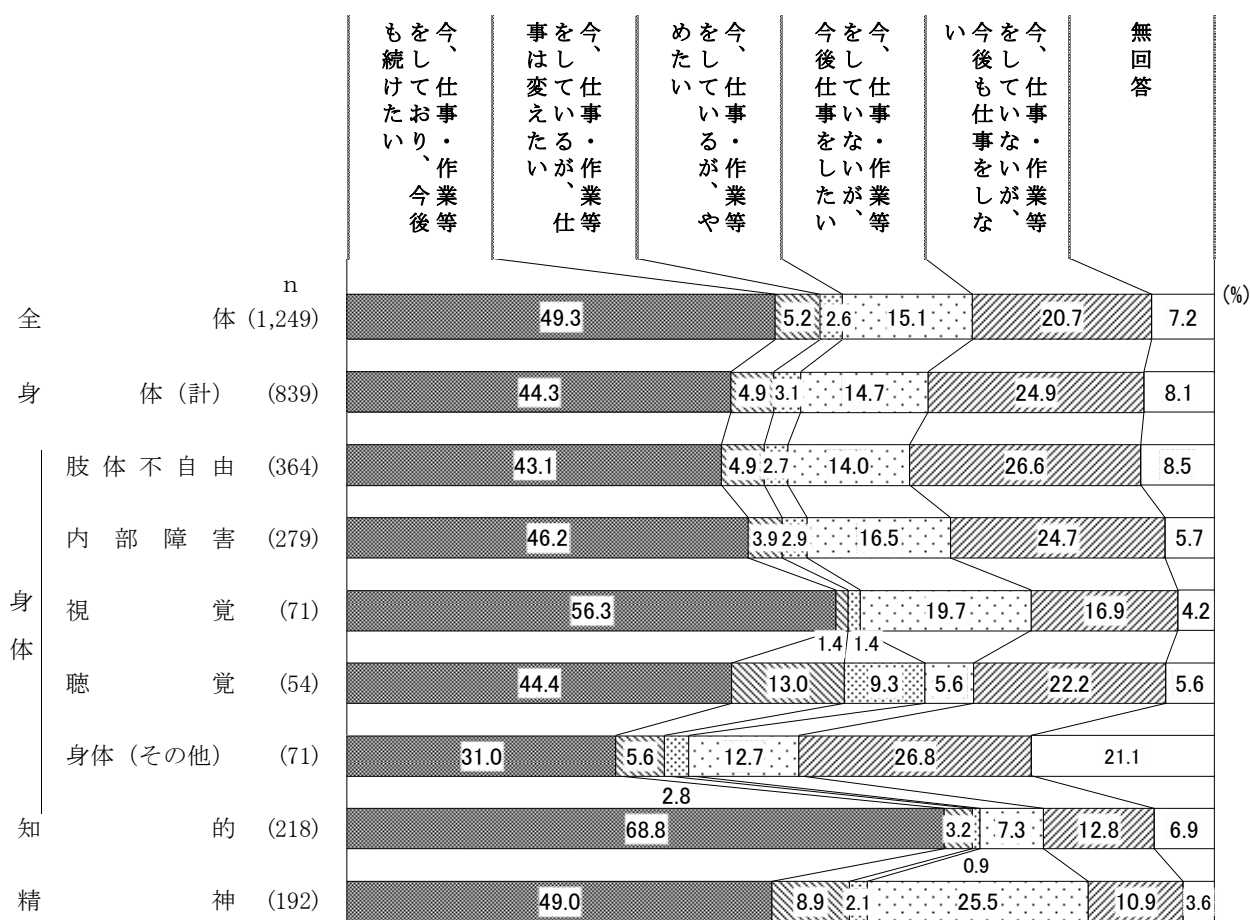
※居住地区の無回答者が133名いるため、全体の件数とは一致しません。

3. 就労状況

(1) 現在の就労状況と今後の就労意向

現在の就労状況と今後の就労意向は、全体では「今、仕事・作業等をしており、今後も続けたい」が49.3%と多く、他を含めた「仕事をしている」は57.1%となっています。また、「今、仕事・作業等をしていないが、今後も仕事をしない」は20.7%、「今、仕事・作業等をしていないが、今後仕事をしたい」は15.1%となっています。

障害区分別にみると、「今、仕事・作業等をしており、今後も続けたい」はほとんどの区分で4割以上となっており、知的障害で68.8%、視覚障害で56.3%となっています。「今、仕事・作業等をしていないが、今後仕事をしたい」は精神障害で25.5%、「今、仕事・作業等をしているが、仕事を変えたい」は聴覚障害で13.0%と他の区分より多くなっています。

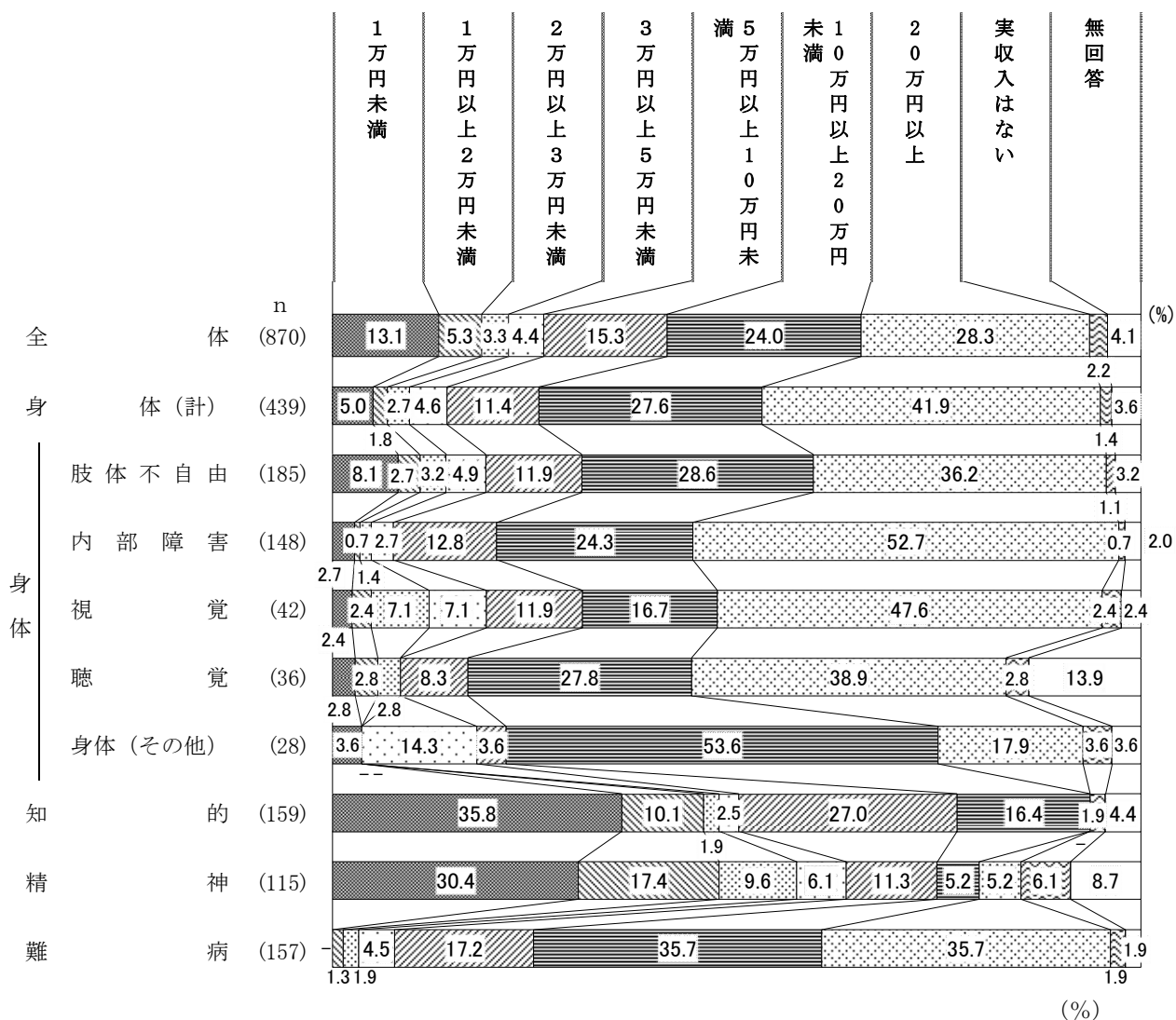


	調査数	今、仕事・作業等をしており、今後も続けたい (%)	今、仕事・作業等をしており、仕事を変えたい (%)	今、仕事・作業等をしていないが、今後も仕事をしない (%)	今、仕事・作業等をしていないが、今後仕事をしたい (%)	無回答 (%)
全体	1,249	49.3	5.2	20.7	15.1	7.2
身体 (計)	839	44.3	4.9	24.9	14.7	8.1
肢体不自由	364	43.1	4.9	26.6	14.0	8.5
内部障害	279	46.2	3.9	24.7	16.5	5.7
視覚	71	56.3	1.4	16.9	19.7	4.2
聴覚	54	44.4	13.0	22.2	9.3	5.6
身体(その他)	71	31.0	5.6	26.8	12.7	21.1
知的	218	68.8	3.2	12.8	7.3	6.9
精神	192	49.0	8.9	10.9	25.5	3.6
参考 前回 (全体)	1,272	48.3	4.3	21.8	16.1	7.5

(2) 現在の月収

現在の月収は、全体では「20万円以上」が28.3%、「10万円以上20万円未満」が24.0%、「5万円以上10万円未満」が15.3%、「1万円未満」が13.1%となっています。

障害区分別にみると、身体障害と肢体不自由、内部障害、視覚障害、聴覚障害、難病患者では「20万円以上」が多くなっていますが、知的障害では「1万円未満」が35.8%、精神障害では「1万円未満」が30.4%となっており、月収の少ない人の割合が比較的多くみられます。



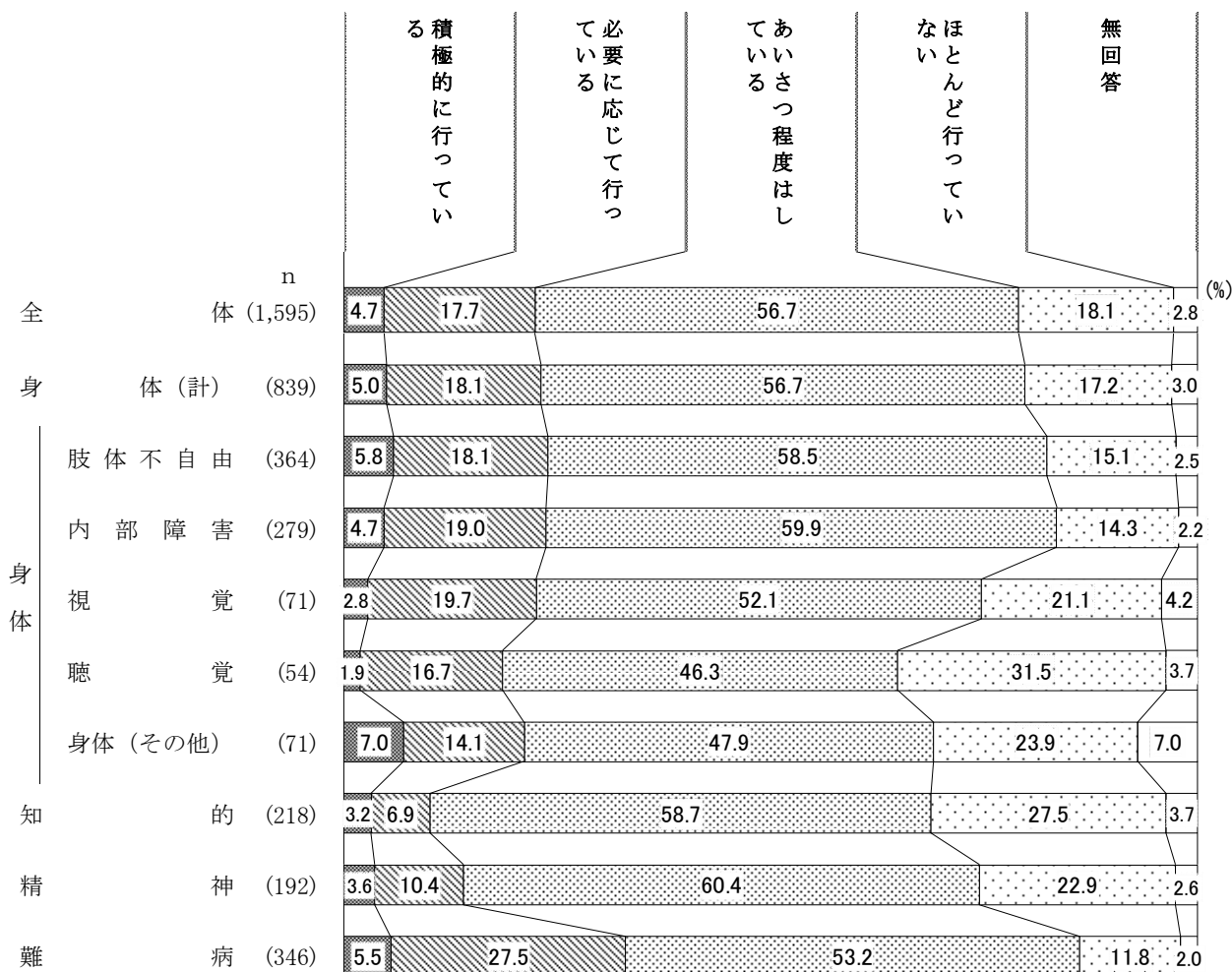
	調査数	1万円未満	1万円以上2万円未満	2万円以上3万円未満	3万円以上5万円未満	5万円以上10万円未満	10万円以上20万円未満	20万円以上	実収入はない	無回答
全体	870	13.1	5.3	3.3	4.4	15.3	24.0	28.3	2.2	4.1
身体(計)	439	5.0	1.8	2.7	3.2	4.6	11.4	27.6	41.9	3.6
肢体不自由	185	8.1	2.7	3.2	4.9	11.9	28.6	36.2	1.1	3.2
内部障害	148	0.7	2.7	1.4	2.7	12.8	24.3	52.7	0.7	2.0
視覚	42	2.4	2.4	7.1	7.1	11.9	16.7	47.6	2.4	2.4
聴覚	36	2.8	2.8	2.8	-	8.3	27.8	38.9	2.8	13.9
身体(その他)	28	3.6	-	-	14.3	3.6	53.6	17.9	3.6	3.6
知的	159	35.8	10.1	1.9	2.5	27.0	16.4	-	1.9	4.4
精神	115	30.4	17.4	9.6	6.1	11.3	5.2	5.2	6.1	8.7
難病	157	-	1.3	1.9	4.5	17.2	35.7	35.7	1.9	1.9
参考 前回(全体)	849	11.4	3.1	2.8	4.7	15.1	24.4	27.2	3.8	7.5

4. 社会参加等

(1) 近所つき合い

近所つき合いは、全体では「積極的に行っている」は4.7%とわずかですが、「あいさつ程度はしている」が56.7%、「必要に応じて行っている」が17.7%となっています。一方、「ほとんど行っていない」も18.1%となっています。

障害区分別にみても傾向は類似していますが、聴覚障害、知覚障害では「ほとんど行っていない」が3割前後と他の区分より多くなっています。



	調査数	積極的に行っている (%)	必要に応じて行っている (%)	あいさつ程度はしている (%)	ほとんど行っていない (%)	無回答 (%)
全体	1,595	4.7	17.7	56.7	18.1	2.8
身体 (計)	839	5.0	18.1	56.7	17.2	3.0
肢体不自由	364	5.8	18.1	58.5	15.1	2.5
内部障害	279	4.7	19.0	59.9	14.3	2.2
視覚	71	2.8	19.7	52.1	21.1	4.2
聴覚	54	1.9	16.7	46.3	31.5	3.7
身体(その他)	71	7.0	14.1	47.9	23.9	7.0
知的	218	3.2	6.9	58.7	27.5	3.7
精神	192	3.6	10.4	60.4	22.9	2.6
難病	346	5.5	27.5	53.2	11.8	2.0
参考 前回 (全体)	1,670	5.2	20.3	54.7	16.8	2.9

第2章 調査結果のまとめ

(2) 現在楽しんでいる余暇活動

現在楽しんでいる余暇活動は、全体では「テレビや音楽の鑑賞」が63.5%で最も多く、以下、「家族や友人などとの外出（食事、買い物など）」が44.6%、「インターネット」が32.4%、「各種の趣味活動」（15.7%）、「スポーツ活動（自分で行う）」（10.5%）が1割台で続いています。

障害区分別にみても上位の傾向は全体と同様で、「テレビや音楽の鑑賞」、「家族や友人などとの外出（食事、買い物など）」、「インターネット」がいずれの区分でも上位にあげられています。前回調査との比較では、「インターネット」が5ポイント増加しています。

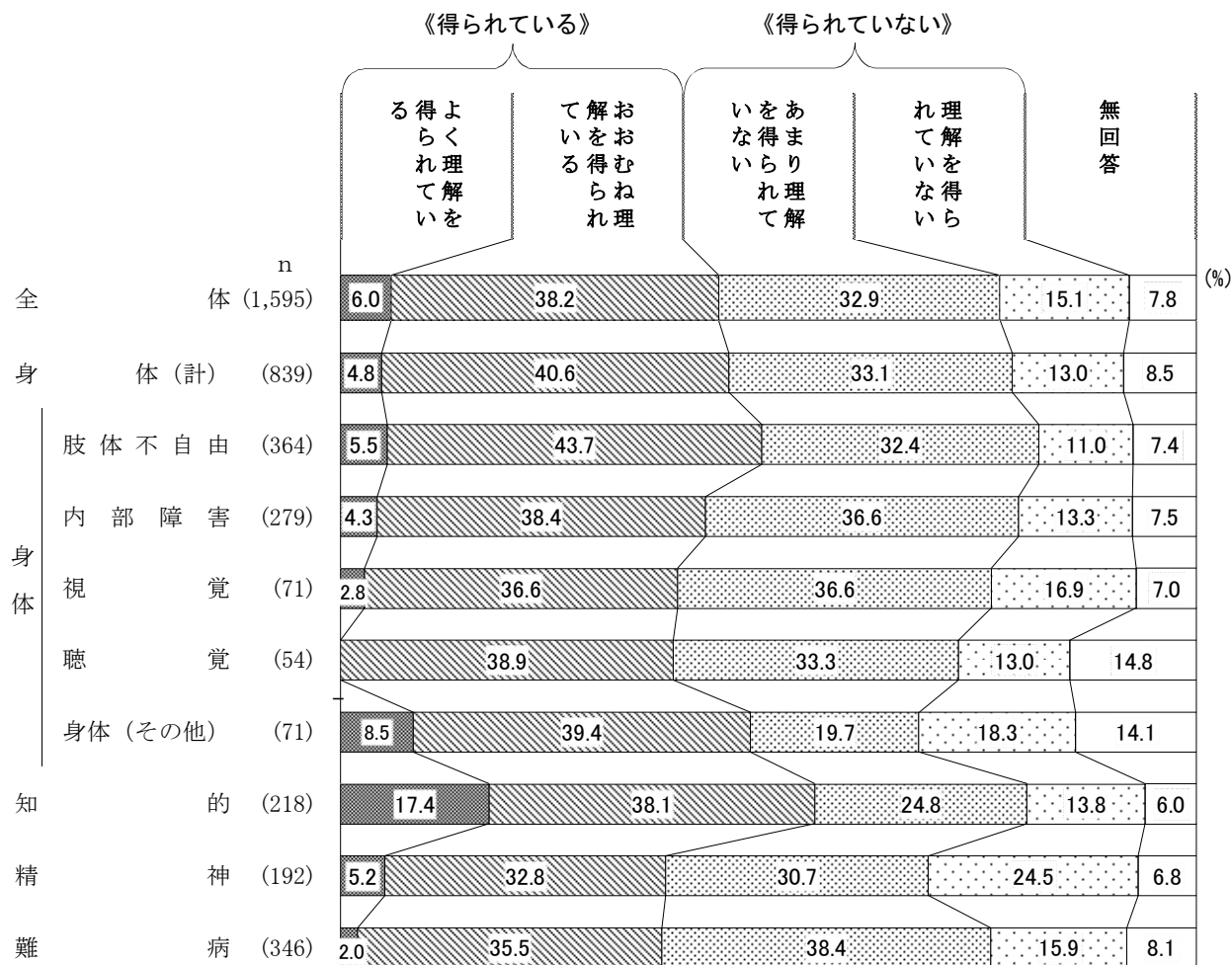
(%)

	調査数	テレビや音楽の鑑賞	（家族や友人などとの外出 （食事、買い物など）	インターネット	各種の趣味活動	スポーツ活動（自分で行う）	各種のゲーム	スポーツ観戦	絵画の創作、楽器演奏 など芸術活動	その他	特にない	無回答
全 体	1,595	63.5	44.6	32.4	15.7	10.5	9.3	9.3	6.3	7.3	6.3	2.8
身 体（計）	839	61.1	44.9	36.5	18.4	10.5	9.4	9.7	5.0	6.3	6.2	3.3
肢 体 不 自 由	364	61.8	46.4	36.0	20.3	9.1	9.9	11.0	6.0	5.5	5.8	3.0
内 部 障 害	279	66.3	43.7	43.0	18.6	11.8	8.2	7.9	3.2	6.8	3.9	2.9
視 覚	71	45.1	42.3	31.0	18.3	15.5	11.3	5.6	5.6	9.9	11.3	2.8
聴 覚	54	55.6	57.4	33.3	11.1	9.3	13.0	16.7	7.4	3.7	5.6	3.7
身体（その他）	71	57.7	35.2	21.1	12.7	8.5	7.0	8.5	4.2	7.0	12.7	7.0
知 的	218	72.5	51.4	16.5	-	9.6	11.0	11.5	10.1	8.7	3.7	3.2
精 神	192	65.6	31.3	38.5	16.1	13.0	11.5	10.9	8.3	10.4	8.3	2.1
難 病	346	62.4	46.8	28.9	19.1	9.8	6.9	6.1	5.8	7.2	7.2	1.7
参考 前回（全体）	1,670	63.6	44.7	27.1	17.9	8.6	8.5	9.0	4.6	6.9	7.5	3.2

(3) 地域の方々の障害・疾病に対する理解

地域の方々の障害・疾病に対する理解は、全体では「よく理解を得られている」が6.0%、「おおむね理解を得られている」が38.2%となっており、両者をあわせた《得られている》は44.2%となっています。一方、《得られていない》（「理解を得られていない」と「あまり理解を得られていない」の計）は48.0%となっており、《得られていない》とする人の方が多くなっています。

障害区分別にみると、「よく理解を得られている」は知的障害で17.4%と他の区分より多くなっています。《得られている》は知的障害が55.5%、肢体不自由が49.2%、身体（その他）が47.9%で《得られていない》より多くなっていますが、それ以外の区分では《得られていない》が多く、特に精神障害、難病患者、視覚障害では5割以上となっています。

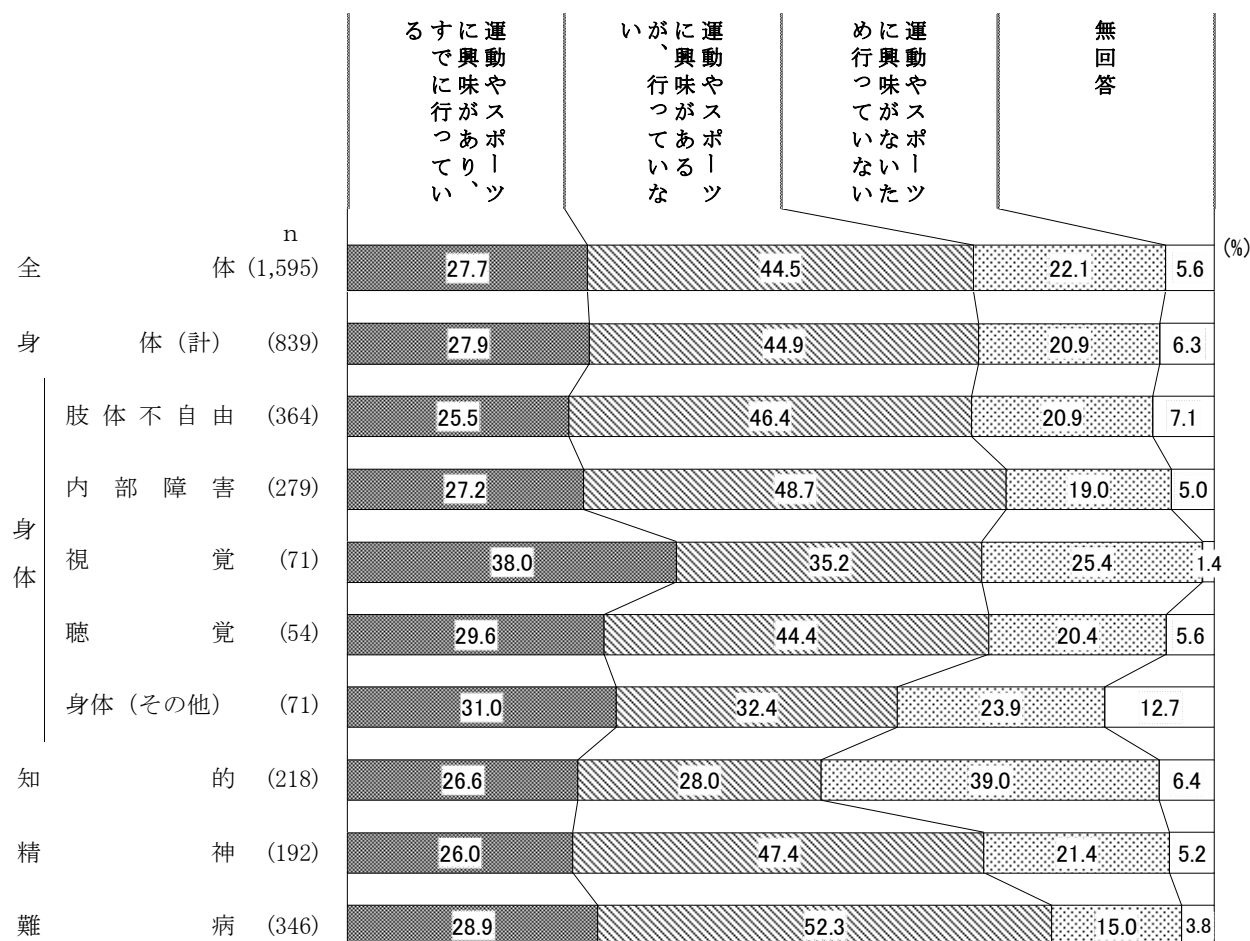


調査区分	調査数	《得られている》 (%)				無回答 (%)	《得られていない》 (%)	
		よく理解を得られている	おおむね理解を得られている	理解を得られていない	あまり理解を得られていない		《得られていない》 (計)	
全体	1,595	6.0	38.2	32.9	15.1	7.8	44.2	48.0
身体 (計)	839	4.8	40.6	33.1	13.0	8.5	45.4	46.1
肢体不自由	364	5.5	43.7	32.4	11.0	7.4	49.2	43.4
内部障害	279	4.3	38.4	36.6	13.3	7.5	42.7	49.9
視覚	71	2.8	36.6	36.6	16.9	7.0	39.4	53.5
聴覚	54	-	38.9	33.3	13.0	14.8	38.9	46.3
身体 (その他)	71	8.5	39.4	19.7	18.3	14.1	47.9	38.0
知的	218	17.4	38.1	24.8	13.8	6.0	55.5	38.6
精神	192	5.2	32.8	30.7	24.5	6.8	38.0	55.2
難病	346	2.0	35.5	38.4	15.9	8.1	37.5	54.3
参考 前回 (全体)	1,670	6.2	37.0	36.2	12.1	8.6	43.2	48.3

(4) 運動やスポーツの活動状況と今後の活動意向

運動やスポーツの活動状況と今後の活動意向は、全体では「運動やスポーツに興味があり、すでに行っている」は27.7%、「運動やスポーツに興味があるが、行っていない」が44.5%と多くなっています。

障害区分別にみると、「運動やスポーツに興味があり、すでに行っている」は視覚障害で38.0%と他の区分より多くなっています。



	調査数	すでに運動に興味があり、行っている (%)	運動やスポーツに興味があるが、行っていない (%)	運動やスポーツに行かない (%)	無回答 (%)
全体	1,595	27.7	44.5	22.1	5.6
身体 (計)	839	27.9	44.9	20.9	6.3
肢体不自由	364	25.5	46.4	20.9	7.1
内部障害	279	27.2	48.7	19.0	5.0
視覚	71	38.0	35.2	25.4	1.4
聴覚	54	29.6	44.4	20.4	5.6
身体 (その他)	71	31.0	32.4	23.9	12.7
知的	218	26.6	28.0	39.0	6.4
精神	192	26.0	47.4	21.4	5.2
難病	346	28.9	52.3	15.0	3.8

(5) 運動やスポーツの際に困ること、行にくいこと

運動やスポーツの際に困ること、行にくいことは、「体調や体力に不安がある」が33.7%で特に多くなっています。

障害区分別にみると、「体調や体力に不安がある」はほとんどの区分で最も多くなっており、難病患者、内部障害、精神障害では4割台となっています。「一緒に運動やスポーツができる友人がいない」は精神障害と知的障害で、「費用が高い」は難病患者で2割台と他の区分より多くなっています。また、「行にくいと感じていない」は聴覚障害と知的障害で2割台と比較的多くなっています。

(%)

	調査数	体調や体力に不安がある	一緒に運動やスポーツができる友人がいない	費用が高い	運動やスポーツに興味がない	運動やスポーツができる場所を知らない	障害が重度である	教えてくれる人がいない	スポーツや運動を介助する人がいない	スポーツ施設の受け入れ体制が不十分である	スポーツ施設への移動を介助する人がいない	スポーツ施設がバリアフリーでない	その他	行にくいと感じていない	無回答
全体	1,595	33.7	14.4	13.5	9.5	8.4	8.4	7.7	5.3	3.7	2.8	2.1	6.0	15.5	16.9
身体(計)	839	32.1	11.3	10.6	8.1	8.1	11.3	6.9	6.1	4.1	2.7	2.5	5.2	16.2	19.3
肢体不自由	364	29.9	8.5	8.8	8.2	9.1	14.8	7.7	9.6	6.0	4.1	4.4	5.8	13.5	19.0
内部障害	279	41.9	14.0	10.8	6.5	7.5	10.0	5.0	1.8	1.4	0.4	1.1	4.3	19.7	16.5
視覚	71	19.7	11.3	11.3	12.7	8.5	7.0	8.5	14.1	8.5	7.0	1.4	7.0	14.1	15.5
聴覚	54	20.4	18.5	14.8	11.1	3.7	3.7	7.4	-	3.7	-	-	7.4	25.9	20.4
身体(その他)	71	25.4	9.9	15.5	7.0	8.5	8.5	8.5	1.4	-	2.8	1.4	2.8	11.3	35.2
知的	218	11.5	21.6	10.6	16.5	8.3	5.0	12.4	11.5	4.6	6.0	0.5	4.6	21.6	18.8
精神	192	41.7	26.0	17.2	10.9	9.4	4.7	10.4	1.0	3.1	2.6	0.5	8.3	10.9	11.5
難病	346	47.1	11.0	20.2	7.8	8.7	5.5	5.2	1.7	2.6	0.9	2.9	7.2	12.4	12.7

5. 障害者の権利

(1) 障害者の権利を守るために充実すべき内容

障害者の権利を守るために充実すべき内容は、全体では「あらゆる障害に対する差別がなくなること」が42.8%で最も多く、以下、「誰にでも平等に機会があること」(30.8%)、「自分のことは自分で決められること」(29.2%)が続いています。

障害区分別にみると、「あらゆる障害に対する差別がなくなること」はほとんどの区分で4割以上で最も多くなっていますが、視覚障害では「自分のことは自分で決められること」、「障害者自身の能力が認められること」が38.0%で最も多くなっています。また、「希望する施設やサービスの利用が可能であること」は知的障害で31.2%と他の区分より多くなっています。

前回調査との比較では、「誰にでも平等に機会があること」は前回調査から18ポイント、「多様な活動に参加し、社会に受け入れられること」は6ポイント増加しています。一方、「障害の違いを互いに認め合えること」は10ポイント減少しています。

(%)

	調査数	あらゆる障害に対する差別がなくなること	誰にでも平等に機会があること	自分のことは自分で決められること	障害者自身の能力が認められること	希望する施設やサービスの利用が可能であること	障害の違いを互いに認め合えること	多様な活動に参加し、社会に受け入れられること	障害者の性別にかかわらず、平等であること	その他	無回答
全体	1,595	42.8	30.8	29.2	26.1	24.7	24.3	22.6	10.6	2.4	9.8
身体(計)	839	42.7	32.2	29.9	27.4	23.5	24.4	20.3	11.7	1.9	9.8
肢体不自由	364	42.6	32.1	26.6	28.8	26.4	26.6	19.2	12.6	1.6	9.1
内部障害	279	42.3	31.5	34.4	25.8	21.9	21.1	18.6	11.5	2.2	9.0
視覚	71	35.2	32.4	38.0	38.0	18.3	25.4	25.4	9.9	4.2	4.2
聴覚	54	59.3	38.9	22.2	24.1	20.4	27.8	27.8	14.8	-	11.1
身体(その他)	71	39.4	29.6	26.8	18.3	22.5	22.5	21.1	7.0	1.4	21.1
知的	218	41.7	20.2	24.3	24.8	31.2	25.2	26.1	6.9	2.8	14.2
精神	192	45.8	33.3	37.5	29.2	21.4	23.4	28.1	13.0	3.6	7.8
難病	346	42.2	32.9	25.7	22.0	25.4	24.0	22.8	9.0	2.9	8.1
参考 前回(全体)	1,670	41.1	12.6	33.4	30.8	26.5	34.7	16.9	10.2	2.5	11.6

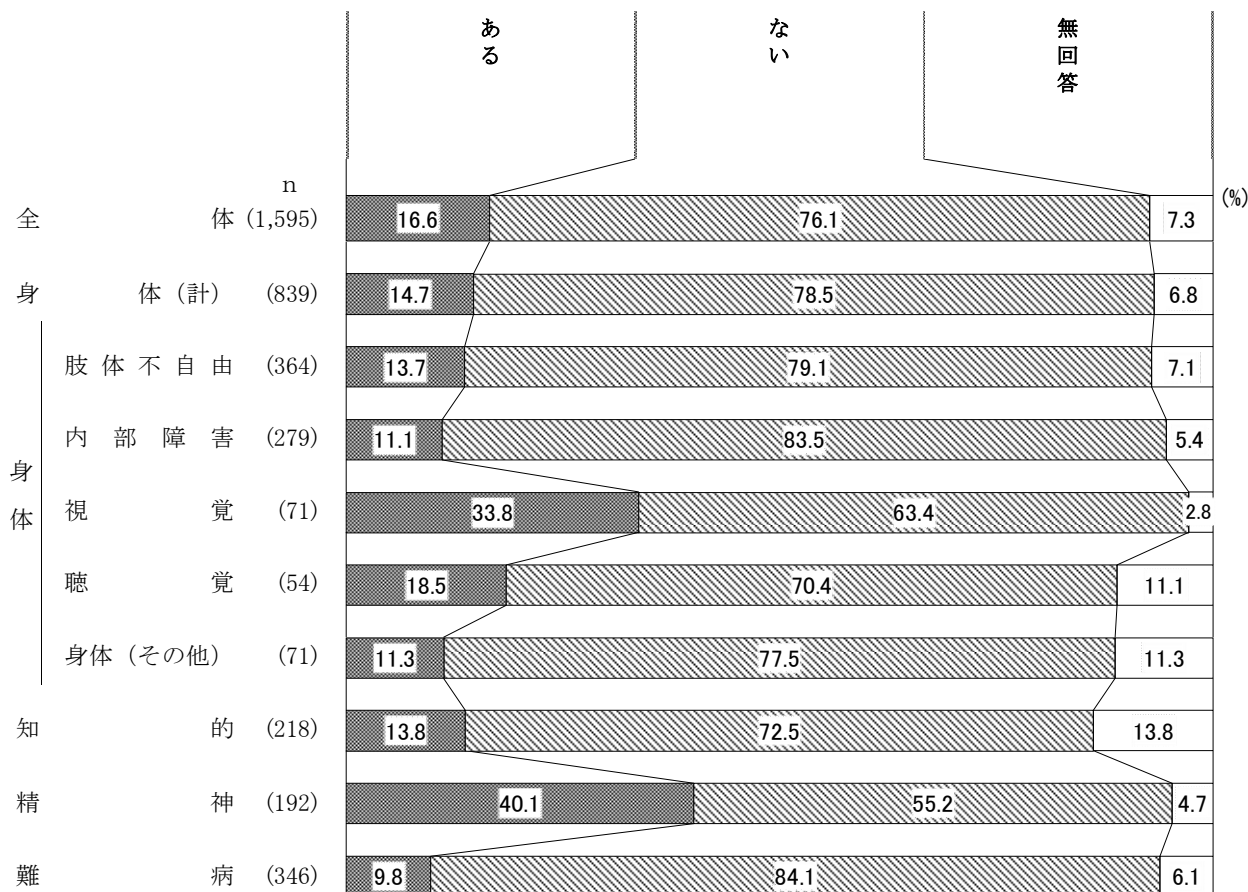
※前回調査とは選択肢の文言がやや異なりますが、意図する内容は同じものです。

(2) 虐待を受けた経験の有無

虐待を受けた経験は、全体では「ある」が16.6%、「ない」が76.1%となっています。

障害区分別にみると、「ある」は多くの区分で1割台となっていますが、精神障害では40.1%、視覚障害では33.8%と他の区分より多くなっています。

前回調査との比較では、「ある」は8ポイント増加、「ない」は10ポイント減少しています。



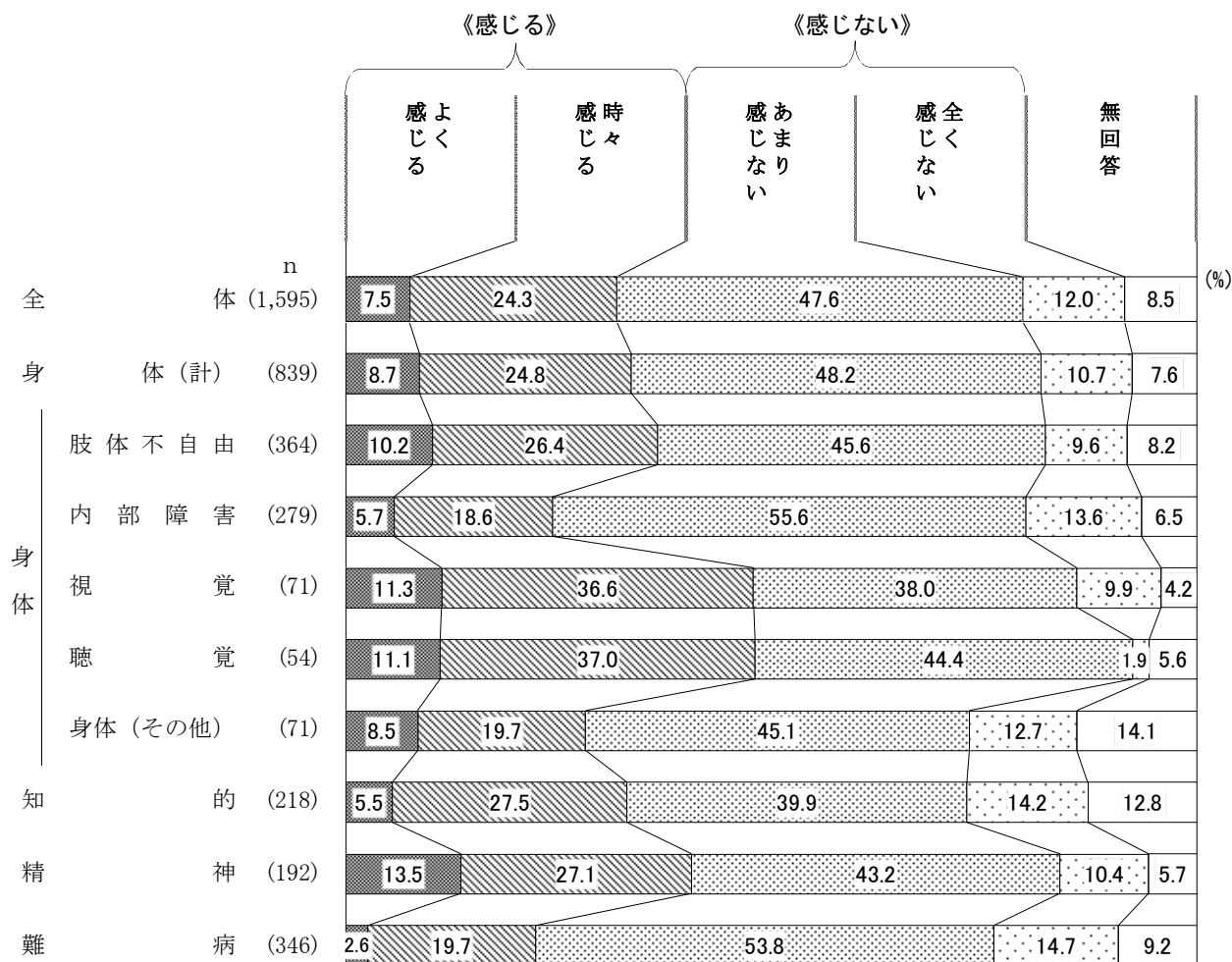
	調査数	ある (%)	ない (%)	無回答 (%)
全体	1,595	16.6	76.1	7.3
身体 (計)	839	14.7	78.5	6.8
肢体不自由	364	13.7	79.1	7.1
内部障害	279	11.1	83.5	5.4
視覚	71	33.8	63.4	2.8
聴覚	54	18.5	70.4	11.1
身体 (その他)	71	11.3	77.5	11.3
知的	218	13.8	72.5	13.8
精神	192	40.1	55.2	4.7
難病	346	9.8	84.1	6.1
参考 前回 (全体)	1,670	8.4	86.0	5.6

(3) 障害者に対する差別

障害者に対する差別は、全体では「よく感じる」は7.5%、「時々感じる」は24.3%となっており、両者をあわせた《感じる》は31.8%となっています。一方、《感じない》（「全く感じない」と「あまり感じない」の計）は59.6%となっています。

障害区分別にみると、「時々感じる」は視覚障害と聴覚障害で3割台と他の区分より多くなっています。視覚障害と聴覚障害では、《感じる》と《感じない》が二分していますが、他の区分はいずれも《感じない》が5割以上となり、特に内部障害と難病患者では7割近くとなっています。

前回調査との比較では、「感じる（計）」はやや減少し、「感じない（計）」がやや増加となっています。

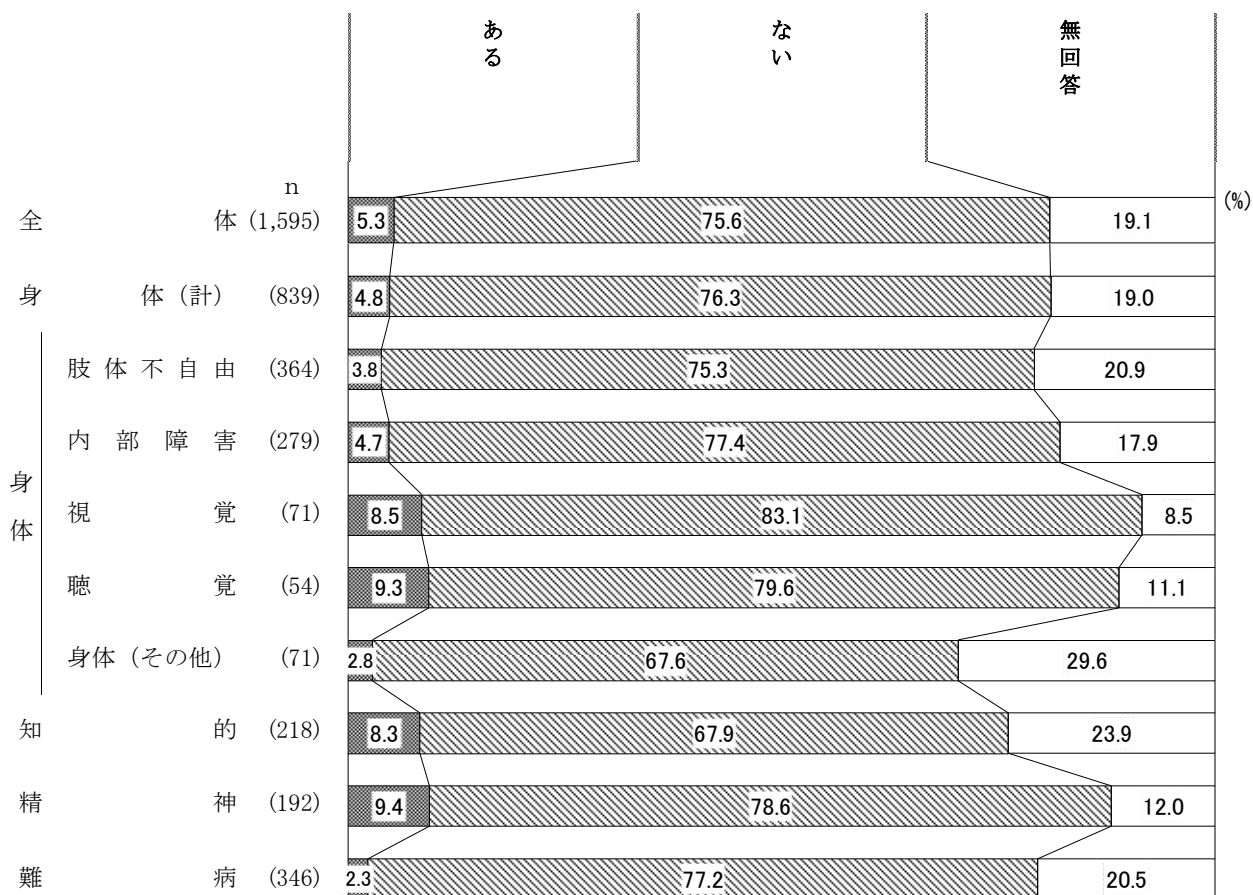


障害区分	調査数	割合 (%)						《感じる》(計)	《感じない》(計)
		よく感じ	時々感じ	あまり感じない	全く感じない	無回答	その他		
全体	1,595	7.5	24.3	47.6	12.0	8.5	31.8	59.6	
身体 (計)	839	8.7	24.8	48.2	10.7	7.6	33.5	58.9	
肢体不自由	364	10.2	26.4	45.6	9.6	8.2	36.6	55.2	
内部障害	279	5.7	18.6	55.6	13.6	6.5	24.3	69.2	
視覚	71	11.3	36.6	38.0	9.9	4.2	47.9	47.9	
聴覚	54	11.1	37.0	44.4	1.9	5.6	48.1	46.3	
身体(その他)	71	8.5	19.7	45.1	12.7	14.1	28.2	57.8	
知的	218	5.5	27.5	39.9	14.2	12.8	33.0	54.1	
精神	192	13.5	27.1	43.2	10.4	5.7	40.6	53.6	
難病	346	2.6	19.7	53.8	14.7	9.2	22.3	68.5	
参考 前回 (全体)	1,670	7.8	27.3	42.8	12.6	9.5	35.1	55.4	

(4) 差別を感じたときの相談経験の有無

差別を感じたときの相談経験の有無は、全体では「ある」は5.3%、「ない」は75.6%となっています。

障害区分別にみると、「ある」はいずれの区分でも1割未満となっています。



	調査数	ある (%)	ない (%)	無回答 (%)
全体	1,595	5.3	75.6	19.1
身体 (計)	839	4.8	76.3	19.0
肢体不自由	364	3.8	75.3	20.9
内部障害	279	4.7	77.4	17.9
視覚	71	8.5	83.1	8.5
聴覚	54	9.3	79.6	11.1
身体 (その他)	71	2.8	67.6	29.6
知的	218	8.3	67.9	23.9
精神	192	9.4	78.6	12.0
難病	346	2.3	77.2	20.5

6. 豊島区等への要望

(1) 行政に対する要望

行政に対する要望については、全体では「給付金や手当の充実」が42.8%で最も多く、以下、「医療費の軽減等医療制度の充実」が35.4%、「道路や交通機関、公共施設の整備（バリアフリー化）」（28.3%）、「障害者への理解を深めるための啓発・広報活動」（25.0%）、「制度やサービスについての情報提供」（23.6%）が2割台となっています。

障害区分別にみると、知的障害では「病気の人や障害者、高齢者に配慮した防犯・防災対策の推進」（33.9%）、「グループホーム等の整備」（33.5%）、精神障害では「就労の支援や職業訓練の充実」（32.3%）が3割台で上位にあげられています。

(%)

障害区分	順位	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 n=1,595		給付金や手当の充実 42.8	医療費の軽減等医療制度の充実 35.4	道路や交通機関、公共施設の整備（バリアフリー化） 28.3	障害者への理解を深めるための啓発・広報活動 25.0	制度やサービスについての情報提供 23.6
身体（計） n=839		給付金や手当の充実 43.4	医療費の軽減等医療制度の充実 35.4	道路や交通機関、公共施設の整備（バリアフリー化） 32.8	制度やサービスについての情報提供 23.8	病気の人や障害者、高齢者に配慮した防犯・防災対策の推進 22.3
肢体不自由 n=364		道路や交通機関、公共施設の整備（バリアフリー化） 40.1	給付金や手当の充実 39.8	医療費の軽減等医療制度の充実 34.6	病気の人や障害者、高齢者に配慮した防犯・防災対策の推進／制度やサービスについての情報提供 23.6	23.6
内部障害 n=279		給付金や手当の充実 49.5	医療費の軽減等医療制度の充実 37.6	道路や交通機関、公共施設の整備（バリアフリー化） 28.0	公的な住宅の整備 27.6	制度やサービスについての情報提供 26.5
視覚 n=71		給付金や手当の充実 35.2	道路や交通機関、公共施設の整備（バリアフリー化） 33.8	医療費の軽減等医療制度の充実 25.4	就労の支援や職業訓練の充実 23.9	障害者への理解を深めるための啓発・広報活動／ホームヘルプ等在宅サービスの充実 22.5
聴覚 n=54		給付金や手当の充実 55.6	医療費の軽減等医療制度の充実 48.1	障害者への理解を深めるための啓発・広報活動 37.0	病気の人や障害者、高齢者に配慮した防犯・防災対策の推進 35.2	道路や交通機関、公共施設の整備（バリアフリー化） 24.1
身体（その他） n=71		給付金や手当の充実 36.6	医療費の軽減等医療制度の充実 31.0	制度やサービスについての情報提供 23.9	道路や交通機関、公共施設の整備（バリアフリー化） 19.7	ボランティアの育成・支援／病気の人や障害者、高齢者に配慮した防犯・防災対策 18.3
知的 n=218		病気の人や障害者、高齢者に配慮した防犯・防災対策の推進 33.9	グループホーム等の整備 33.5	障害者への理解を深めるための啓発・広報活動 28.9	給付金や手当の充実 26.6	道路や交通機関、公共施設の整備（バリアフリー化） 20.2
精神 n=192		障害者への理解を深めるための啓発・広報活動 36.5	給付金や手当の充実 34.4	就労の支援や職業訓練の充実 32.3	医療費の軽減等医療制度の充実 24.0	制度やサービスについての情報提供 23.4
難病 n=346		給付金や手当の充実 56.1	医療費の軽減等医療制度の充実 53.8	道路や交通機関、公共施設の整備（バリアフリー化） 32.7	制度やサービスについての情報提供 27.7	障害者への理解を深めるための啓発・広報活動 24.9
参前回（全体） n=1,670		給付金や手当の充実 47.2	医療費の軽減等医療制度の充実 33.8	道路や交通機関、公共施設の整備（バリアフリー化） 27.5	障害者への理解を深めるための啓発・広報活動 26.3	制度やサービスについての情報提供 20.4

※全体で第1位になっている「給付金や手当の充実」を網かけで示しました。

第 3 章 身体障害者調査

1. 身体障害者調査の結果のまとめ

(1) 福祉に関する相談や情報 (42ページ~44ページ)

- ・健康・福祉に関する情報の入手手段は、「広報紙（東京都・豊島区）」、「区役所窓口（障害福祉課、東部・西部障害支援センター、保健所、健康相談所を含む）」、「病院・診療所」、「障害者福祉のしおり」などが多くなっています。
- ・よく利用する相談窓口は、「区の障害福祉課」が最も多く、以下、「東部・西部障害支援センター」、「病院・診療所」などとなっています。また、「特になし」が33%となっています。
- ・相談対応の満足度は、「とても満足している」と「おおむね満足している」をあわせた《満足》が61%となっています。
- ・相談窓口に不満を感じる理由は、「十分な助言が得られない」が最も多く、以下、「曜日・時間が限られている」、「窓口がわかりにくい」などとなっています。

(2) サービスの利用状況や今後の利用意向 (45ページ~49ページ)

- ・サービスの利用状況について「今後利用したい」は、“日常生活用具の給付”、“ホームヘルプサービス（介護保険サービスを含まない）”、“補装具等の給付”、“地域活動支援センター（心身障害者福祉センター等）”などが比較的多くなっています。
- ・サービスについての考えは、「満足している」が14%で最も多くなっています。
- ・視覚障害者向けサービス「点字広報・声の広報」の今後の利用は、「今後利用を増やしたい」が8%、「今後利用したい」が26%などとなっています。
- ・視覚障害の方の点字の利用状況は、点字が「読めない」が62%、「読める」が23%となっています。
- ・点字を読めないで不利に思うことは、「点字が読めない人のためのサービスが少ない」が12%などとなっています。また、「特に不利に思うことはない」が68%となっています。
- ・聴覚障害者向けサービス「手話通訳者派遣」の利用状況は、「今後利用したい」と「今後利用を増やしたい」がともに9%となっています。「要約筆記者派遣」は、「今後利用したい」、「利用したいと思わない」がともに15%となっています。
- ・手話通訳者派遣を現在利用していない方の理由は、「筆談、口話で対応できる」が49%で最も多くなっています。
- ・聴覚障害の方の手話の利用状況は、手話が「できない」が42%、「できる」が38%などとなっています。

(3) 介助 (50ページ)

- ・介助の必要性は、「外出時に必要である」が12%、「家の中で必要である」が10%となっています。「必要でない」は63%となっています。
- ・主な介助者は、「父・母」、「配偶者（夫または妻）」が多くなっています。

(4) 外出の状況 (51ページ~57ページ)

- ・外出の頻度は、「ほぼ毎日」が58%で最も多くなっています。
- ・外出しない理由は、「障害が重い」が最も多くなっています。
- ・よく利用する交通手段は、「電車・地下鉄」が最も多く、以下、「徒歩（歩行器・杖を含

第3章 身体障害者調査

む)」、「バス」などとなっています。

- ・外出時にけがをした経験は、「ある」が19%となっています。
- ・外出時にけがをした理由は、「歩道などの段差」が最も多く、以下、「歩道ですべて」、「歩道上の障害物によって（放置自転車、はみ出し商品など）」、「自転車に接触して」などとなっています。
- ・外出時のけがの種類は、「打ぼく、うちみ」、「きり傷、さし傷、すり傷」の2項目が多くなっています。
- ・外出時に危険を感じたことは、「自転車の通行」が最も多く、以下、「歩道の段差」、「自動車・バイクの通行」、「通行人」などとなっています。
- ・自宅内でけがをした経験は、「ある」が15%となっています。
- ・自宅内でけがをした場所は、「居間」、「台所」の2項目が多く、以下、「階段」、「寝室」などとなっています。
- ・自宅内のけがの種類は、「打ぼく、うちみ」、「きり傷、さし傷、すり傷」の2項目が多くなっています。
- ・まちのバリアフリーについての満足度は、「とても満足している」と「おおむね満足している」をあわせた《満足》が41%、「とても不満である」と「やや不満である」をあわせた《不満》が48%となっています。
- ・急いでバリアフリーを進めてほしい施設は、「歩道」、「電車・バス等の公共交通機関」の2項目が多くなっています。

(5) 住居の状況 (58ページ)

- ・住居形態は、「持ち家（一戸建）」が37%、「民間借家（アパート・マンション等）」が32%、「持ち家（分譲マンション等）」が19%などとなっています。
- ・住まいについて困っていることは、「家賃の負担が大きい」が最も多く、以下、「防犯や防火について不安」、「トイレ、お風呂が使いにくい」などとなっています。また、「特にない」が38%となっています。

(6) 就労状況 (59ページ～63ページ)

- ・現在の就労状況と今後の就労意向は、「今、仕事・作業等をしており、今後も続けたい」が44%、「今、仕事・作業等をしていないが、今後仕事をしたい」が15%などとなっています。
- ・仕事・作業等をしている方の現在の就労の形態は、「会社員・公務員・団体職員等の常勤」が最も多く、以下、「パート・アルバイト」、「自営業」などとなっています。
- ・仕事・作業等をしている方の現在の月収は、「20万円以上」が42%で最も多くなっています。
- ・仕事・作業等をしている方の現在の仕事・作業等を見つけた方法は、「直接自分で」が最も多く、以下、「家族、知人の紹介」、「公共職業安定所（ハローワーク）」などとなっています。
- ・今、仕事・作業等をしている方の現在の仕事・作業等に対する悩みや不満は、「賃金・待遇等に不満がある」が最も多くなっています。また、「特に悩みや不満はない」が47%となっています。
- ・今、仕事・作業等をしていない主な理由は、「病気のため」が最も多く、以下、「重度の障害のため」、「高齢のため」、「障害の程度にあった仕事がないため」などとなっています。

- ・今、仕事・作業等をしていないが、今後仕事をしたい方の今後希望する就労の形態は、「パート・アルバイト」が最も多くなっています。

(7) 社会参加等 (64ページ~69ページ)

- ・最近1年間に行った活動は、「買い物」、「外食」、「散歩」、「友人とのつきあい」などが多くなっています。
- ・活動しにくい理由は、「健康状態が良くない」が最も多くなっています。また、「活動しにくいと感じない」が30%となっています。
- ・近所つき合いは、「あいさつ程度はしている」が57%となっています。
- ・現在楽しんでいる余暇活動は、「テレビや音楽の鑑賞」が最も多く、以下、「家族や友人などとの外出（食事、買い物など）」、「インターネット」などとなっています。
- ・地域の方々の障害・疾病に対する理解は、「よく理解を得られている」と「おおむね理解を得られている」をあわせた《得られている》が45%、「理解を得られていない」と「あまり理解を得られていない」をあわせた《得られていない》が46%となっています。
- ・運動やスポーツへの活動意向と現況は、「運動やスポーツに興味があり、すでに行っている」が28%となっています。
- ・運動やスポーツを行っている方の実施頻度は、「週に1~2日」、「週に3日以上」が多くなっています。
- ・運動やスポーツを行っていくと感じることは、「体調や体力に不安がある」が最も多くなっています。また、「行っていくと感じていない」が16%となっています。

(8) 障害者の権利 (70ページ~75ページ)

- ・障害者の権利を守るために充実すべき内容は、「あらゆる障害に対する差別がなくなること」が最も多く、以下、「誰にでも平等に機会があること」、「自分のことは自分で決められること」、「障害者自身の能力が認められること」などとなっています。
- ・成年後見制度の利用意向は、「今後利用したい」が10%となっています。
- ・虐待を受けた経験は、「ある」が15%となっています。
- ・虐待を受けたことがある方の虐待の内容は、「心理的虐待（怒鳴る、悪口を言う、仲間に入れない、わざと無視する）」が最も多くなっています。
- ・虐待を受けたことがある方の虐待を受けた相手は、「養護者（家族、親族、同居人など）」、「使用者（働いている場所の事業主など）」の2項目が多くなっています。
- ・虐待を受けたことがある方の虐待について相談をした相手は、「家族」、「友人」、「病院診療所」が多くなっています。また、「相談していない」が49%となっています。
- ・障害者に対する差別については、「よく感じる」と「時々感じる」をあわせた《感じる》は34%、「全く感じない」と「あまり感じない」をあわせた《感じない》は59%となっています。
- ・障害者に対する差別を感じると回答した人がどのようなときに差別を感じるかでは、「公共施設や交通機関を利用するとき」が最も多く、以下、「働きたいとき、働いているとき」、「情報を得たいとき、コミュニケーションをとりたいとき」などとなっています。
- ・差別の相談経験は、「ある」が5%となっています。
- ・差別の相談経験をしたことがある方の相談先は、「区の障害福祉課」、「障害福祉課以外の区

第3章 身体障害者調査

の窓口」などが多くなっています。

- ・選挙投票への参加状況は、「毎回行く」と「時々行く」をあわせた《行く》は77%となっています。
- ・選挙に行かない方の理由は、「選挙に関心がない」が最も多くなっています。

(9) 豊島区等への要望 (76ページ)

- ・行政に対する要望は、「給付金や手当の充実」が最も多く、以下、「医療費の軽減等医療制度の充実」、「道路や交通機関、公共施設の整備（バリアフリー化）」などとなっています。

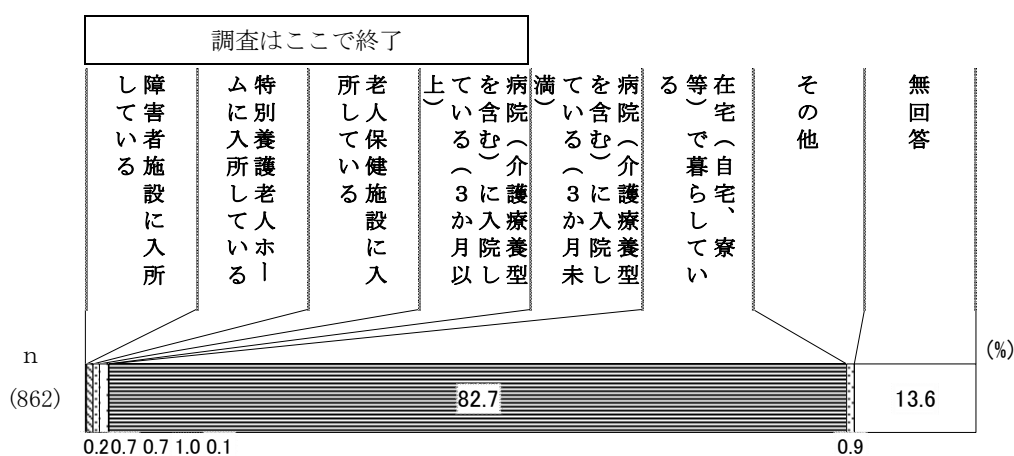
2. 回答者の属性

(1) 生活の本拠

あなたがいま、生活しているところは、どちらですか。(〇は1つ)

※上記の設問で「障害者施設に入所している」、「特別養護老人ホームに入所している」、「老人保健施設に入所している」、「病院（介護療養型を含む）に入院している（3か月以上）」のいずれかに回答された方：調査票はそのままご返送ください。ここで終了です。

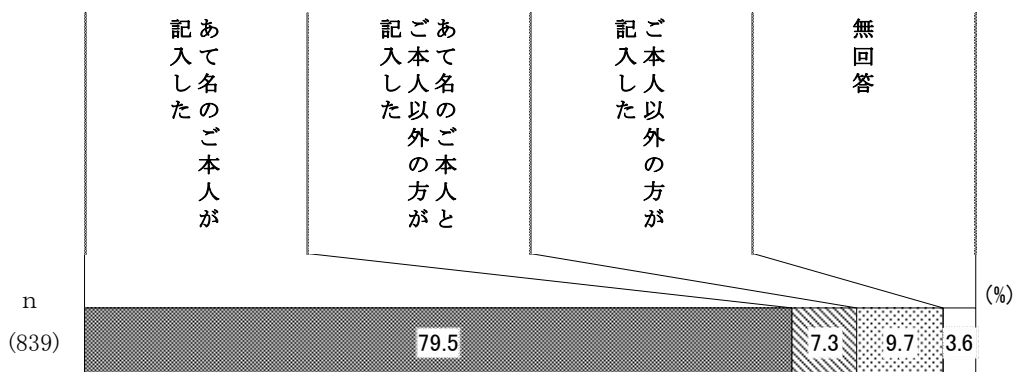
生活の本拠は、「在宅（自宅、寮等）で暮らしている」が82.7%と多くなっています。



(2) 調査票記入者

問44 ご記入者は、調査票のあて名になっていた方からみて、どなたにあたりますか。(〇は1つ)

調査票記入者は、「あて名のご本人が記入した」が79.5%となっています。

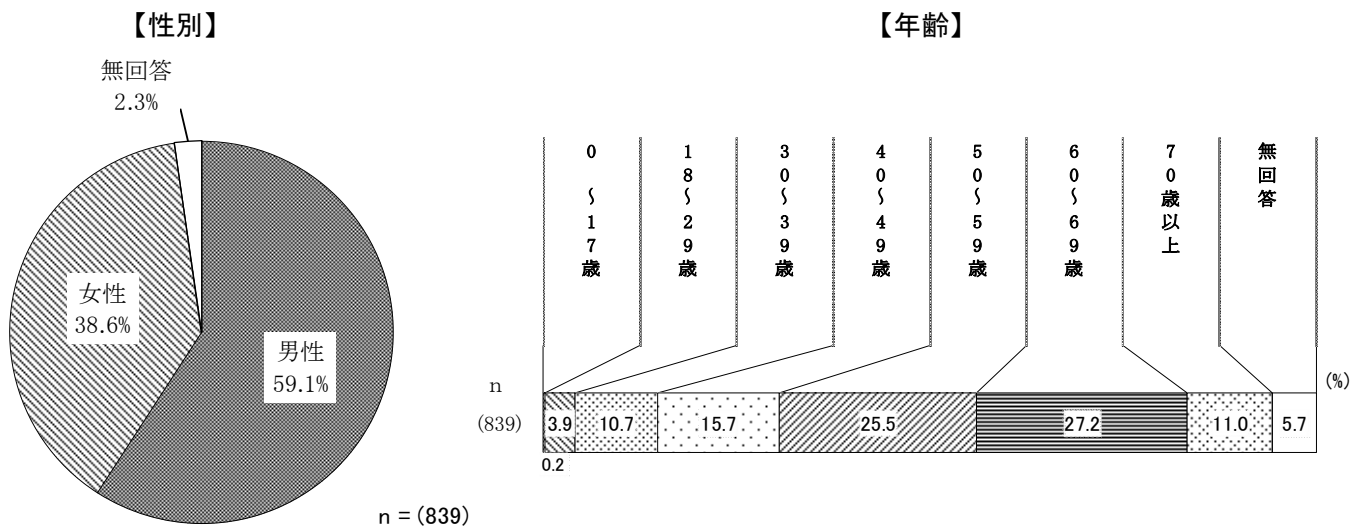


(3) 性別・年齢

問1 あなたの性別と年齢（本日の満年齢）を教えてください。

性別は、「男性」が59.1%、「女性」が38.6%となっています。

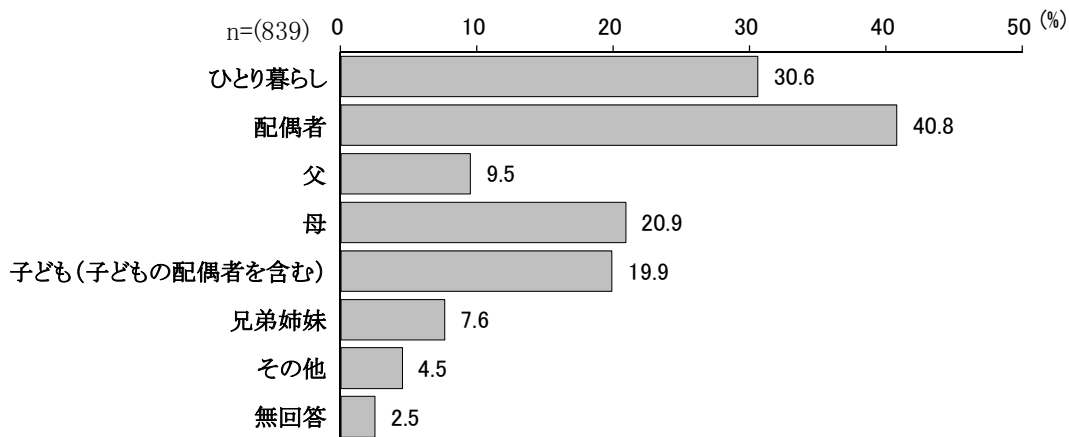
年齢は、「60～69歳」（27.2%）、「50～59歳」（25.5%）が2割台、「40～49歳」が15.7%となっています。



(4) 同居家族

問2 あなたと一緒に住んでいるご家族に○をつけてください。（あてはまるものすべてに○）

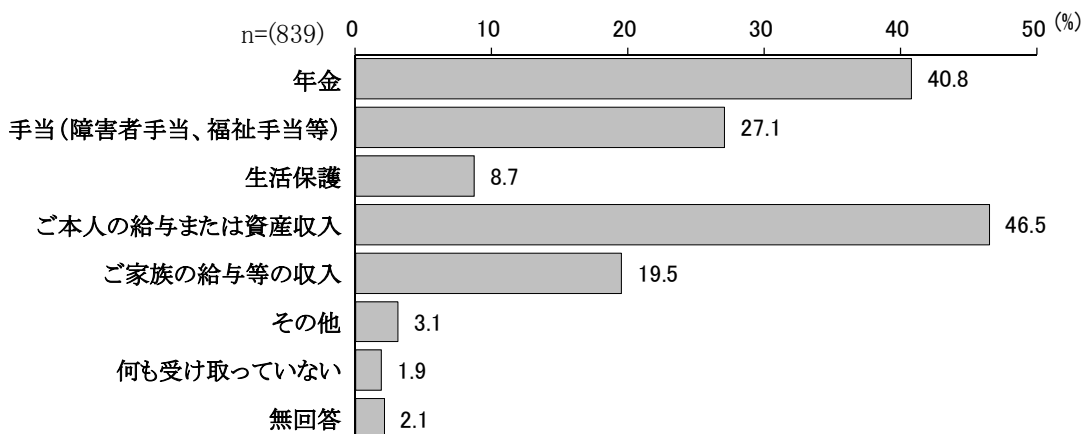
同居家族は、「配偶者」が40.8%で最も多く、以下、「ひとり暮らし」が30.6%、「母」（20.9%）、「子ども（子どもの配偶者を含む）」（19.9%）が2割前後で続いています。



(5) 主な収入

問3 あなたの主な収入は何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

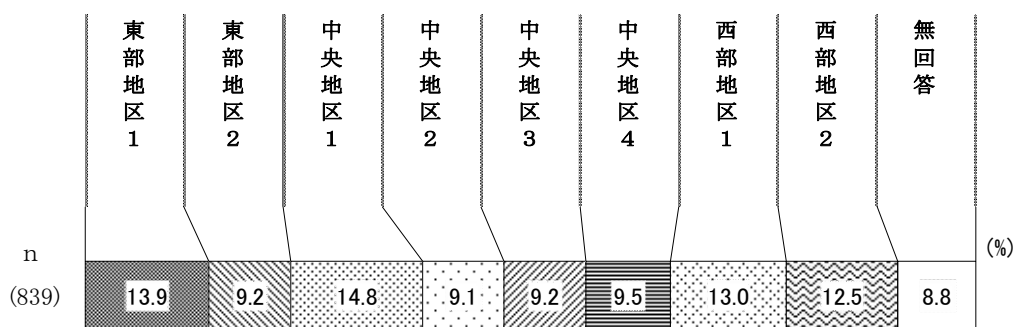
主な収入は、「ご本人の給与または資産収入」が46.5%で最も多く、以下、「年金」が40.8%、「手当(障害者手当、福祉手当等)」が27.1%、「ご家族の給与等の収入」が19.5%が続いています。



(6) 居住地区

問4 あなたのお住まいの地区はどこですか。

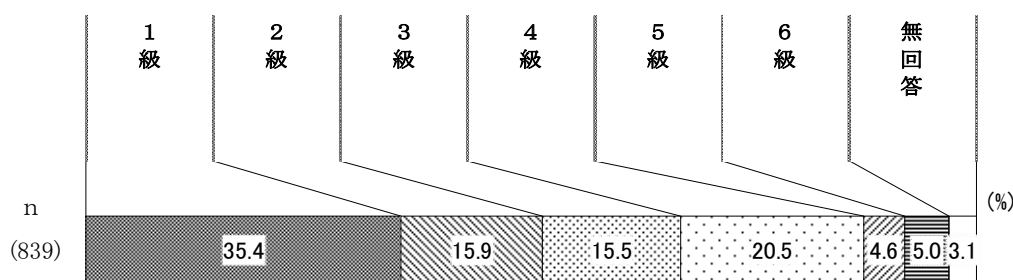
居住地区は、「中央地区1」(14.8%)、「東部地区1」(13.9%)、「西部地区2」(12.5%)が1割台となっています。(居住地区の内訳は5ページを参照)



(7) 身体障害者手帳の等級

問5 身体障害者手帳の等級は何級ですか。(○は1つ)

身体障害者手帳の等級は、「1級」が35.4%、「4級」が20.5%、「2級」が15.9%、「3級」が15.5%となっています。



(8) 障害の種類

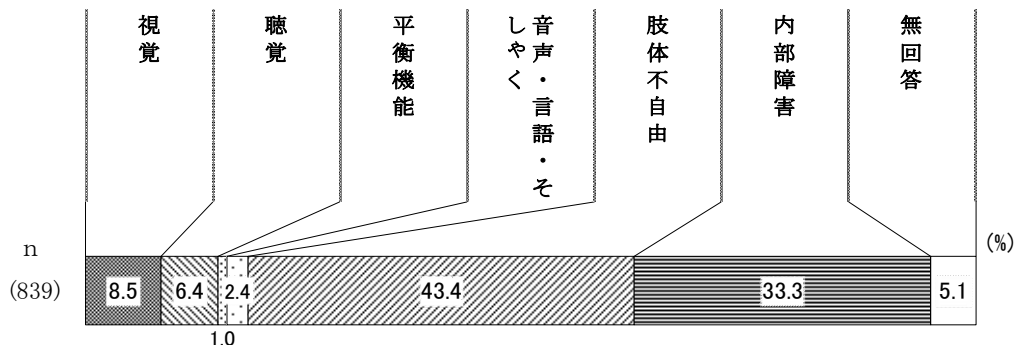
問6 あなたの障害の種類は、次のどれですか。

重複障害の方は、【A】で主な障害1つを、【B】であてはまる障害すべてに○をつけてください。

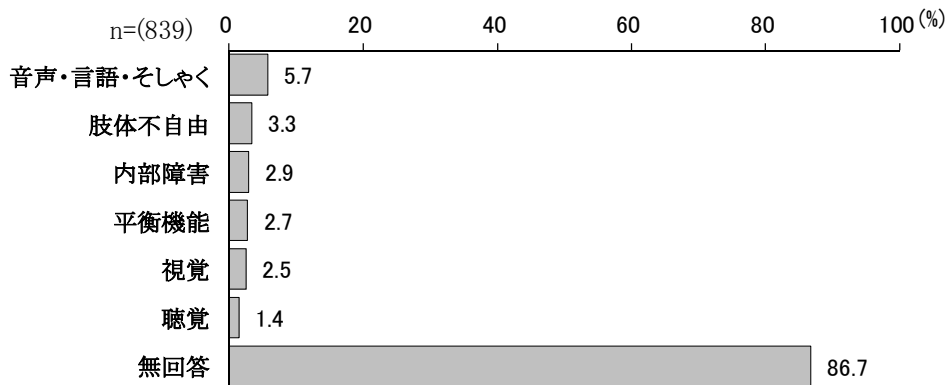
主な障害は「肢体不自由」が43.4%、「内部障害」が33.3%となっています。

重複障害はいずれも1割未満となっていますが、この設問では無回答が多くなっています。

【A】<主な障害> (○は1つ)



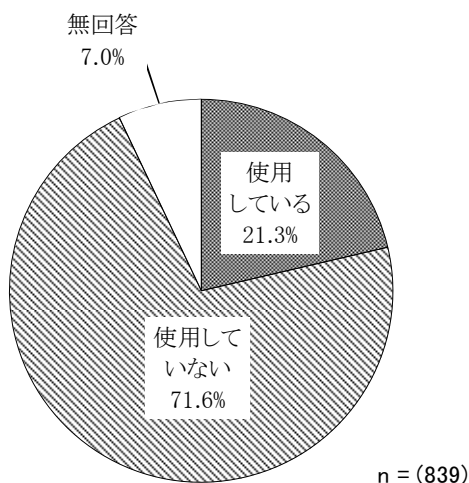
【B】<重複障害> (上記【A】以外のあてはまるものすべてに○)



(9) 医療機器の使用の有無

問7 あなたは、医療機器を使用していますか。(○は1つ)

医療機器の使用の有無は、「使用している」が21.3%、「使用していない」が71.6%となっています。

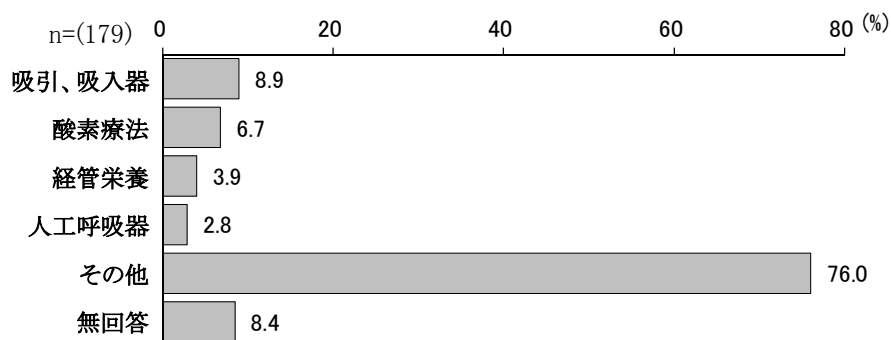


(10) 使用している医療機器

【問7で、「使用している」に回答した方のみにおうかがいします。】

問7-1 使用している医療機器は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

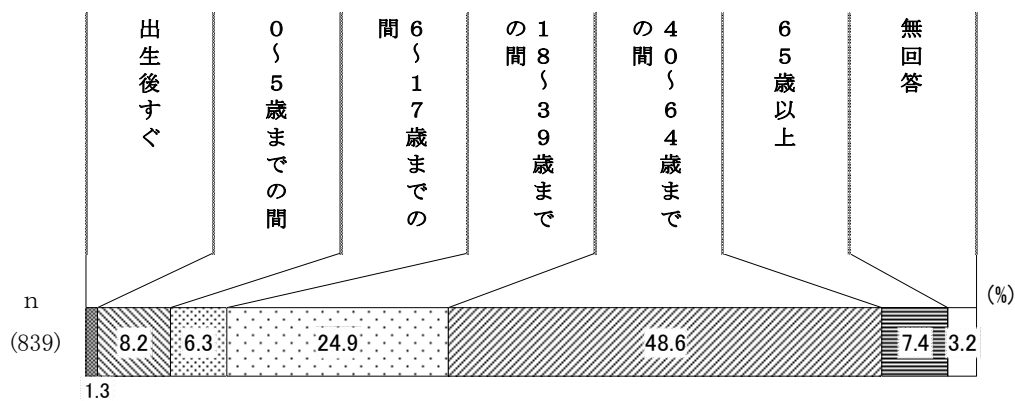
使用している医療機器は、いずれの機器も1割未満となっています。



(11) 手帳の取得時期

問8 初めて手帳をとったのは何歳のときですか。(○は1つ)

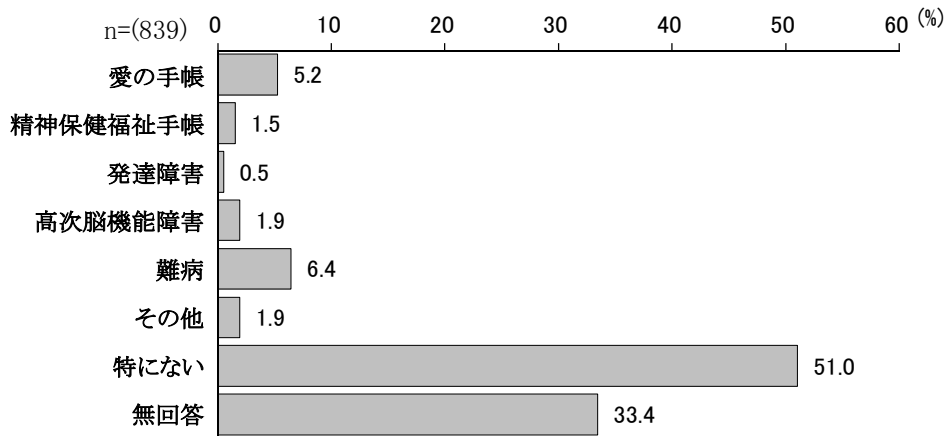
手帳の取得時期は、「40～64歳までの間」が48.6%、「18～39歳までの間」が24.9%となっています。



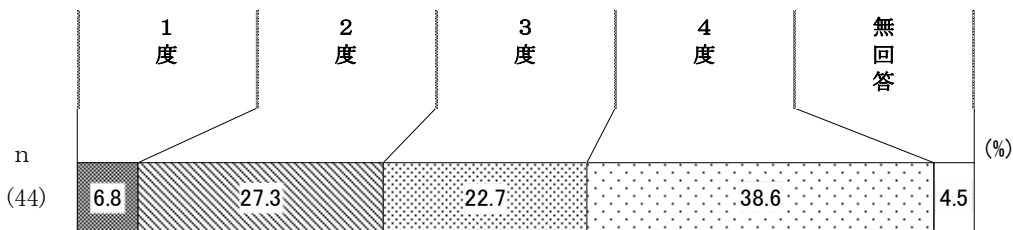
(12) 他に取得している手帳等

問9 他にお持ちの手帳、障害等があれば教えてください。(あてはまるものすべてに○)

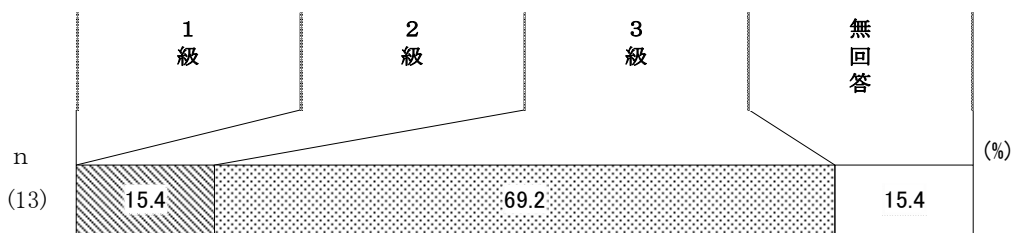
他に取得している手帳等は、いずれも1割未満となっており、「特にない」が51.0%となっています。愛の手帳の等級は「4度」が38.6%、「2度」(27.3%)、「3度」(22.7%)が2割台となっています。



愛の手帳の等級



精神保健福祉手帳の等級

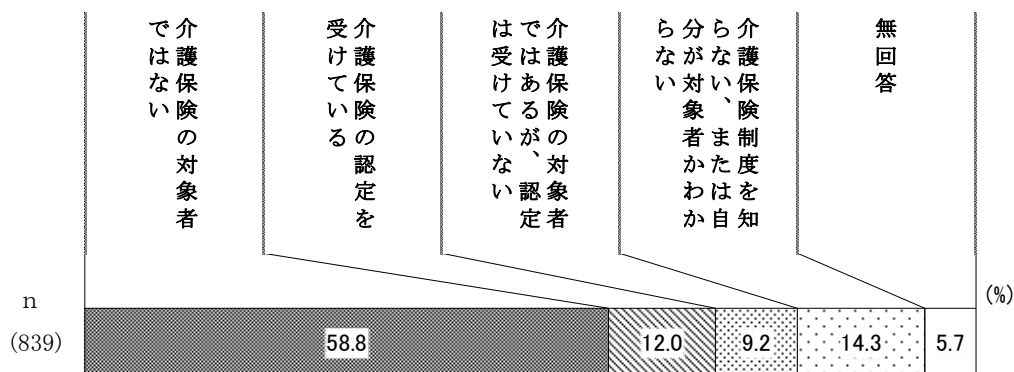


※回答者が少ないため、図は参考程度となります。

(13) 介護保険の認定の状況

問10 あなたは、介護保険の認定を受けていますか。(○は1つ)

介護保険の認定の状況は、「介護保険の認定を受けている」が12.0%、「介護保険の対象者ではあるが、認定は受けていない」が9.2%となっています。また、「介護保険の対象者ではない」は58.8%となっています。



3. 福祉に関する相談や情報

(1) 健康・福祉に関する情報の入手手段

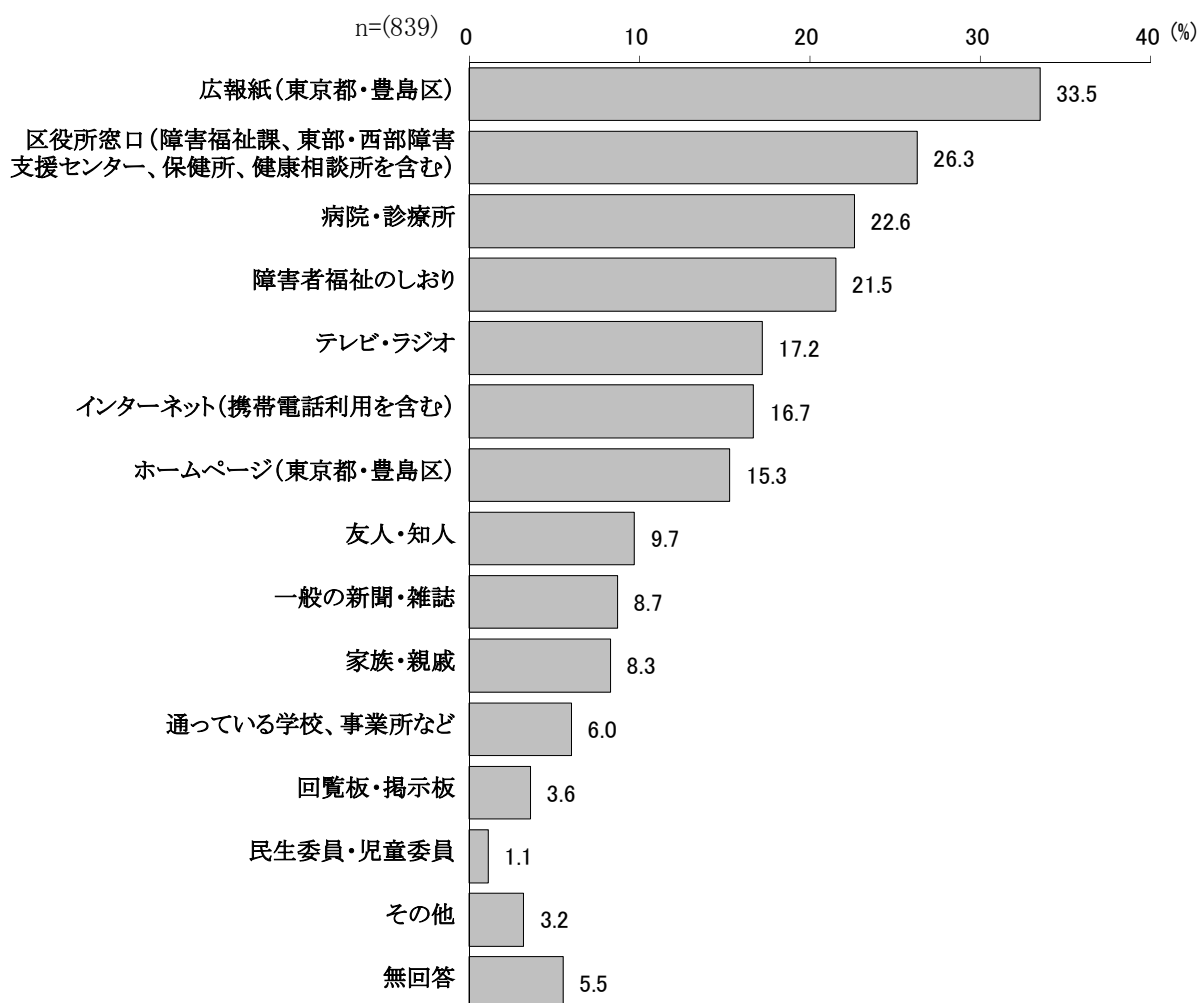
「広報紙（東京都・豊島区）」が33.5%

問11 健康や福祉に関する情報を主にどのようなところから得ていますか。

(あてはまるもの3つまで○)

健康・福祉に関する情報の入手手段は、「広報紙（東京都・豊島区）」が33.5%で最も多く、以下、「区役所窓口（障害福祉課、東部・西部障害支援センター、保健所、健康相談所を含む）」(26.3%)、「病院・診療所」(22.6%)、「障害者福祉のしおり」(21.5%)が2割台で続いています。

(障害の種類別の調査結果は9ページ1-(1)を参照)

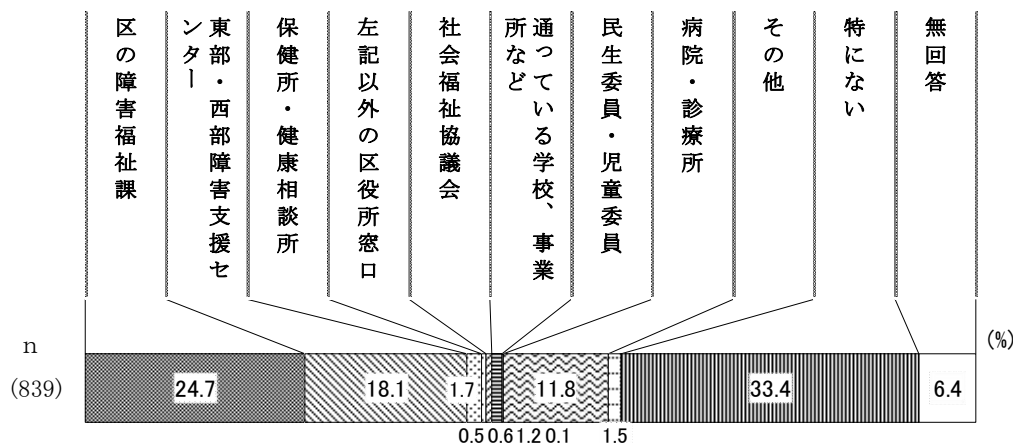


(2) よく利用する相談窓口

「区の障害福祉課」が24.7%

問12 よく利用する相談窓口はどこですか。(○は1つ)

よく利用する相談窓口は、「区の障害福祉課」が24.7%で最も多く、以下、「東部・西部障害支援センター」(18.1%)、「病院・診療所」(11.8%)が1割台となっています。また、「特にない」が33.4%となっています。(障害の種類別の調査結果は10ページ1-(2)を参照)



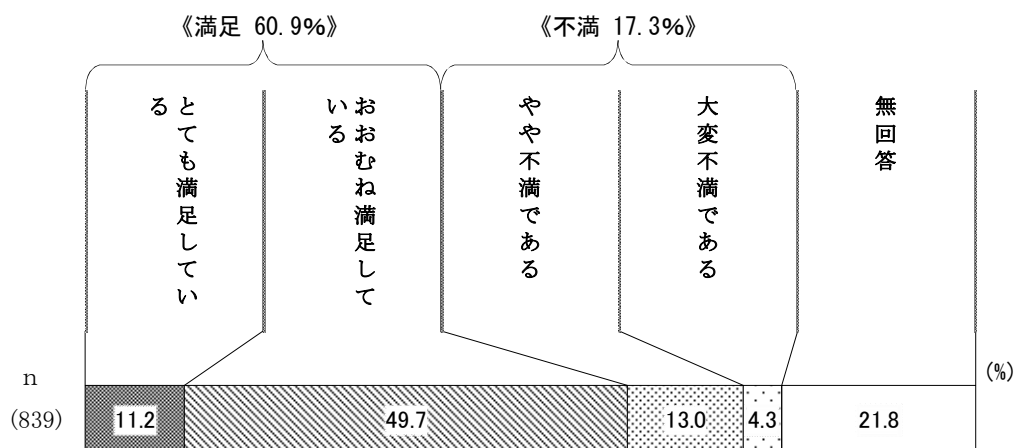
(3) 相談対応の満足度

《満足》が60.9%、《不満》が17.3%

問13 相談について満足していますか。(○は1つ)

相談対応の満足度は、「とても満足している」は11.2%、「おおむね満足している」は49.7%で、両者をあわせた《満足》は60.9%となっています。一方、「大変不満である」(4.3%)と「やや不満である」(13.0%)をあわせた《不満》は17.3%となっています。

(障害の種類別の調査結果は11ページ1-(3)を参照)



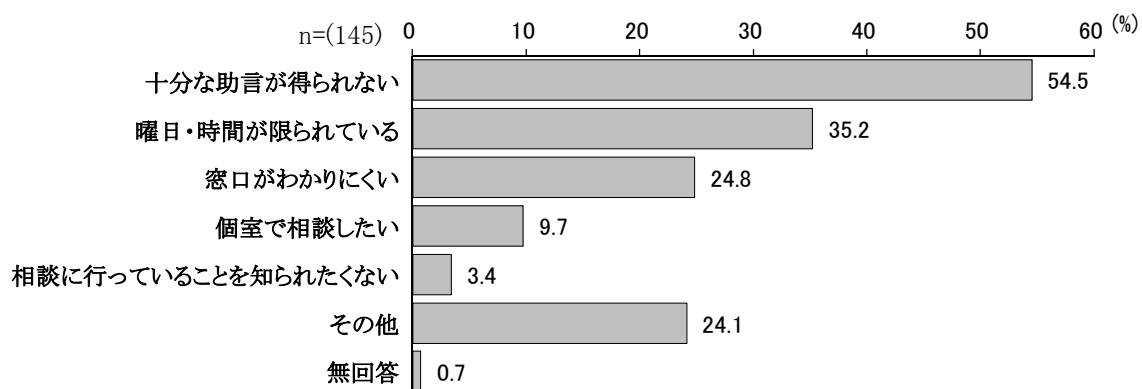
(4) 不満を感じる理由

「十分な助言が得られない」が54.5%

【問13で、「やや不満である」「大変不満である」に回答した方のみにおうかがいします。】

問13-1 不満な理由は何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

相談対応に不満を感じる理由は、「十分な助言が得られない」が54.5%で最も多く、以下、「曜日・時間が限られている」が35.2%、「窓口がわかりにくい」が24.8%と続いています。



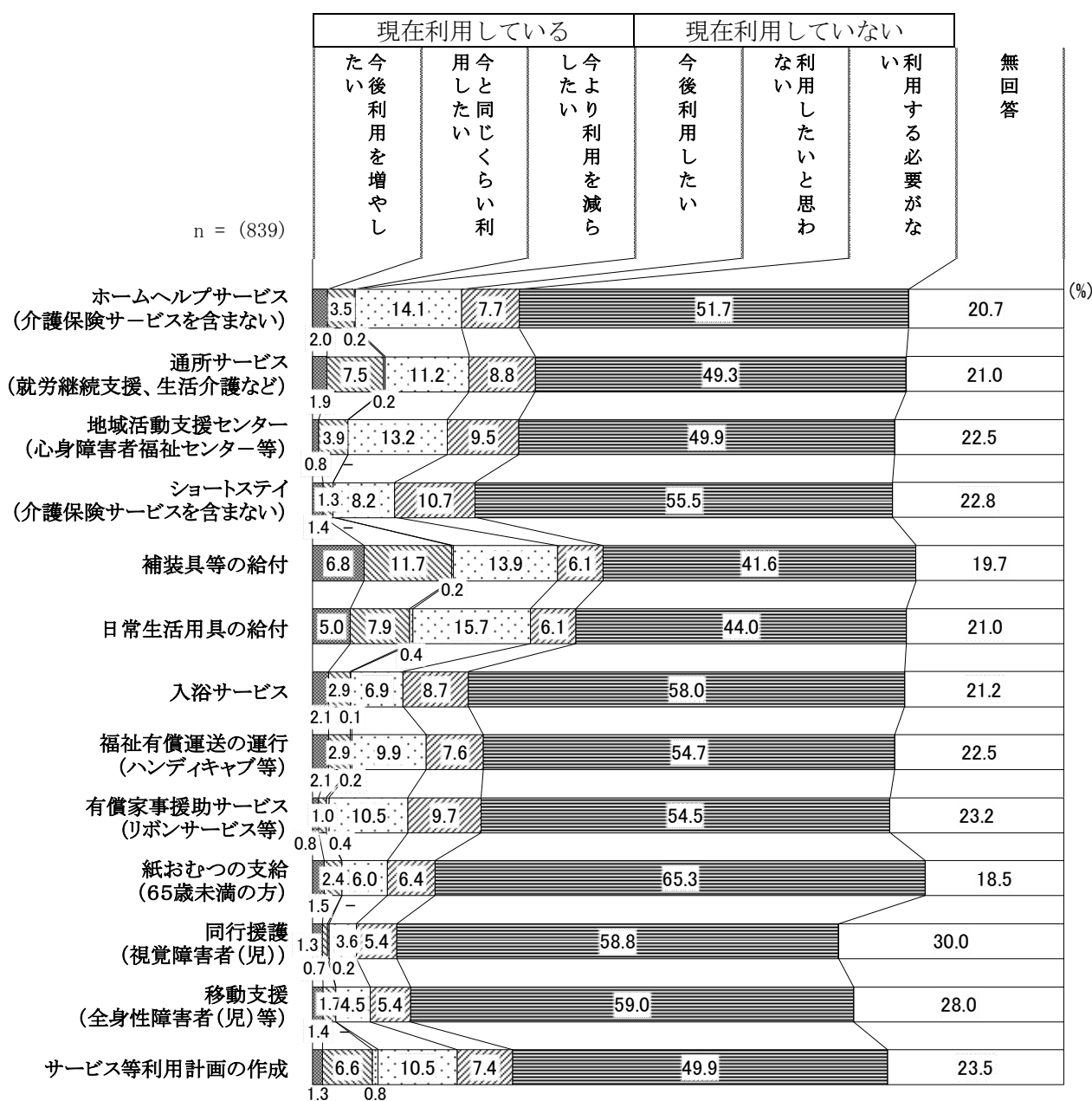
4. サービスの利用や今後の利用

(1) サービスの利用状況

「今後利用したい」は、「日常生活用具の給付」が15.7%

問14 あなたは次のサービスを利用したことがありますか。(各項目について○は1つ)

「今後利用を増やしたい」は、いずれも1割未満となっていますが、「補装具等の給付」が6.8%、「日常生活用具の給付」が5.0%となっています。「今後利用したい」は、「日常生活用具の給付」が15.7%、「ホームヘルプサービス（介護保険サービス含まない）」が14.1%、「補装具等の給付」が13.9%、「地域活動支援センター（心身障害者福祉センター等）」が13.2%となっています。



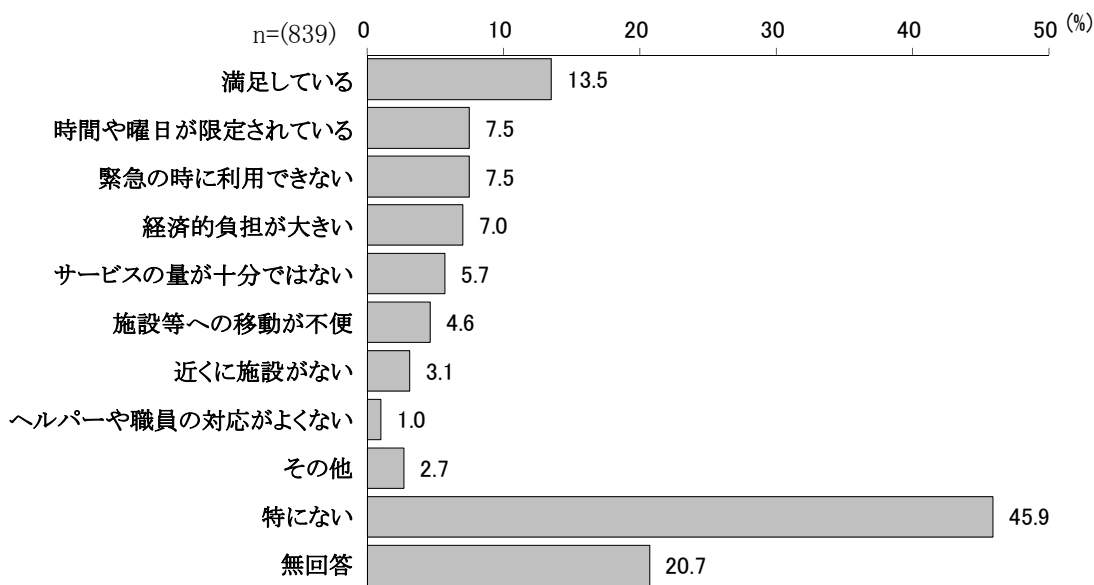
※「紙おむつの支給」は65歳未満限定のため、この項目は n=672 となります。

(2) サービスについての考え

「満足している」が13.5%

問15 サービスの利用について、どのように感じていますか。(あてはまるもの3つまで○)

サービスについての考えは、「満足している」が13.5%で最も多く、それ以外の項目は1割未満となっています。また、「特にない」が45.9%となっています。

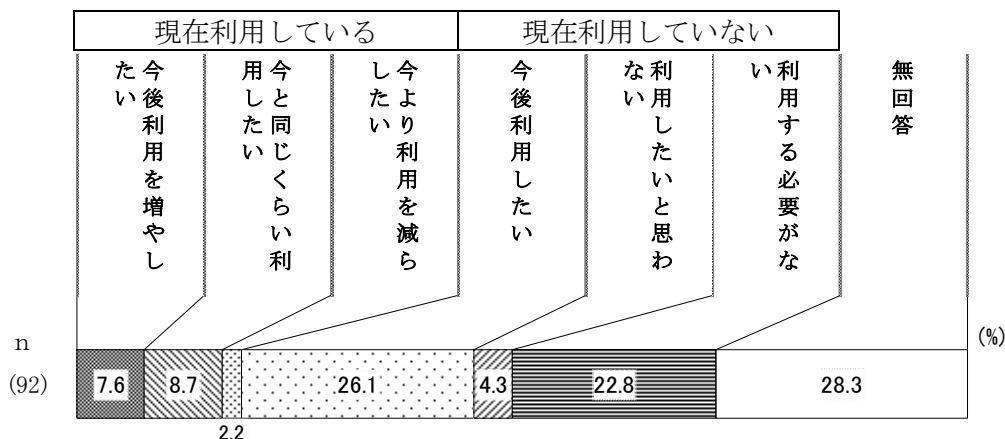


(3) 視覚障害者向けサービスの利用状況（視覚障害の方）

「今後利用したい」が26.1%

問16 あなたは次のようなサービス（点字広報・声の広報）の今後の利用については、どう思われますか。(○は1つ)

視覚障害の方の今後の「点字広報・声の広報」のサービス利用は、「今後利用を増やしたい」が7.6%、「今後利用したい」が26.1%となっています。

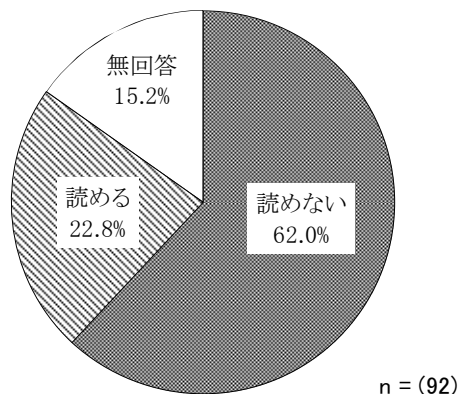


(4) 点字の利用状況 (視覚障害の方)

「読めない」が62.0%

問16-1 あなたは、点字が読めますか。(○は1つ)

視覚障害の方の点字の利用状況は、点字が「読めない」が62.0%、「読める」が22.8%となっています。



(5) 点字を読めないことで不利に思うこと (視覚障害の方)

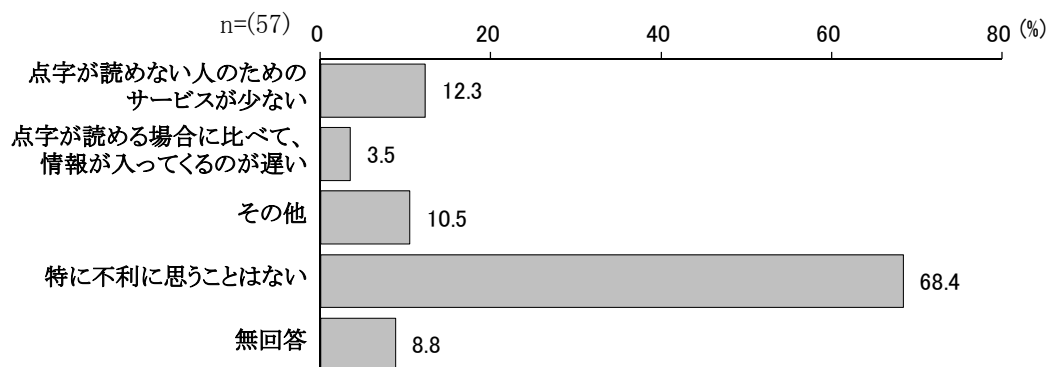
「点字が読めない人のためのサービスが少ない」が12.3%

【問16-1で、「読めない」に回答した方のみにおうかがいします。】

問16-2 点字を読めないことで、不利に思うことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

点字を読めないことで不利に思うことは、「点字が読めない人のためのサービスが少ない」が12.3%となっています。また、「特に不利に思うことはない」が68.4%となっています。



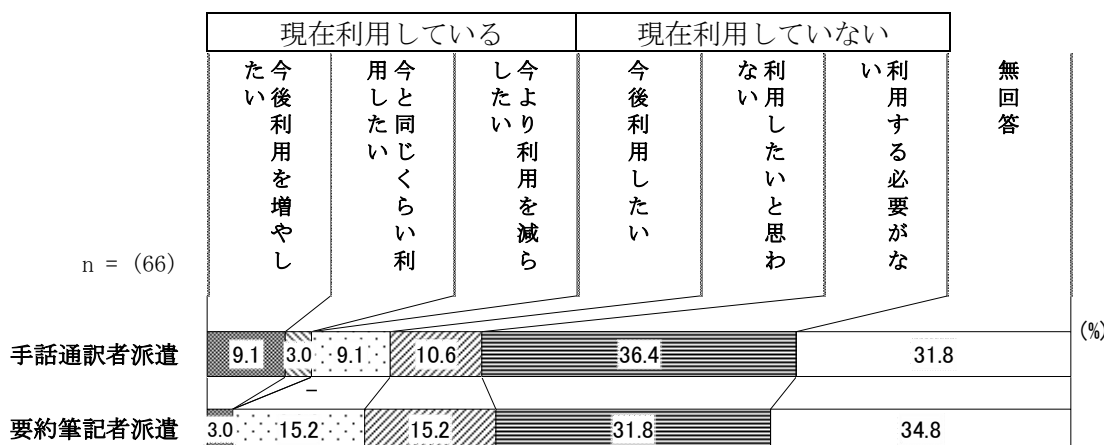
(6) 聴覚障害者向けサービスの利用状況（聴覚障害の方）

「今後利用したい」は“手話通訳者派遣”が9.1%、“要約筆記者派遣”が15.2%

問17 あなたは次のようなサービスの今後の利用については、どう思われますか。

(○はそれぞれ1つ)

聴覚障害の方の今後の「手話通訳者派遣」のサービス利用状況は、「今後利用したい」、「今後利用を増やしたい」がともに9.1%となっています。「要約筆記者派遣」のサービス利用状況は、「今後利用したい」、「利用したいと思わない」がともに15.2%となっています。



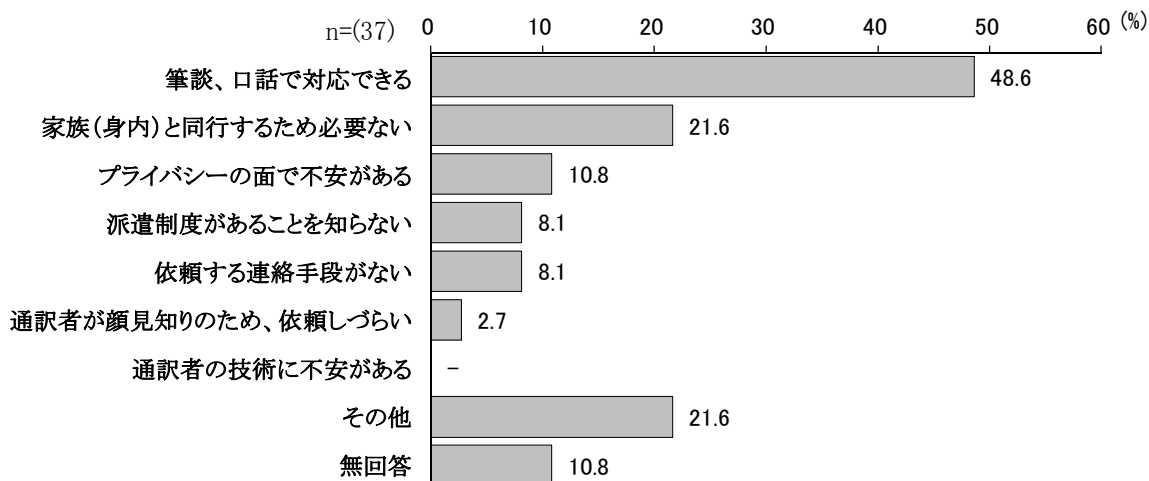
(7) 聴覚障害者向けサービスの利用状況（聴覚障害の方）

「筆談、口話で対応できる」が48.6%

【問17で、手話通訳者派遣について「今後利用したい」、「利用したいと思わない」、「利用する必要がない」に回答した方のみにおうかがいします。】

問17-1 現在利用していない理由は、次のうちどれですか。（あてはまるもの3つまで○）

手話通訳者派遣を現在利用していない方の理由は、「筆談、口話で対応できる」が48.6%で最も多く、これに「家族（身内）と同行するため必要ない」が21.6%、「プライバシーの面で不安がある」が10.8%で続いています。

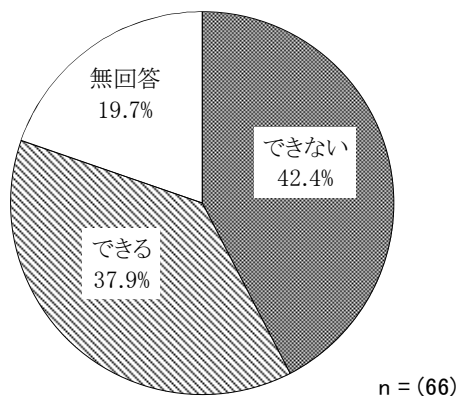


(8) 手話の利用状況 (聴覚障害の方)

「できない」が42.4%

問17-2 あなたは、手話ができますか。(○は1つ)

聴覚障害の方の手話の利用状況は、手話が「できない」が42.4%、「できる」が37.9%となっています。

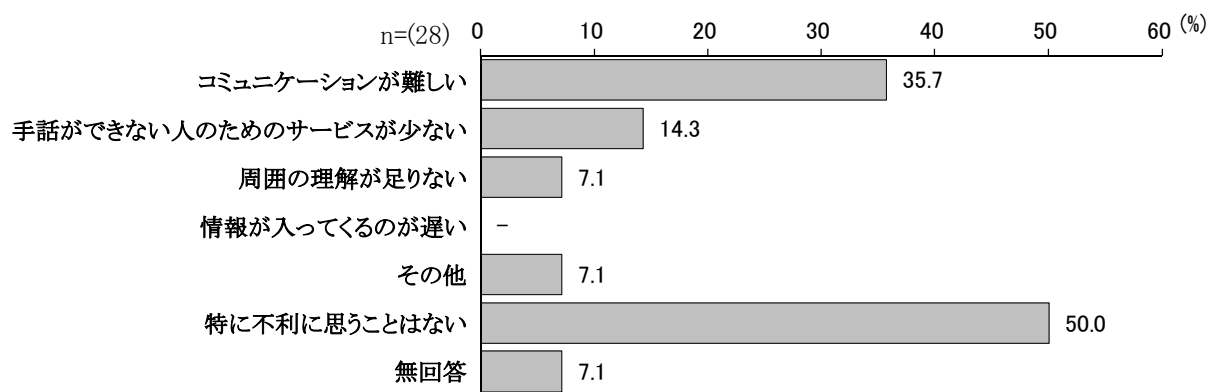


(9) 手話ができないことで不利に思うこと (聴覚障害の方)

「コミュニケーションが難しい」が35.7%

【問17-2で、「できない」に回答した方のみにおうかがいします。】

問17-3 手話ができないことで、不利に思うことは何ですか。(あてはまるもの3つまで○)



※回答者が少ないため、図は参考程度となります。

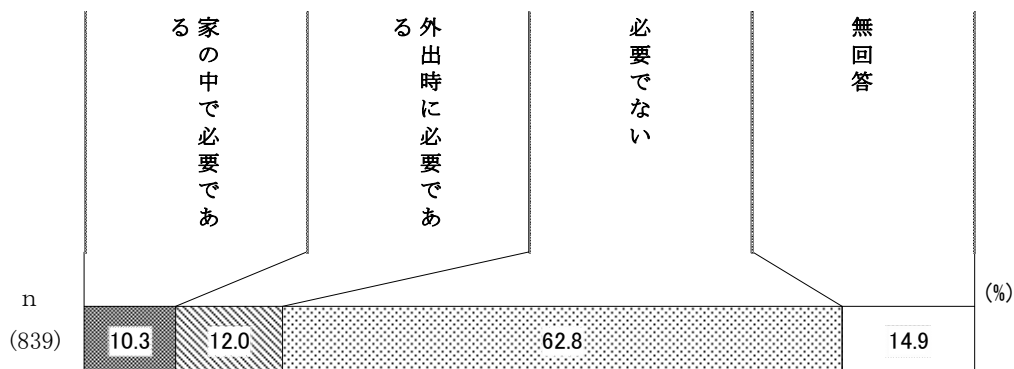
5. 介助

(1) 介助の必要性

「外出時に必要である」、「家の中で必要である」が1割台

問18 あなたは、日常生活をおくるうえで、介助が必要ですか。(〇は1つ)

介助の必要性は、「家の中で必要である」が10.3%、「外出時に必要である」が12.0%となっています。また、「必要でない」は62.8%となっています。



(2) 主な介助者

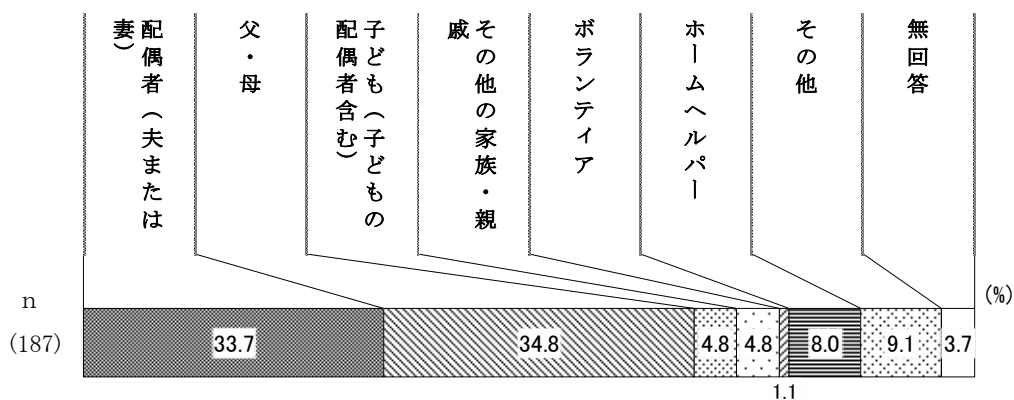
「父・母」が34.8%、「配偶者（夫または妻）」が33.7%

【問18で、「家の中で必要である」「外出時に必要である」に回答した方のみにおうかがいします。】

問18-1 主な介助者（あなたをいちばん長い時間、介助している方）はどなたですか。

(〇は1つ)

主な介助者は、「父・母」が34.8%、「配偶者（夫または妻）」が33.7%となっています。



6. 外出の状況

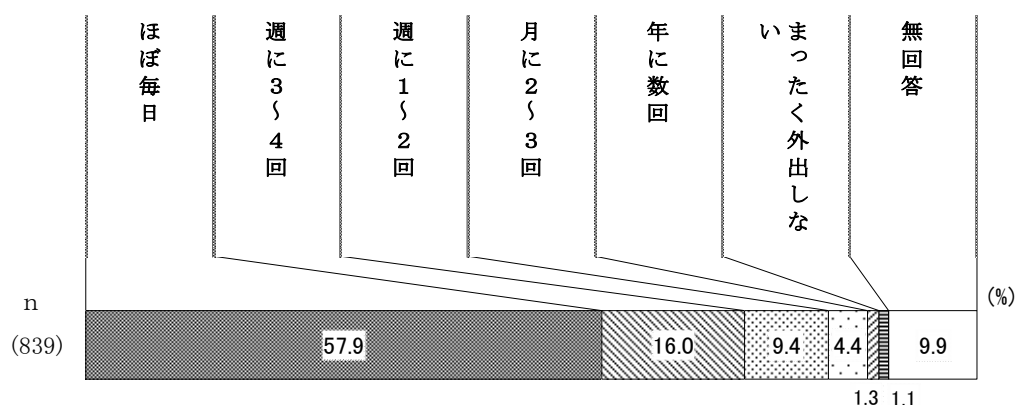
(1) 外出の頻度

「ほぼ毎日」が57.9%

問19 外出の頻度は、どのくらいですか。(〇は1つ)

外出の頻度は、「ほぼ毎日」が57.9%、「週に3～4回」が16.0%となっています。

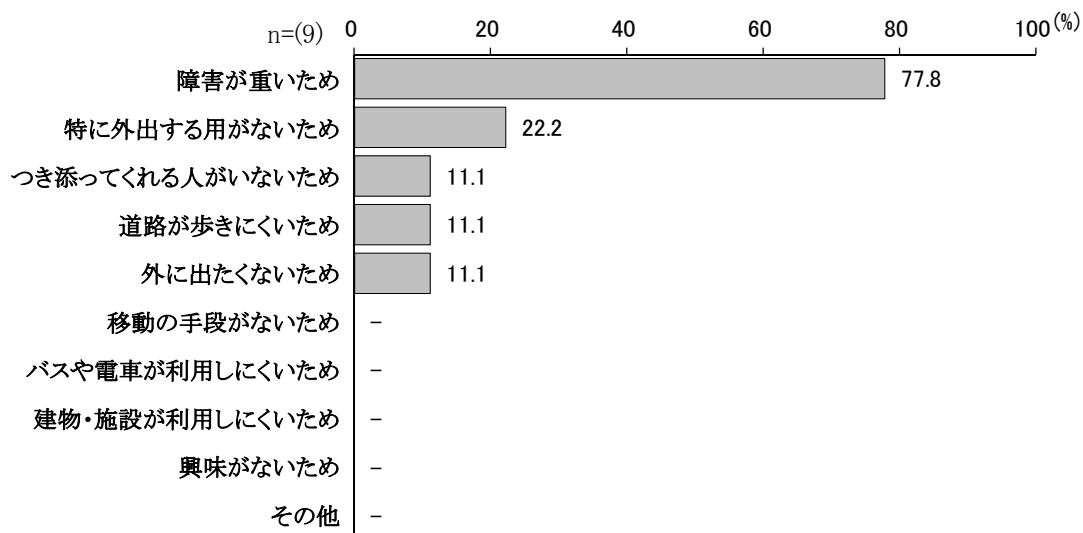
(障害の種類別の調査結果は12ページ2-(1)を参照)



(2) 外出しない理由

【問19で、「まったく外出しない」に回答した方のみにおうかがいします。】

問19-1 外出しない理由は、次のうちどれですか。(あてはまるもの3つまで〇)



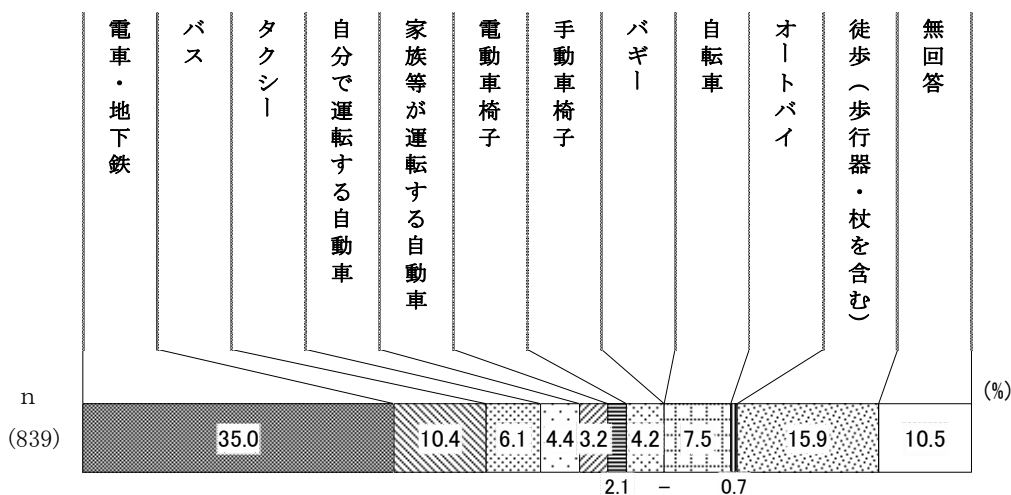
※回答者が少ないため、図は参考程度となります。

(3) よく利用する外出手段

「電車・地下鉄」が35.0%

問20 あなたがもっともよく利用する外出の方法は何ですか。(○は1つ)

よく利用する外出手段は、「電車・地下鉄」が35.0%で最も多く、以下、「徒歩（歩行器・杖を含む）」が15.9%、「バス」が10.4%が続いています。



(4) 外出時にけがをした経験

「ある」は18.5%

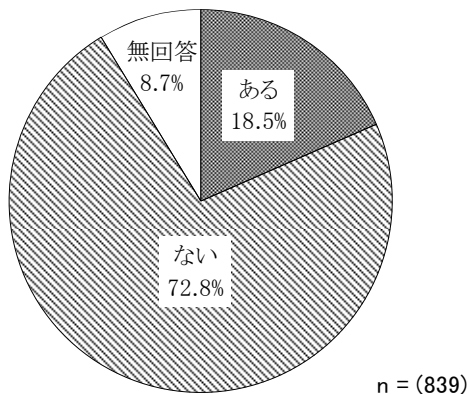
豊島区では、平成24年5月にWHO（世界保健機関）による「セーフコミュニティ」の認証を取得しました。セーフコミュニティとは、「けがや事故等は、偶然の結果ではなく、予防できる」という考え方のもと、地域コミュニティの力を活用して、安全と健康の質を高めていくまちづくり活動です。

以下、「けが」についてのご質問にお答えください。

問21 外出時に、ここ1年以内に「けが」をしたことがありますか。(○は1つ)

外出時にけがをした経験は、「ある」が18.5%、「ない」が72.8%となっています。

(障害の種類別の調査結果は13ページ2-(2)を参照)



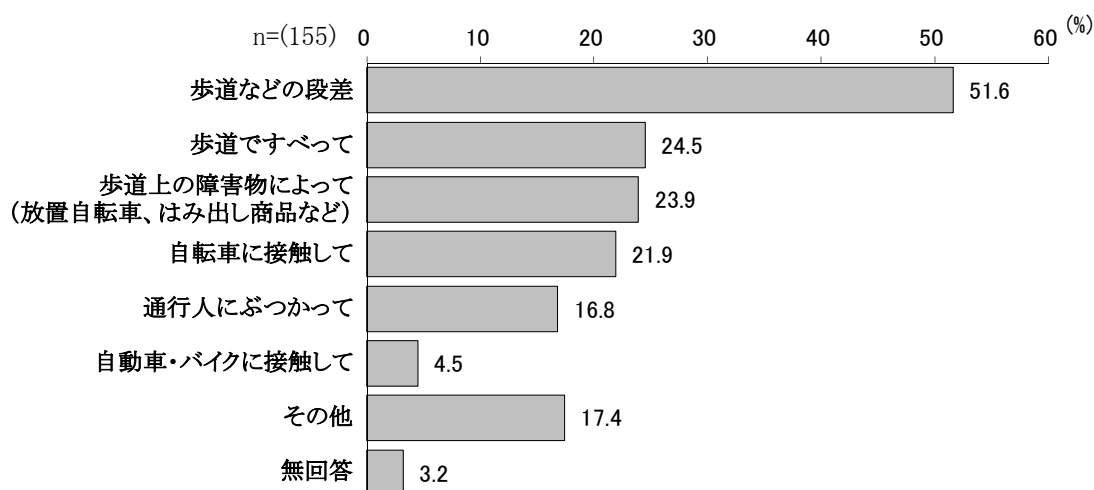
(5) けがをした理由

「歩道などの段差」が51.6%

【問21で、「ある」に回答した方のみにおうかがいします。】

問21-1 「けが」をした理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

外出時にけがをしたことがある方の理由は、「歩道などの段差」が51.6%で最も多く、以下、「歩道ですべて」(24.5%)、「歩道上の障害物によって(放置自転車、はみ出し商品など)」(23.9%)、「自転車に接触して」(21.9%)が2割台で続いています。



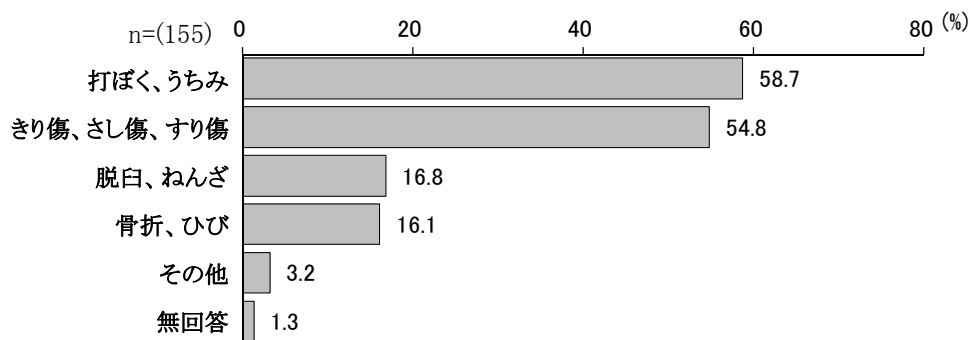
(6) 外出時のけがの種類

「打ぶく、うちみ」、「きり傷、さし傷、すり傷」が5割台

【問21で、「ある」に回答した方のみにおうかがいします。】

問21-2 どのような「けが」をしましたか。(あてはまるものすべてに○)

外出時にけがをしたことがある方のけがの種類は、「打ぶく、うちみ」(58.7%)、「きり傷、さし傷、すり傷」(54.8%)の2項目が5割台で特に多くなっています。

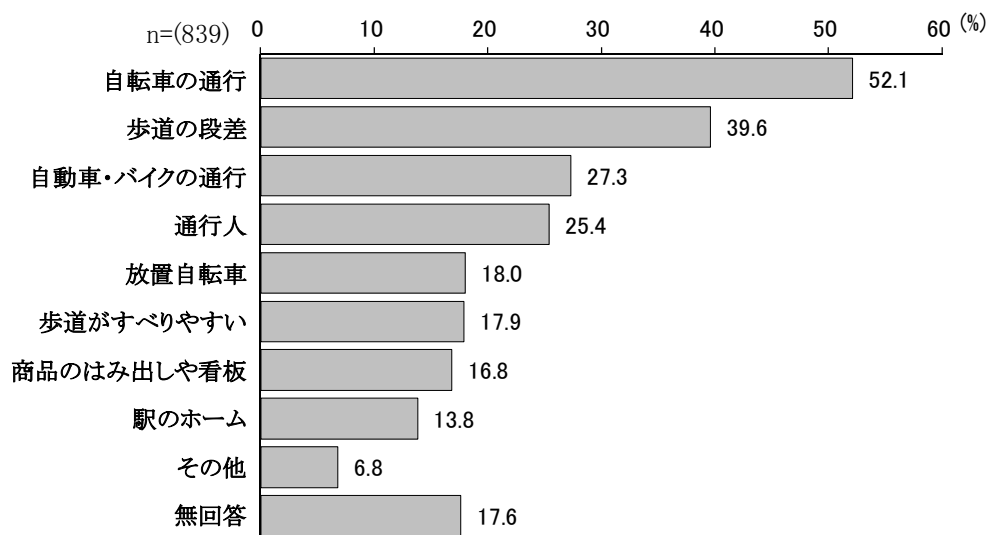


(7) 外出時に危険を感じたこと

「自転車の通行」が52.1%

問22 最近、外出時に危険を感じたことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

外出時に危険を感じたことは、「自転車の通行」が52.1%で最も多く、以下、「歩道の段差」が39.6%、「自動車・バイクの通行」(27.3%)、「通行人」(25.4%)が2割台が続いています。



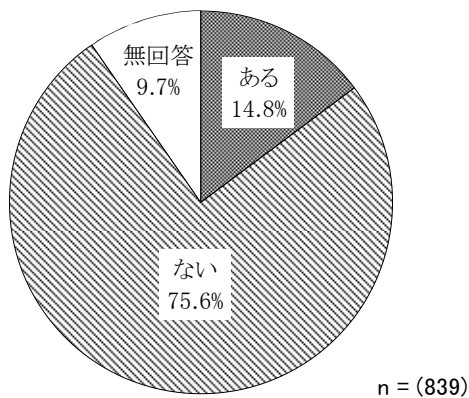
(8) 自宅内でけがをした経験

「ある」は14.8%

問23 自宅内で、ここ1年以内に「けが」をしたことがありますか。(○は1つ)

自宅内でけがをした経験は、「ある」が14.8%、「ない」が75.6%となっています。

(障害の種類別の調査結果は14ページ2-(3)を参照)



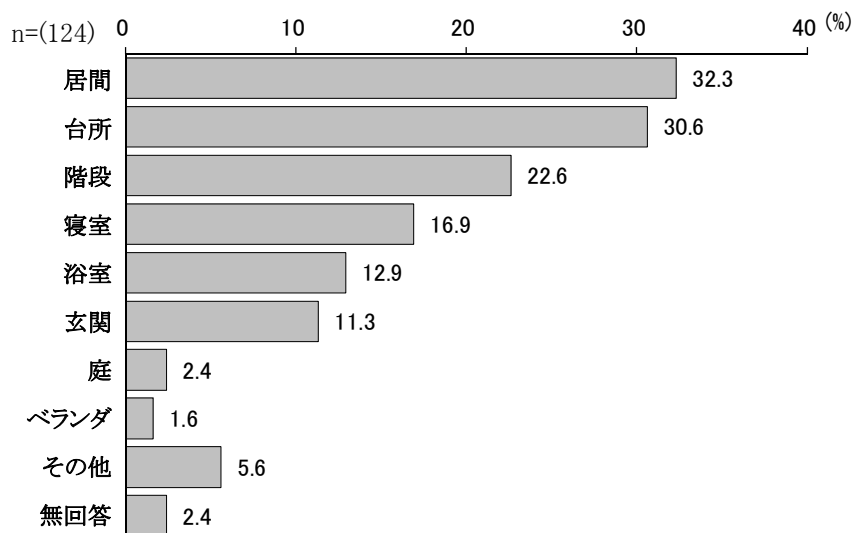
(9) けがをした自宅内の場所

「居間」、「台所」が3割台

【問23で、「ある」に回答した方のみにおうかがいします。】

問23-1 けがをした場所は、どこですか。(あてはまるものすべてに○)

自宅内でけがをしたことがある方の自宅内の場所は、「居間」(32.3%)、「台所」(30.6%)が3割台で多く、これに「階段」が22.6%で続いています。



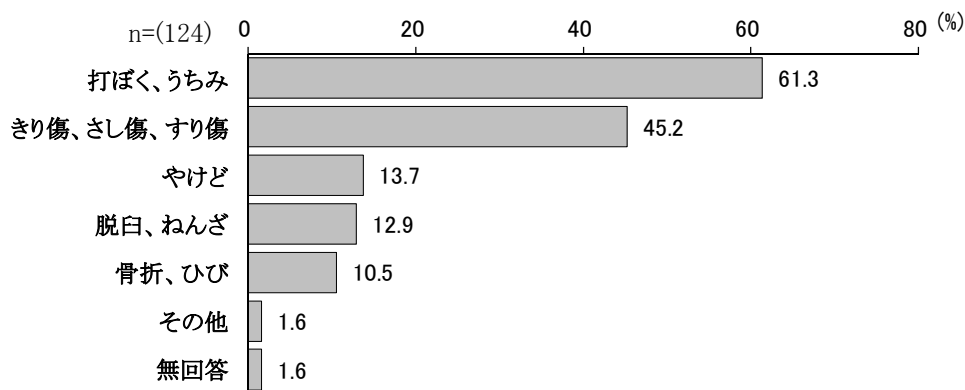
(10) 自宅内のけがの種類

「打ぶく、うちみ」が61.3%、「きり傷、さし傷、すり傷」も45.2%

【問23で、「ある」に回答した方のみにおうかがいします。】

問23-2 どのような「けが」をしましたか。(あてはまるものすべてに○)

自宅内でけがをしたことがある方のけがの種類は、「打ぶく、うちみ」(61.3%)、「きり傷、さし傷、すり傷」(45.2%)の2項目が特に多くなっています。



(11) まちのバリアフリーについての満足度

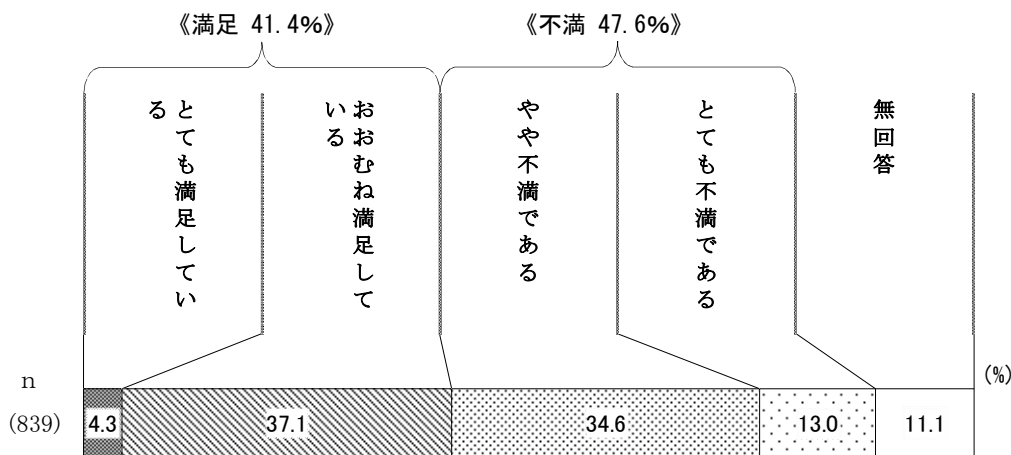
《満足》は41.4%、《不満》は47.6%

問24 まちのバリアフリーについて満足していますか。(○は1つ)

※バリアフリーとは、障害者や高齢者等が社会生活をしていく上で、障壁（バリア）となるものを取り除くという意味です。例えば、歩道の段差や駅のエレベーター、わかりやすい掲示板等です。

まちのバリアフリーについての満足度は、「とても満足している」が4.3%、「おおむね満足している」は37.1%で、両者をあわせた《満足》は41.4%となっています。一方、「とても不満である」と「やや不満である」をあわせた《不満》は47.6%となっています。

(障害の種類別の調査結果は15ページ2-(4)を参照)



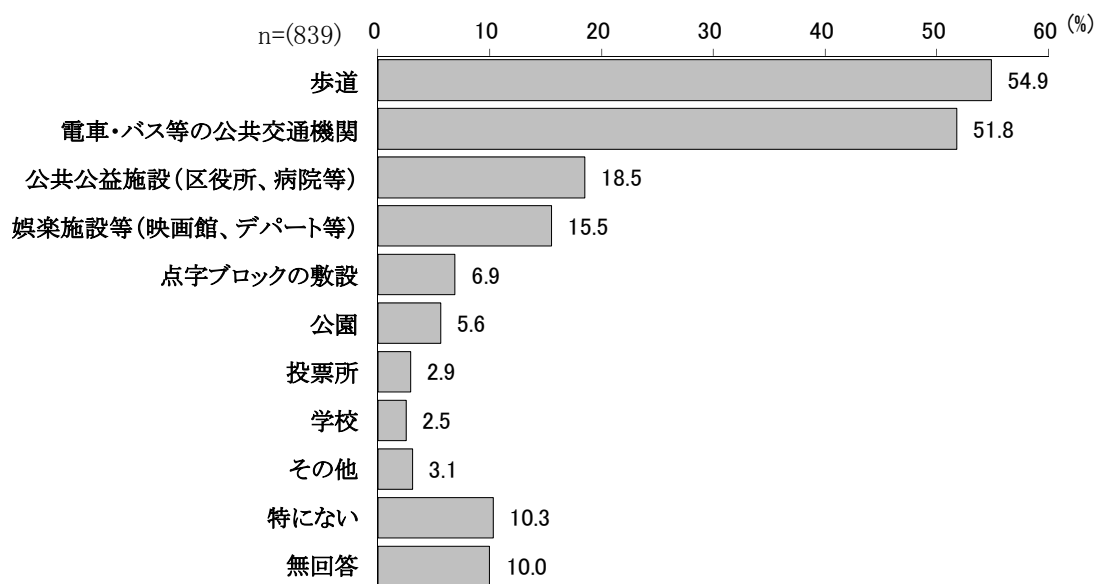
(12) 急いでバリアフリーを進めてほしい施設

「歩道」、「電車・バス等の公共交通機関」が5割台

問25 今後、区内で急いでバリアフリーを進めていくべきと思う施設は何ですか。

(あてはまるもの3つまで○)

急いでバリアフリーを進めてほしい施設は、「歩道」(54.9%)、「電車・バス等の公共交通機関」(51.8%)の2項目が5割台で特に多くなっています。



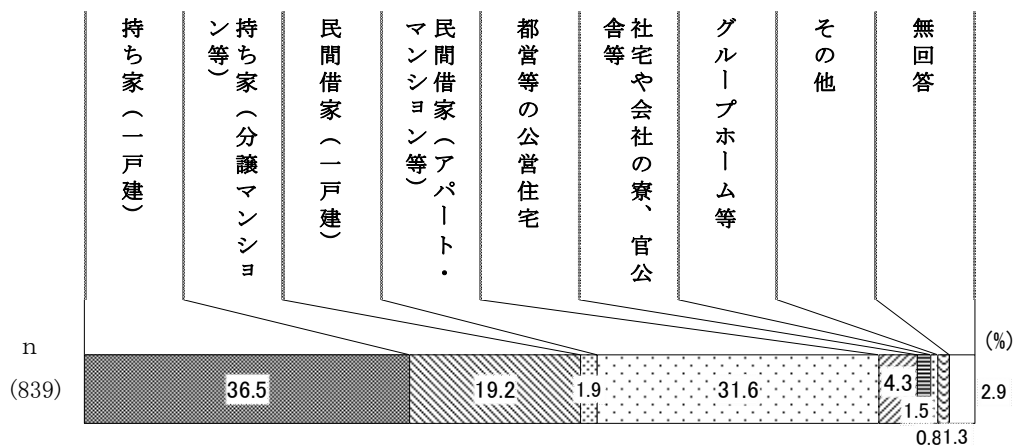
7. 住居の状況

(1) 住居形態

「持ち家（一戸建）」、「民間借家（アパート・マンション等）」が3割台

問26 あなたのお住まいは、次のうちどれですか。（○は1つ）

住居形態は、「持ち家（一戸建）」が36.5%、「民間借家（アパート・マンション等）」が31.6%、「持ち家（分譲マンション等）」が19.2%となっています。

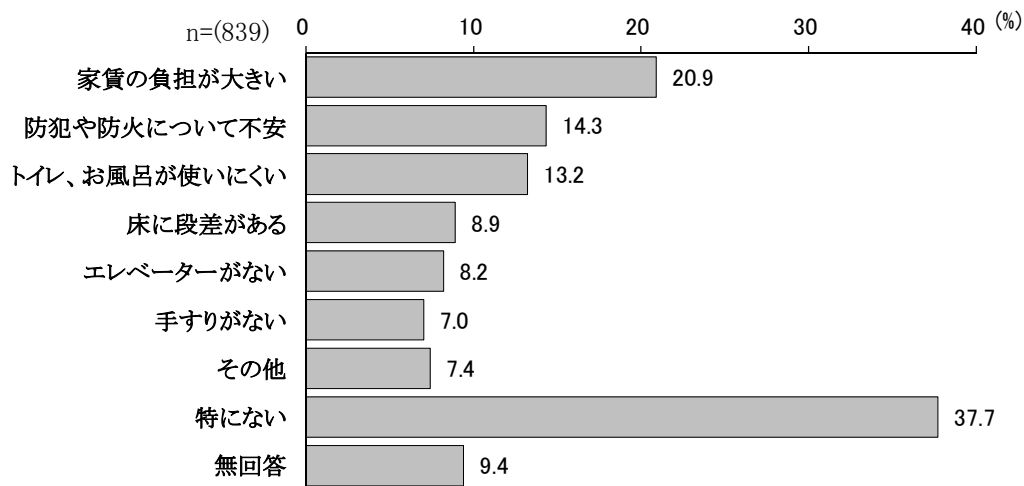


(2) 住まいについて困っていること

「家賃の負担が大きい」が20.9%

問27 お住まいについて、困っていることは何ですか。（あてはまるもの3つまで○）

住まいについて困っていることは、「家賃の負担が大きい」が20.9%で最も多く、以下、「防犯や防火について不安」(14.3%)、「トイレ、お風呂が使いにくい」(13.2%)が1割台で続いています。また、「特にない」が37.7%となっています。



8. 就労の状況

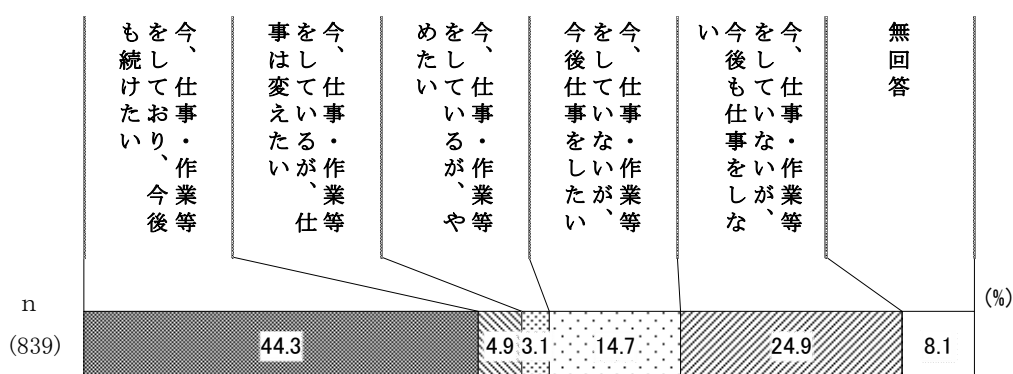
(1) 現在の就労状況と今後の就労意向

「今、仕事・作業等をしており、今後も続けたい」が44.3%

問28 あなたはいま、仕事・作業等をしていきますか。また、これからはどうしたいとお考えですか。(生活介護・就労移行支援・就労継続支援A型/B型・地域活動支援センター等での作業も含みます。家事は含まれません。また休職中の方も含まれます。)(○は1つ)

現在の就労状況と今後の就労意向は、「今、仕事・作業等をしており、今後も続けたい」が44.3%、「今、仕事・作業等をしていないが、今後仕事をしたい」が14.7%となっています。また、「今、仕事・作業等をしていないが、今後も仕事をしない」は24.9%となっています。

(障害の種類別の調査結果は17ページ3-(1)を参照)



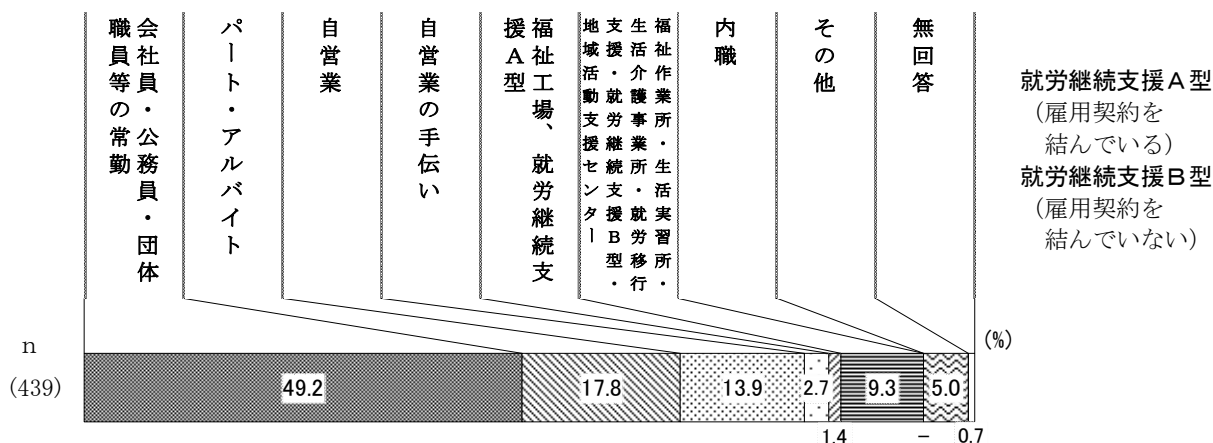
(2) 現在の就労の形態

「会社員・公務員・団体職員等の常勤」が49.2%

【問28で、「今、仕事・作業等をしており、今後も続けたい」「今、仕事・作業等をしているが、仕事は変えたい」「今、仕事・作業等をしているが、やめたい」に回答した方のみにおうかがいします。】

問28-1 あなたは、どのような仕事・作業等をしていきますか。(○は1つ)

今、仕事・作業等をしている方の現在の就労の形態は、「会社員・公務員・団体職員等の常勤」が49.2%、「パート・アルバイト」が17.8%、「自営業」が13.9%となっています。



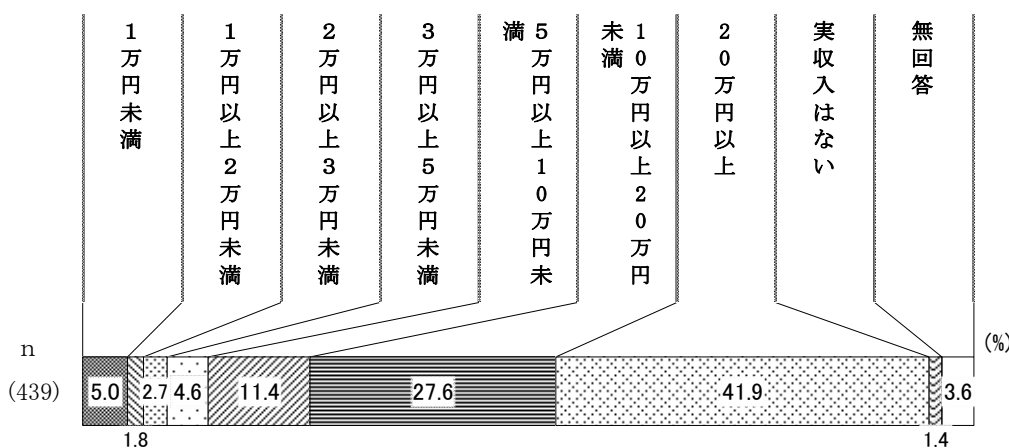
(3) 現在の月収

「20万円以上」が41.9%

【問28で、「今、仕事・作業等をしており、今後も続けたい」「今、仕事・作業等をしているが、仕事を変えたい」「今、仕事・作業等をしているが、やめたい」に回答した方のみにおうかがいします。】

問28-2 仕事・作業等で得る1か月の収入はおおよそどれくらいですか。(○は1つ)

今、仕事・作業をしている方の現在の月収は、「20万円以上」が41.9%、「10万円以上20万円未満」が27.6%、「5万円以上10万円未満」が11.4%となっています。(障害の種類別の調査結果は18ページ3-(2)を参照)



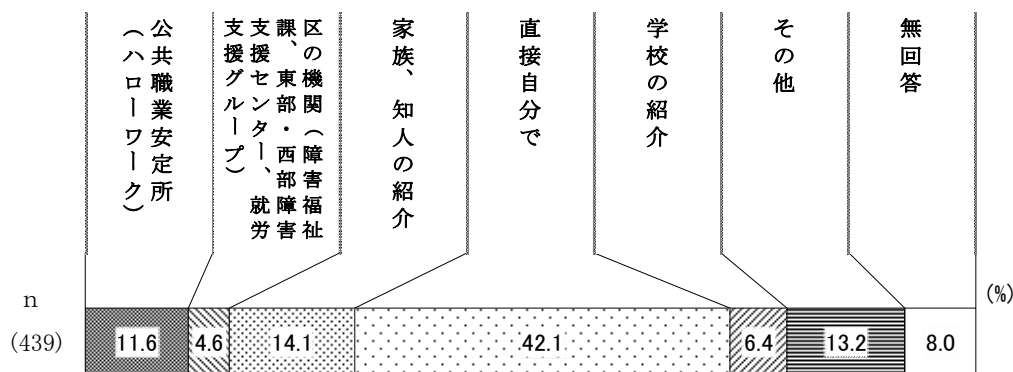
(4) 現在の仕事・作業等を見つけた方法

「直接自分で」が42.1%

【問28で、「今、仕事・作業等をしており、今後も続けたい」「今、仕事・作業等をしているが、仕事を変えたい」「今、仕事・作業等をしているが、やめたい」に回答した方のみにおうかがいします。】

問28-3 いまの仕事・作業等は、どのような方法で見つけましたか。(○は1つ)

今、仕事・作業等をしている方の現在の仕事・作業等を見つけた方法は、「直接自分で」が42.1%で最も多く、以下、「家族、知人の紹介」が14.1%、「公共職業安定所（ハローワーク）」が11.6%が続いています。



(5) 現在の仕事・作業等に対する悩みや不満

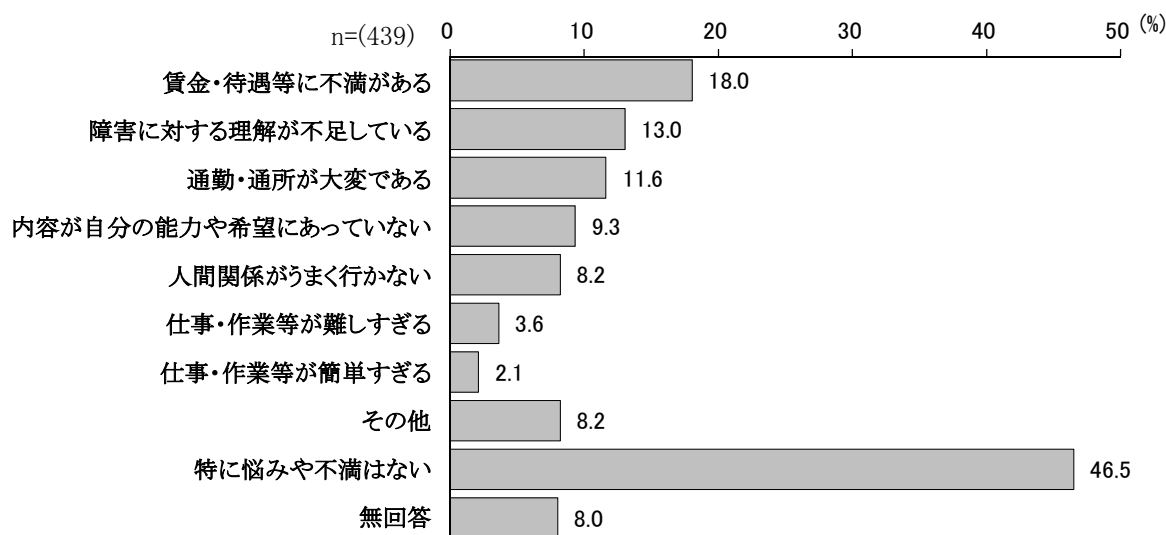
「賃金・待遇等に不満がある」が18.0%

【問28で、「今、仕事・作業等をしており、今後も続けたい」「今、仕事・作業等をしているが、仕事を変えたい」「今、仕事・作業等をしているが、やめたい」に回答した方のみにおうかがいします。】

問28-4 いまの仕事・作業等について、悩みや不満等がありますか。

(あてはまるもの3つまで○)

今、仕事・作業等をしている方の仕事・作業等に対する悩みや不満は、「賃金・待遇等に不満がある」が18.0%で最も多く、「障害に対する理解が不足している」が13.0%、「通勤・通所が大変である」が11.6%となっています。また、「特に悩みや不満はない」が46.5%となっています。



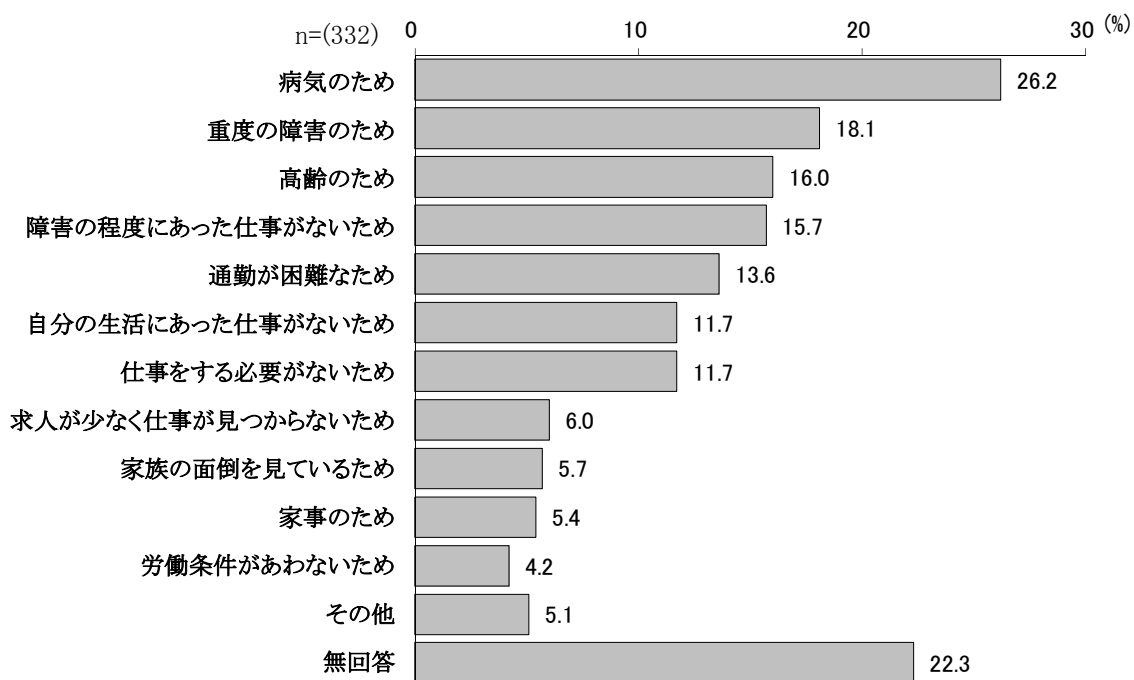
(6) 現在仕事・作業等をしていない主な理由

「病気のため」が26.2%

【問28で、「今、仕事・作業等をしていないが、今後仕事をしたい」「今、仕事・作業等をしていないが、今後も仕事をしない」に回答した方のみにおうかがいします。】

問29 仕事・作業等をしていない主な理由は何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

今、仕事・作業等をしていない方のその主な理由は、「病気のため」が26.2%で最も多く、「重度の障害のため」(18.1%)、「高齢のため」(16.0%)、「障害の程度にあった仕事がないため」(15.7%)、「通勤が困難なため」(13.6%)、「自分の生活にあった仕事がないため」、「仕事をする必要がないため」(ともに11.7%)が1割台で続いています。



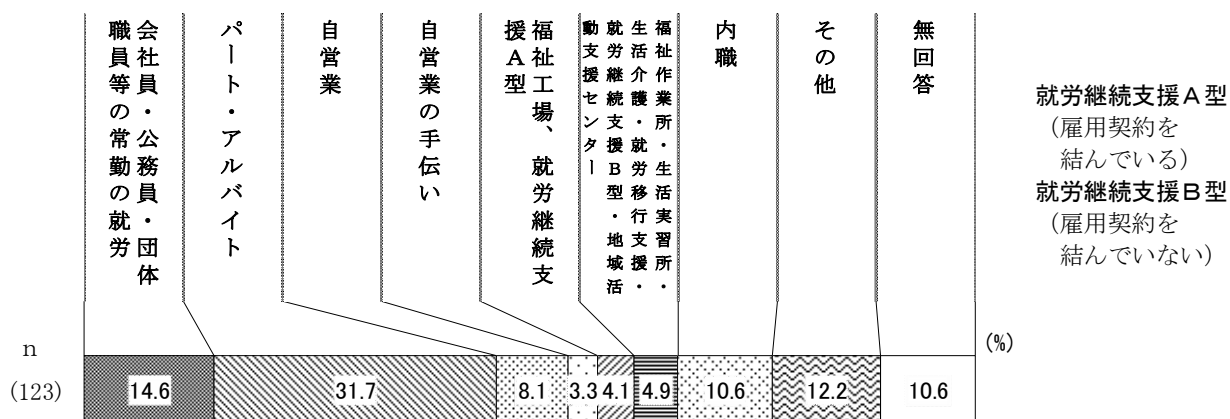
(7) 今後希望する就労の形態

「パート・アルバイト」が31.7%

【問28で、「今、仕事・作業等をしていないが、今後仕事をしたい」に回答した方のみにおうかがいします。】

問29-1 あなたは、今後どのような仕事・作業等をしたいですか。(〇は1つ)

今、仕事・作業等をしていないが、今後仕事をしたい方の今後希望する就労の形態は、「パート・アルバイト」が31.7%で最も多く、以下、「会社員・公務員・団体職員等の常勤の就労」(14.6%)、「内職」(10.6%)が1割台で続いています。



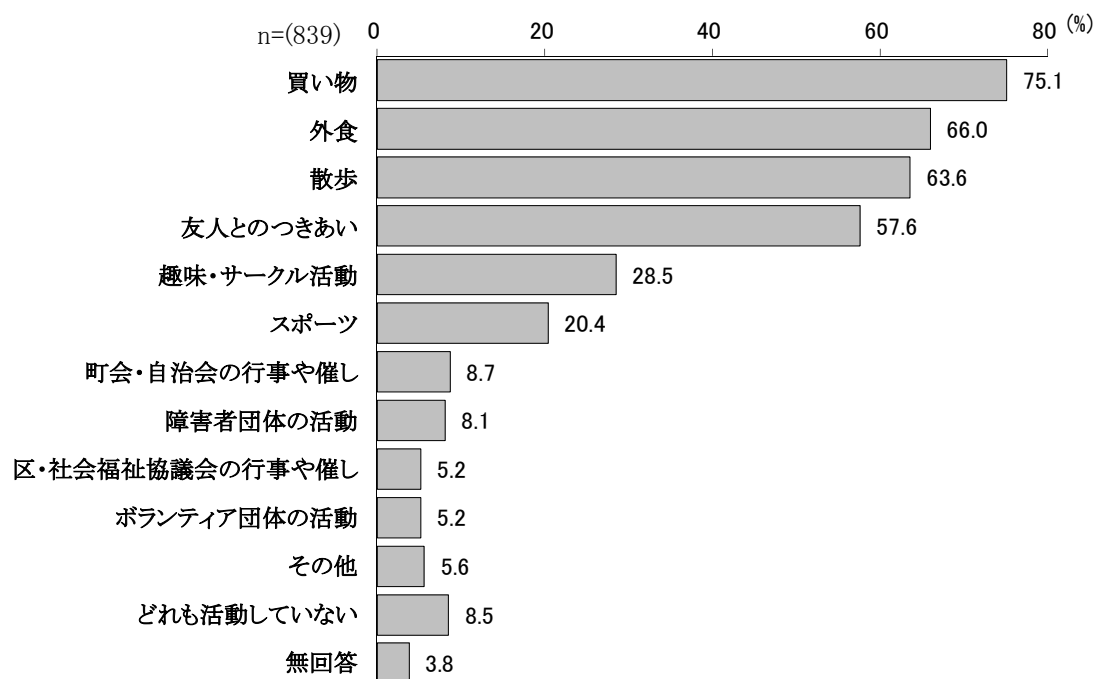
9. 社会参加等

(1) 最近1年間に行った活動

「買い物」が75.1%

問30 最近1年間に、どのような活動をしましたか。(あてはまるものすべてに○)

最近1年間に行った活動は、「買い物」が75.1%で最も多く、以下、「外食」(66.0%)、「散歩」(63.6%)、「友人とのつきあい」が57.6%、「趣味・サークル活動」(28.5%)、「スポーツ」(20.4%)が2割台で続いています。



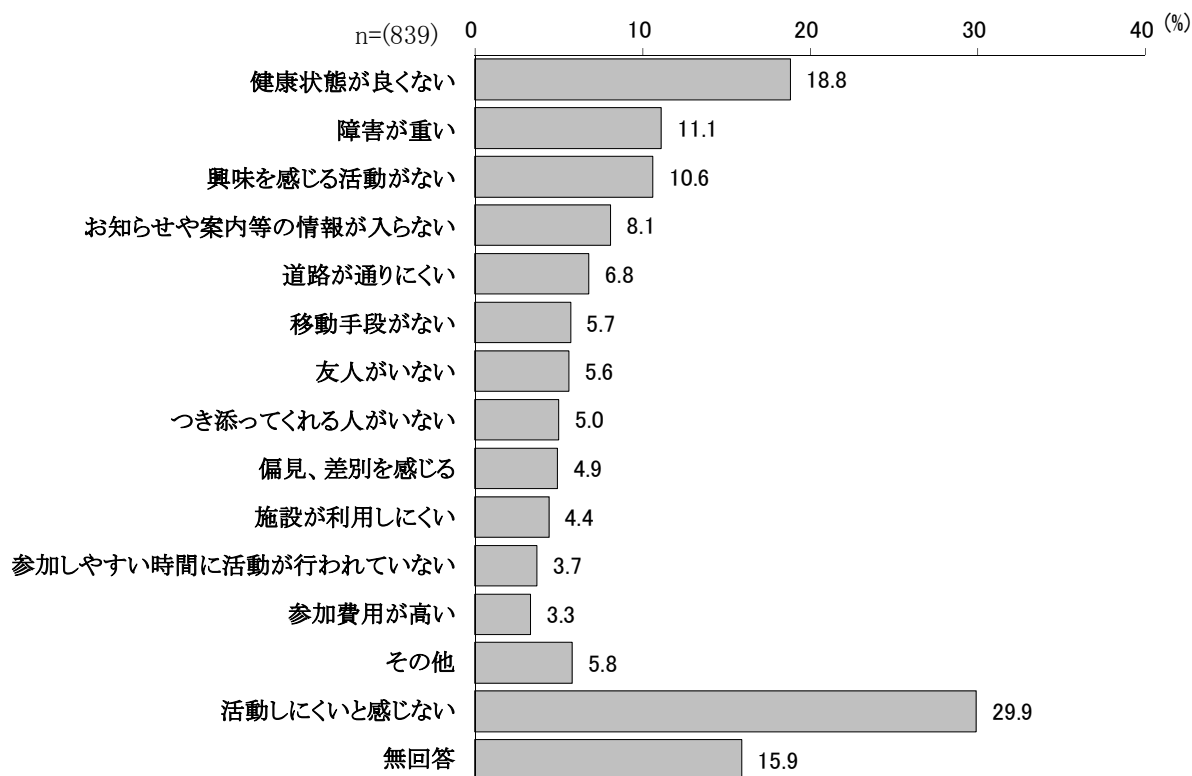
(2) 活動しにくい理由

「健康状態が良くない」が18.8%

問31 活動する際に、何か困ること、活動しにくいと感じることはありますか。

(あてはまるもの3つまで○)

活動しにくい理由は、「健康状態が良くない」が18.8%で最も多く、以下、「障害が重い」が11.1%、「興味を感じる活動がない」が10.6%が続いています。また、「活動しにくいと感じない」が29.9%となっています。

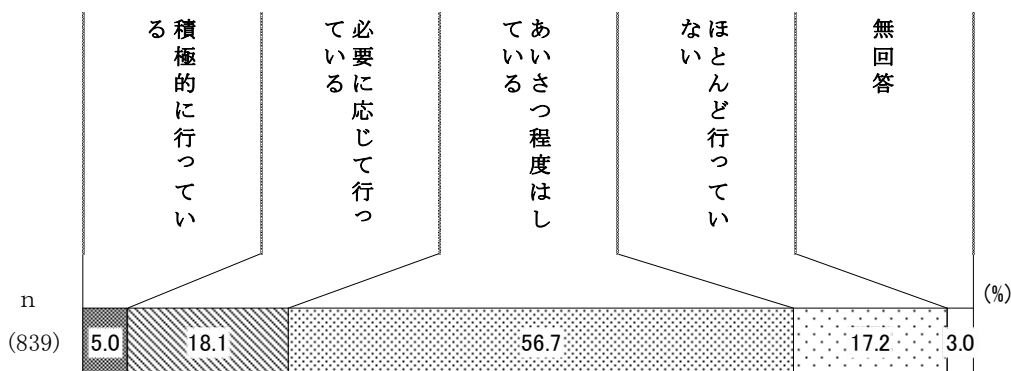


(3) 近所つき合い

「あいさつ程度はしている」が56.7%

問32 ご近所とのおつき合いは、次のうちどれにあてはまりますか。(〇は1つ)

近所つき合いは、「積極的に行っている」は5.0%とわずかですが、「必要に応じて行っている」が18.1%、「あいさつ程度はしている」が56.7%となっています。また、「ほとんど行っていない」が17.2%となっています。(障害の種類別の調査結果は19ページ4-(1)を参照)



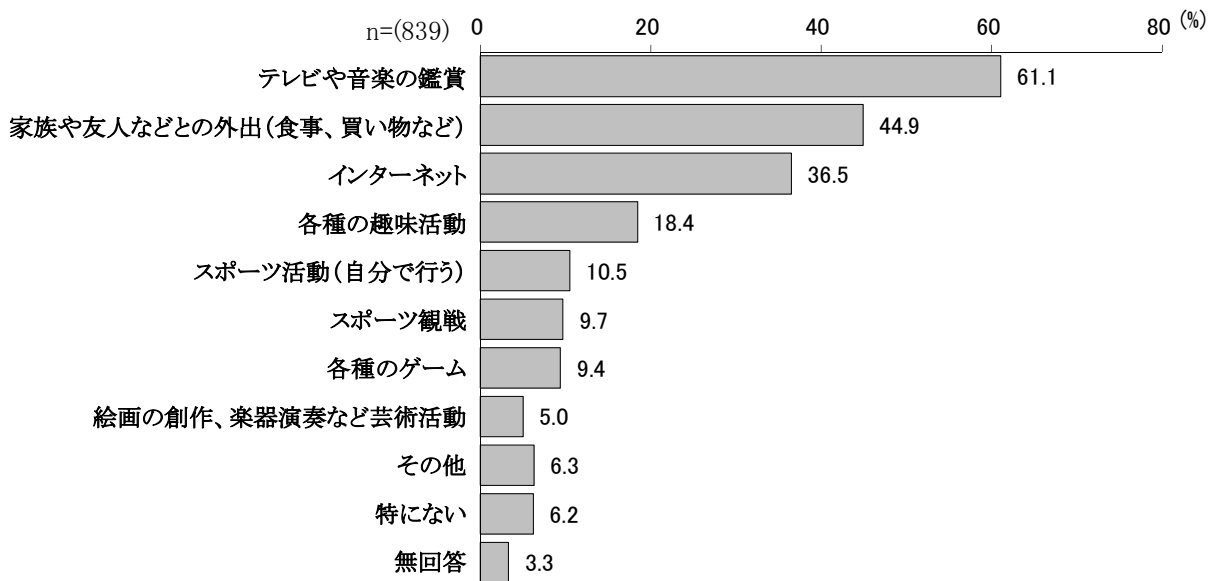
(4) 現在楽しんでいる余暇活動

「テレビや音楽の鑑賞」が61.1%

問33 あなたが今楽しんでいる主な余暇活動は何ですか。(あてはまるもの3つまで〇)

現在楽しんでいる余暇活動は、「テレビや音楽の鑑賞」が61.1%で最も多く、以下、「家族や友人などとの外出(食事、買い物など)」が44.9%、「インターネット」が36.5%が続いています。

(障害の種類別の調査結果は20ページ4-(2)を参照)



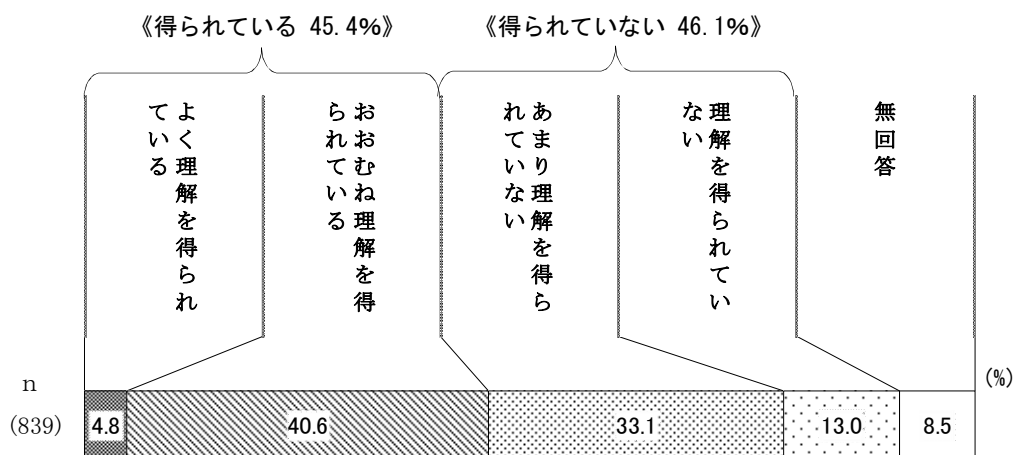
(5) 地域の方々の障害・疾病に対する理解

《得られている》が45.4%、《得られていない》が46.1%

問34 地域で暮らす上で、障害や疾病に対して理解を得られていると感じていますか。

(○は1つ)

地域の方々の障害・疾病に対する理解は、「よく理解を得られている」が4.8%、「おおむね理解を得られている」が40.6%で両者をあわせた《得られている》は45.4%となっています。一方、「理解を得られていない」(13.0%)と「あまり理解を得られていない」(33.1%)をあわせた《得られていない》は46.1%となっています。(障害の種類別の調査結果は21ページ4-(3)を参照)



(6) 運動やスポーツへの活動意向と現況

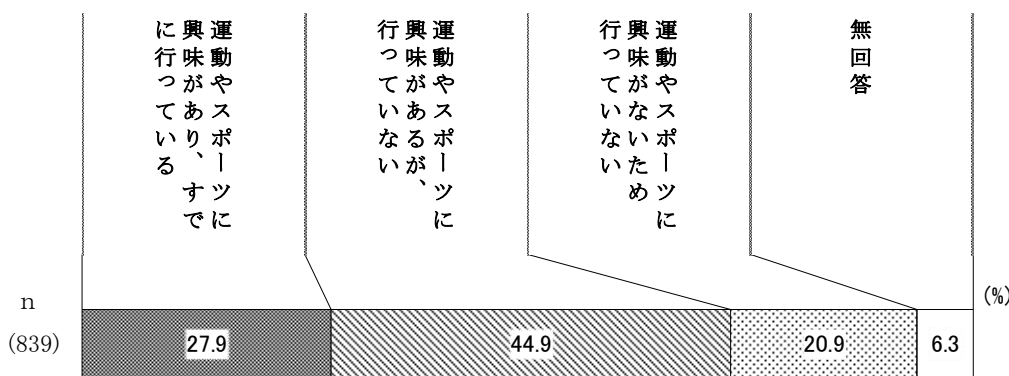
「行っている」が27.9%

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向け、運動やスポーツに関する意識や、現在の活動状況をお伺いします。

問35 運動やスポーツを行いたいと思いますか、また、行っていますか。(〇は1つ)

※ここでの「運動やスポーツ」は、競技スポーツだけでなく、ウォーキングや体操、ストレッチなどの軽い運動も含みます。

運動やスポーツへの活動意向と現況は、「運動やスポーツに興味があり、すでに行っている」が27.9%となっています。一方、「運動やスポーツに興味があるが、行っていない」は44.9%と多くなっています。(障害の種類別の調査結果は22ページ4-(4)を参照)



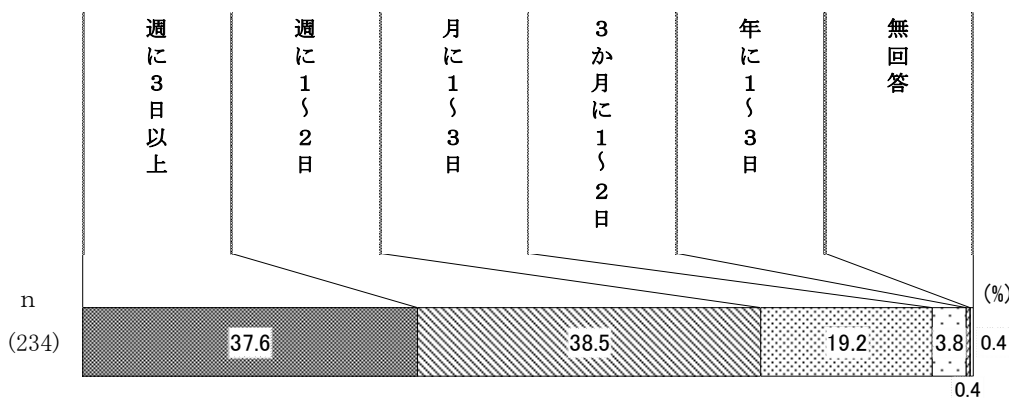
(7) 運動やスポーツの実施頻度

「週に1~2日」、「週に3日以上」が3割台

【問35で、「運動やスポーツに興味があり、すでに行っている」に回答した方のみにおうかがいします。】

問35-1 運動やスポーツをどれくらいの頻度で実施していますか。(〇は1つ)

運動やスポーツを行っている方の実施頻度は、「週に1~2日」(38.5%)、「週に3日以上」(37.6%)が3割台となっており、「月に1~3日」が19.2%となっています。

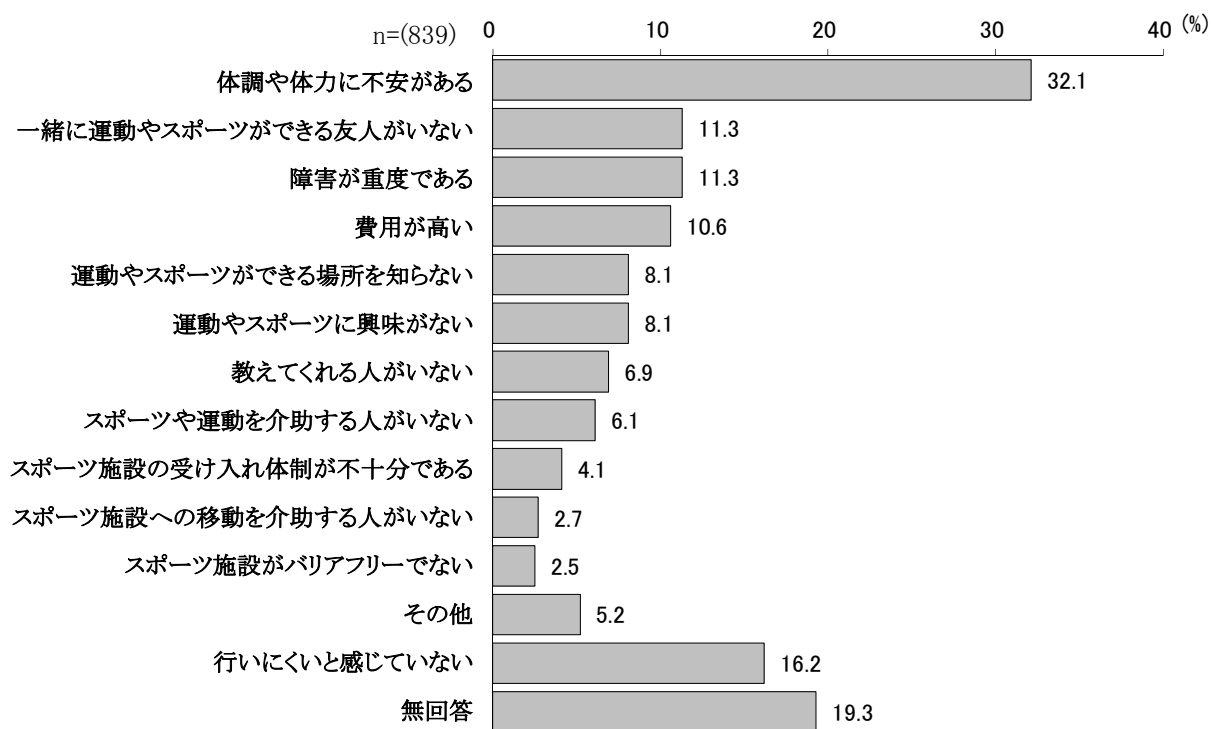


(8) 運動やスポーツを行いにくいと感ずること

「体調や体力に不安がある」が32.1%

問36 運動やスポーツをする際に、何か困ること、行いにくいと感ずることはありますか。
(あてはまるもの3つまで○)

運動やスポーツを行いにくいと感ずることは、「体調や体力に不安がある」が32.1%で最も多く、以下、「一緒に運動やスポーツができる友人がない」、「障害が重度である」(ともに11.3%)、「費用が高い」(10.6%)が1割台で続いています。また、「行いにくいと感じていない」が16.2%となっています。(障害の種類別の調査結果は23ページ4-(5)を参照)



10. 障害者の権利

(1) 障害者の権利を守るために充実すべき内容

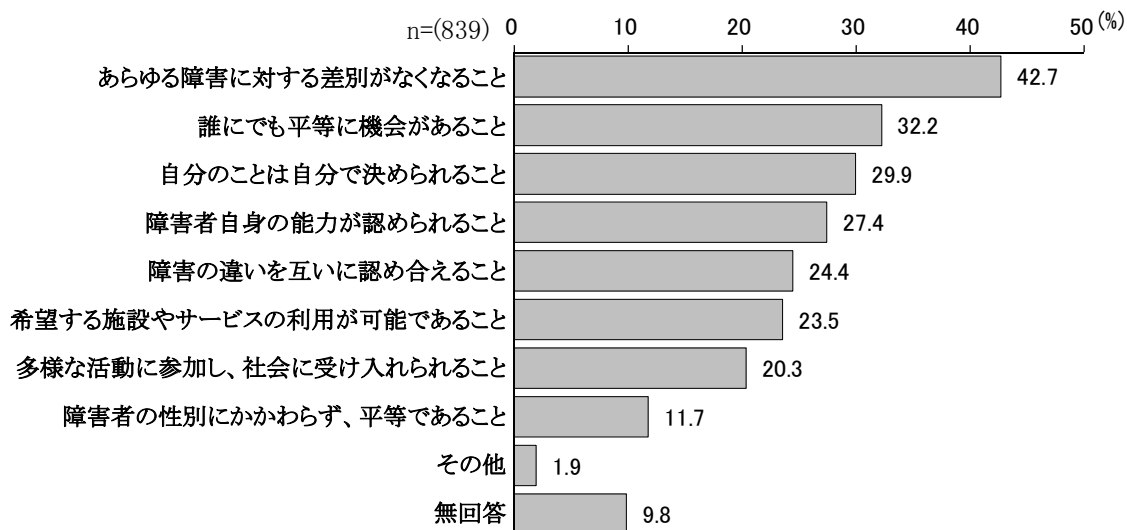
「あらゆる障害に対する差別がなくなること」が42.7%

問37 平成18年（2006年）に、国連では、「障害者の権利に関する条約」が採択されました。今後、障害者の権利を守るために、特に充実させるべき内容はどれですか。

（あてはまるもの3つまで○）

障害者の権利を守るために充実すべき内容は、「あらゆる障害に対する差別がなくなること」が42.7%で最も多く、以下、「誰にでも平等に機会があること」（32.2%）、「自分のことは自分で決められること」（29.9%）が3割前後で続いています。

（障害の種類別の調査結果は24ページ5－（1）を参照）

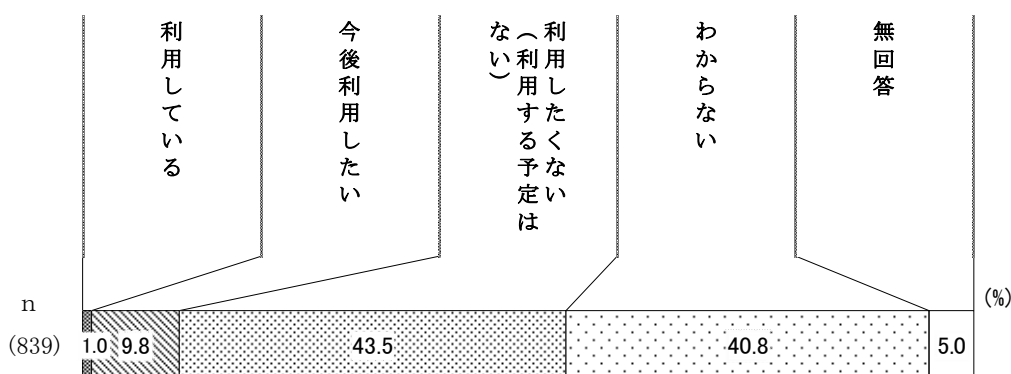


(2) 成年後見制度の利用意向

「今後利用したい」が9.8%

問38 成年後見とは、障害などで判断能力が不十分な人の「財産」や「権利」を保護し、支援していく制度です。あなたは、成年後見制度を利用したいですか。（○は1つ）

成年後見制度の利用意向は、「今後利用したい」が9.8%となっています。また、「利用したくない（利用する予定はない）」が43.5%となっています。



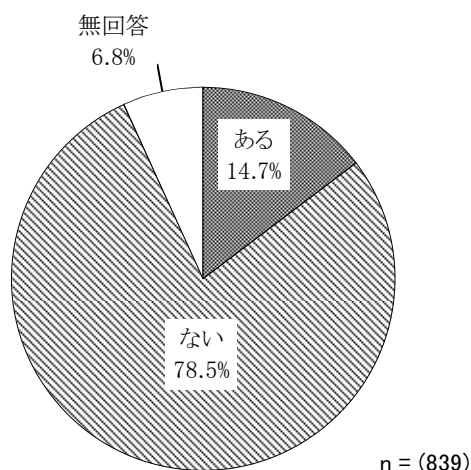
(3) 虐待を受けた経験

「ある」は14.7%

問39 あなたは、いままでに自分の体や心を傷つけられた（虐待された）ことがありますか。
(○は1つ)

虐待を受けた経験は、「ある」が14.7%、「ない」が78.5%となっています。

(障害の種類別の調査結果は25ページ5-(2)を参照)



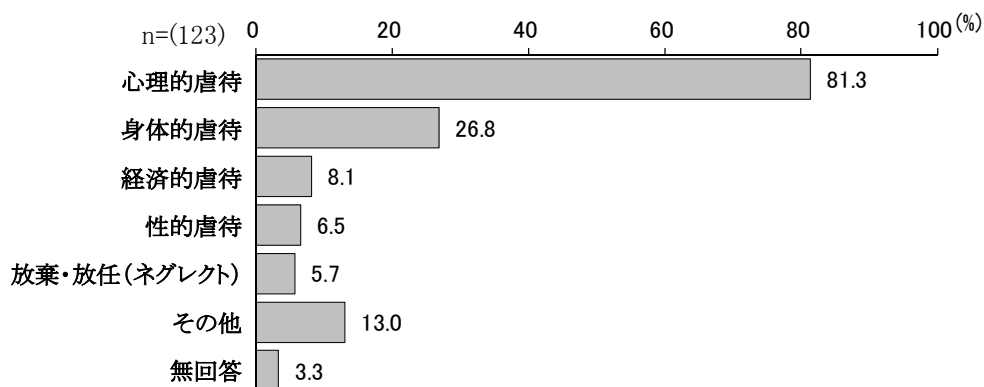
(4) 受けたことがある虐待の内容

「心理的虐待」が81.3%

【問39で、「ある」に回答した方のみにおうかがいします。】

問39-1 虐待の内容はどのような内容ですか。(あてはまるものすべてに○)

虐待を受けたことがある方の虐待の内容は、「心理的虐待」が81.3%で特に多く、これに「身体的虐待」が26.8%が続いています。



*心理的虐待：怒鳴る、悪口を言う、仲間に入れない、わざと無視する など

*身体的虐待：殴る、蹴る、縛りつける、閉じ込める、不要な薬を飲ませる など

*経済的虐待：必要なお金を与えない、勝手に財産や預貯金を使う など

*性的虐待：性交、性器への接触、裸にする、わいせつな話をする など

*放棄・放任(ネグレクト)：十分な食事を与えない、不潔な住環境で生活させる など

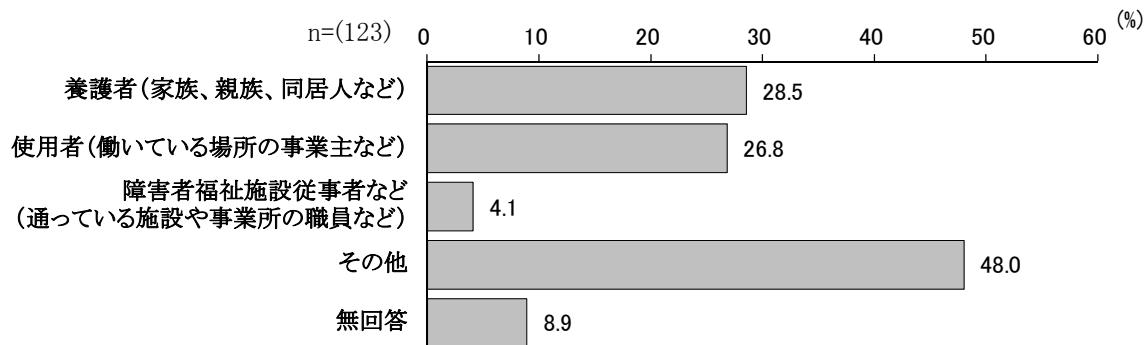
(5) 虐待を受けた相手

「養護者」、「使用者」が2割台後半

【問39で、「ある」に回答した方のみにおうかがいします。】

問39-2 誰から虐待を受けましたか。(あてはまるものすべてに○)

虐待を受けたことがある方の虐待を受けた相手は、「養護者（家族、親族、同居人など）」（28.5%）、「使用者（働いている場所の事業主など）」（26.8%）が2割台となっています。



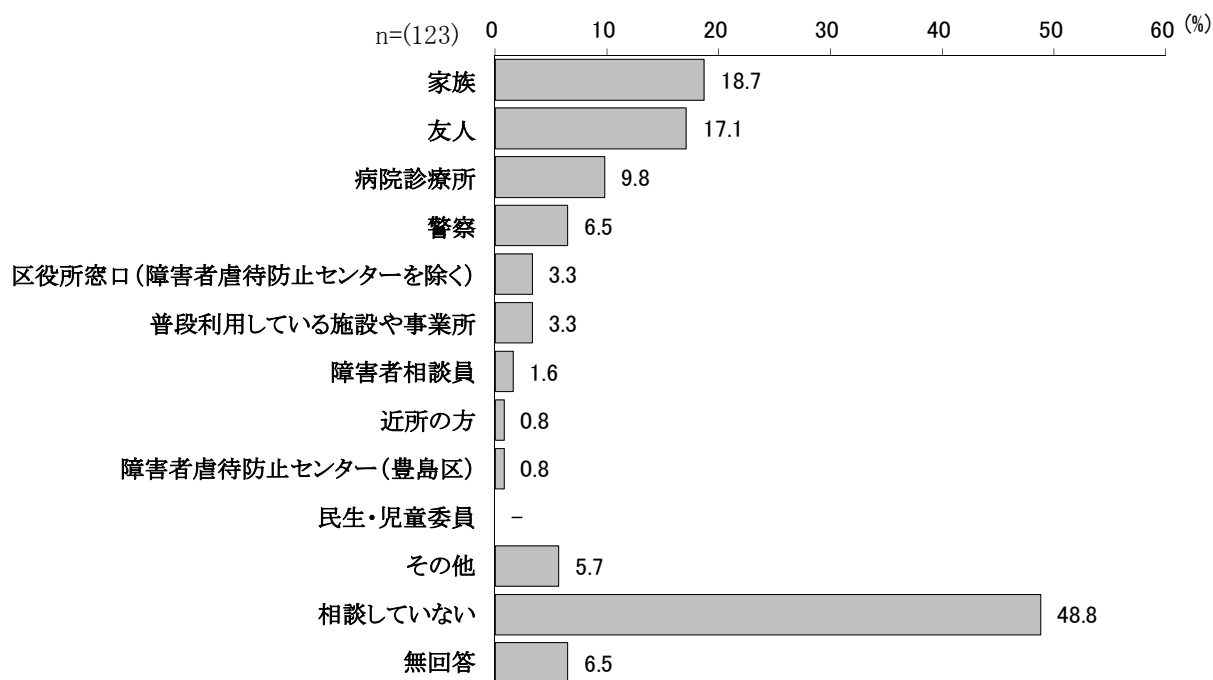
(6) 虐待について相談した相手

「家族」、「友人」が1割台

【問39で、「ある」に回答した方のみにおうかがいします。】

問39-3 虐待を受けた時、だれ（どこ）に相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

虐待を受けたことがある方の虐待について相談をした相手は、「家族」（18.7%）、「友人」（17.1%）が1割台となっており、「病院診療所」が9.8%で続いています。また、「相談していない」が48.8%となっています。

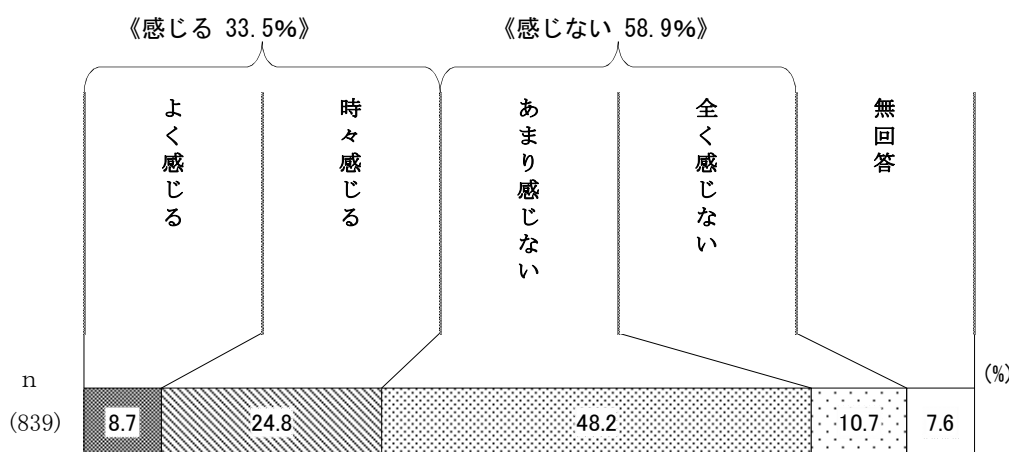


(7) 障害者への差別を感じること

《感じる》は33.5%、《感じない》は58.9%

問40 平成28年4月に障害者差別解消法が施行されましたが、障害者への差別を感じることはありますか。(〇は1つ)

障害者への差別を「よく感じる」は8.7%、「時々感じる」は24.8%で、両者をあわせた《感じる》は33.5%となっています。一方、「全く感じない」(10.7%)と「あまり感じない」(48.2%)をあわせた《感じない》は58.9%となっています。(障害の種類別の調査結果は26ページ5-(3)を参照)



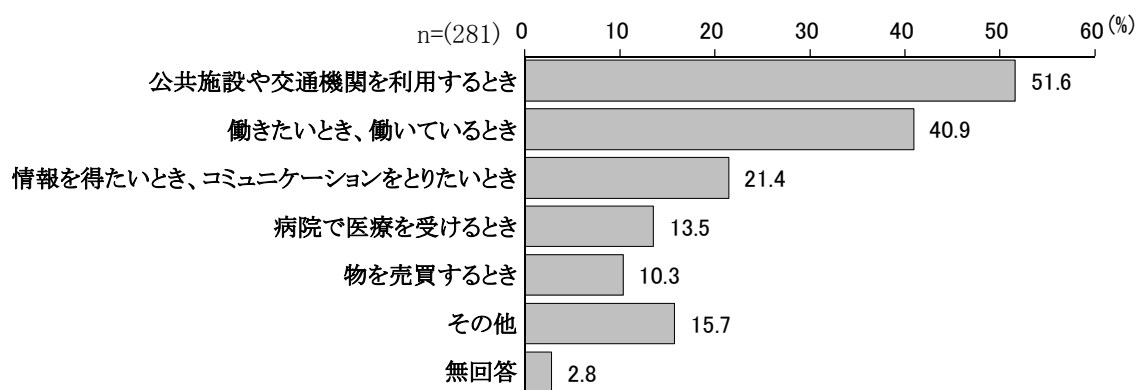
(8) 差別を感じるとき

「公共施設や交通機関を利用するとき」が51.6%

【問40で、「よく感じる」「時々感じる」に回答した方のみにおうかがいします。】

問40-1 どのようなときに差別を感じますか。(あてはまるもの3つまで〇)

障害者に対する差別を感じると回答した人がどのようなときに差別を感じるかでは、「公共施設や交通機関を利用するとき」が51.6%で最も多く、以下、「働きたいとき、働いているとき」が40.9%、「情報を得たいとき、コミュニケーションをとりたいとき」が21.4%が続いています。



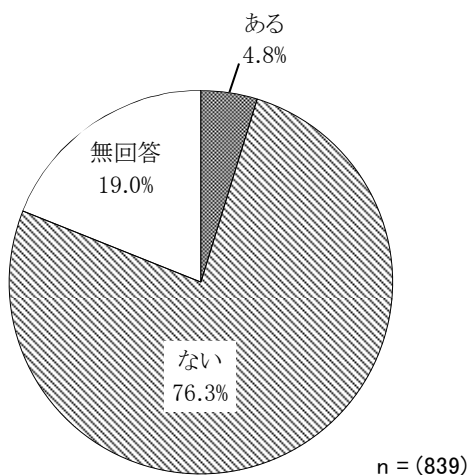
(9) 差別の相談経験

「ある」は4.8%

問41 障害者への差別を感じたときに、相談をしたことはありますか。(○は1つ)

差別の相談経験は、「ある」が4.8%、「ない」が76.3%となっています。

(障害の種類別の調査結果は27ページ5-(4)を参照)



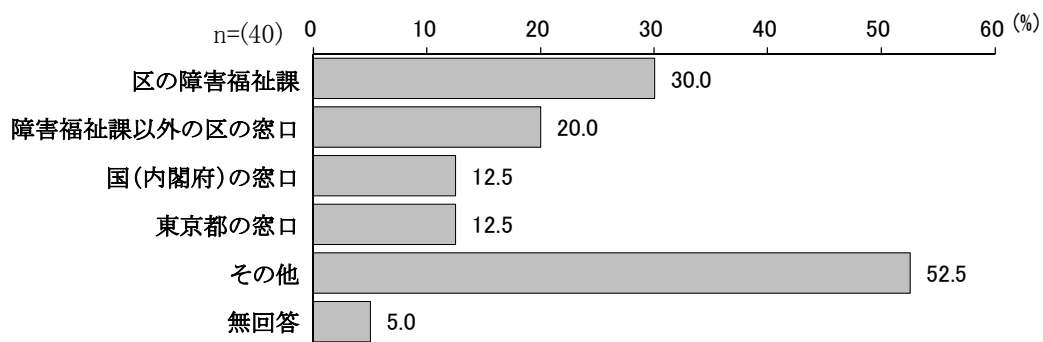
(10) 差別についての相談先

「区の障害福祉課」が30.0%

【問41で、「ある」に回答した方のみにおうかがいします。】

問41-1 どこに相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

差別の相談経験をしたことがある方の相談先は、「区の障害福祉課」が30.0%で最も多く、以下、「障害福祉課以外の区の窓口」が20.0%、「国(内閣府)の窓口」、「東京都の窓口」がともに12.5%で続いています。

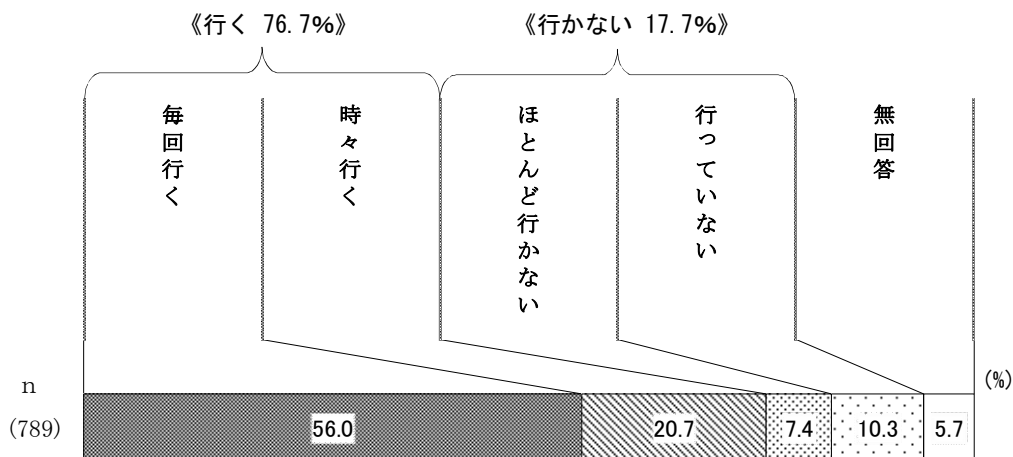


(11) 選挙投票への参加状況（18歳以上の方）

《行く》は76.7%

問42 あなたは選挙に行っていますか。（○は1つ）

選挙投票への参加状況は、「毎回行く」が56.0%、「時々行く」が20.7%となっており、両者をあわせた《行く》は76.7%となっています。一方、「行っていない」（10.3%）と「ほとんど行かない」（7.4%）をあわせた《行かない》は17.7%となっています。



(12) 選挙に行かない理由（18歳以上の方）

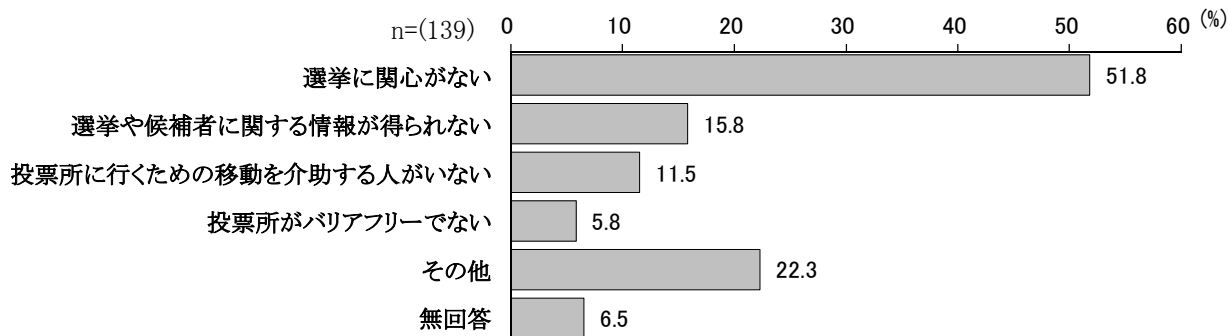
「選挙に関心がない」が51.8%

18歳以上の方のみ

【問42で、「ほとんど行かない」「行っていない」に回答した方のみにおうかがいします。】

問42-1 選挙に行かない理由は、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

選挙に行かない方の理由は、「選挙に関心がない」が51.8%で特に多くなっています。



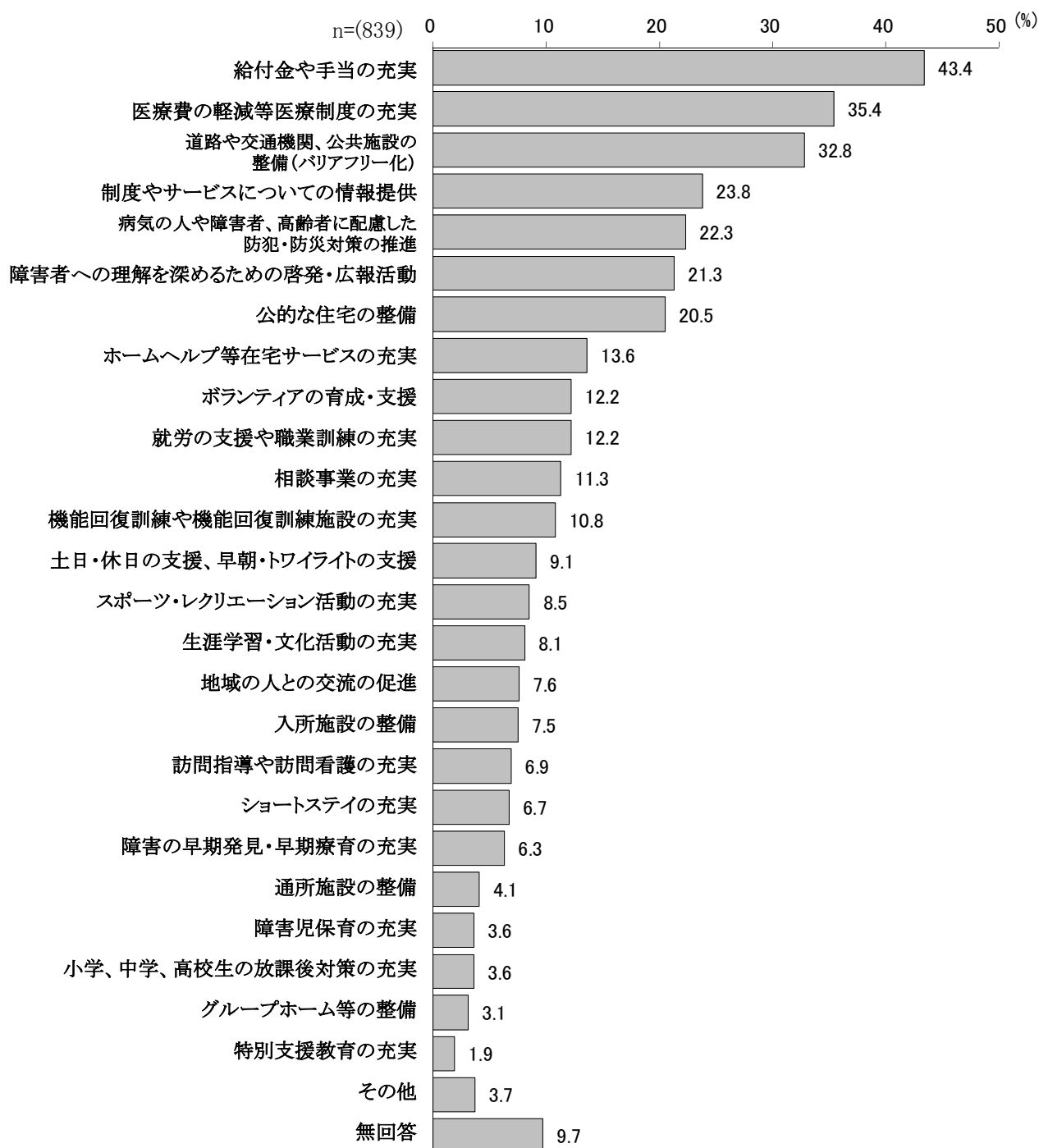
11. 豊島区等への要望

(1) 行政に対する要望

「給付金や手当の充実」が43.4%

問43 行政（豊島区）は次のうちどのようなことに取り組むことが望ましいと思いますか。
（あてはまるもの5つまで○）

行政に対する要望は、「給付金や手当の充実」が43.4%で最も多く、以下、「医療費の軽減等医療制度の充実」（35.4%）、「道路や交通機関、公共施設の整備（バリアフリー化）」（32.8%）が3割台、「制度やサービスについての情報提供」（23.8%）、「病気の人や障害者、高齢者に配慮した防犯・防災対策の推進」（22.3%）、「障害者への理解を深めるための啓発・広報活動」（21.3%）、「公的な住宅の整備」（20.5%）が2割台で続いています。（障害の種類別の調査結果は28ページ6－（1）を参照）



第 4 章 知的障害者調査

1. 知的障害者調査の結果のまとめ

(1) 福祉に関する相談や情報 (88ページ~90ページ)

- ・健康・福祉に関する情報の入手手段は、「区役所窓口（障害福祉課、東部・西部障害支援センター、保健所、健康相談所を含む）」、「広報紙（東京都・豊島区）」、「通っている学校、事業所など」、「障害者福祉のしおり」、「家族・親戚」などが多くなっています。
- ・よく利用する相談窓口は、「障害福祉課」、「通っている学校、事業所など」が多くなっています。また、「特にない」が26%となっています。
- ・相談対応の満足度は、「とても満足している」と「だいたい満足している」をあわせた《満足》が64%となっています。
- ・相談対応に不満を感じる理由は、「十分なアドバイスがもらえない」が最も多く、以下、「曜日・時間が限られている」、「窓口がわかりにくい」が多くなっています。

(2) 介助 (91ページ)

- ・介助の必要性は、「外に出かける時に必要である」は28%、「家の中で必要である」は17%となっています。また、「必要でない」は45%となっています。
- ・主な介助者は、「父・母」が68%となっています。

(3) サービスの利用状況や今後の利用意向 (92ページ~93ページ)

- ・サービスの利用状況について「今後利用を増やしたい」は、“ショートステイ（福祉ホームさくらんぼの利用を含む）”、“移動支援”が比較的多くなっています。「今後利用したい」は、“グループホーム”、“移動支援”、“ショートステイ（福祉ホームさくらんぼの利用を含む）”、“ホームヘルプサービス（介護保険サービスを含まない）”、“通所サービス（就労継続支援、生活介護など）”が比較的多くなっています。
- ・サービスについての考えは、「満足している」が29%で最も多くなっています。また、「特にない」が23%となっています。

(4) 外出の状況 (94ページ~100ページ)

- ・外出の頻度は、「ほぼ毎日」が65%で最も多くなっています。
- ・よく利用する外出手段は、「電車・地下鉄」が47%で最も多くなっています。
- ・外出時にけがをした経験は、「ある」が6%となっています。
- ・外出時に危険を感じたことは、「走っている自転車」が最も多く、以下、「走っている自動車・バイク」、「歩道の段差」などとなっています。
- ・自宅内でけがをした経験は、「ある」が6%となっています。
- ・まちなりのバリアフリーについての満足度は、「とても満足している」と「おおむね満足している」をあわせた《満足》は33%、「とても不満である」と「やや不満である」をあわせた《不満》は28%となっています。
- ・急いでバリアフリーを進めてほしい施設は、「歩道」、「電車・バスなどの公共交通機関」の2項目が多くなっています。また、「特にない」が26%となっています。

(5) 住居の状況 (101ページ)

- ・住居形態は、「持ち家（一戸建）」が43%、「借りている家（アパート・マンションなど）」が19%、「持ち家（分譲マンションなど）」が16%などとなっています。
- ・住まいについて困っていることは、「火事や泥棒などについて不安」、「家賃が高い」などが多くなっています。また、「特にない」が56%となっています。

(6) 就労状況 (102ページ～106ページ)

- ・現在の就労状況と今後の就労意向は、「今、仕事・作業などをしており、今後も続けたい」が69%で最も多くなっています。
- ・仕事・作業などを行っている方の現在の就労の形態は、「福祉作業所・生活実習所・生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型・地域活動支援センター」、「契約社員・パート・アルバイト」が多くなっています。
- ・仕事・作業などを行っている方の現在の月収は、「1万円未満」が36%で最も多くなっています。
- ・仕事・作業などを行っている方の現在の仕事・作業などを見つけた方法は、「区の機関（障害福祉課、障害支援センター・就労支援グループなど）」、「学校の紹介」が多くなっています。
- ・仕事・作業などを行っている方の現在の仕事・作業などに対する悩みや不満は、「人間関係がうまく行かない」、「給料や仕事の時間などに不満がある」、「障害に対する理解が足りない」が多くなっています。また、「特に悩みや不満はない」が60%となっています。
- ・現在仕事・作業などをしていない主な理由は、「障害の程度にあった仕事がないため」、「病気のため」、「自分の生活にあった仕事がないため」、「重度の障害のため」が多くなっています。

(7) 社会参加等 (107ページ～112ページ)

- ・最近1年間に行った活動は、「買い物」、「外出」、「散歩」の3項目が多くなっています。
- ・活動しにくい理由は、「友人がいない」、「興味を感じる活動がない」が多くなっています。また、「活動しにくいと感じない」が31%となっています。
- ・近所つき合いは、「あいさつ程度はしている」が59%となっています。
- ・現在楽しんでいる余暇活動は、「テレビを見る、音楽を聴く」、「家族や友人などとの外出（食事、買い物など）」の2項目が多くなっています。
- ・地域の方々の障害・疾病に対する理解は、「わかってもらえている」と「だいたいわかってもらえている」をあわせた《わかってもらえている》が56%、「わかってもらえていない」と「あまりわかってもらえていない」をあわせた《わかってもらえていない》が39%となっています。
- ・運動やスポーツへの活動意向と現況は、「運動やスポーツに興味があり、すでに行っている」が27%となっています。
- ・運動やスポーツを行っている人の実施頻度は、「週に1～2日」が最も多く、以下、「週に3日以上」、「月に1～3日」などとなっています。
- ・運動やスポーツを行っていくと感じることは、「一緒に運動やスポーツをする友人がいない」、「運動やスポーツに興味がない」が多くなっています。また、「行っていくと感じていな

い」が22%となっています。

(8) 障害者の権利 (113ページ~118ページ)

- ・障害者の権利を守るために充実すべき内容は、「いろいろな障害への差別がなくなること」、「自分が希望する施設やサービスの利用ができること」などが多くなっています。
- ・成年後見制度の利用希望は、「今後利用したい」が31%となっています。
- ・虐待を受けた経験の有無は、「ある」が14%となっています。
- ・虐待を受けたことがある方の虐待の内容は、「心理的虐待（怒鳴る、悪口を言う、仲間に入れない、わざと無視する など）」が最も多くなっています。
- ・虐待を受けたことがある方の虐待を受けた相手は、「働いている場所の人など」が最も多くなっています。
- ・虐待を受けたことがある方の虐待について相談した相手は、「家族」が特に多くなっています。
- ・障害者に対する差別は、「よく感じる」と「時々感じる」をあわせた《感じる》は33.0%、「全く感じない」と「あまり感じない」をあわせた《感じない》は54%となっています。
- ・障害者に対する差別を感じる方がどのようなときに差別を感じるかでは、「区の施設や電車やバスを使うとき」が最も多く、以下、「病院にかかるとき」、「働きたいとき、働いているとき」などとなっています。
- ・差別の相談経験は、「ある」が8%となっています。
- ・選挙投票への参加状況は、「毎回行く」と「時々行く」をあわせた《行く》は59%、「行っていない」と「ほとんど行かない」をあわせた《行かない》は40%となっています。
- ・選挙投票に行かない理由は、「選挙や候補者のことが分からない」、「選挙に関心がない」が多くなっています。

(9) 豊島区等への要望 (119ページ)

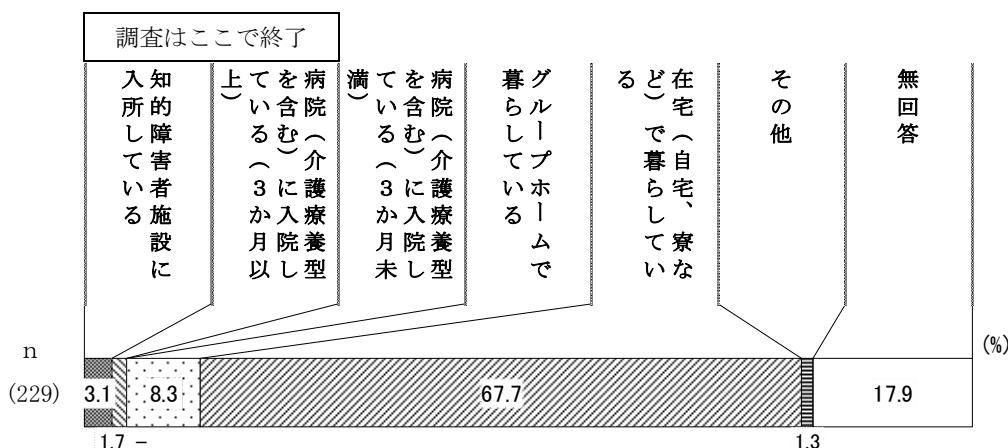
- ・行政に対する要望は、「病気の人や障害者、高齢者が、地震や火事などの災害や事件、事故の時に身を守るための取組み」、「グループホームなどを作る」、「障害を理解してもらうための活動」、「給付金や手当の充実」などが多くなっています。

2. 回答者の属性

(1) 生活の本拠

あなたがいま、生活しているところは、どちらですか。(〇は1つ)
 ※上記の設問で、「知的障害者施設に入所している」、「病院（介護療養型を含む）に入院している（3か月以上）」に回答された方：アンケートはそのままお返してください。ここで終了です。

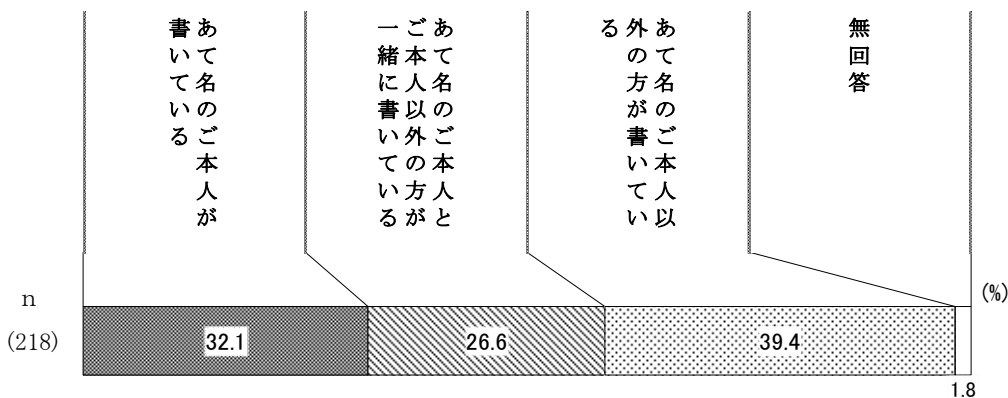
生活の本拠は、「在宅（自宅、寮など）で暮らしている」が67.7%と多くなっています。



(2) アンケート記入者

問1 アンケートを書いている人は、アンケートのあて名になっていた方からみて、どなたにあたりますか。(〇は1つ)

調査票記入者は、「あて名のご本人が書いている」が32.1%、「あて名のご本人とご本人以外の方が一緒に書いている」が26.6%、「あて名のご本人以外の方が書いている」が39.4%となっています。



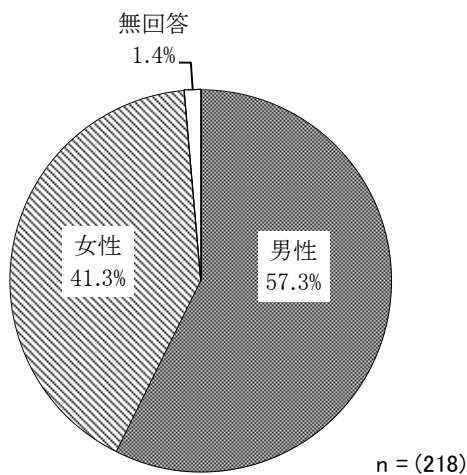
(3) 性別・年齢

問2 あなたの性別と年齢を教えてください。

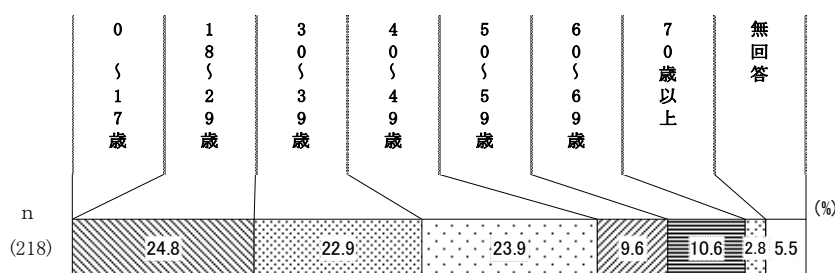
性別は、「男性」が57.3%、「女性」が41.3%となっています。

年齢は、「18～29歳」(24.8%)、「40～49歳」(23.9%)、「30～39歳」(22.9%)が2割台となっています。

【性別】



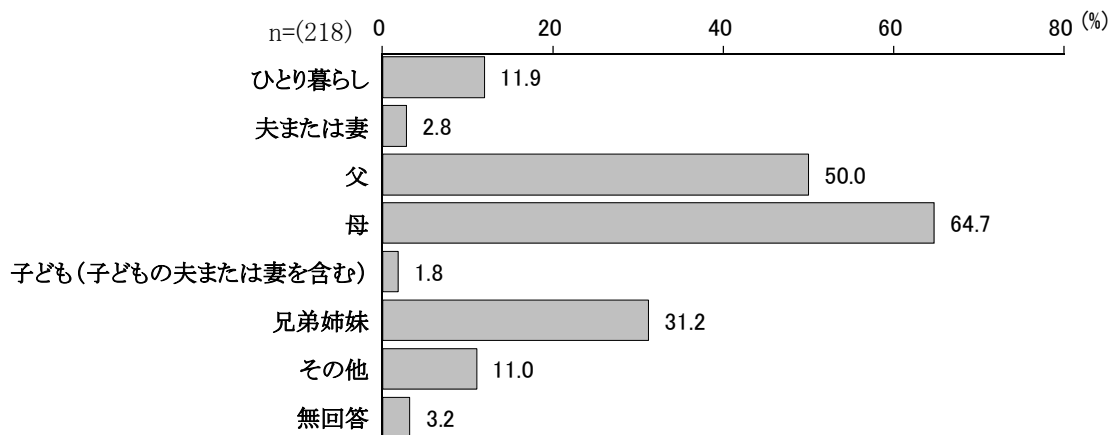
【年齢】



(4) 同居家族

問3 あなたと一緒に住んでいるご家族に○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

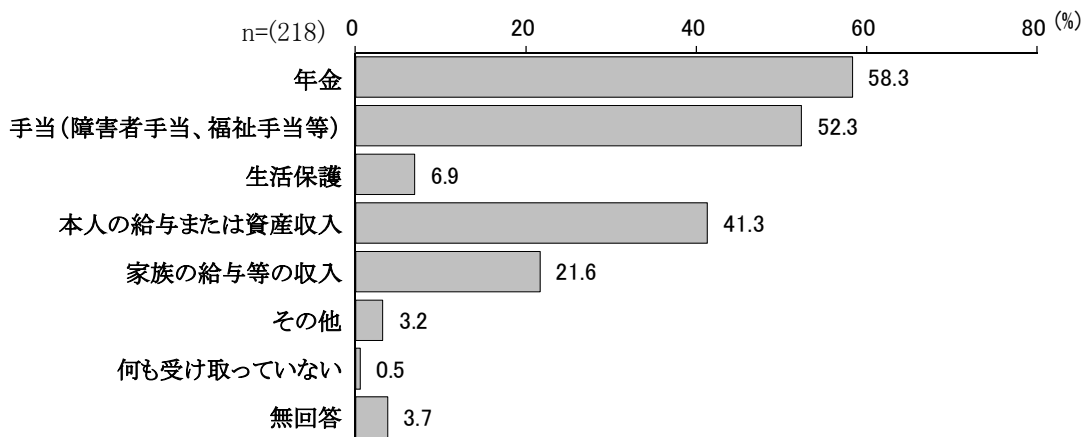
同居家族は、「母」(64.7%)と「父」(50.0%)が多く、これに「兄弟姉妹」が31.2%が続いています。



(5) 収入

問4 あなたの主な収入は何ですか。(あてはまるもの3つまで)

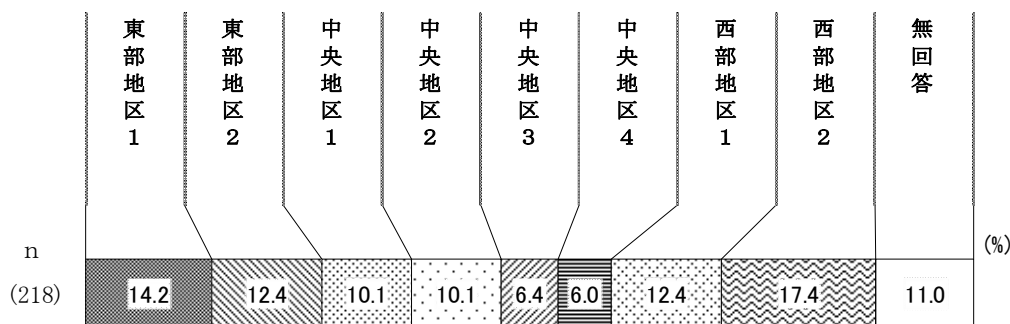
主な収入は、「年金」(58.3%)、「手当(障害者手当、福祉手当等)」(52.3%)が5割台で多く、これに「本人の給与または資産収入」が41.3%、「家族の給与等の収入」が21.6%が続いています。



(6) 居住地区

問5 あなたのお住まいの地区はどこですか。

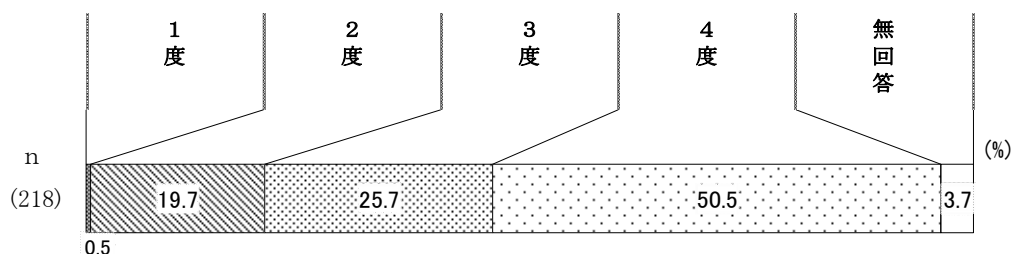
居住地区は、「西部地区2」(17.4%)、「東部地区1」(14.2%)、「東部地区2」、「西部地区1」(ともに12.4%)、「中央地区1」、「中央地区2」(ともに10.1%)が1割台となっています。(居住地区の内訳は5ページを参照)



(7) 愛の手帳の等級

問6 愛の手帳（療育手帳）の等級は何度ですか。（○は1つ）

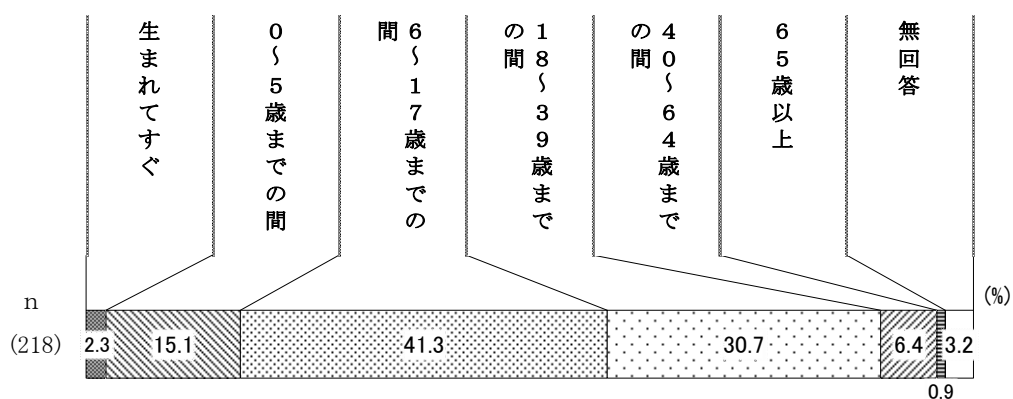
愛の手帳（療育手帳）の等級は、「4度」が50.5%、「3度」が25.7%、「2度」が19.7%となっています。



(8) 手帳の取得時期

問7 初めて手帳をとったのは何歳のときですか。（○は1つ）

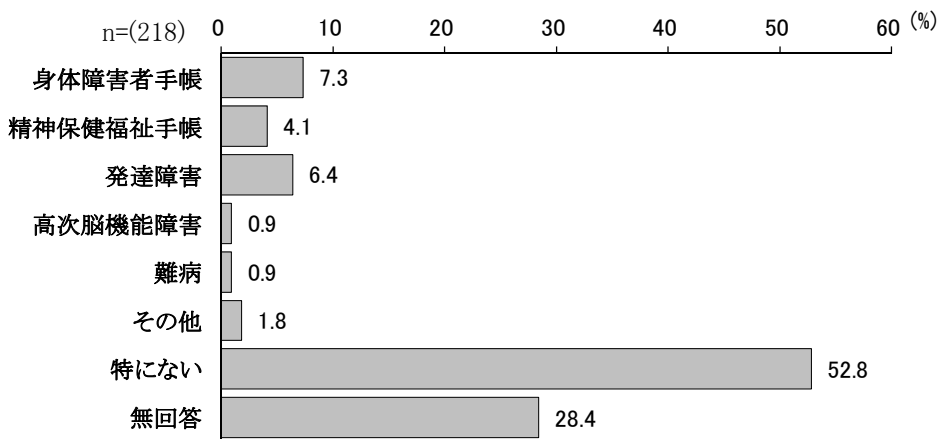
手帳の取得時期は、「6～17歳までの間」が41.3%、「18～39歳までの間」が30.7%となっており、「0～5歳までの間」も15.1%となっています。



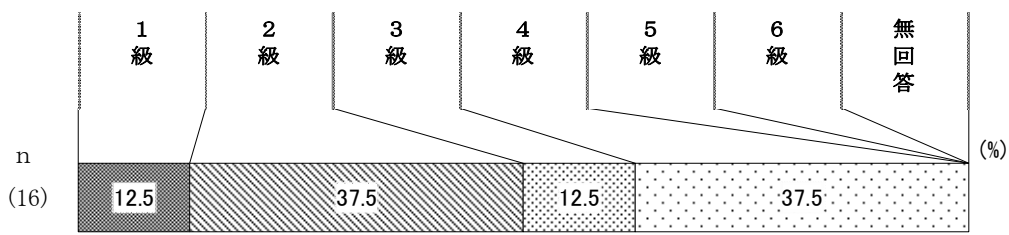
(9) 他に取得している手帳等

問8 他に持っている手帳、障害等があれば教えてください。(あてはまるものすべてに○)

他に取得している手帳等は、いずれも1割未満となっており、「特にない」が52.8%となっています。

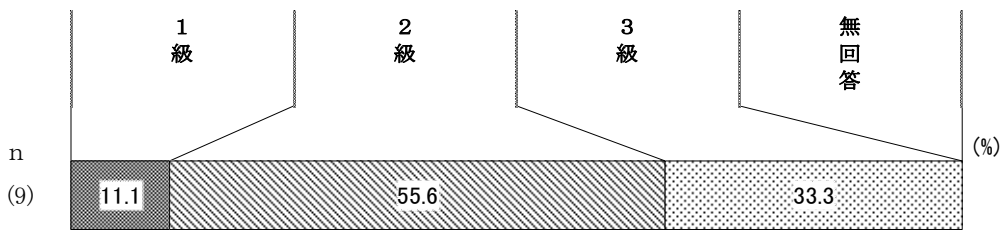


身体障害者手帳の等級



※回答者が少ないため、図は参考程度となります。

精神保健福祉手帳の等級

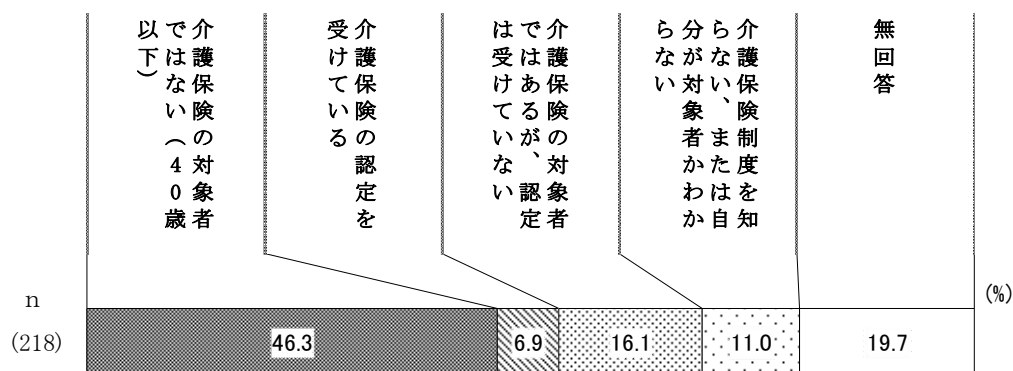


※回答者が少ないため、図は参考程度となります。

(10) 介護保険の認定状況

問9 あなたは、介護保険の認定を受けていますか。(○は1つ)

介護保険の認定の状況は、「介護保険の認定を受けている」が6.9%、「介護保険の対象者ではあるが、認定は受けていない」が16.1%となっています。「介護保険の対象者ではない(40歳以下)」は46.3%となっています。



3. 福祉に関する相談や情報

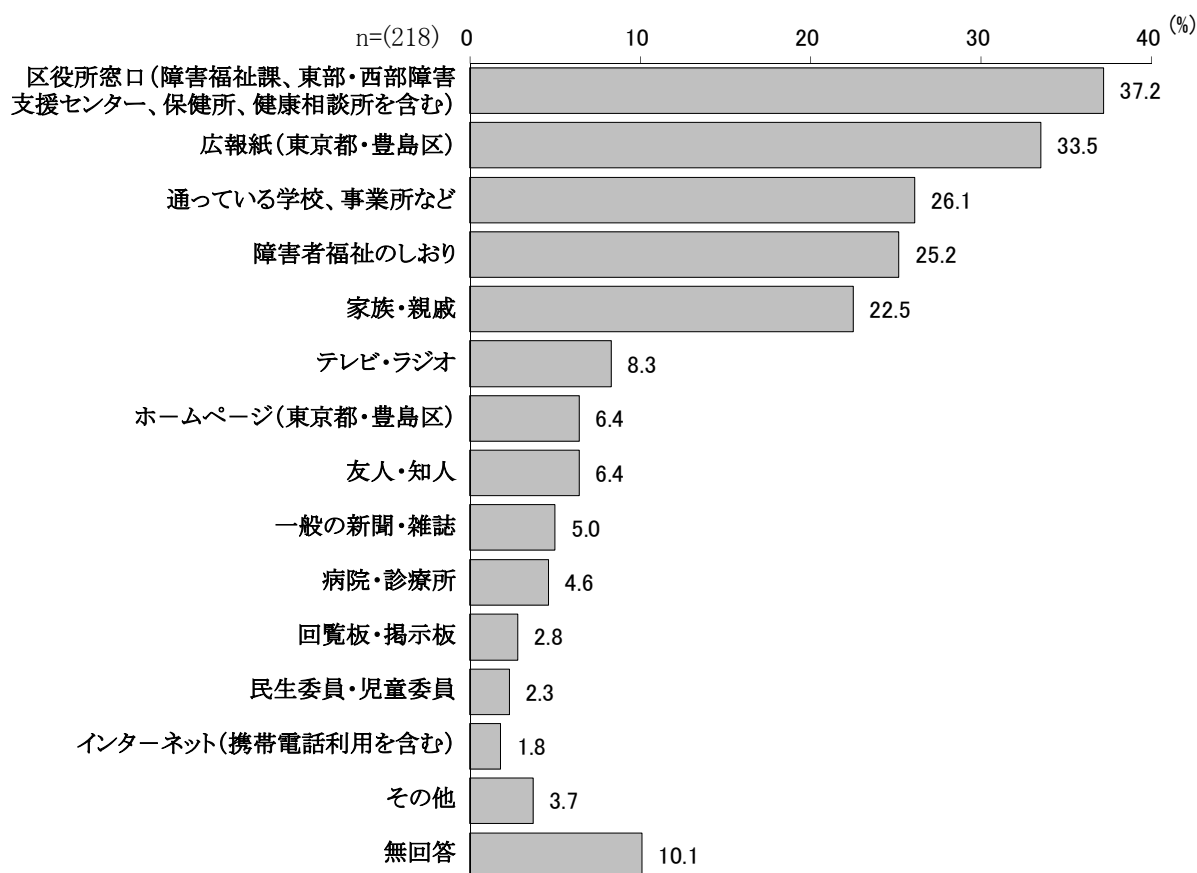
(1) 健康・福祉に関する情報の入手手段

「区役所窓口」、「広報紙」が3割台

問10 健康や福祉に関することについて主にどのようなところで知りますか。

(あてはまるもの3つまで○)

健康・福祉に関する情報の入手手段は、「区役所窓口（障害福祉課、東部・西部障害支援センター、保健所、健康相談所を含む）」(37.2%)、「広報紙（東京都・豊島区）」(33.5%)が3割台で多くっており、以下、「通っている学校、事業所など」(26.1%)、「障害者福祉のしおり」(25.2%)、「家族・親戚」(22.5%)が2割台が続いています。（障害の種類別の調査結果は9ページ1－(1)を参照）



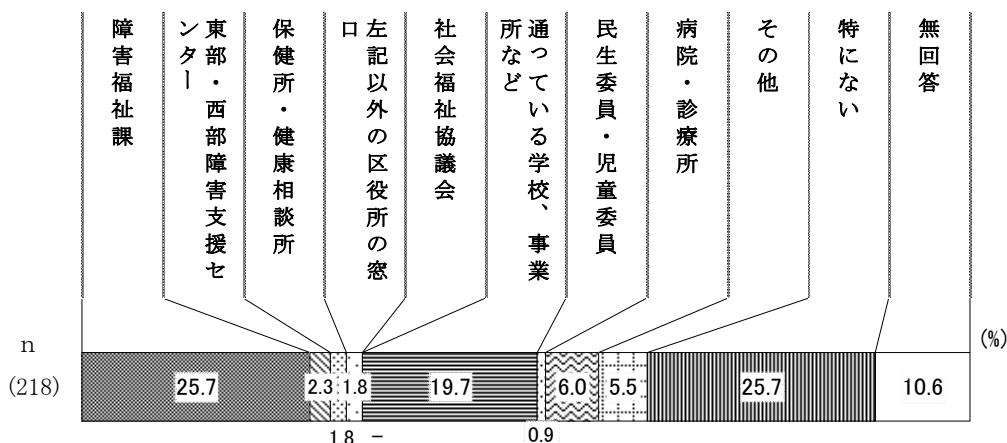
(2) よく利用する相談窓口

「障害福祉課」が25.7%

問11 よく相談するところはどこですか。(○は1つ)

よく利用する相談窓口は、「障害福祉課」が25.7%で最も多く、これに「通っている学校、事業所など」が19.7%が続いています。また、「特にない」が25.7%となっています。

(障害の種類別の調査結果は10ページ1-(2)を参照)



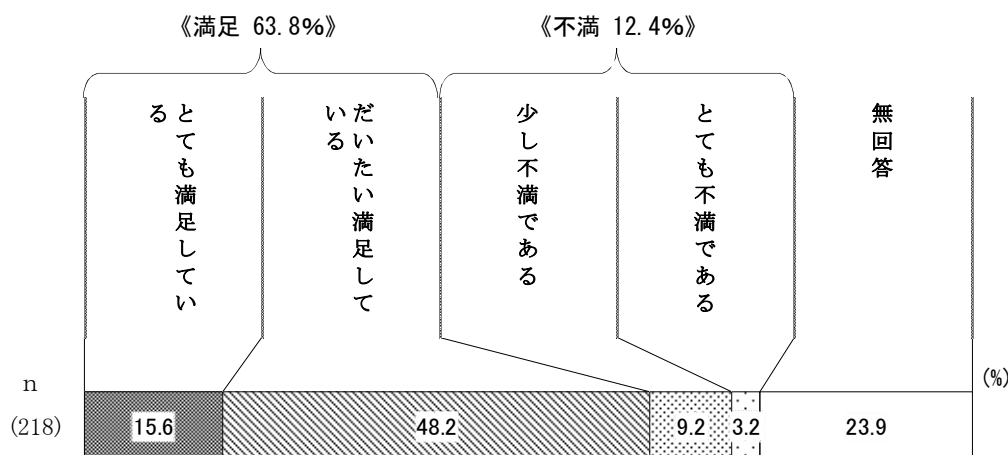
(3) 相談対応の満足度

《満足》が63.8%、《不満》が12.4%

問12 相談について満足していますか。(○は1つ)

相談対応の満足度は、「とても満足している」は15.6%、「だいたい満足している」は48.2%で、両者をあわせた《満足》は63.8%となっています。一方、「とても不満である」(3.2%)と「少し不満である」(9.2%)をあわせた《不満》は12.4%となっています。

(障害の種類別の調査結果は11ページ1-(3)を参照)



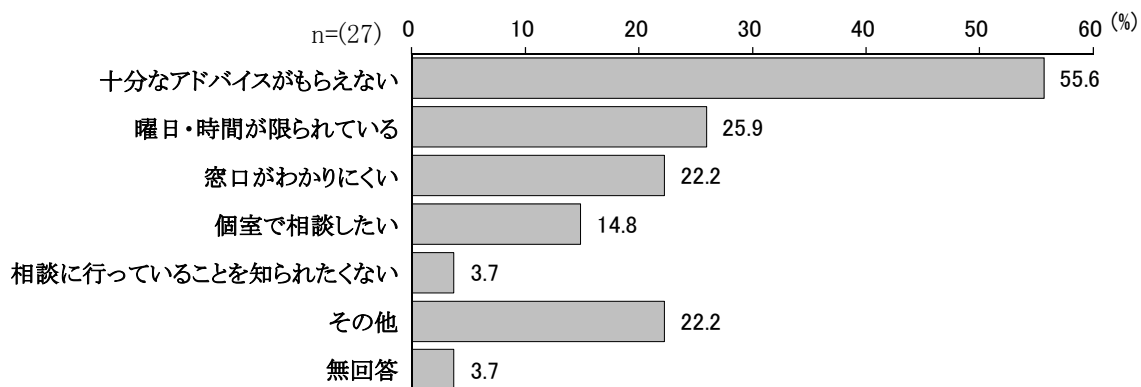
(4) 不満を感じる理由

「十分なアドバイスがもらえない」が55.6%

【問12で「少し不満である」「とても不満である」に答えた方だけに聞きます。】

問12-1 不満な理由は何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

相談対応に不満を感じる理由は、「十分なアドバイスがもらえない」が55.6%で最も多く、以下、「曜日・時間が限られている」(25.9%)、「窓口がわかりにくい」(22.2%)が2割台で続いています。



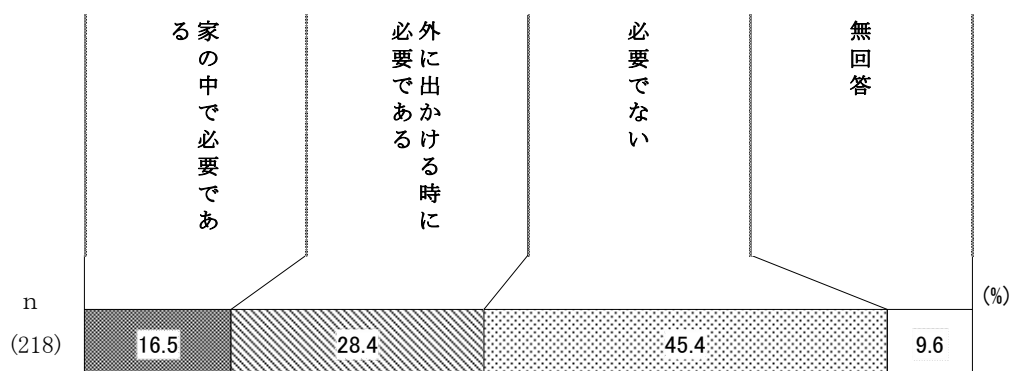
4. 介助

(1) 介助の必要性

「外に出かける時に必要である」が28.4%

問13 あなたは、普段の生活の中で、手助けが必要ですか。(○は1つ)

介助の必要性は、「家の中で必要である」が16.5%、「外に出かける時に必要である」が28.4%となっています。また、「必要でない」は45.4%となっています。



(2) 主な介助者

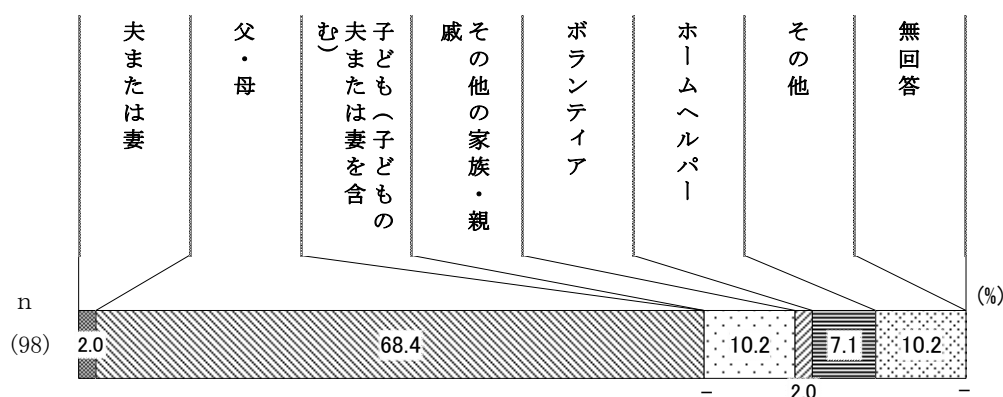
「父・母」が68.4%

【問13で「家の中で必要である」「外に出かける時に必要である」に答えた方だけに聞きます。】

問13-1 主な介助者（あなたをいちばん長い時間、手助けしている方）はどなたですか。

(○は1つ)

主な介助者は、「父・母」が68.4%となっており、「その他の家族・親戚」が10.2%となっています。



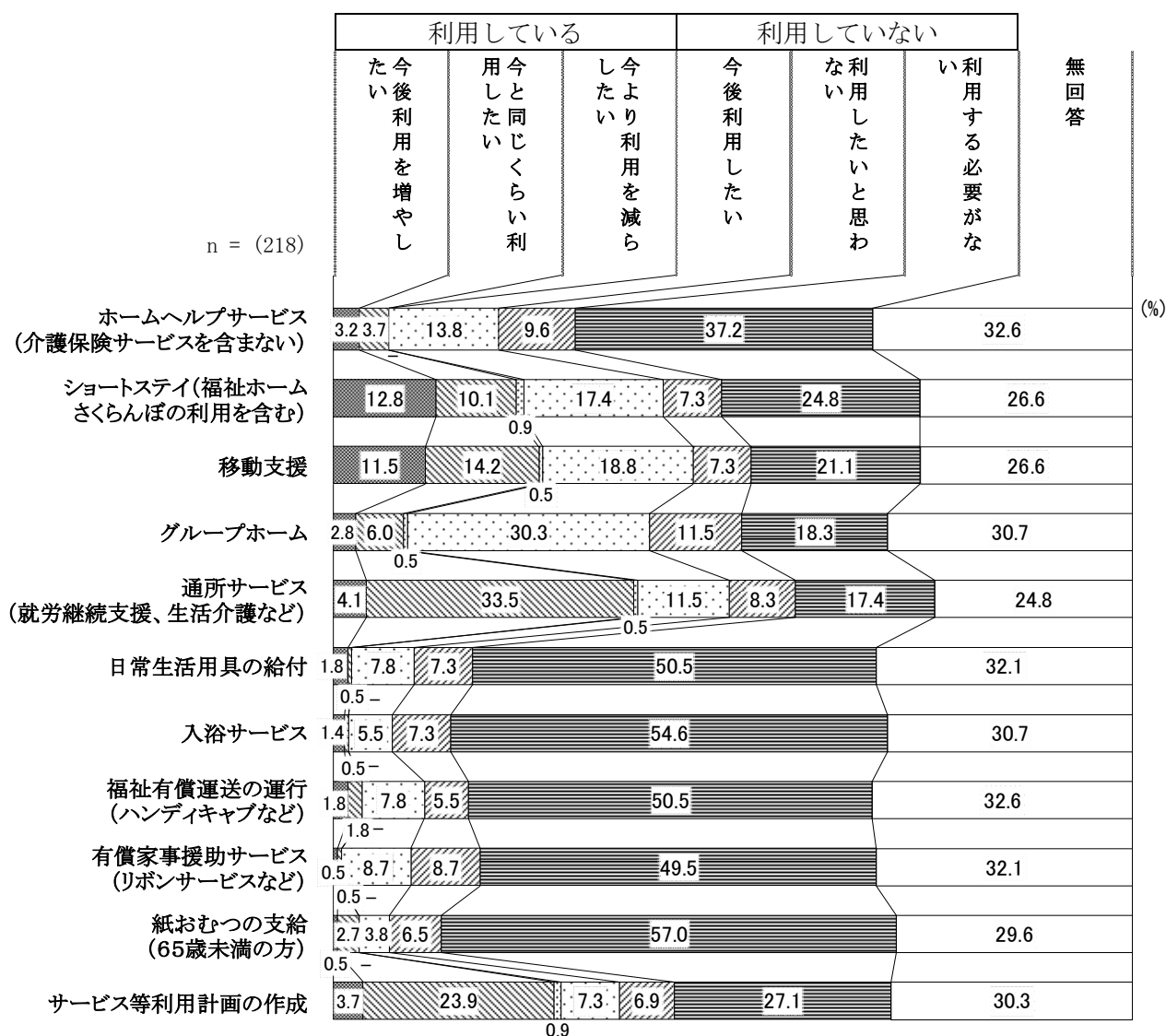
5. サービスの利用状況や今後の利用意向

(1) サービスの利用状況

「今後利用したい」は“グループホーム”が30.3%

問14 あなたは次のサービスを利用したことがありますか。(各項目につき○は1つ)

サービスの利用状況について「今後利用を増やしたい」は、“ショートステイ（福祉ホームさくらんぼの利用を含む）”（12.8%），“移動支援”（11.5%）が1割台となっています。「今後利用したい」は、「グループホーム」が30.3%，“移動支援”（18.8%），“ショートステイ（福祉ホームさくらんぼの利用を含む）”（17.4%），“ホームヘルプサービス（介護保険サービス含まない）”（13.8%），“通所サービス（就労継続支援、生活介護など）”（11.5%）が1割台となっています。



※「紙おむつの支給」は65歳未満限定のため、この項目のみ n=186 となります。

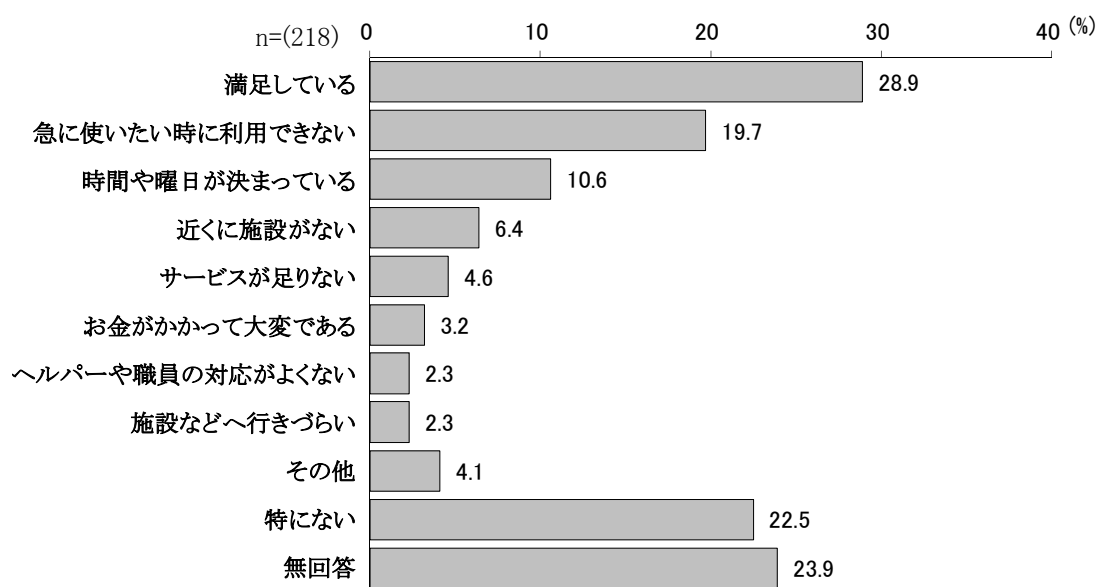
(2) サービスについての考え

「満足している」が28.9%

問15 利用しているサービスについて、どのように感じていますか。

(あてはまるもの3つまで○)

サービスについての考えは、「満足している」が28.9%で最も多く、以下、「急に使いたい時に利用できない」(19.7%)、「時間や曜日が決まっている」(10.6%)が1割台が続いています。また、「特にない」が22.5%となっています。



6. 外出の状況

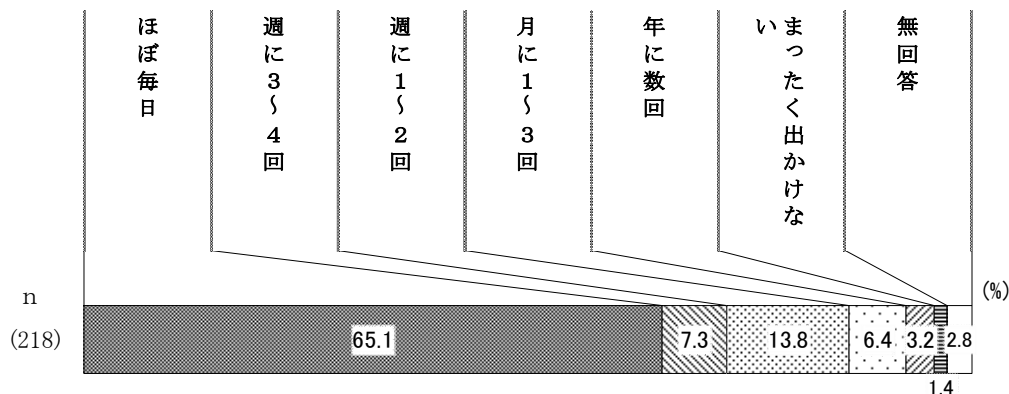
(1) 外出の頻度

「ほぼ毎日」が65.1%

問16 外にどのくらい出かけますか。(○は1つ)

外出の頻度は、「ほぼ毎日」が65.1%、「週に1～2回」が13.8%となっています。

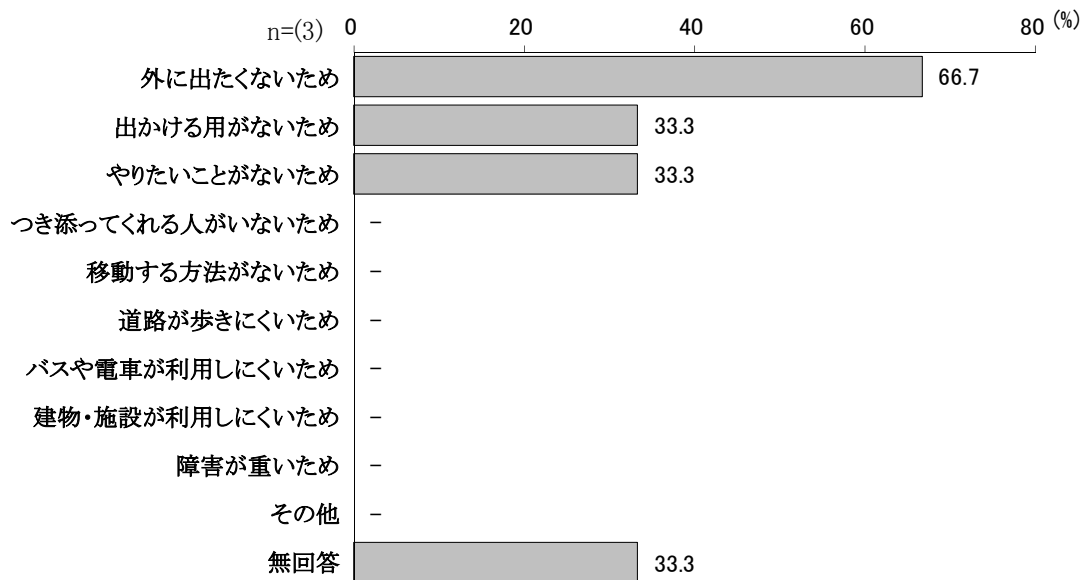
(障害の種類別の調査結果は12ページ2-(1)を参照)



(2) 外出しない理由

【問16で「まったく出かかない」と答えた方だけに聞きます。】

問16-1 出かかないのはどうしてですか。(あてはまるもの3つまで○)



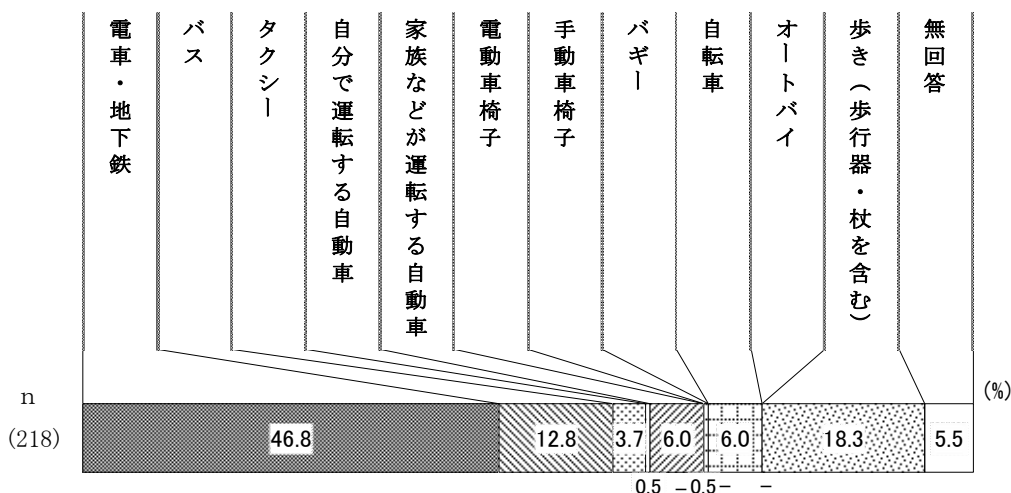
※回答者が少ないため、図は参考程度となります。

(3) よく利用する外出手段

「電車・地下鉄」が46.8%

問17 あなたが出かける時に、もっともよく利用するのはどれですか。(○は1つ)

よく利用する外出手段は、「電車・地下鉄」が46.8%で最も多く、以下、「歩き（歩行器・杖を含む）」が18.3%、「バス」が12.8%が続いています。



(4) 外出時にけがをした経験

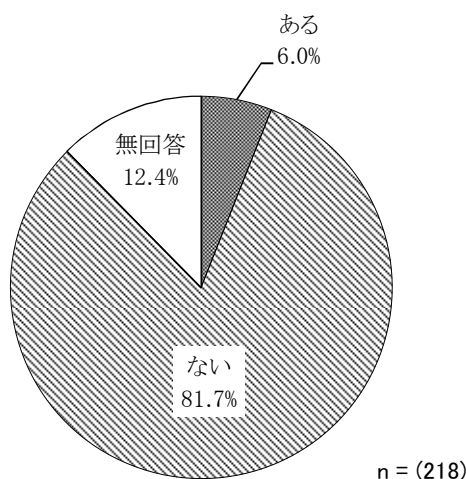
「ある」は6.0%

豊島区は、「セーフコミュニティ」の認証を取得しました。セーフコミュニティとは、「けがや事故等は、防ぐことができる」という考え方のもと、地域のつながりを活用して、安心、安全なまちづくりを目指す活動です。以下、「けが」についてのご質問にお答えください。

問18 外に出かけた時に、ここ1年以内に「けが」をしたことがありますか。(○は1つ)

外出時にけがをした経験は、「ある」が6.0%、「ない」が81.7%となっています。

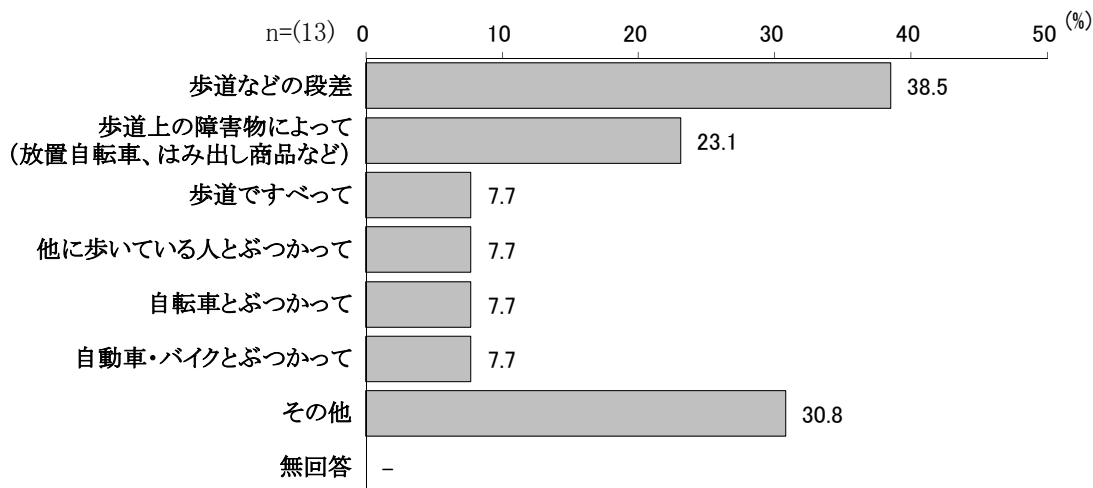
(障害の種類別の調査結果は13ページ2-(2)を参照)



(5) けがをした理由

【問18で「ある」と答えた方だけに聞きます。】

問18-1 「けが」をしたのはどうしてですか。(あてはまるものすべてに○)

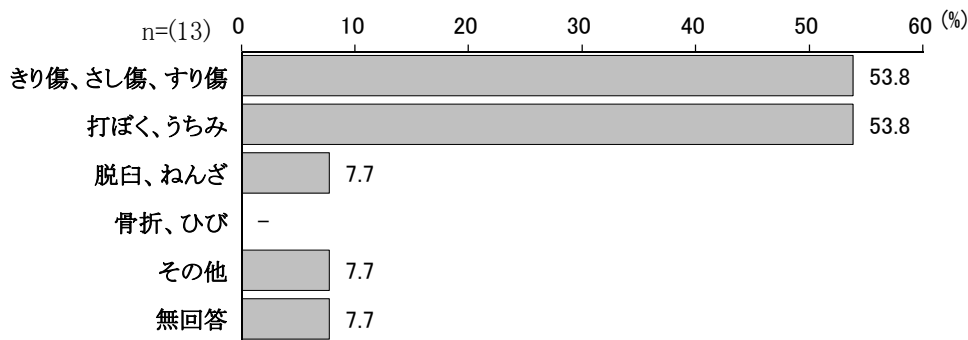


※回答者が少ないため、図は参考程度となります。

(6) 外出時のけがの種類

【問18で「ある」と答えた方だけに聞きます。】

問18-2 どのような「けが」をしましたか。(あてはまるものすべてに○)



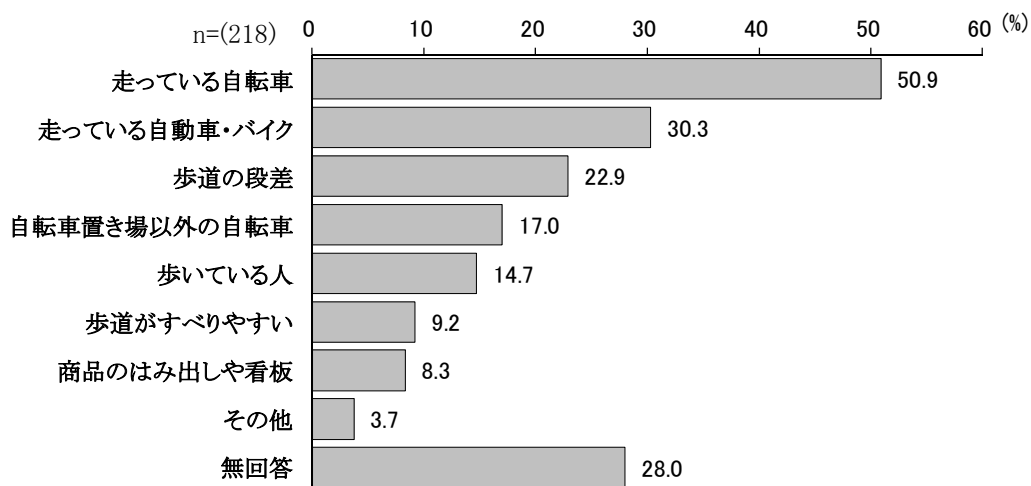
※回答者が少ないため、図は参考程度となります。

(7) 外出時に危険を感じたこと

「走っている自転車」が50.9%

問19 最近、外に出かけた時に危ないと感じたことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

外出時に危険を感じたことは、「走っている自転車」が50.9%で最も多く、以下、「走っている自動車・バイク」が30.3%、「歩道の段差」が22.9%、「自転車置き場以外の自転車」(17.0%)、「歩いている人」(14.7%)が1割台で続いています。



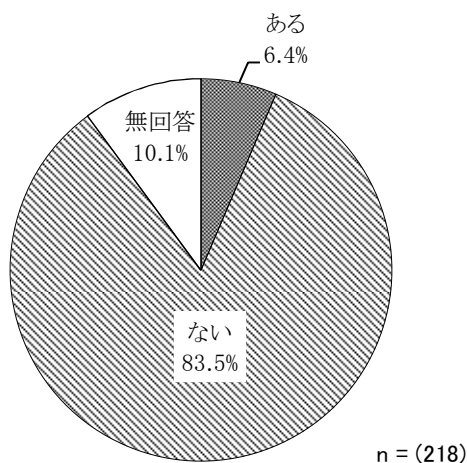
(8) 自宅内でけがをした経験

「ある」は6.4%

問20 ご自分の家の中で、ここ1年以内に「けが」をしたことがありますか。(○は1つ)

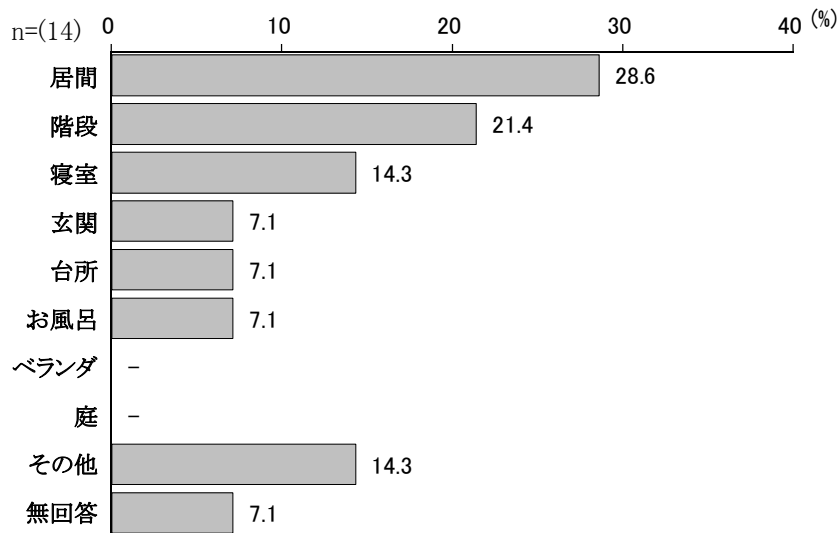
自宅内でけがをした経験は、「ある」が6.4%、「ない」が83.5%となっています。

(障害の種類別の調査結果は14ページ2-(3)を参照)



(9) けがをした自宅内の場所

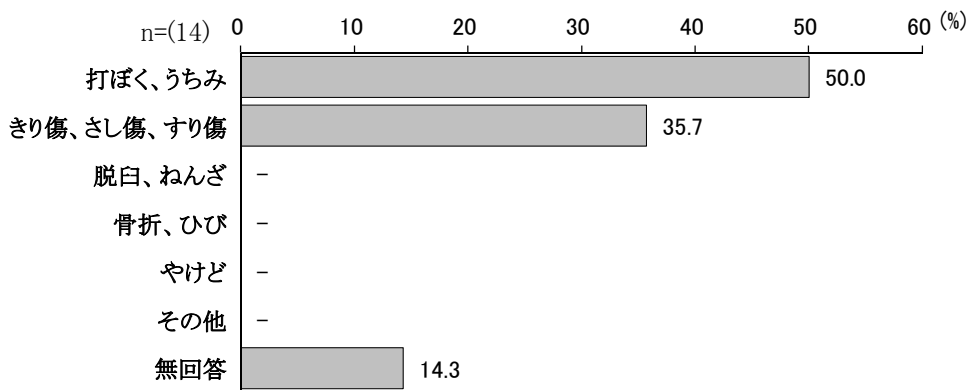
【問20で「ある」と答えた方だけに聞きます。】
 問20-1 けがをした場所は、どこですか。(あてはまるものすべてに○)



※回答者が少ないため、図は参考程度となります。

(10) 自宅内のけがの種類

【問20で「ある」と答えた方だけに聞きます。】
 問20-2 どのような「けが」をしましたか。(あてはまるものすべてに○)



※回答者が少ないため、図は参考程度となります。

(11) まちのバリアフリーについての満足度

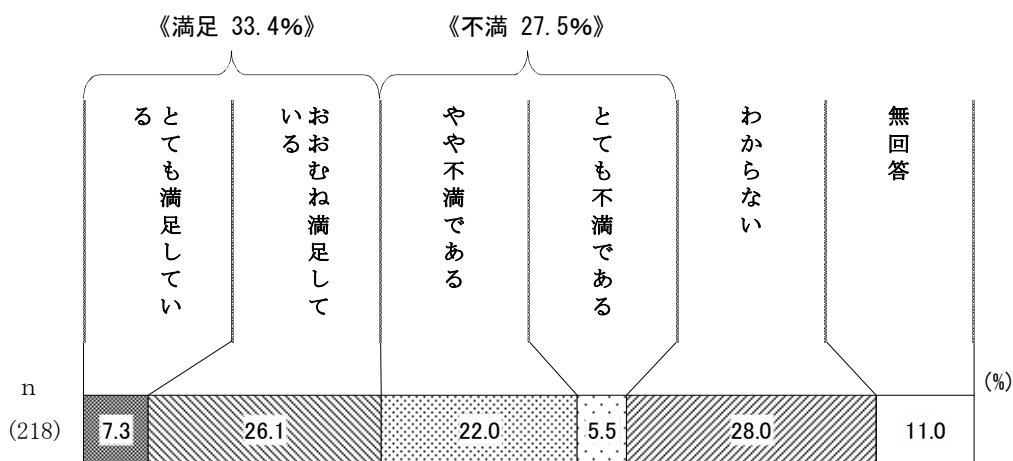
《満足》は33.4%、《不満》は27.5%

問21 まちのバリアフリーについて満足していますか。(○は1つ)

※バリアフリーとは、障害者や高齢者が生活の中で、不便になるもの(バリア)を取り除き、生活しやすくするという意味です。例えば、歩道の段差をなくすことや駅のエレベーター、わかりやすい掲示板をつくることなどです。

まちのバリアフリーについての満足度は、「とても満足している」が7.3%、「おおむね満足している」は26.1%で、両者をあわせた《満足》は33.4%となっています。一方、「とても不満である」(5.5%)と「やや不満である」(22.0%)をあわせた《不満》は27.5%となっています。

(障害の種類別の調査結果は15ページ2-(4)を参照)



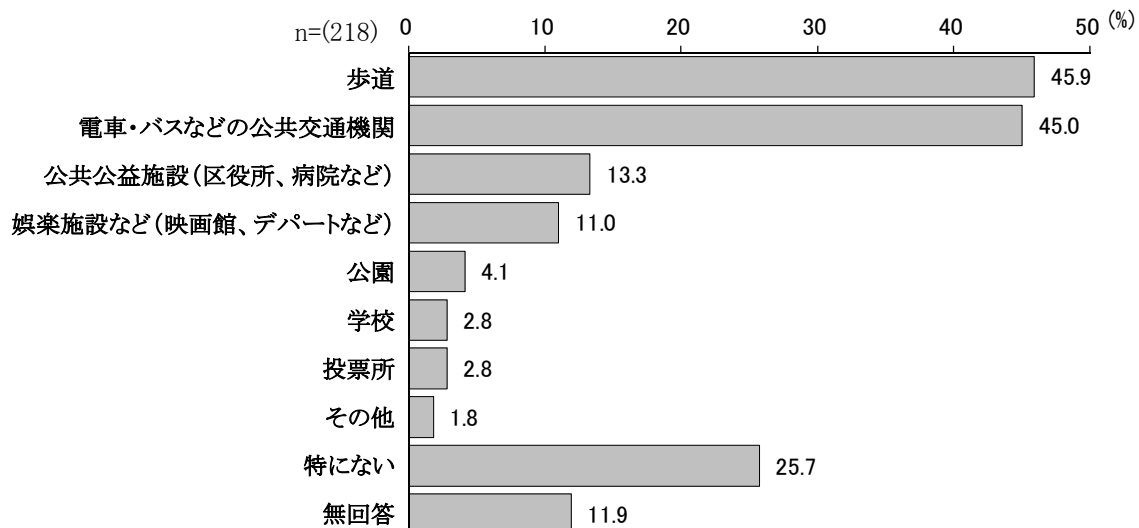
(12) 急いでバリアフリーを進めてほしい施設

「歩道」、「電車、バス等の公共交通機関」が4割台

問22 区内の施設で、早くバリアフリーをすすめてほしいと思うものは次のどれですか。

(あてはまるもの3つまで○)

急いでバリアフリーを進めてほしい施設は、「歩道」(45.9%)、「電車・バスなどの公共交通機関」(45.0%)の2項目が4割台で特に多くなっています。また、「特にない」が25.7%となっています。



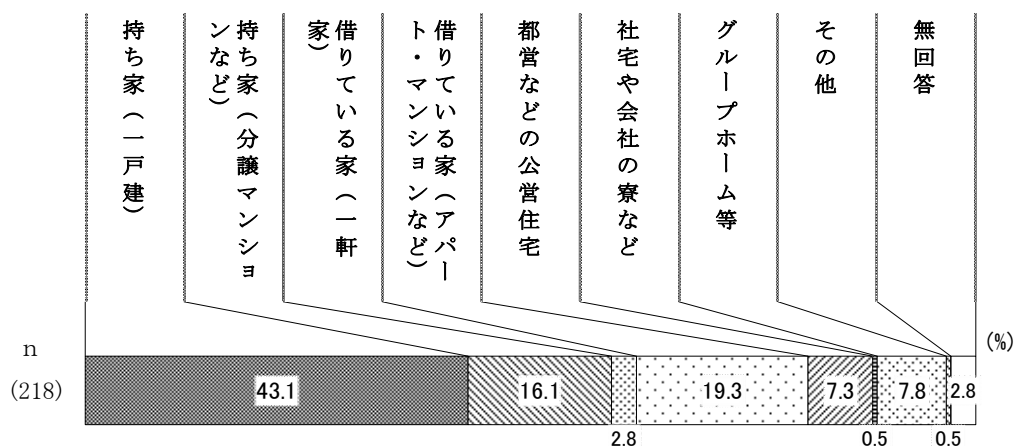
7. 住居の状況

(1) 住居形態

「持ち家（一戸建）」が43.1%

問23 あなたの住んでいる家は、次のうちどれですか。（○は1つ）

住居形態は、「持ち家（一戸建）」が43.1%、「借りている家（アパート・マンションなど）」が19.3%、「持ち家（分譲マンションなど）」が16.1%となっています。

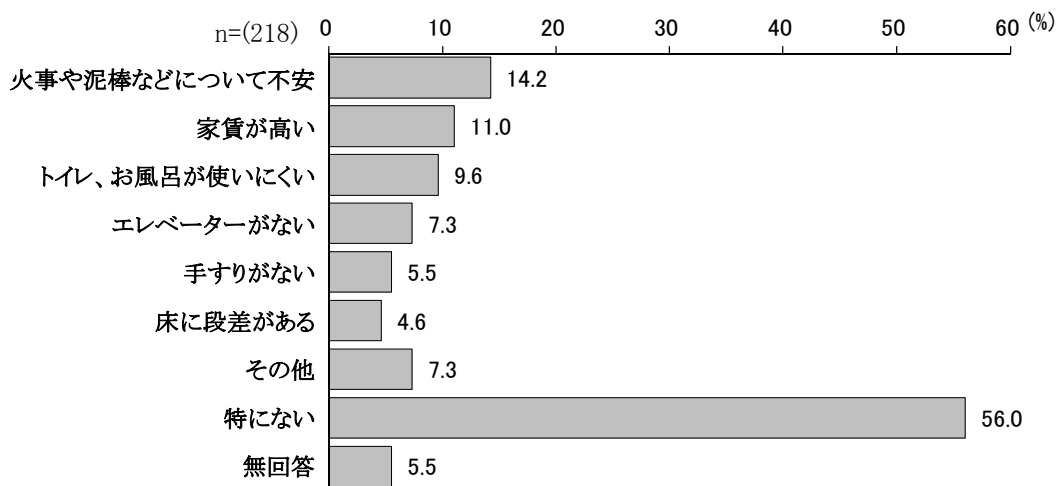


(2) 住まいについて困っていること

「家事や泥棒などについて不安」が14.2%

問24 住んでいる家について、困っていることは何ですか。（あてはまるもの3つまで○）

住まいについて困っていることは、「家事や泥棒などについて不安」が14.2%で最も多く、これに「家賃が高い」（11.0%）、「トイレ、お風呂が使いにくい」（9.6%）が1割前後が続いています。また、「特にない」が56.0%となっています。



8. 就労の状況

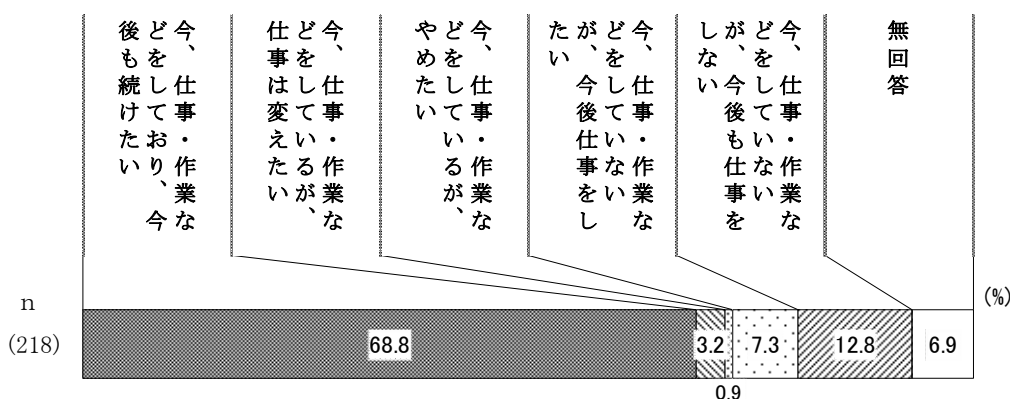
(1) 現在の就労状況と今後の就労意向

「今、仕事・作業などをしており、今後も続けたい」が68.8%

問25 あなたはいま、仕事・作業などをしてますか。また、これからはどうしたいと考えていますか。(生活介護・就労移行支援・就労継続支援A型/B型・地域活動支援センターでの作業も入ります。家事は仕事・作業には入りません。また今仕事を休んでいる方も仕事をしているを選んでください。)(○は1つ)

現在の就労状況と今後の就労意向は、「今、仕事・作業などをしており、今後も続けたい」が68.8%、「今、仕事・作業などをしていないが、今後仕事をしたい」は7.3%となっています。また、「今、仕事・作業などをしていないが、今後も仕事をしない」は12.8%となっています。

(障害の種類別の調査結果は17ページ3-(1)を参照)



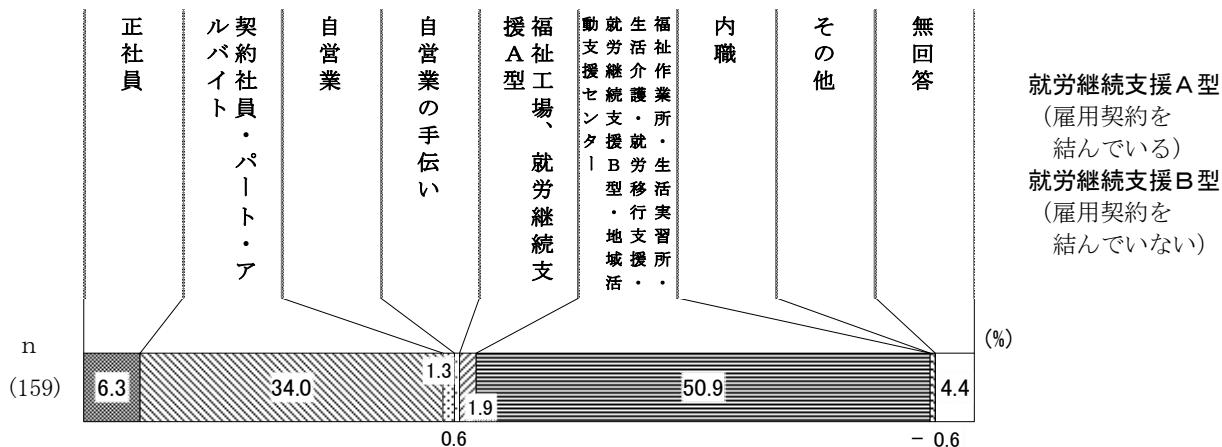
(2) 現在の就労の形態

「福祉作業所・就労継続支援B型等」が50.9%

【問25で「今、仕事・作業などをしており、今後も続けたい」「今、仕事・作業などをしていないが、仕事は変えたい」「今、仕事・作業などをしているが、やめたい」と答えた方だけに聞きます。】

問25-1 あなたは、どのような仕事・作業などをしてますか。(○は1つ)

今、仕事・作業などをしている方の現在の就労の形態は、「福祉作業所・生活実習所・生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型・地域活動支援センター」が50.9%、「契約社員・パート・アルバイト」が34.0%となっています。



(3) 現在の月収

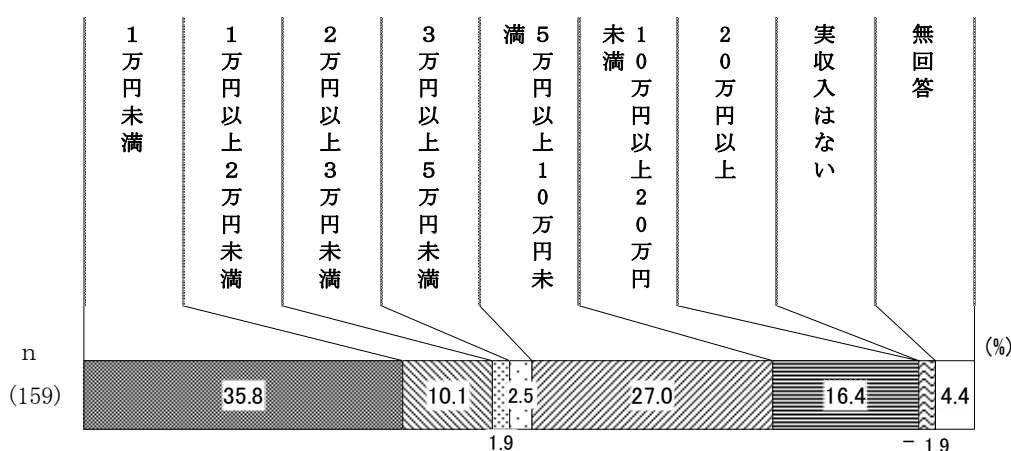
「1万円未満」が35.8%

【問25で「今、仕事・作業などをしており、今後も続けたい」「今、仕事・作業などをしてい
るが、仕事は変えたい」「今、仕事・作業などをしてい
るが、やめたい」と答えた方だけに
聞きます。】

問25-2 仕事・作業などでもらう1か月のお給料はどれくらいですか。(○は1つ)

今、仕事・作業などをしている方の現在の月収は、「1万円未満」が35.8%、「5万円以上10万円未
満」が27.0%、「10万円以上20万円未満」が16.4%となっています。

(障害の種類別の調査結果は18ページ3-(2)を参照)



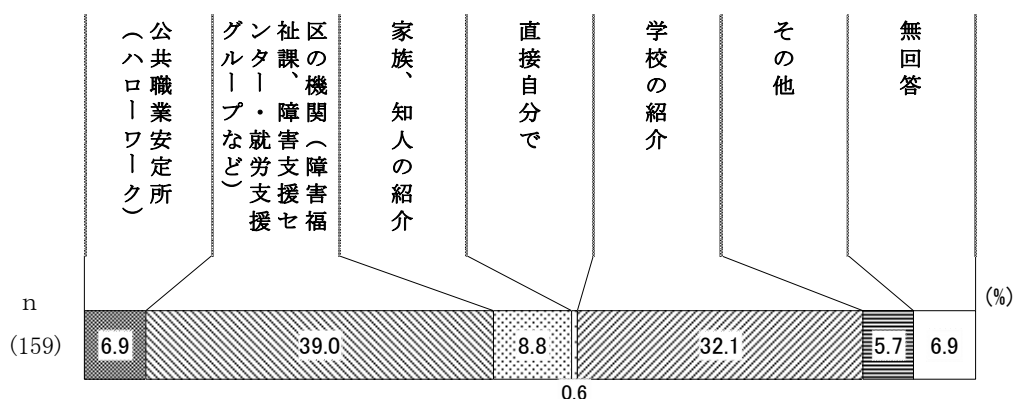
(4) 現在の仕事・作業などを見つけた方法

「区の機関」、「学校の紹介」が3割台

【問25で「今、仕事・作業などをしており、今後も続けたい」「今、仕事・作業などをしてい
るが、仕事は変えたい」「今、仕事・作業などをしてい
るが、やめたい」と答えた方だけに
聞きます。】

問25-3 いまの仕事・作業などは、どのような方法で見つけましたか。(○は1つ)

今、仕事・作業などをしている方の現在の仕事・作業などを見つけた方法は、「区の機関（障害福祉
課、障害支援センター・就労支援グループなど）」が39.0%、「学校の紹介」が32.1%で多くなっていま
す。



(5) 現在の仕事・作業などに対する悩みや不満

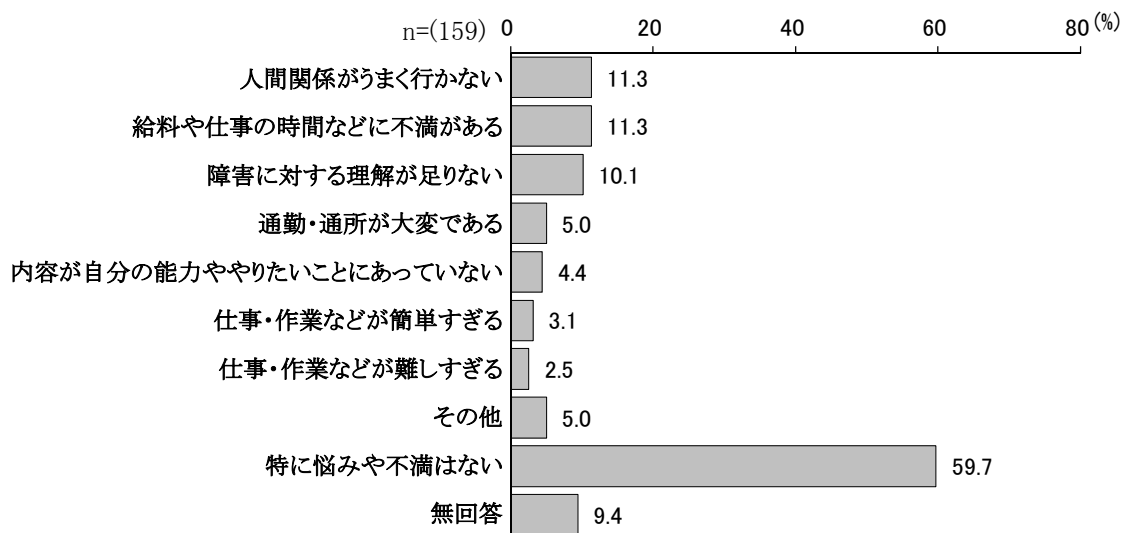
人間関係、賃金・待遇等、障害への理解が1割台

【問25で「今、仕事・作業などをしており、今後も続けたい」「今、仕事・作業などをしてい
るが、仕事は変えたい」「今、仕事・作業などをしてい
るが、やめたい」と答えた方だけに
聞きます。】

問25-4 いまの仕事・作業などについて、悩みや不満などはありますか。

(あてはまるもの3つまで○)

今、仕事・作業などをしてい
る方の仕事・作業などに対する悩みや不満は、「人間関係がうまく行か
ない」、「給料や仕事の時間などに不満がある」(ともに11.3%)、「障害に対する理解が足りない」
(10.1%)が1割台となっています。また、「特に悩みや不満はない」が59.7%となっています。



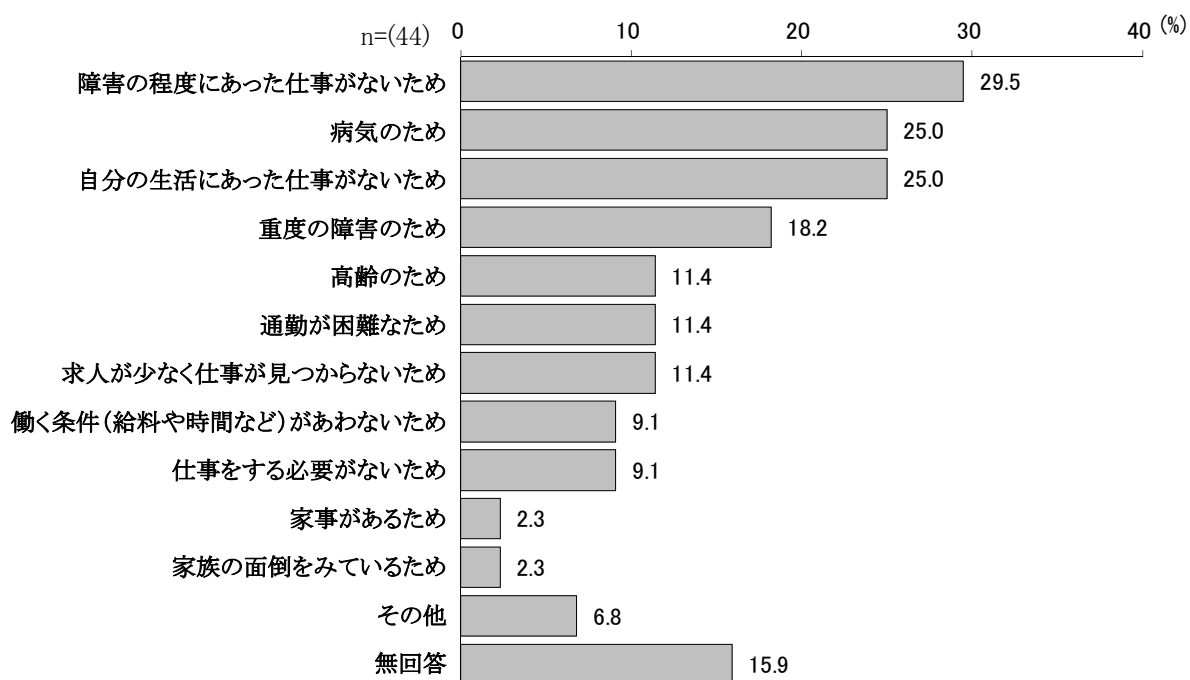
(6) 現在仕事・作業などをしていない主な理由

「障害の程度にあった仕事がないため」が29.5%

【問25で「今、仕事・作業などをしていないが、今後仕事をしたい」「今、仕事・作業などをしていないが、今後も仕事をしない」と答えた方だけに聞きます。】

問26 仕事・作業などをしていない主な理由は何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

今、仕事・作業などをしていない方のその主な理由は、「障害の程度にあった仕事がないため」が29.5%で最も多く、以下、「病気のため」、「自分の生活にあった仕事がないため」がともに25.0%、「重度の障害のため」が18.2%で続いています。

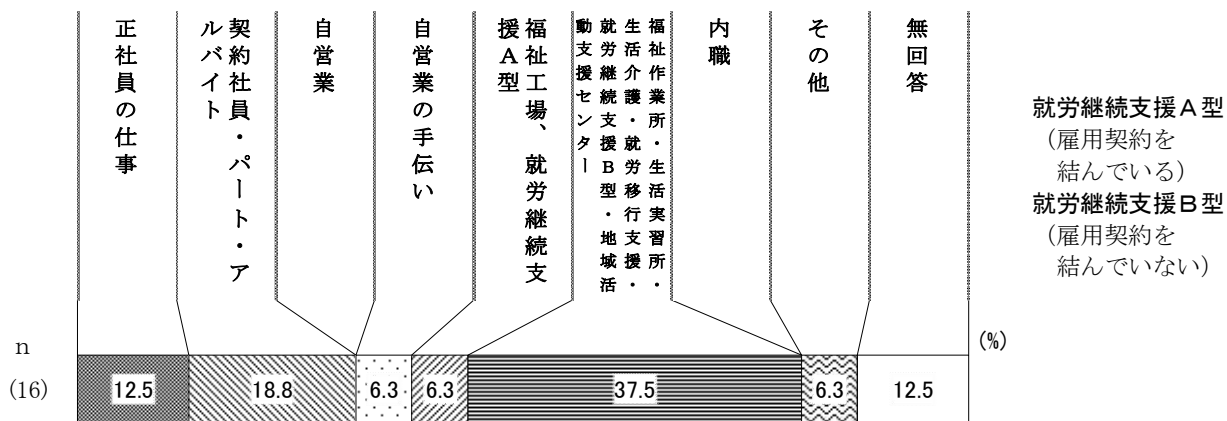


(7) 今後希望する就労の形態

「福祉作業所・就労継続支援B型等」が37.5%

【問25で「今、仕事・作業などをしていないが、今後仕事をしたい」と答えた方だけに聞きます。】

問26-1 あなたは、今後どのような仕事・作業などをしたいですか。(〇は1つ)



※回答者が少ないため、図は参考程度となります。

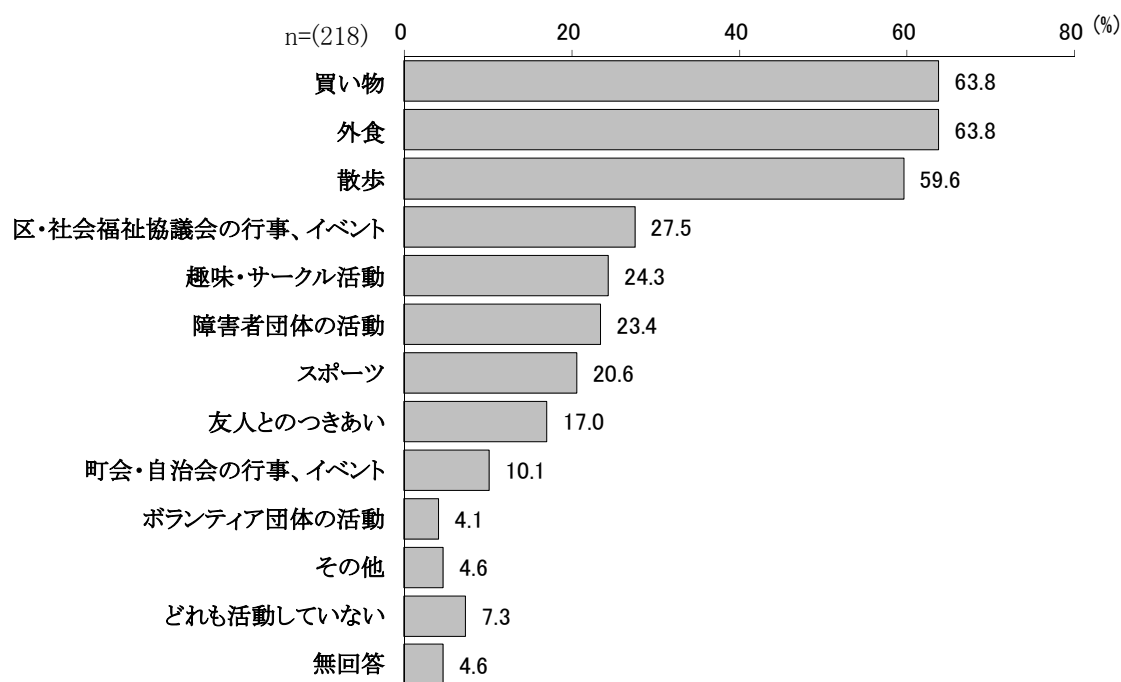
9. 社会参加等

(1) 最近1年間に行った活動

「買い物」、「外食」が63.8%、「散歩」も59.6%

問27 最近1年間に、どのような活動をしましたか。(あてはまるものすべてに○)

最近1年間に行った活動は、「買い物」、「外食」（ともに63.8%）、「散歩」（59.6%）の3項目が特に多く、以下、「区・社会福祉協議会の行事、イベント」（27.5%）、「趣味・サークル活動」（24.3%）、「障害者団体の活動」（23.4%）、「スポーツ」（20.6%）が2割台で続いています。



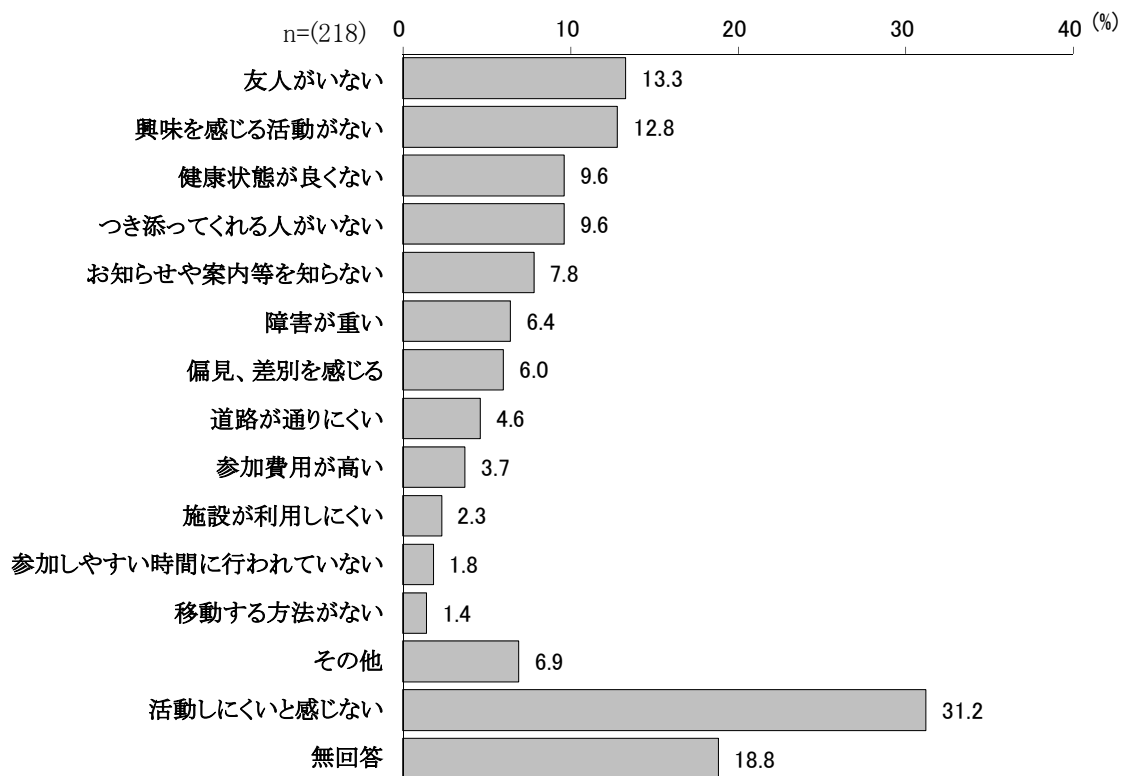
(2) 活動しにくい理由

「友人がいない」、「興味を感じる活動がない」が1割台

問28 活動する際に、何か困ること、活動しにくいと感じることはありますか。

(あてはまるもの3つまで○)

活動しにくい理由は、「友人がいない」(13.3%)、「興味を感じる活動がない」(12.8%)が1割台、これに「健康状態が良くない」、「つき添ってくれる人がいない」がともに9.6%で続いています。また、「活動しにくいと感じない」が31.2%となっています。

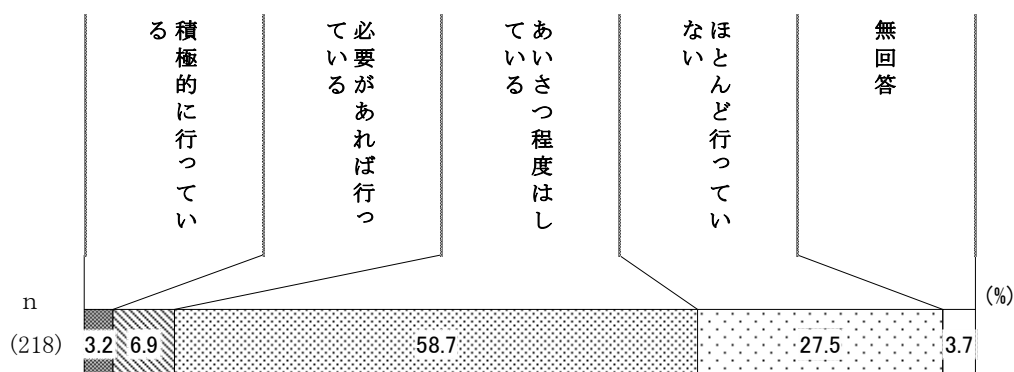


(3) 近所つき合い

「あいさつ程度はしている」が58.7%

問29 ご近所とのおつき合いは、次のうちどれにあてはまりますか。(○は1つ)

近所つき合いは、「積極的に行っている」が3.2%、「必要があれば行っている」が6.9%と1割未満となっていますが、「あいさつ程度はしている」は58.7%となっています。また、「ほとんど行っていない」が27.5%となっています。(障害の種類別の調査結果は19ページ4-(1)を参照)



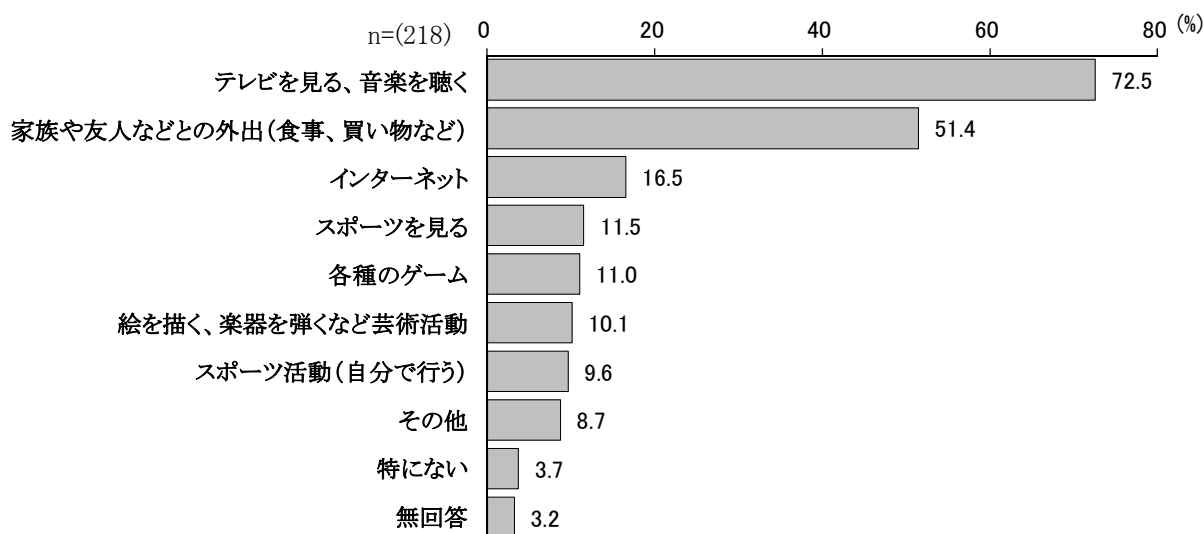
(4) 現在楽しんでいる余暇活動

「テレビを見る、音楽を聴く」が72.5%

問30 休みの日にあなたが楽しんでいることは何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

現在楽しんでいる余暇活動は、「テレビを見る、音楽を聴く」(72.5%)、「家族や友人などとの外出(食事、買い物など)」(51.4%)の2項目が特に多くなっています。

(障害の種類別の調査結果は20ページ4-(2)を参照)



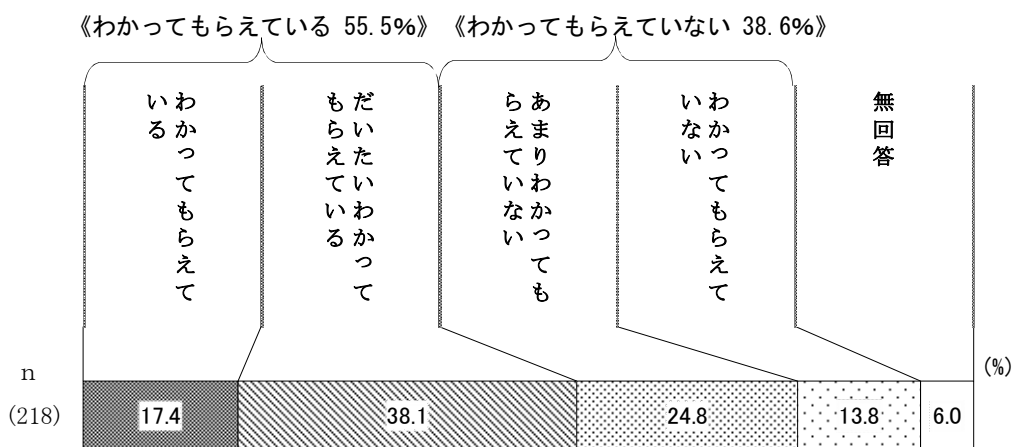
(5) 地域の方々の障害・疾病に対する理解

《わかってもらえている》が55.5%、《わかってもらえていない》が38.6%

問31 地域で生活する中で、周りの人に障害や病気に対して分かってもらえていると感じていますか。(○は1つ)

地域の方々の障害・疾病に対する理解は、「わかってもらえている」が17.4%、「だいたいわかってもらえている」が38.1%で両者をあわせた《わかってもらえている》は55.5%となっています。一方、「わかってもらえていない」(13.8%)と「あまりわかってもらえていない」(24.8%)をあわせた《わかってもらえていない》は38.6%となっています。

(障害の種類別の調査結果は21ページ4-(3)を参照)



(6) 運動やスポーツへの活動意向と現況

「行っている」が26.6%

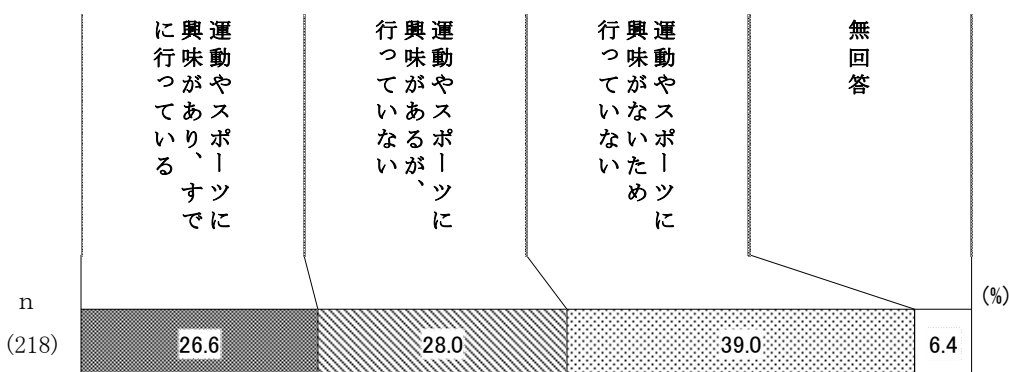
2020年オリンピック・パラリンピック東京大会があります。運動やスポーツについてお聞きます。

問32 運動やスポーツをやりたいと思いますか、また、運動やスポーツをしていますか。

※ここでの「運動やスポーツ」は、ウォーキングや体操、ストレッチなどの軽い運動も含みます。(〇は1つ)

運動やスポーツへの活動意向と現況は、「運動やスポーツに興味があり、すでに行っている」は26.6%となっています。「運動やスポーツに興味があるが、行っていない」は28.0%、「運動やスポーツに興味がないため行っていない」は39.0%となっています。

(障害の種類別の調査結果は22ページ4-(4)を参照)



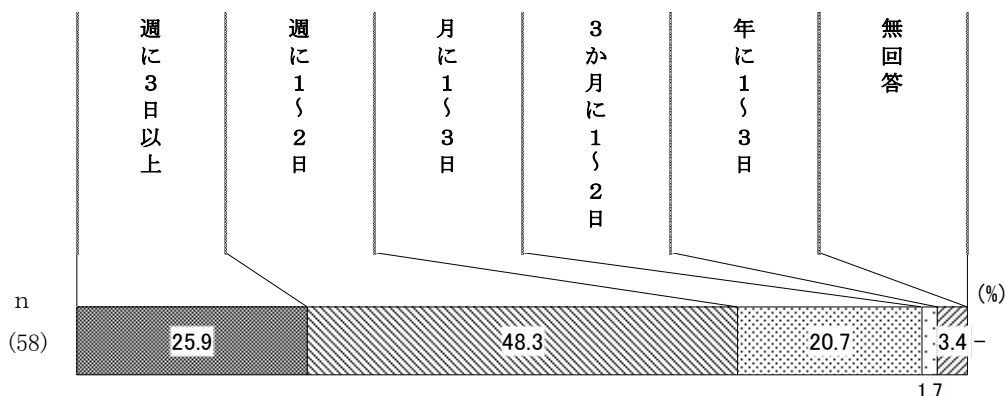
(7) 運動やスポーツの実施頻度

「週に1~2日」が48.3%

【問32で「運動やスポーツに興味があり、すでに行っている」と答えた方にお聞きします。】

問32-1 運動やスポーツをどれくらい行っていますか。(〇は1つ)

運動やスポーツを行っている人の実施頻度は、「週に1~2日」が48.3%と多く、「週に3日以上」(25.9%)、「月に1~3日」(20.7%)が2割台となっています。



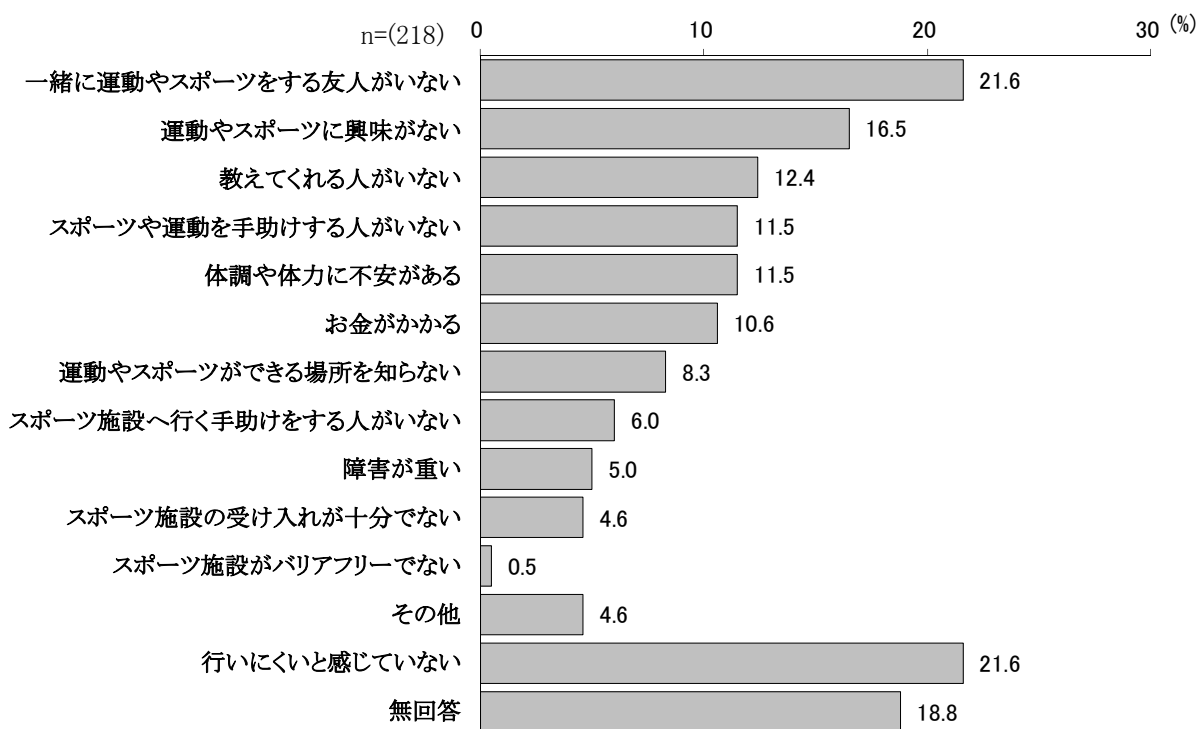
(8) 運動やスポーツを行いにくいと感じること

感じることは、「一緒に運動やスポーツをする友人がいない」が21.6%

問33 運動やスポーツをする際に、何か困ること、行いにくいと感じることはありますか。

(あてはまるもの3つまで○)

運動やスポーツを行いにくいと感じることは、「一緒に運動やスポーツをする友人がいない」が21.6%で最も多く、以下、「運動やスポーツに興味がない」(16.5%)、「教えてくれる人がいない」(12.4%)、「スポーツや運動を手助けする人がいない」、「体調や体力に不安がある」(ともに11.5%)、「お金がかかる」(10.6%)が1割台で続いています。また、「行いにくいと感じていない」が21.6%となっています。(障害の種類別の調査結果は23ページ4-(5)を参照)



10. 障害者の権利

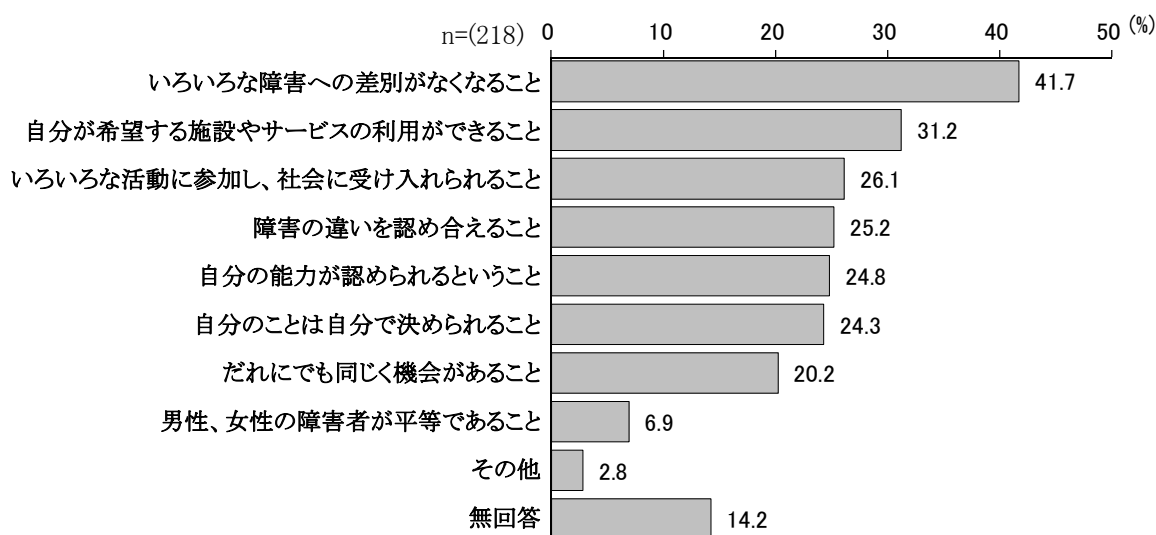
(1) 障害者の権利を守るために充実すべき内容

「いろいろな障害への差別がなくなること」が41.7%

問34 平成18年（2006年）に、「障害者の権利に関する条約」という国際的な約束が作られました。今後、障害者の権利を守るために、特に必要だと思うことは次のどれですか。

（あてはまるもの3つまで○）

障害者の権利を守るために充実すべき内容は、「いろいろな障害への差別がなくなること」が41.7%で最も多く、以下、「自分が希望する施設やサービスの利用ができること」が31.2%、「いろいろな活動に参加し、社会に受け入れられること」が26.1%、「障害の違いを認め合えること」が25.2%と続いています。（障害の種類別の調査結果は24ページ5 - (1) を参照）

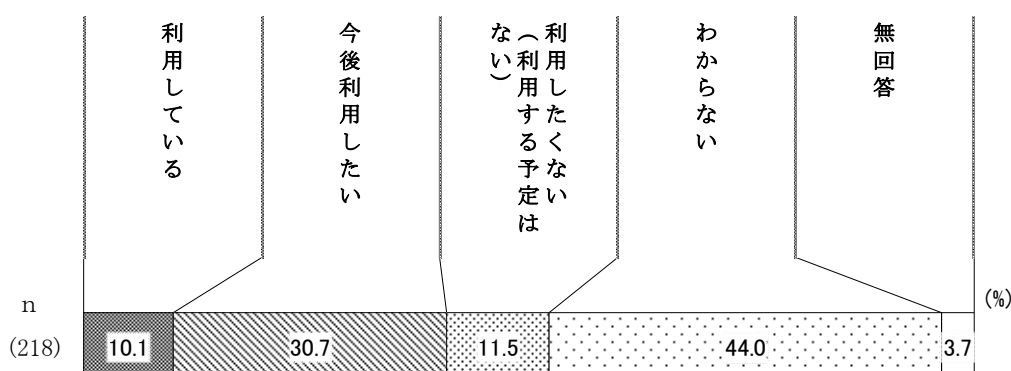


(2) 成年後見制度の利用意向

「今後利用したい」が30.7%

問35 成年後見とは、障害などで自分で判断することが難しい人の「財産」や「権利」を守り、手助けする制度です。あなたは、この制度を利用したいですか。（○は1つ）

成年後見制度の利用意向は、「今後利用したい」が30.7%となっています。また、「利用したくない（利用する予定はない）」が11.5%となっています。



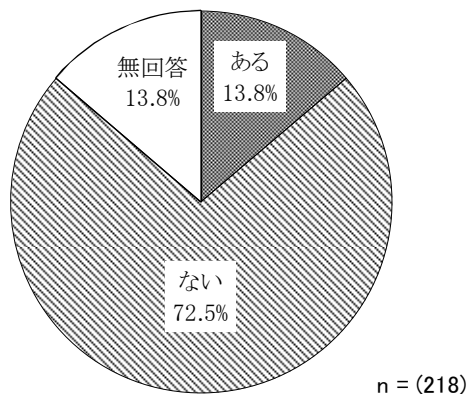
(3) 虐待を受けた経験

「ある」は13.8%

問36 あなたは、いままでに自分の体や心を傷つけられた（虐待された）ことがありますか。
(○は1つ)

虐待を受けた経験は、「ある」が13.8%、「ない」が72.5%となっています。

(障害の種類別の調査結果は25ページ5 - (2)を参照)

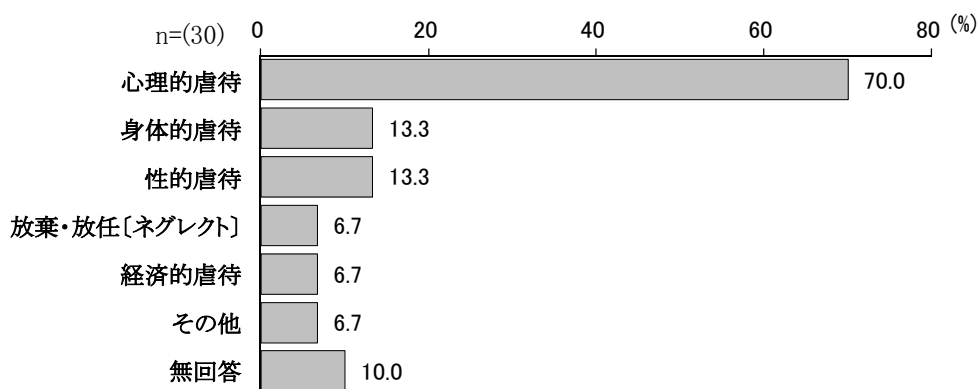


(4) 受けたことがある虐待の内容

【問36で「ある」と答えた方だけに聞きます。】

問36-1 虐待の内容はどのような内容ですか。(あてはまるものすべてに○)

虐待を受けたことがある方の虐待の内容は、「心理的虐待」が70.0%で特に多くなっています。



*心理的虐待：怒鳴る、悪口を言う、仲間に入れない、わざと無視する など

*身体的虐待：殴る、蹴る、縛りつける、閉じ込める、必要のない薬を飲ませる など

*性的虐待：性交、性器への接触、裸にする、いやらしい話をする など

*放棄・放任（ネグレクト）：十分な食事をさせない、きたない場所で生活させる など

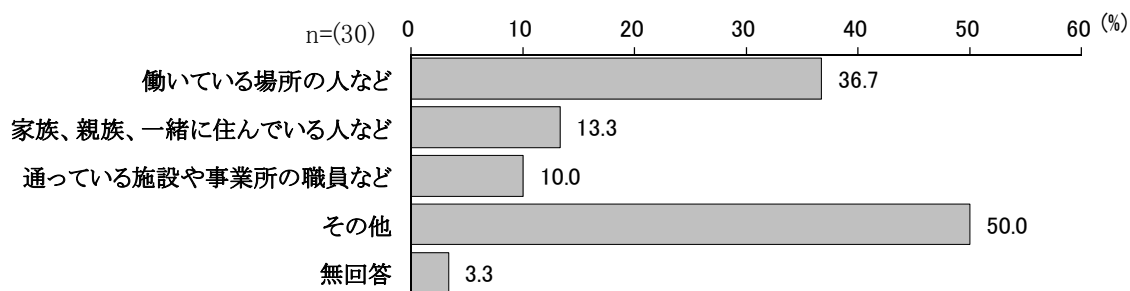
*経済的虐待：必要なお金を与えない、勝手にあなたのお金を使う など

(5) 虐待を受けた相手

【問36で「ある」と答えた方だけに聞きます。】

問36-2 誰から虐待を受けましたか。(あてはまるものすべてに○)

虐待を受けたことがある方の虐待を受けた相手は、「働いている場所の人など」が36.7%で最も多くなっています。

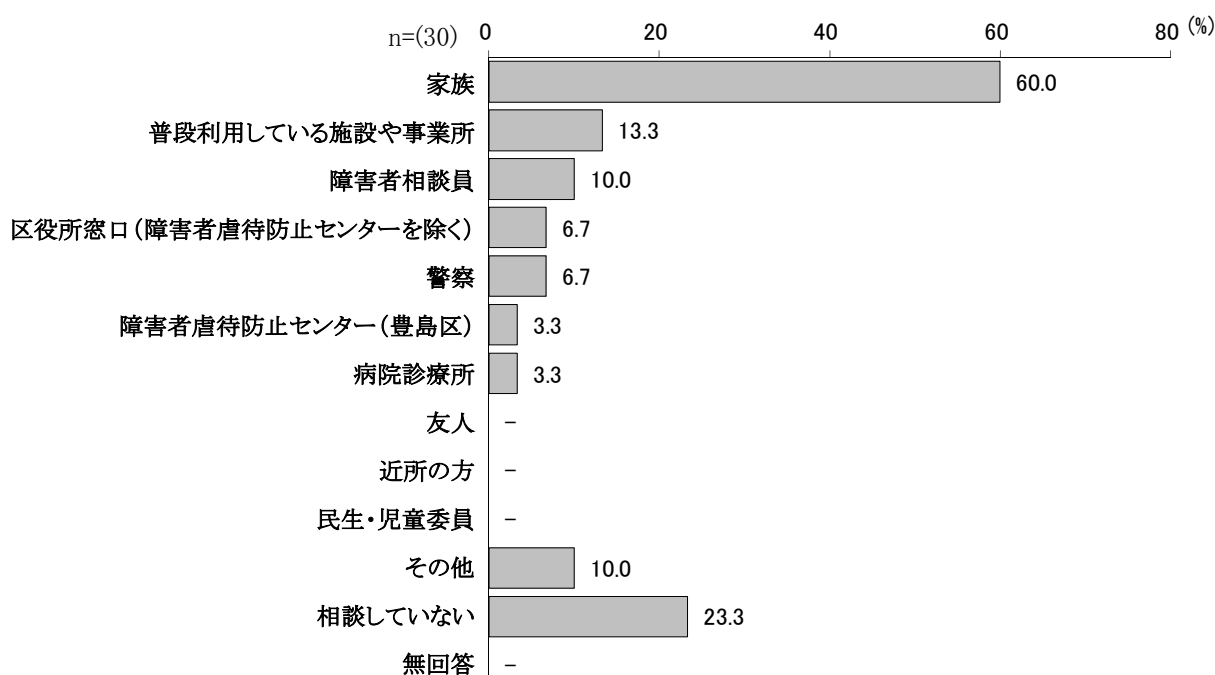


(6) 虐待について相談した相手

【問36で「ある」と答えた方だけに聞きます。】

問36-3 虐待を受けた時、だれ(どこ)に相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

虐待を受けたことがある方の虐待について相談をした相手は、「家族」が60.0%で特に多くなっています。また、「相談していない」は23.3%となっています。



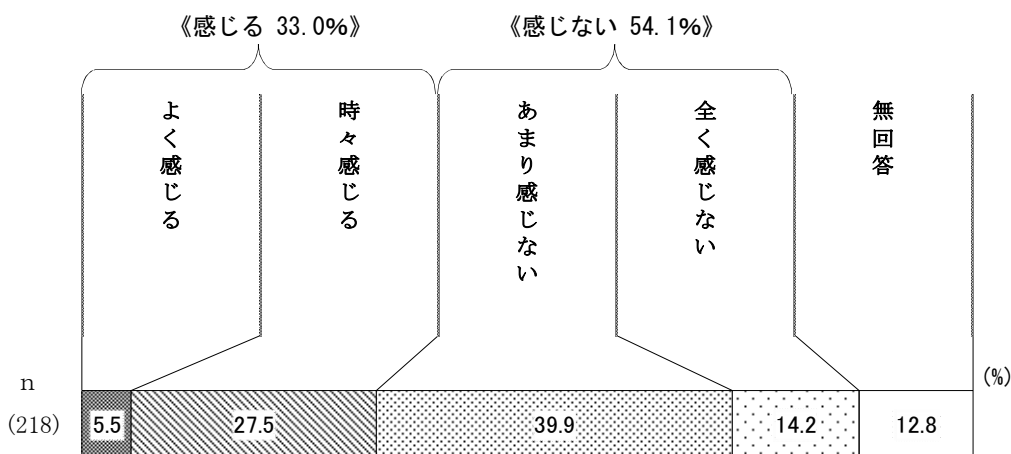
(7) 障害者への差別を感じること

《感じる》は33.0%、《感じない》は54.1%

問37 障害者差別解消法ができましたが、障害者への差別を感じることはありますか。

(○は1つ)

障害者への差別を「よく感じる」は5.5%、「時々感じる」は27.5%で、両者をあわせた《感じる》は33.0%となっています。一方、「全く感じない」(14.2%)と「あまり感じない」(39.9%)をあわせた《感じない》は54.1%となっています。(障害の種類別の調査結果は26ページ5-(3)を参照)



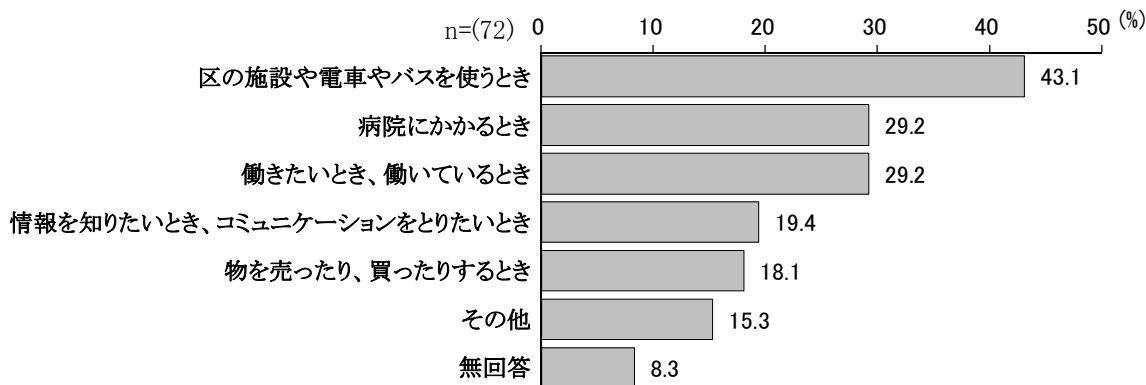
(8) 差別を感じるとき

「区の施設や電車やバスを使うとき」が43.1%

【問37で「よく感じる」「時々感じる」と答えた方だけに聞きます。】

問37-1 どのようなときに差別を感じますか。(あてはまるもの3つまで○)

障害者に対する差別を感じる方がどのようなときに差別を感じるかでは、「区の施設や電車やバスを使うとき」が43.1%で最も多く、これに「病院にかかるとき」、「働きたいとき、働いているとき」がともに29.2%で続いています。



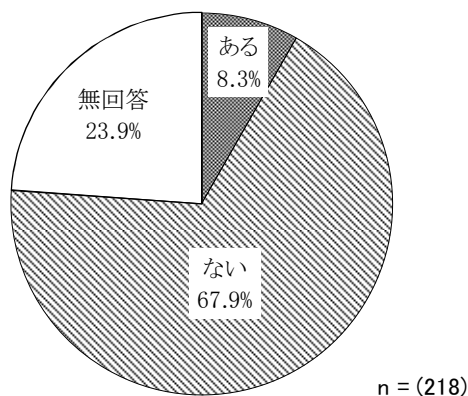
(9) 差別の相談経験

「ある」は8.3%

問38 障害者への差別を感じたときに、相談をしたことはありますか。(○は1つ)

差別の相談経験は、「ある」が8.3%、「ない」が67.9%となっています。

(障害の種類別の調査結果は27ページ5-(4)を参照)

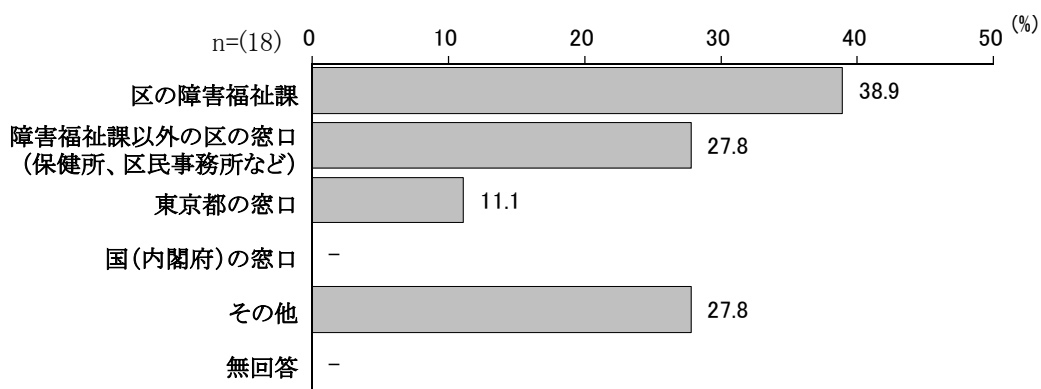


(10) 差別についての相談先

「区の障害福祉課」が38.9%

【問38で、「ある」と答えた方だけに聞きます。】

問38-1 どこに相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)



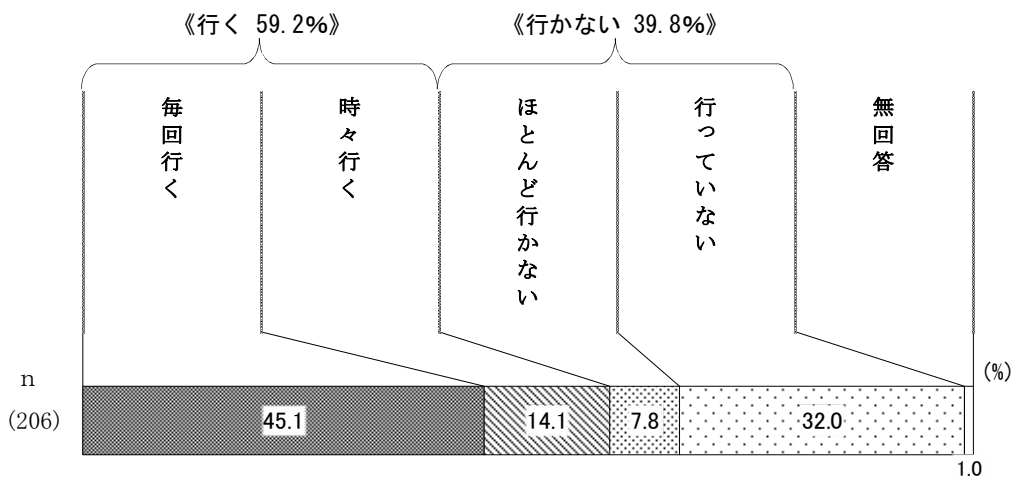
※回答者が少ないため、図は参考程度となります。

(11) 選挙投票への参加状況（18歳以上の方）

《行く》は59.2%

問39 あなたは選挙に行っていますか。（○は1つ）

選挙投票への参加状況は、「毎回行く」が45.1%、「時々行く」が14.1%となっており、両者をあわせた《行く》は59.2%となっています。「行っていない」（32.0%）と「ほとんど行かない」（7.8%）をあわせた《行かない》は39.8%となっています。



(12) 選挙に行かない理由（18歳以上の方）

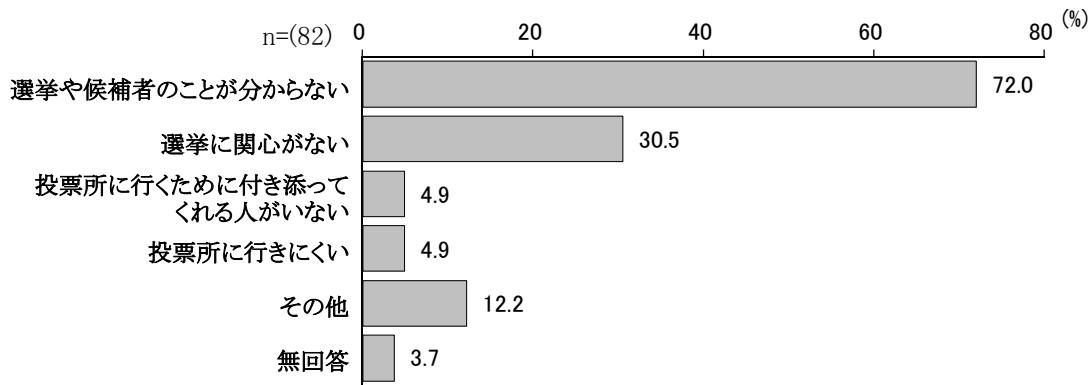
「選挙や候補者のことが分からない」が72.0%

18歳以上の方だけ

【問39で、「ほとんど行かない」「行っていない」に回答した方だけに聞きます。】

問39-1 選挙に行かない理由は、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

選挙に行かない方の理由は、「選挙や候補者のことが分からない」が72.0%で特に多く、これに「選挙に関心がない」が30.5%が続いています。



11. 豊島区等への要望

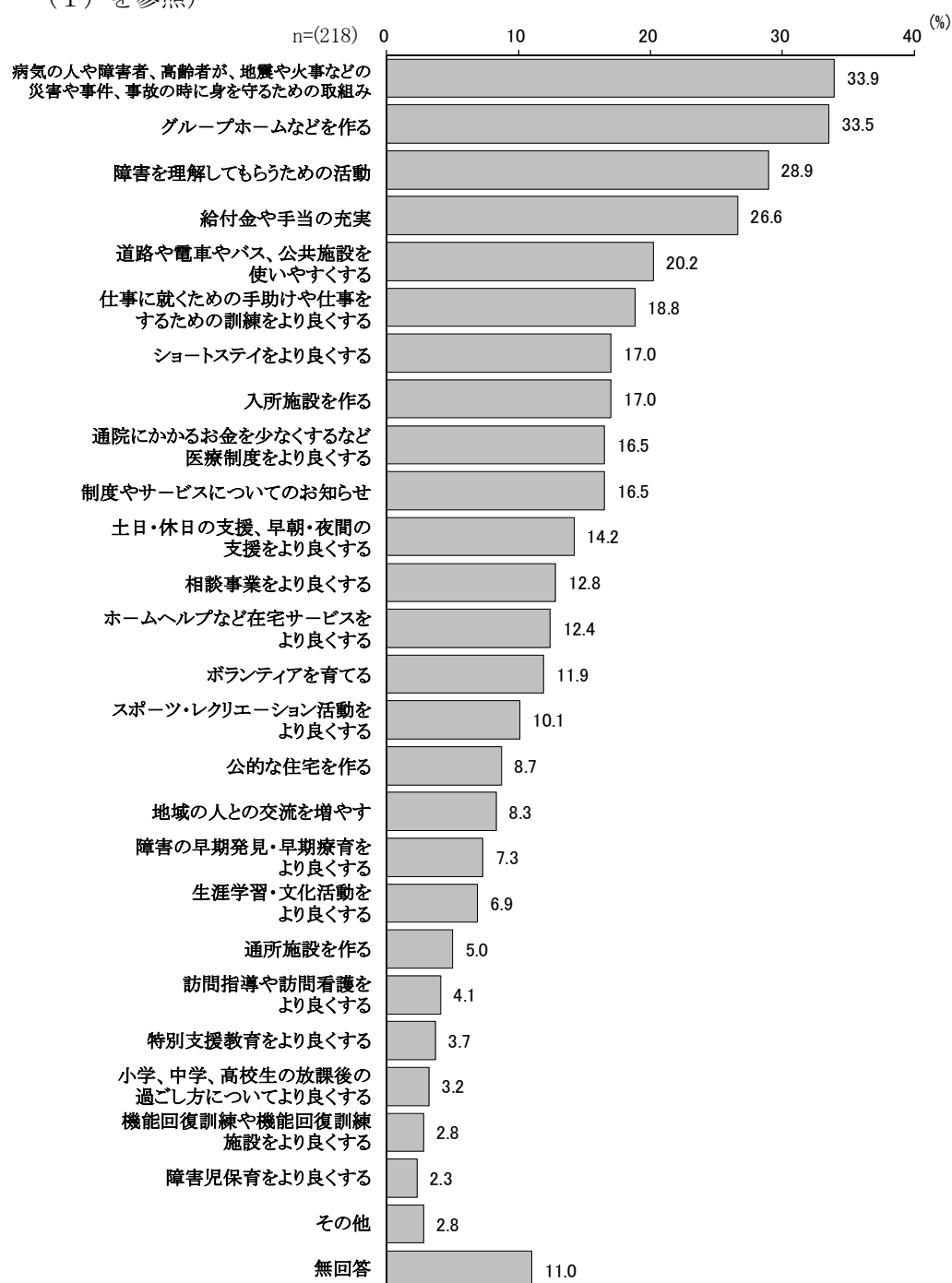
(1) 行政に対する要望

「身を守るための取組み」、「グループホームなどを作る」が3割台

問40 豊島区役所は次のうちどのようなことに取り組んでほしいと思いますか。

(あてはまるもの5つまで○)

行政に対する要望は、「病気の人や障害者、高齢者が、地震や火事などの災害や事件、事故の時に身を守るための取組み」(33.9%)、「グループホームなどを作る」(33.5%)が3割台と多く、以下、「障害を理解してもらうための活動」(28.9%)、「給付金や手当の充実」(26.6%)、「道路や電車やバス、公共施設を使いやすくする」(20.2%)が2割台で続いています。(障害の種類別の調査結果は28ページ6-(1)を参照)



第5章 精神障害者調査

1. 精神障害者調査の結果のまとめ

(1) 福祉に関する相談や情報（132ページ～134ページ）

- ・健康・福祉に関する情報の入手手段は「区役所窓口（障害福祉課、東部・西部障害支援センター、保健所、健康相談所を含む）」、「通っている学校、事業所など」、「病院・診療所」、「広報紙（東京都・豊島区）」などが多くなっています。
- ・よく利用する相談窓口は、「通っている学校、事業所など」、「病院・診療所」、「区の障害福祉課」、「保健所・保健相談所」などが多くなっています。
- ・病気に対する家族の理解は、「よく理解している」と「おおむね理解している」をあわせた《理解している》が64%となっています。
- ・相談対応の満足度は、「とても満足している」と「おおむね満足している」をあわせた《満足》が73%となっています。
- ・相談対応に不満を感じる理由は、「十分な助言が得られない」が最も多く、以下、「曜日・時間が限られている」、「窓口がわかりにくい」、「個室で相談したい」などとなっています。

(2) サービスの利用状況や今後の利用意向（135ページ～138ページ）

- ・サービスの利用状況については、「今後利用を増やしたい」は、“通所サービス（就労継続支援A型/B型、地域活動支援センターなど）”、“自立支援医療（医療費の公費負担）”が多くなっています。「今後利用したい」は、“保健所・健康相談所の相談”、“障害者就労支援グループ、障害者就業・生活支援センター”、“こころの夜間電話相談”が多くなっています。
- ・サービスについての考えは、「満足している」が43%で最も多くなっています。また、「特にない」が16%となっています。
- ・障害者のための就労施設を利用してよかったことは、「生活にリズムができた」、「行き場所・居場所・住居ができた」、「困ったこと等の話しができるようになった」などが多くなっています。
- ・障害者のための就労施設に対する要望は、「工賃をもう少し上げてほしい」、「作業・プログラムを充実させてほしい」などが多くなっています。

(3) 住居の状況（139ページ）

- ・住居形態は、「民間借家（アパート・マンション等）」が最も多く、以下、「持ち家（一戸建）」、「持ち家（分譲マンション等）」などとなっています。
- ・住まいについて困っていることは、「家賃の負担が大きい」、「防犯や防火について不安」、「トイレ、お風呂が使いにくい」などが多くなっています。また、「特にない」が42%となっています。

(4) 外出の状況（140ページ～144ページ）

- ・外出の頻度は、「ほぼ毎日」が63%、「週に3～4回」が21%となっています。
- ・よく利用する外出手段は、「電車・地下鉄」、「徒歩（歩行器・杖を含む）」などが多くなっています。
- ・外出時にけがをした経験は、「ある」が15%となっています。

第5章 精神障害者調査

- ・外出時に危険を感じたことは、「自転車の通行」、「自動車・バイクの通行」、「通行人」、「歩道の段差」などが多くなっています。
- ・自宅内でけがをした経験は、「ある」が9%となっています。

(5) 就労状況 (145ページ～149ページ)

- ・現在の就労状況と今後の就労意向は、「今、仕事・作業等をしており、今後も続けたい」が49%で最も多くなっています。
- ・仕事・作業等をしている方の現在の就労の形態は、「福祉作業所・生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型・地域活動支援センター」が61%で最も多くなっています。
- ・仕事・作業等をしている方の現在の月収は、「1万円未満」が30%で最も多くなっています。
- ・仕事・作業等をしている方の現在の仕事・作業等を見つけた方法は、「区の機関（障害福祉課、東部・西部障害支援センター、就労支援グループ）」が最も多くなっています。
- ・仕事・作業等をしている方の現在の仕事・作業等に対する悩みや不満は、「人間関係がうまく行かない」、「賃金・待遇等に不満がある」などが多くなっています。また、「特に悩みや不満はない」が35%となっています。
- ・現在仕事・作業等をしていない主な理由は、「病気のため」が最も多くなっています。
- ・今、仕事・作業等をしていないが、今後仕事をしたい方の今後希望する就労の形態は、「パート・アルバイト」、「会社員・公務員・団体職員等の常勤の就労」、「共同作業所・生活介護・福祉作業所・就労移行支援・就労継続支援B型・地域活動支援センター」などが多くなっています。

(6) 社会参加等 (150ページ～155ページ)

- ・最近1年間に行った活動は、「買い物」、「外食」、「散歩」、「友人とのつきあい」などが多くなっています。
- ・活動しにくい理由は、「健康状態が良くない」が最も多くなっています。また、「活動しにくいと感じない」が22%となっています。
- ・近所つき合いは、「あいさつ程度はしている」が60%で最も多くなっています。
- ・現在楽しんでいる余暇活動は、「テレビや音楽の鑑賞」が最も多く、以下、「インターネット」、「家族や友人などとの外出（食事、買い物など）」などとなっています。
- ・地域の方々の障害・疾病に対する理解は、「よく理解を得られている」と「おおむね理解を得られている」をあわせた《理解を得られている》は38%、「理解を得られていない」と「あまり理解を得られていない」をあわせた《理解を得られていない》は55%となっています。
- ・運動やスポーツへの活動意向と現況は、「運動やスポーツに興味があり、すでに行っている」が26%となっています。
- ・運動やスポーツを行っている方の実施頻度は、「週に3日以上」、「週に1～2日」が多くなっています。
- ・運動やスポーツを行いにいと感ずることは、「体調や体力に不安がある」、「一緒に運動やスポーツができる友人がいない」などが多くなっています。

(7) 障害者の権利 (156ページ～161ページ)

- ・障害者の権利を守るために充実すべき内容は、「あらゆる障害に対する差別がなくなること」が最も多く、以下、「自分のことは自分で決められること」、「誰にでも平等に機会があること」、「障害者自身の能力が認められること」、「多様な活動に参加し、社会に受け入れられること」などとなっています。
- ・成年後見制度の利用希望は、「今後利用したい」が16%となっています。
- ・虐待を受けた経験は、「ある」が40%となっています。
- ・虐待を受けたことがある方の虐待の内容は、「心理的虐待(怒鳴る、悪口を言う、仲間に入れない、わざと無視する など)」が最も多くなっています。
- ・虐待を受けたことがある方の虐待を受けた相手は、「養護者(家族、親族、同居人など)」が最も多く、以下、「使用者(働いている場所の事業主など)」などとなっています。
- ・虐待を受けたことがある方の虐待について相談をした相手は、「家族」が最も多くなっています。また、「相談していない」が42%となっています。
- ・障害者に対する差別を「よく感じる」と「時々感じる」をあわせた《感じる》は41%、「全く感じない」と「あまり感じない」をあわせた《感じない》は54%となっています。
- ・障害者に対する差別を感じる方がどのようなときに差別を感じるかでは、「働きたいとき、働いているとき」が64%で最も多く、以下、「公共施設や交通機関を利用するとき」、「情報を得たいとき、コミュニケーションをとりたいとき」などとなっています。
- ・差別の相談経験は、「ある」が9%となっています。
- ・選挙投票への参加状況は、「毎回行く」と「時々行く」をあわせた《行く》が75%となっています。
- ・選挙に行かない方の理由は、「選挙に関心がない」が最も多くなっています。

(8) 豊島区等への要望 (162ページ)

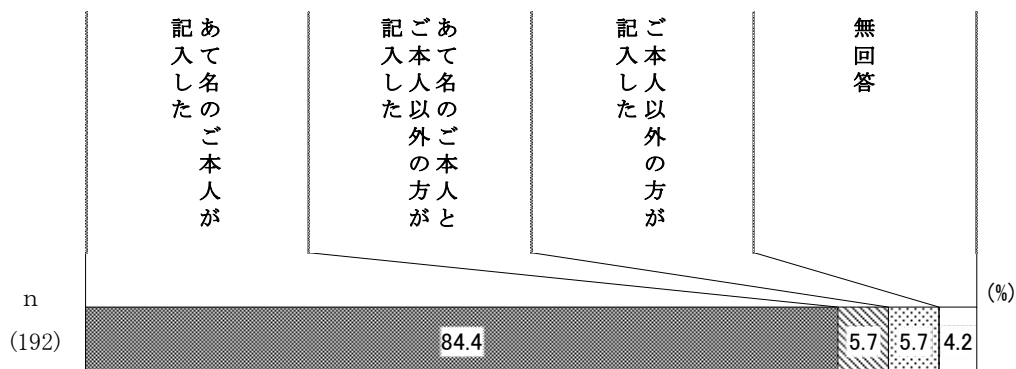
- ・行政に対する要望は、「障害者への理解を深めるための啓発・広報活動」、「給付金や手当の充実」、「就労の支援や職業訓練の充実」の3項目が多くなっています。

2. 回答者の属性

(1) 調査票記入者

問40 ご記入者は、調査票のあて名になっていた方からみて、どなたにあたりますか。
(○は1つ)

調査票記入者は、「あて名のご本人が記入した」が84.4%となっています。



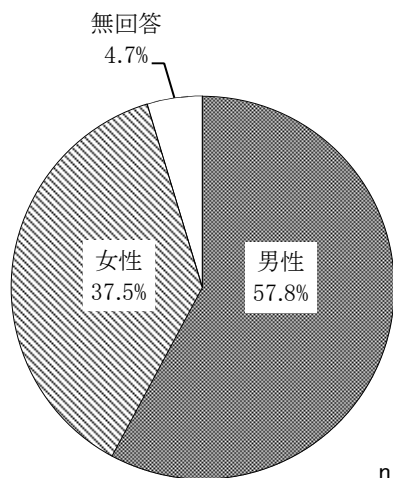
(2) 性別・年齢

問1 あなたの性別と年齢（本日の満年齢）を教えてください。

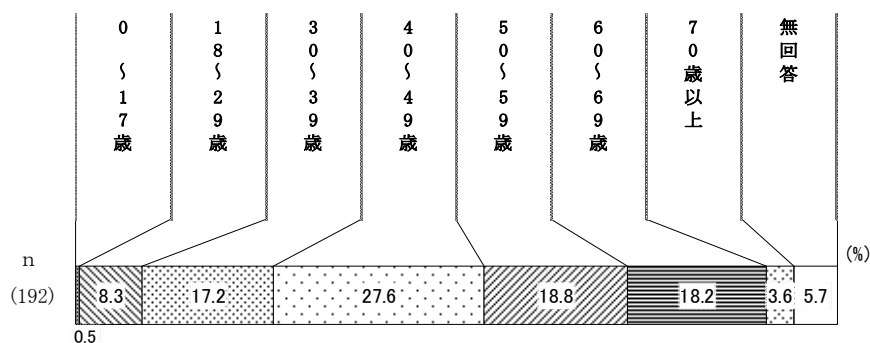
性別は、「男性」が57.8%、「女性」が37.5%となっています。

年齢は、「40～49歳」が27.6%、「50～59歳」(18.8%)、「60～69歳」(18.2%)、「30～39歳」(17.2%)が1割台となっています。

【性別】



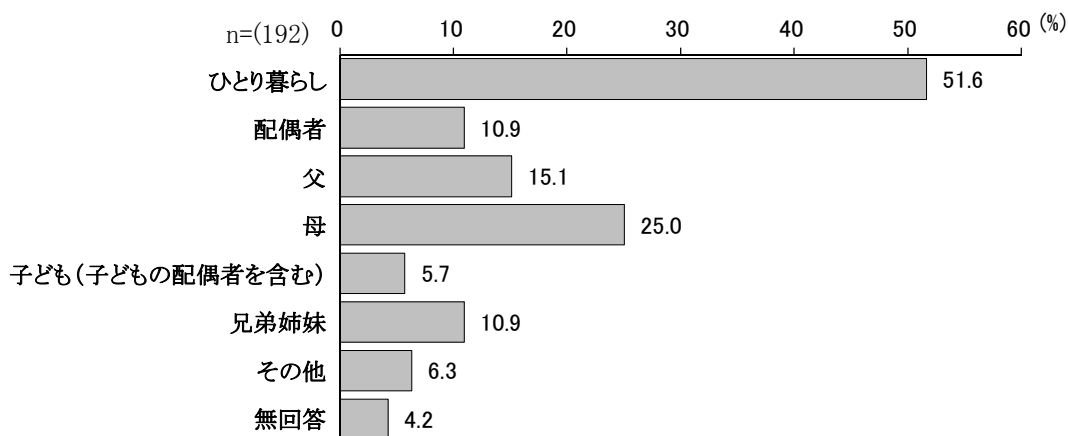
【年齢】



(3) 同居家族

問2 あなたと一緒に住んでいるご家族に○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

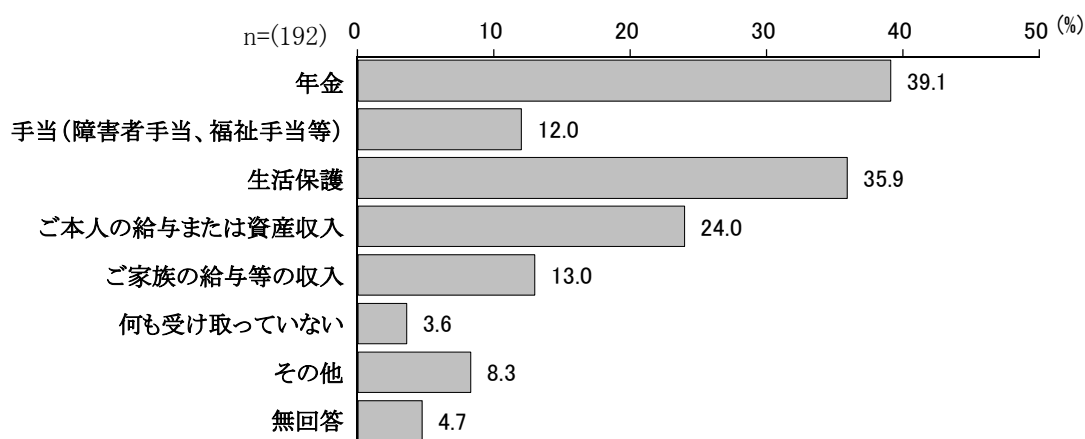
同居家族は、「ひとり暮らし」が51.6%で最も多く、以下、「母」が25.0%、「父」(15.1%)、「配偶者」、「兄弟姉妹」(ともに10.9%)が1割台で続いています。



(4) 主な収入

問3 あなたの主な収入は何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

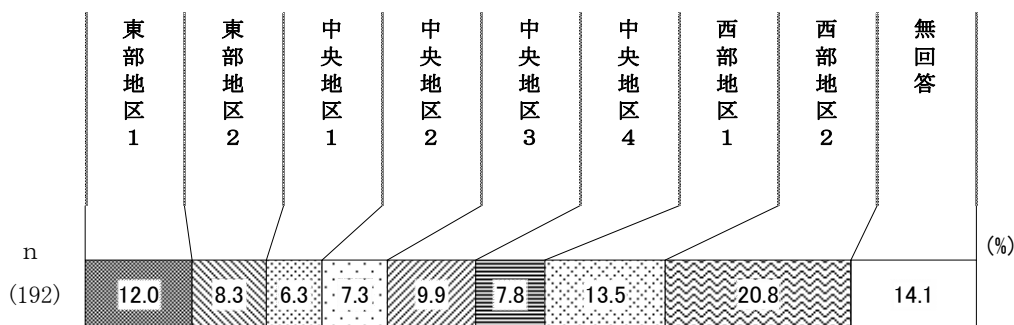
主な収入は、「年金」(39.1%)、「生活保護」(35.9%)が3割台で多く、これに「ご本人の給与または資産収入」が24.0%、「ご家族の給与等の収入」(13.0%)、「手当(障害者手当、福祉手当等)」(12.0%)が1割台で続いています。



(5) 居住地区

問4 あなたのお住まいの地区はどこですか。

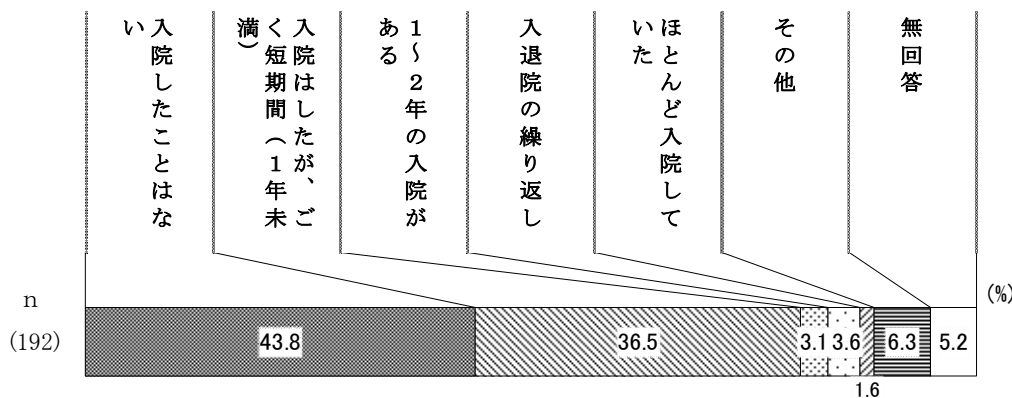
居住地区は、「西部地区2」が20.8%、「西部地区1」(13.5%)、「東部地区1」(12.0%)が1割台となっています。(居住地区の内訳は5ページを参照)



(6) 近年の状況

問5 あなたの近年の状況は次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

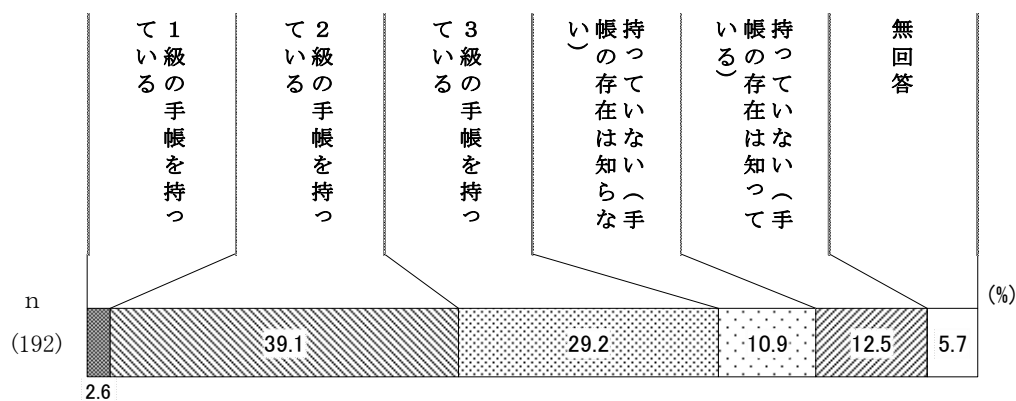
近年の状況は、「入院したことはない」は43.8%となっています。「入院はしたが、ごく短期間(1年未満)」は36.5%で、それ以上の入院期間のある方は1割未満となっています。



(7) 精神障害者保健福祉手帳の等級

問6 あなたは、精神障害者保健福祉手帳を持っていますか。(○は1つ)

精神障害者保健福祉手帳の等級は、「2級の手帳を持っている」が39.1%、「3級の手帳を持っている」が29.2%となっています。また、「持っていない(手帳の存在は知っている)」(12.5%)、「持っていない(手帳の存在は知らない)」(10.9%)はそれぞれ1割台となっています。

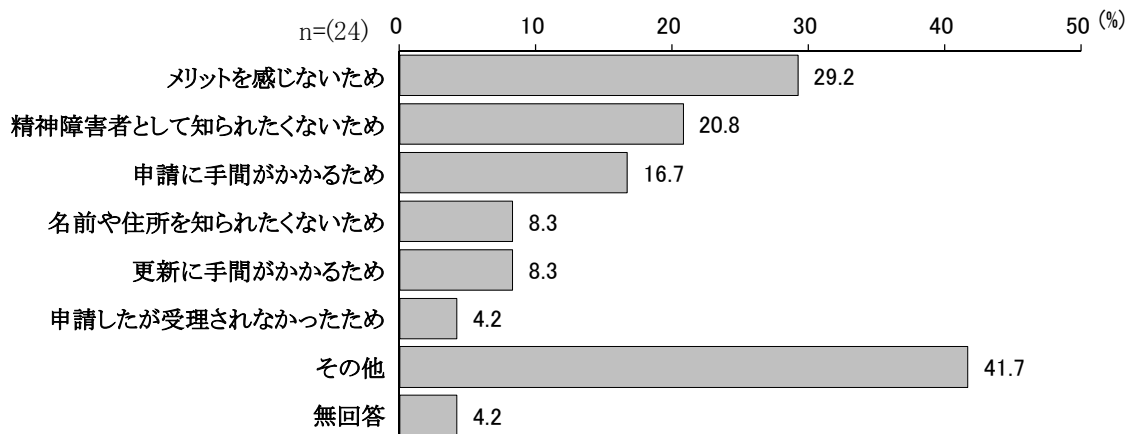


(8) 精神障害者保健福祉手帳を持っていない理由

【問6で、「持っていない(手帳の存在は知っている)」に回答した方のみにおうかがいします。】

問6-1 精神障害者保健福祉手帳を持っていない理由は何ですか。

(あてはまるもの3つまで○)



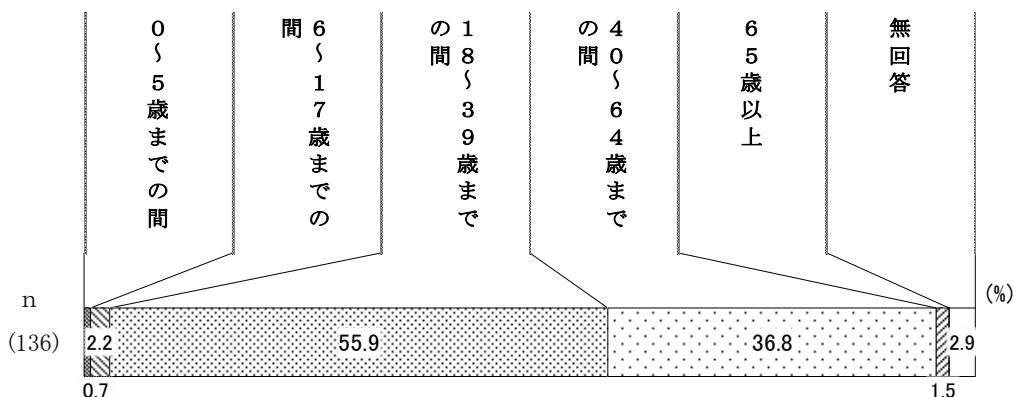
※回答者が少ないため、図は参考程度となります。

(9) 手帳の取得時期

【問6で、「1級/2級/3級」の手帳を持っている】に回答した方のみにおうかがいします。】

問7 初めて手帳をとったのは何歳のときですか。(○は1つ)

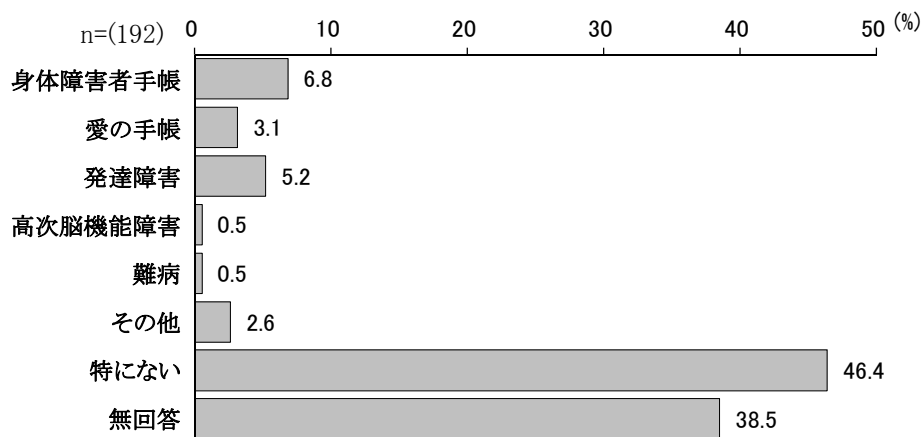
手帳の取得時期は、「18～39歳までの間」が55.9%、「40～64歳までの間」が36.8%となっており、18歳以上が9割以上を占めています。



(10) 他に取得している手帳等

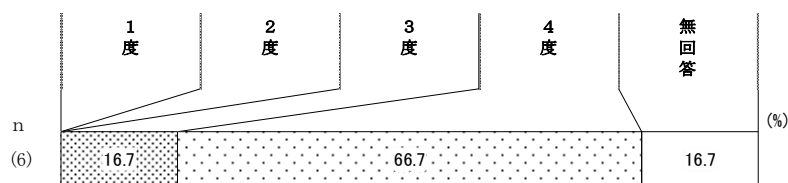
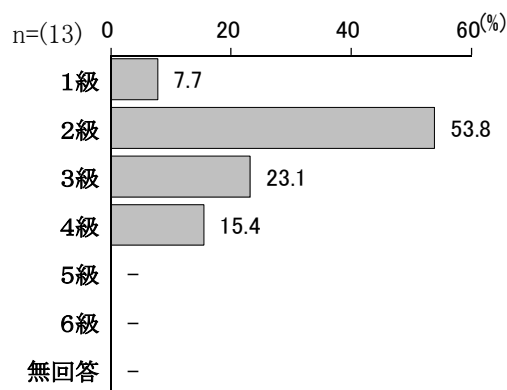
問8 他にお持ちの手帳、障害等があれば教えてください。(あてはまるものすべてに○)

他に取得している手帳、障害等は、いずれも1割未満となっており、「特にない」が46.4%となっています。



身体障害者手帳の等級

愛の手帳の等級



※回答者が少ないため、図は参考程度となります。

3. 福祉に関する情報や相談

(1) 健康・福祉に関する情報の入手手段

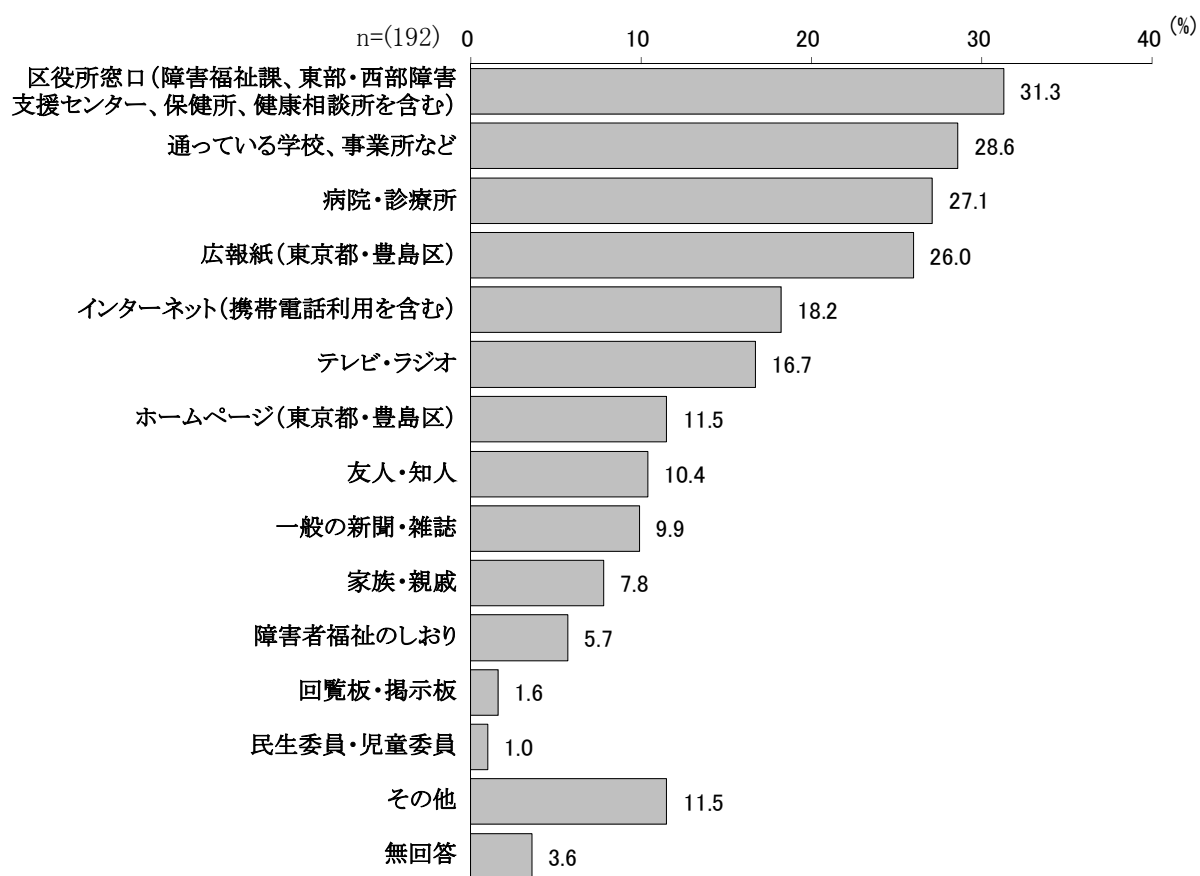
「区役所窓口」が31.3%

問9 健康や福祉に関する情報を主にどのようなところから得ていますか。

(あてはまるもの3つまで○)

健康・福祉に関する情報の入手手段は、「区役所窓口（障害福祉課、東部・西部障害支援センター、保健所、健康相談所を含む）」が31.3%で最も多く、以下、「通っている学校、事業所など」（28.6%）、「病院・診療所」（27.1%）、「広報紙（東京都・豊島区）」（26.0%）が2割台で続いています。

(障害の種類別の調査結果は9ページ1－(1)を参照)



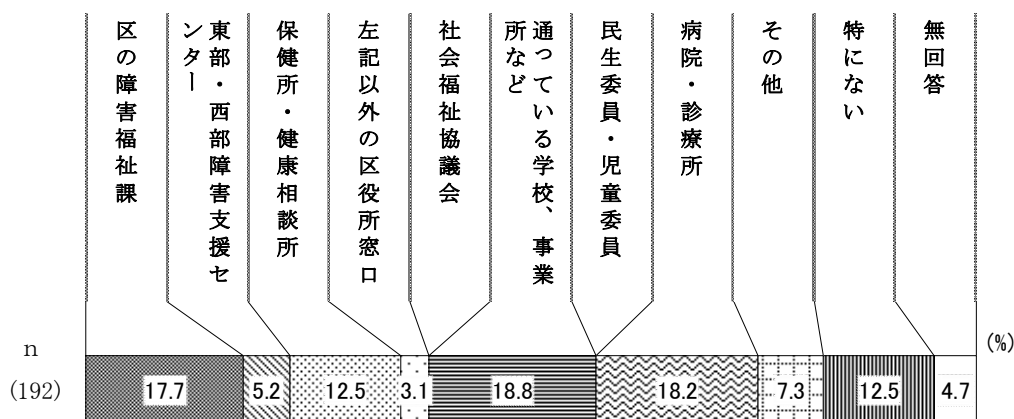
(2) よく利用する相談窓口

「学校、事業所」、「病院・診療所」、「区の障害福祉課」が18%前後

問10 よく利用する相談窓口はどこですか。(〇は1つ)

よく利用する相談窓口は、「通っている学校、事業所など」(18.8%)、「病院・診療所」(18.2%)、「区の障害福祉課」(17.7%)、「保健所・健康相談所」(12.5%)が1割台となっています。

(障害の種類別の調査結果は10ページ1-(2)を参照)



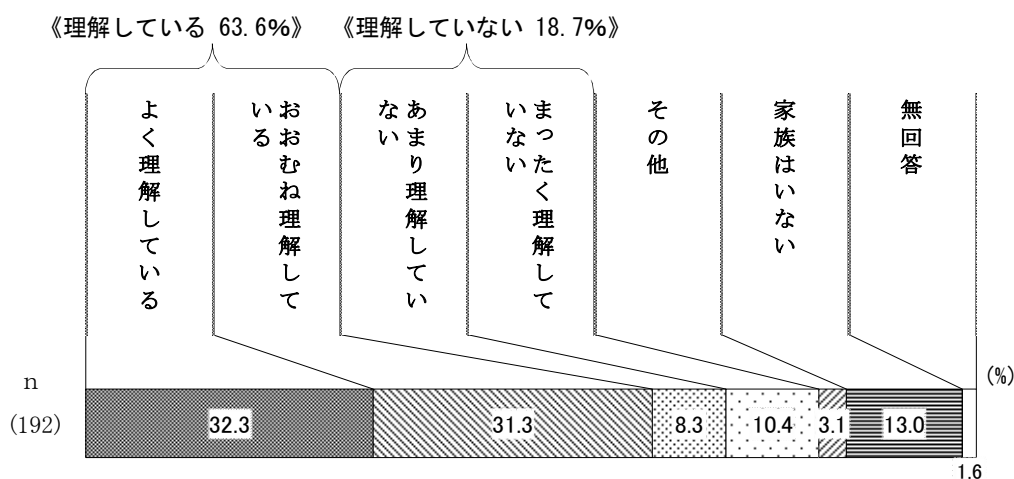
(3) 病気に対する家族の理解

《理解している》が63.6%、《理解していない》が18.7%

問11 あなたのご家族は、あなたの病気について、十分理解していると思いますか。

(〇は1つ)

病気に対する家族の理解は、「よく理解している」が32.3%、「おおむね理解している」が31.3%で両者をあわせた《理解している》は63.6%となっています。一方、「まったく理解していない」(10.4%)、「あまり理解していない」(8.3%)をあわせた《理解していない》は18.7%となっています。



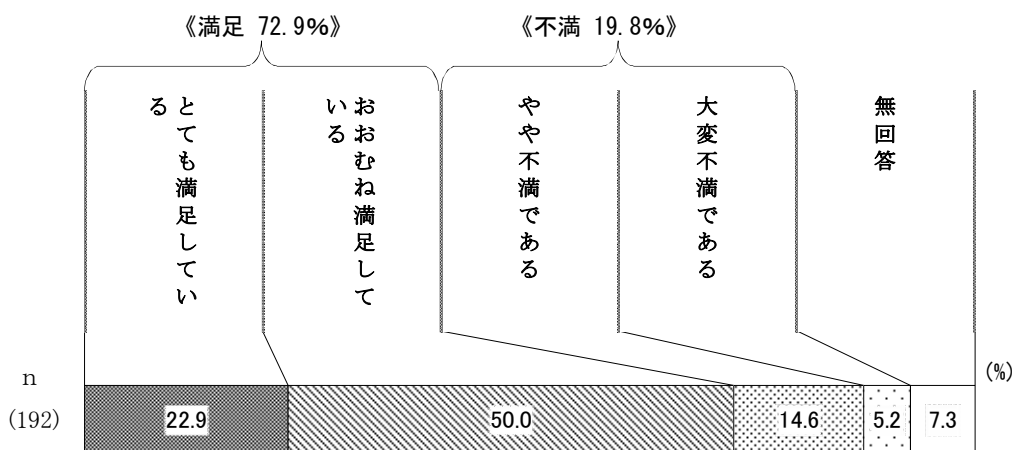
(4) 相談対応の満足度

《満足》が72.9%、《不満》が19.8%

問12 相談について満足していますか。(○は1つ)

相談対応の満足度は、「とても満足している」は22.9%、「おおむね満足している」は50.0%で、両者をあわせた《満足》は72.9%となっています。一方、「大変不満である」(5.2%)と「やや不満である」(14.6%)をあわせた《不満》は19.8%となっています。

(障害の種類別の調査結果は11ページ1-(3)を参照)



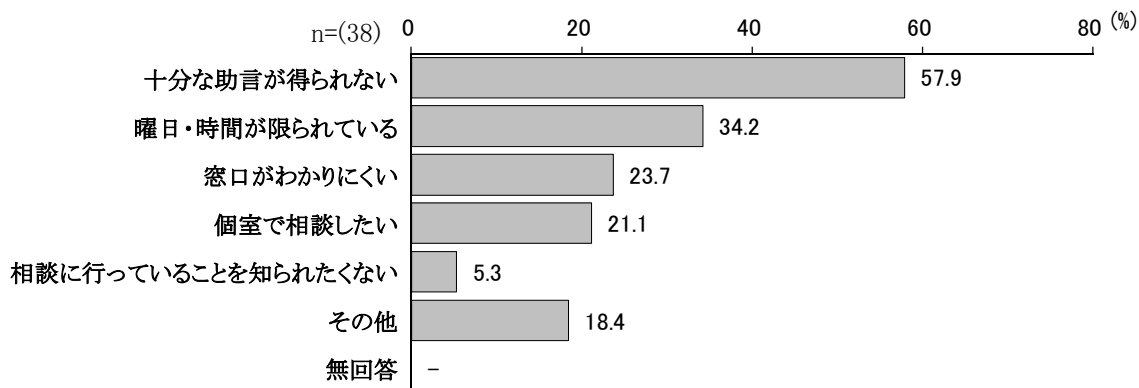
(5) 不満を感じる理由

「十分な助言が得られない」が57.9%

【問12で、「やや不満である」「大変不満である」に回答した方のみにおうかがいします。】

問12-1 不満な理由は何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

相談対応に不満を感じる理由は、「十分な助言が得られない」が57.9%で最も多く、以下、「曜日・時間が限られている」が34.2%、「窓口がわかりにくい」(23.7%)、「個室で相談したい」(21.1%)が2割台で続いています。



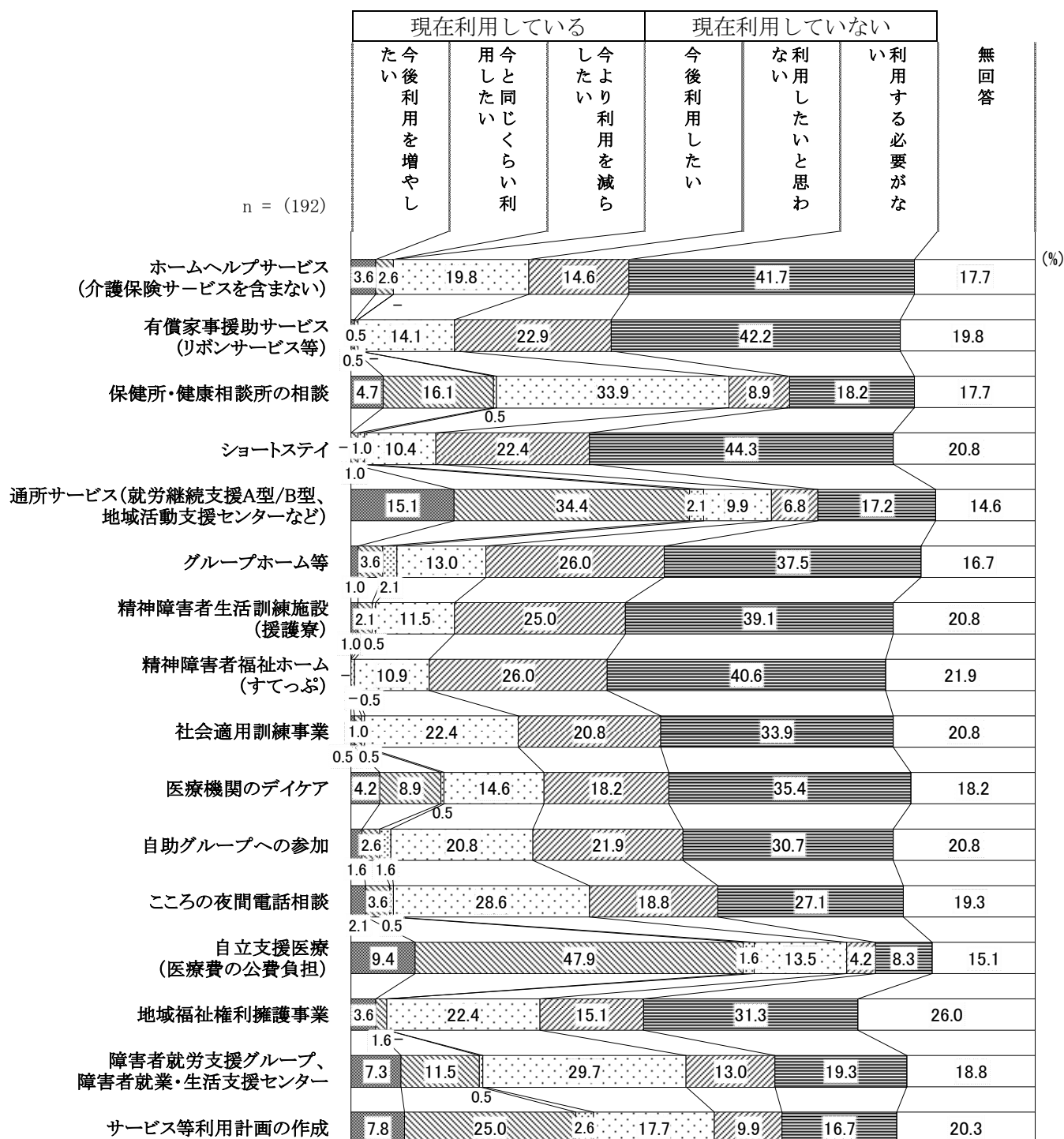
4. サービスの利用状況や今後の利用意向

(1) サービスの利用状況

「今後利用したい」は、「保健所・健康相談所の相談」が33.9%

問13 あなたは次のサービスを利用したことがありますか。(各項目について○は1つ)

サービスの利用状況について「今後利用を増やしたい」は、「通所サービス（就労継続支援A型/B型、地域活動支援センターなど）」が15.1%、「自立支援医療（医療費の公費負担）」が9.4%となっています。「今後利用したい」は、「保健所・健康相談所の相談」が33.9%、「障害者就労支援グループ、障害者就業・生活支援センター」（29.7%）、「こころの夜間電話相談」（28.6%）、「社会適用訓練事業」、「地域福祉権利擁護事業」（ともに22.4%）、「自助グループへの参加」（20.8%）が2割台となっています。

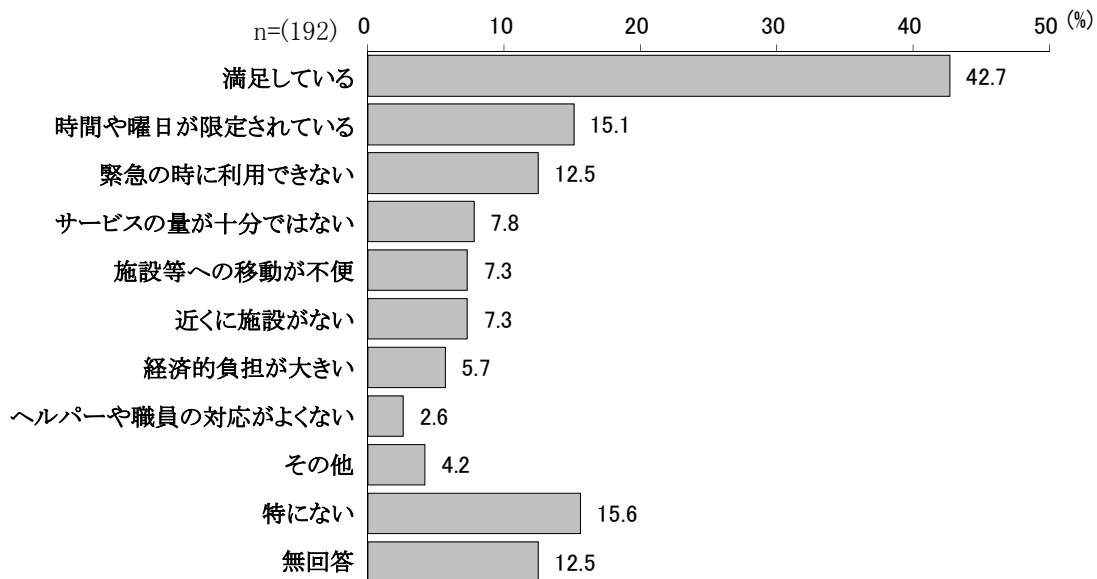


(2) サービスについての考え

「満足している」が42.7%

問14 サービスの利用について、どのように感じていますか。(あてはまるもの3つまで○)

サービスについての考えは、「満足している」が42.7%で特に多く、これに「時間や曜日が限定されている」(15.1%)、「緊急の時に利用できない」(12.5%)が1割台が続いています。また、「特にない」が15.6%となっています。

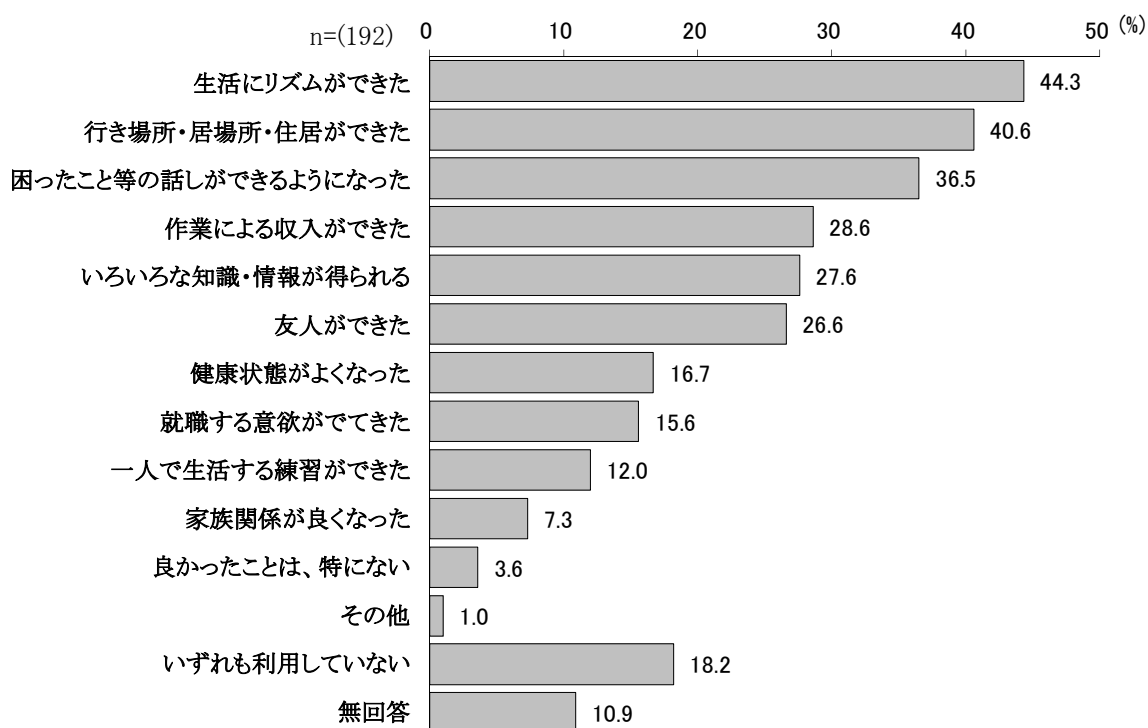


(3) 障害者のための就労施設を利用して良かったこと

「生活にリズムができた」、「行き場所・居場所・住居ができた」が4割台

問15 就労移行支援、就労継続支援A型/B型、地域活動支援センター、グループホーム等を利用して良かったと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

障害者のための就労施設を利用して良かったことは、「生活にリズムができた」(44.3%)、「行き場所・居場所・住居ができた」(40.6%)が4割台で多く、以下、「困ったこと等の話しができるようになった」が36.5%、「作業による収入ができた」(28.6%)、「いろいろな知識・情報が得られる」(27.6%)、「友人ができた」(26.6%)が2割台で続いています。また、「いずれも利用していない」が18.2%となっています。

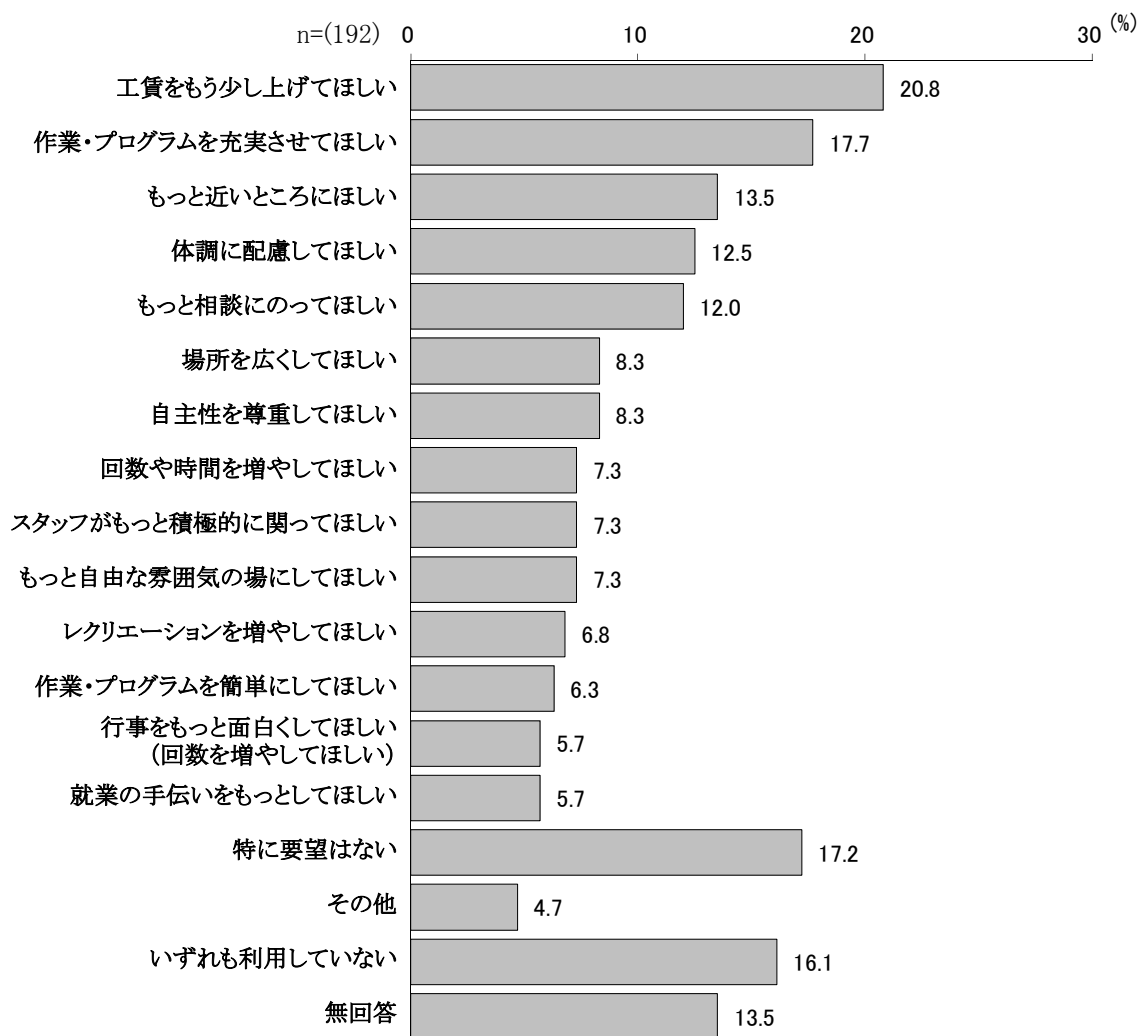


(4) 障害者のための就労施設に対する要望

「工賃をもう少し上げてほしい」が20.8%

問16 就労移行支援、就労継続支援A型/B型、地域活動支援センター、グループホーム等にはどのような要望をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

障害者のための就労施設に対する要望は、「工賃をもう少し上げてほしい」が20.8%で最も多く、以下、「作業・プログラムを充実させてほしい」(17.7%)、「もっと近いところにほしい」(13.5%)、「体調に配慮してほしい」(12.5%)、「もっと相談にのってほしい」(12.0%)が1割台が続いています。また、「特に要望はない」が17.2%となっています。



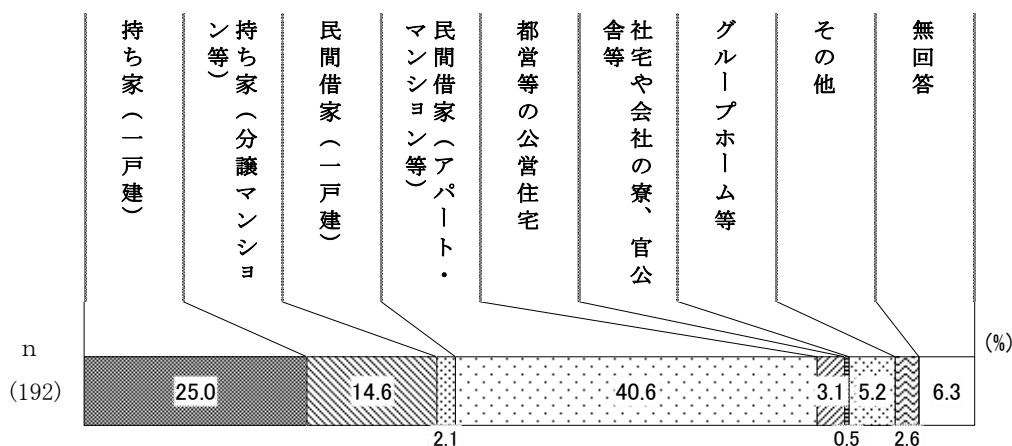
5. 住居の状況

(1) 住居形態

「民間借家（アパート・マンション等）」が40.6%

問17 あなたのお住まいは、次のうちどれですか。（○は1つ）

住居形態は、「民間借家（アパート・マンション等）」が40.6%、「持ち家（一戸建）」が25.0%、「持ち家（分譲マンション等）」が14.6%となっています。

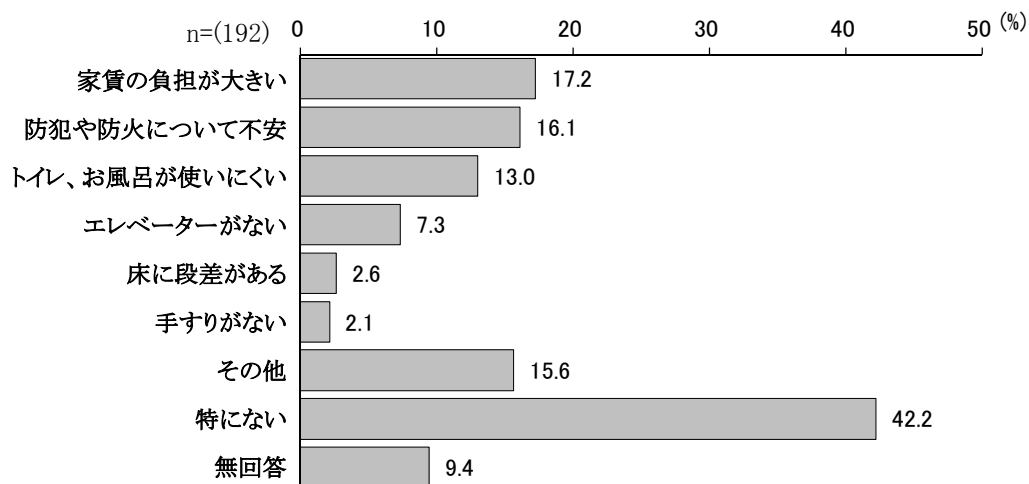


(2) 住まいについて困っていること

困っていることでは、「家賃の負担が大きい」が17.2%

問18 お住まいについて、困っていることは何ですか。（あてはまるもの3つまで○）

住まいについて困っていることは、「家賃の負担が大きい」（17.2%）、「防犯や防火について不安」（16.1%）、「トイレ、お風呂が使いにくい」（13.0%）が1割台となっています。また、「特にない」が42.2%となっています。



6. 外出の状況

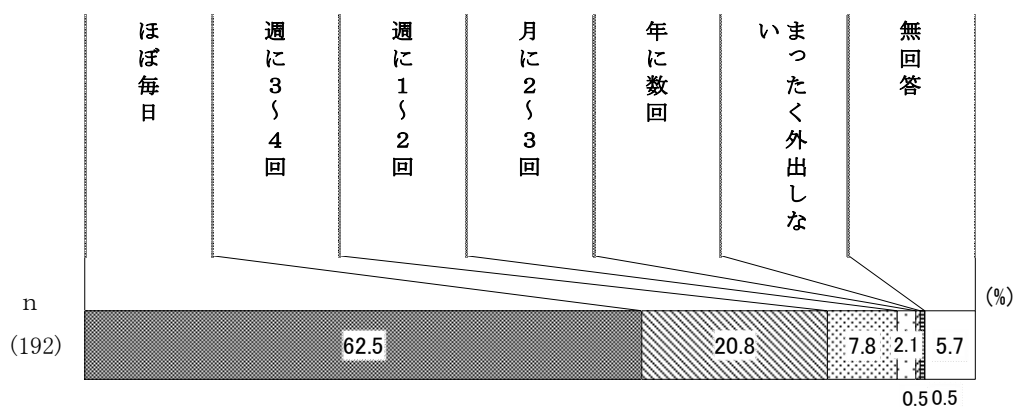
(1) 外出の頻度

「ほぼ毎日」が62.5%

問19 外出の頻度は、どのくらいですか。(○は1つ)

外出の頻度は、「ほぼ毎日」が62.5%、「週に3～4回」が20.8%となっています。

(障害の種類別の調査結果は12ページ2-(1)を参照)



(2) 外出しない理由

【問19で、「まったく外出しない」に回答した方のみにおうかがいします。】

問19-1 外出しない理由は、次のうちどれですか。(あてはまるもの3つまで○)

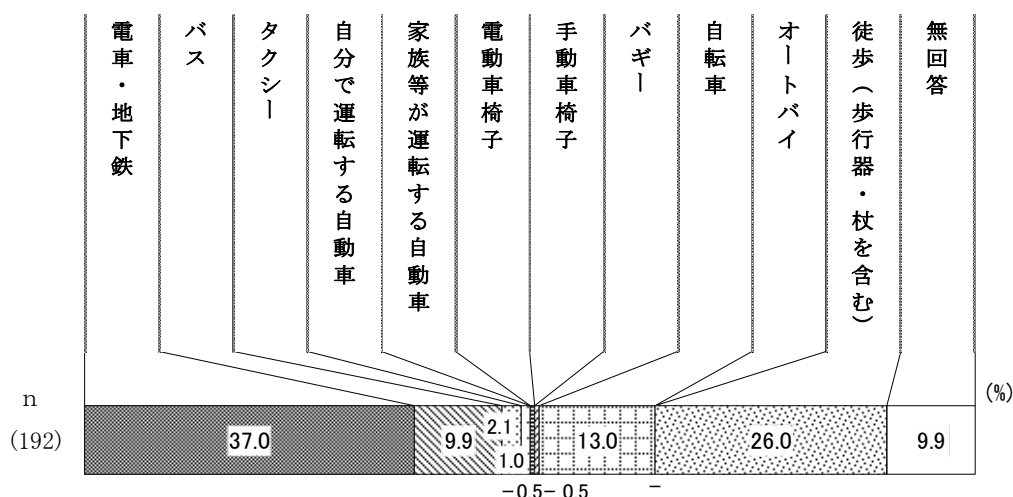
問19で「まったく外出しない」と回答した1名の理由は、「特に外出する用がないため」となっています。(図省略)

(3) よく利用する外出手段

「電車・地下鉄」が37.0%

問20 あなたがもっともよく利用する外出の方法は何ですか。(〇は1つ)

よく利用する外出手段は、「電車・地下鉄」が37.0%で最も多く、以下、「徒歩（歩行器・杖を含む）」が26.0%、「自転車」が13.0%、「バス」が9.9%が続いています。



(4) 外出時にけがをした経験

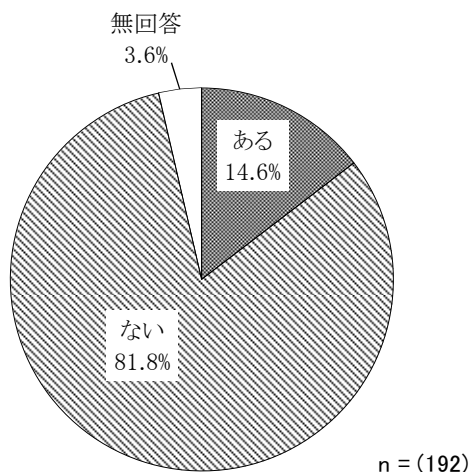
「ある」は14.6%

豊島区では、平成24年5月にWHO（世界保健機関）による「セーフコミュニティ」の認証を取得しました。セーフコミュニティとは、「けがや事故等は、偶然の結果ではなく、予防できる」という考え方のもと、地域コミュニティの力を活用して、安全と健康の質を高めていくまちづくり活動です。以下、「けが」についてのご質問にお答えください。

問21 外出時に、ここ1年以内に「けが」をしたことがありますか。(〇は1つ)

外出時にけがをした経験は、「ある」が14.6%、「ない」が81.8%となっています。

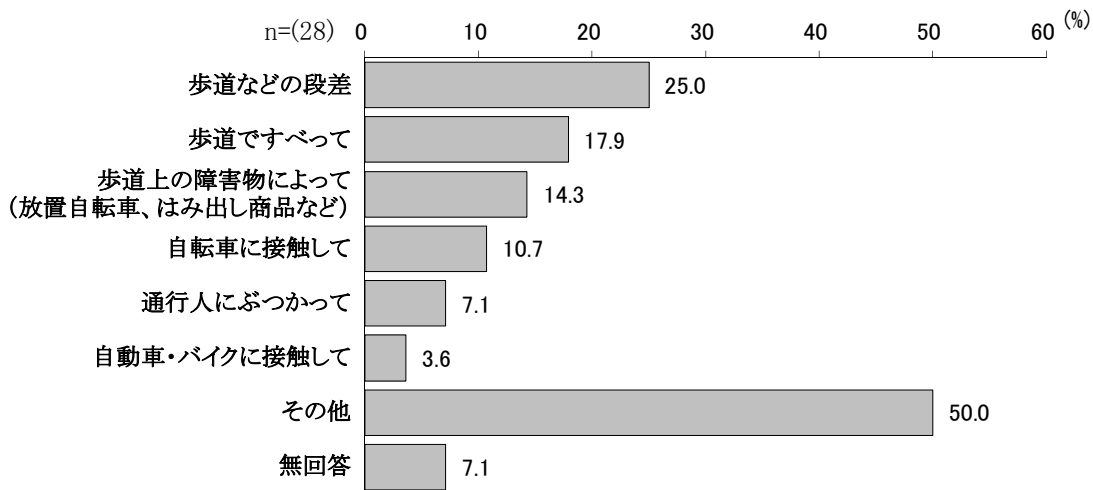
(障害の種類別の調査結果は13ページ2-(2)を参照)



(5) けがをした理由

【問21で、「ある」に回答した方のみにおうかがいします。】

問21-1 「けが」をした理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

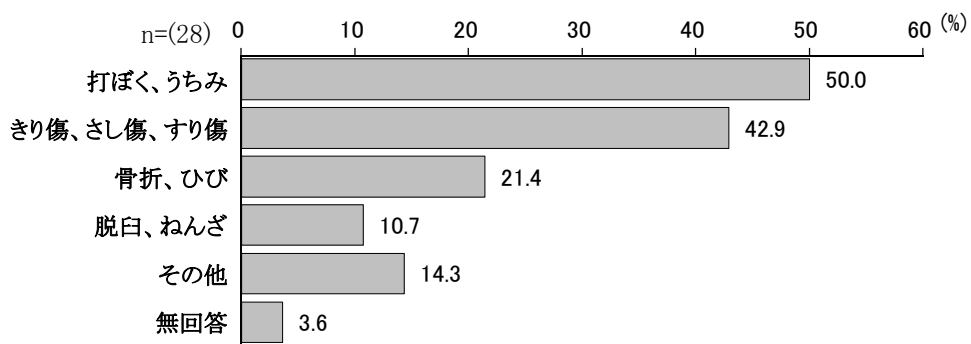


※回答者が少ないため、図は参考程度となります。

(6) 外出時のけがの種類

【問21で、「ある」に回答した方のみにおうかがいします。】

問21-2 どのような「けが」をしましたか。(あてはまるものすべてに○)



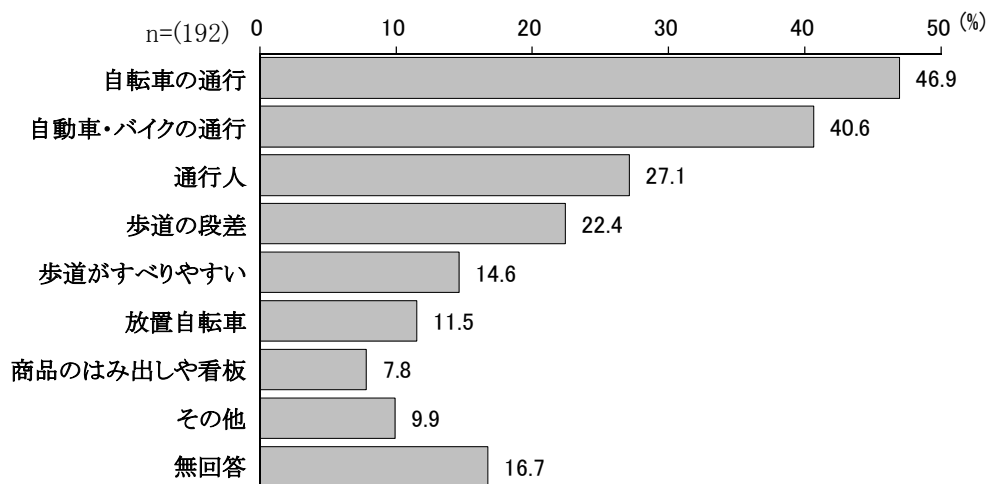
※回答者が少ないため、図は参考程度となります。

(7) 外出時に危険を感じたこと

「自転車の通行」が46.9%

問22 最近、外出時に危険を感じたことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

外出時に危険を感じたことは、「自転車の通行」(46.9%)、「自動車・バイクの通行」(40.6%)が4割台で多く、これに「通行人」(27.1%)、「歩道の段差」(22.4%)が2割台が続いています。



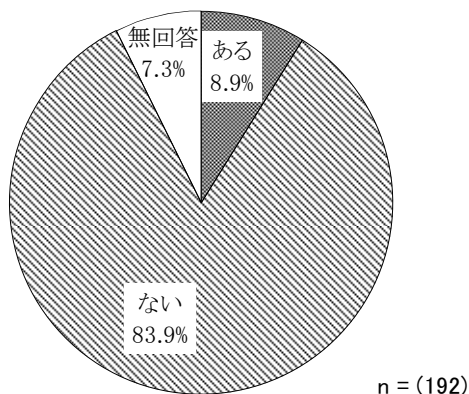
(8) 自宅内でけがをした経験

「ある」は8.9%

問23 自宅内で、ここ1年以内に「けが」をしたことがありますか。(○は1つ)

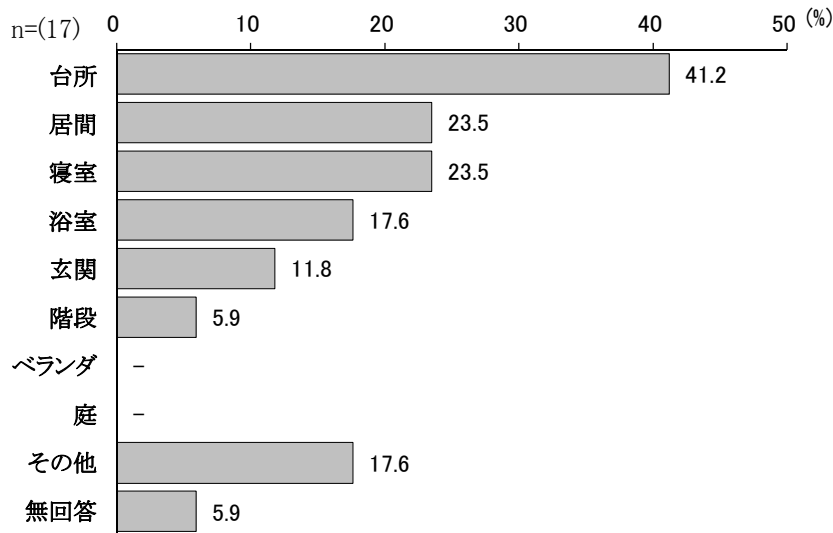
自宅内でけがをした経験は、「ある」が8.9%、「ない」が83.9%となっています。

(障害の種類別の調査結果は14ページ2-(3)を参照)



(9) けがをした自宅内の場所

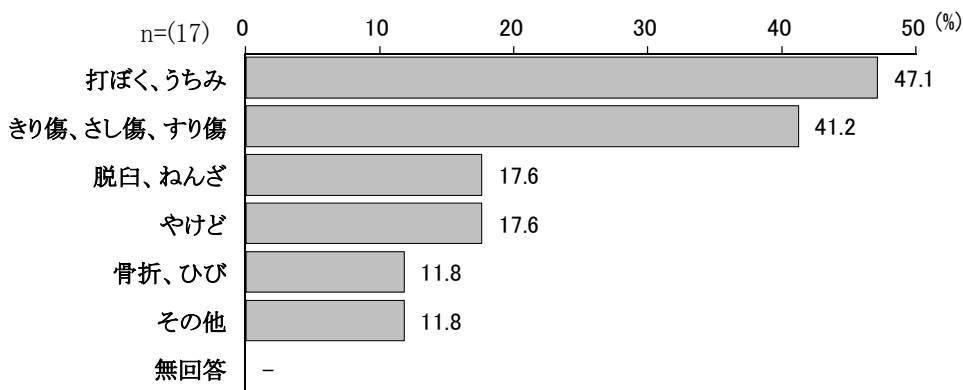
【問23で、「ある」に回答した方のみにおうかがいします。】
 問23-1 けがをした場所は、どこですか。(あてはまるすべてに○)



※回答者が少ないため、図は参考程度となります。

(10) 自宅内のけがの種類

【問23で、「ある」に回答した方のみにおうかがいします。】
 問23-2 どのような「けが」をしましたか。(あてはまるものすべてに○)



※回答者が少ないため、図は参考程度となります。

7. 就労の状況

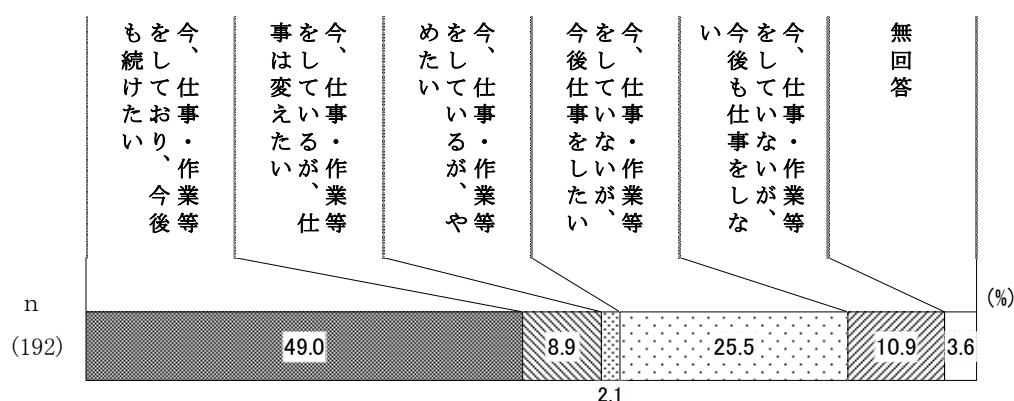
(1) 現在の就労状況と今後の就労意向

「今、仕事・作業などをしており、今後も続けたい」が49.0%

問24 あなたはいま、仕事・作業等をしていきますか。また、これからはどうしたいとお考えですか。(生活介護・就労移行支援・就労継続支援A型/B型・地域活動支援センターでの作業も含みます。家事は含まれません。また休職中の方も含まれます。)(○は1つ)

現在の就労状況と今後の就労意向は、「今、仕事・作業等をしており、今後も続けたい」が49.0%、「今、仕事・作業等をしていないが、今後仕事をしたい」が25.5%となっています。また、「今、仕事・作業等をしていないが、今後も仕事をしない」が10.9%となっています。

(障害の種類別の調査結果は17ページ3-(1)を参照)



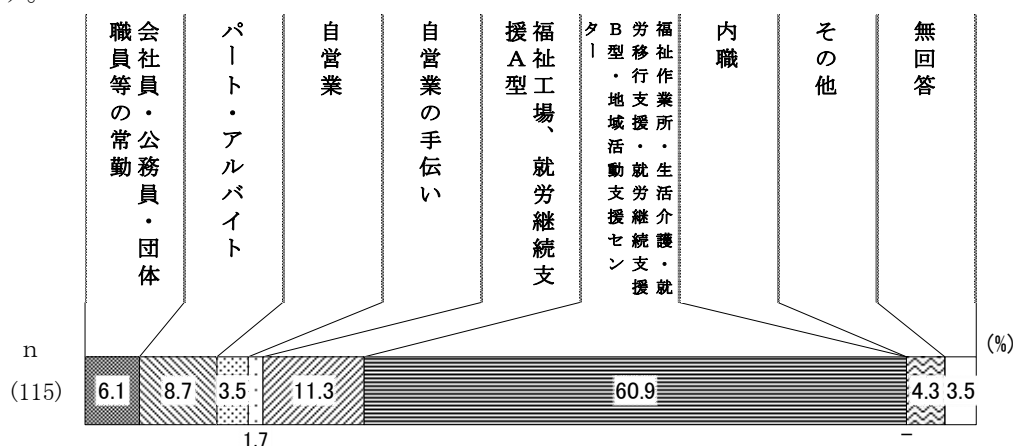
(2) 現在の就労の形態

「福祉作業所・就労継続支援B型等」が60.9%

【問24で、「今、仕事・作業等をしており、今後も続けたい」「今、仕事・作業等をしているが、仕事は変えたい」「今、仕事・作業等をしているが、やめたい」に回答した方のみにおうかがいします。】

問24-1 あなたは、どのような仕事・作業等をしていきますか。(○は1つ)

今、仕事・作業等をしている方の現在の就労の形態は、「福祉作業所・生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型・地域活動支援センター」が60.9%、「福祉工場・就労継続支援A型」が11.3%となっています。



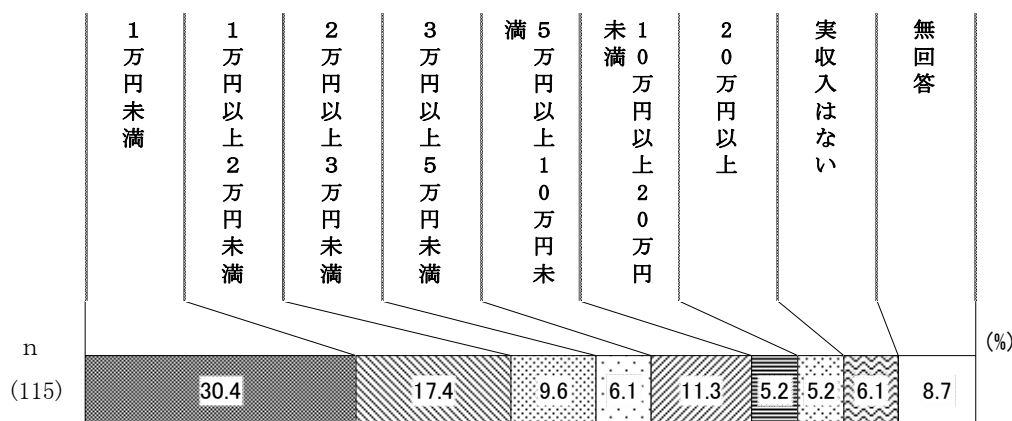
(3) 現在の月収

「1万円未満」が30.4%

【問24で、「今、仕事・作業等をしており、今後も続けたい」「今、仕事・作業等をしているが、仕事は変えたい」「今、仕事・作業等をしているが、やめたい」に回答した方のみにおうかがいします。】

問24-2 仕事・作業等で得る1か月の収入はおおよそどれくらいですか。(○は1つ)

今、仕事・作業等をしている方の現在の月収は、「1万円未満」が30.4%、「1万円以上2万円未満」が17.4%、「5万円以上10万円未満」が11.3%となっています。(障害の種類別の調査結果は18ページ3-(2)を参照)



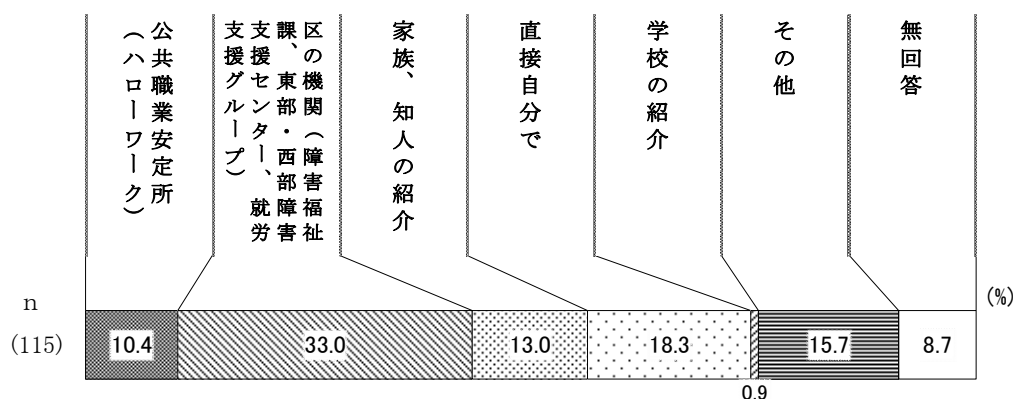
(4) 現在の仕事・作業等を見つけた方法

「区の機関」が33.0%

【問24で、「今、仕事・作業等をしており、今後も続けたい」「今、仕事・作業等をしているが、仕事は変えたい」「今、仕事・作業等をしているが、やめたい」に回答した方のみにおうかがいします。】

問24-3 いまの仕事・作業等は、どのような方法で見つけましたか。(○は1つ)

今、仕事・作業等をしている方の現在の仕事・作業等を見つけた方法は、「区の機関（障害福祉課、東部・西部障害支援センター、就労支援グループ）」が33.0%で最も多く、以下、「直接自分で」が18.3%、「家族、知人の紹介」が13.0%、「公共職業安定所（ハローワーク）」が10.4%が続いています。



(5) 現在の仕事・作業等に対する悩みや不満

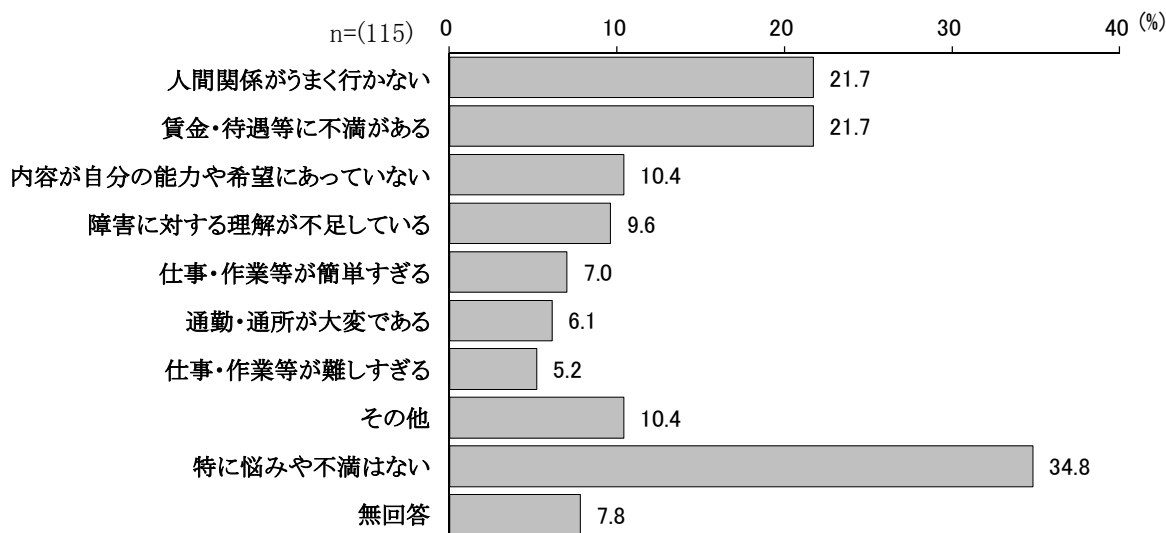
「人間関係」、「賃金・待遇等」が21.7%

【問24で、「今、仕事・作業等をしており、今後も続けたい」「今、仕事・作業等をしているが、仕事は変えたい」「今、仕事・作業等をしているが、やめたい」に回答した方のみにおうかがいします。】

問24-4 いまの仕事・作業等について、悩みや不満等がありますか。

(あてはまるもの3つまで○)

今、仕事・作業等をしている方の仕事・作業等に対する悩みや不満は、「人間関係がうまく行かない」、「賃金・待遇等に不満がある」がともに21.7%で多く、これに「内容が自分の能力や希望にあっていない」(10.4%)、「障害に対する理解が不足している」(9.6%)が1割前後で続いています。



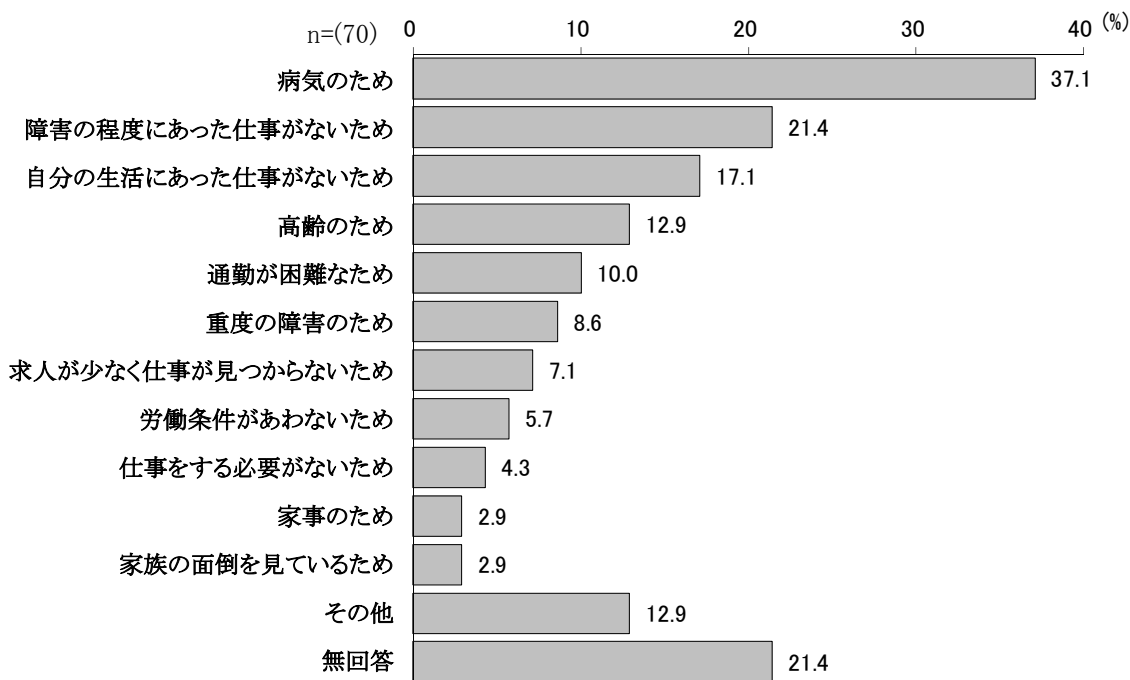
(6) 現在仕事・作業等をしていない主な理由

「病気のため」が37.1%

【問24で、「今、仕事・作業等をしていないが、今後仕事をしたい」「今、仕事・作業等をしていないが、今後も仕事をしない」に回答した方のみにおうかがいします。】

問25 仕事・作業等をしていない主な理由は何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

今、仕事・作業等をしていない方のその主な理由は、「病気のため」が37.1%で最も多く、以下、「障害の程度にあった仕事がないため」が21.4%、「自分の生活にあった仕事がないため」が17.1%で続いています。



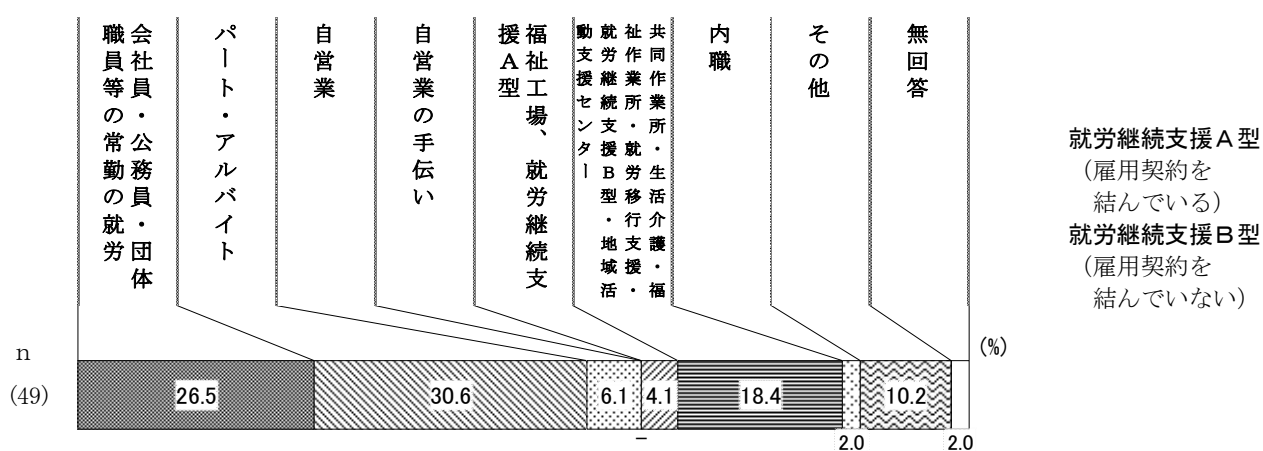
(7) 今後希望する就労の形態

「パート・アルバイト」が30.6%

【問24で、「今、仕事・作業等をしていないが、今後仕事をしたい」に回答した方のみにおうかがいます。】

問25-1 あなたは、今後どのような仕事・作業等をしたいですか。(〇は1つ)

今、仕事・作業等をしていないが、今後仕事をしたい方の今後希望する就労の形態は、「パート・アルバイト」が30.6%で最も多く、以下、「会社員・公務員・団体職員等の常勤の就労」が26.5%、「共同作業所・生活介護・福祉作業所・就労移行支援・就労継続支援B型・地域活動支援センター」が18.4%で続いています。



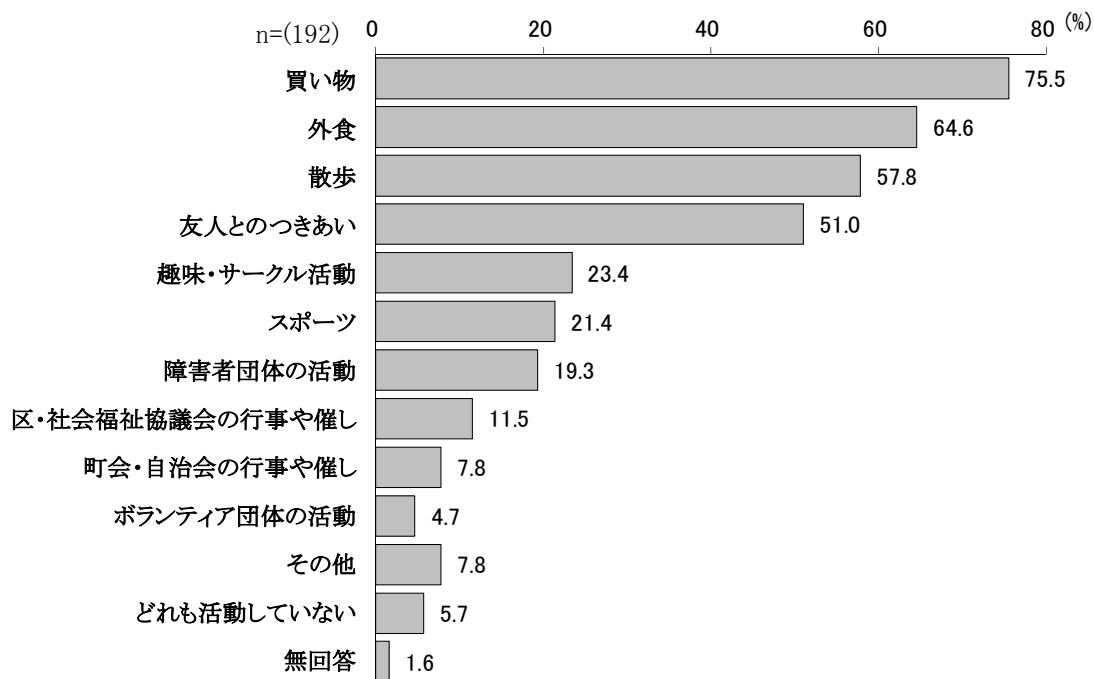
8. 社会参加等

(1) 最近1年間に行った活動

「買い物」が75.5%、「外食」、「散歩」、「友人とのつきあい」も5割以上

問26 最近1年間に、どのような活動をしましたか。(あてはまるものすべてに○)

最近1年間に行った活動は、「買い物」が75.5%で最も多く、以下、「外食」が64.6%、「散歩」(57.8%)、「友人とのつきあい」(51.0%)が5割台で続いています。



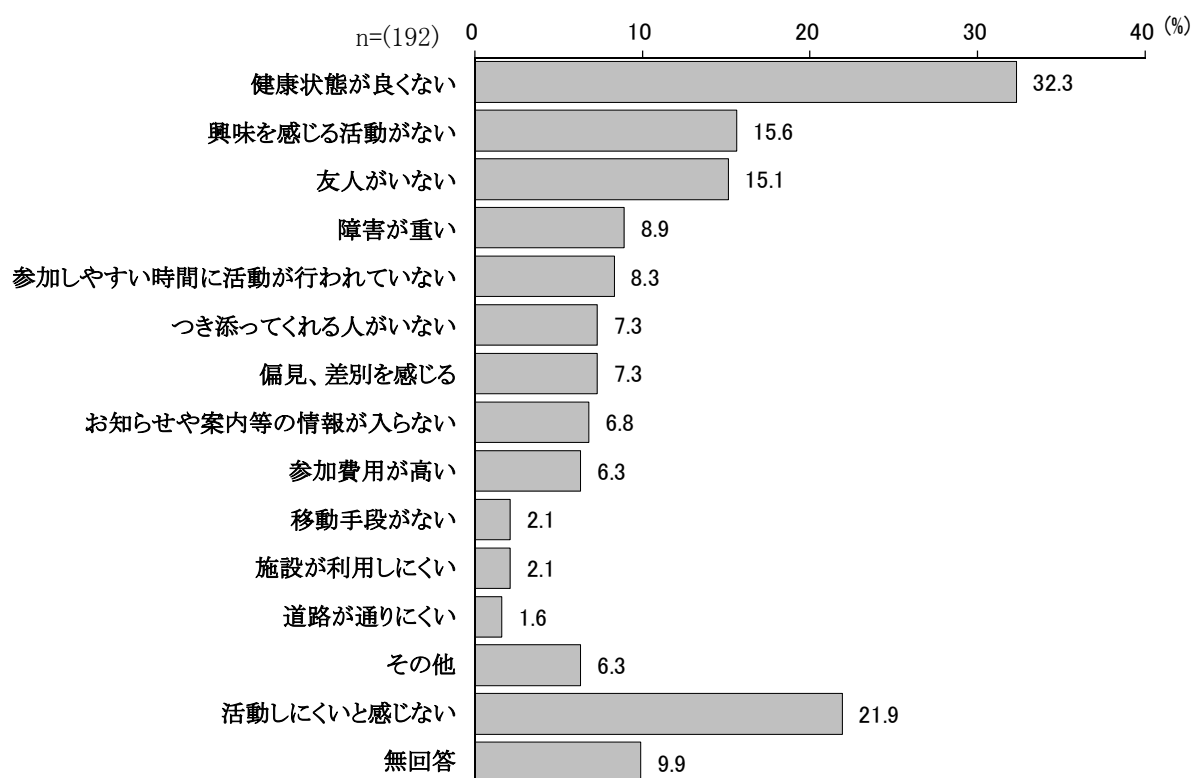
(2) 活動しにくい理由

「健康状態が良くない」が32.3%

問27 活動する際に、何か困ること、活動しにくいと感じることはありますか。

(あてはまるもの3つまで○)

活動しにくい理由は、「健康状態が良くない」が32.3%で最も多く、以下、「興味を感じる活動がない」(15.6%)、「友人がいない」(15.1%)が1割台で続いています。また、「活動しにくいと感じない」が21.9%となっています。

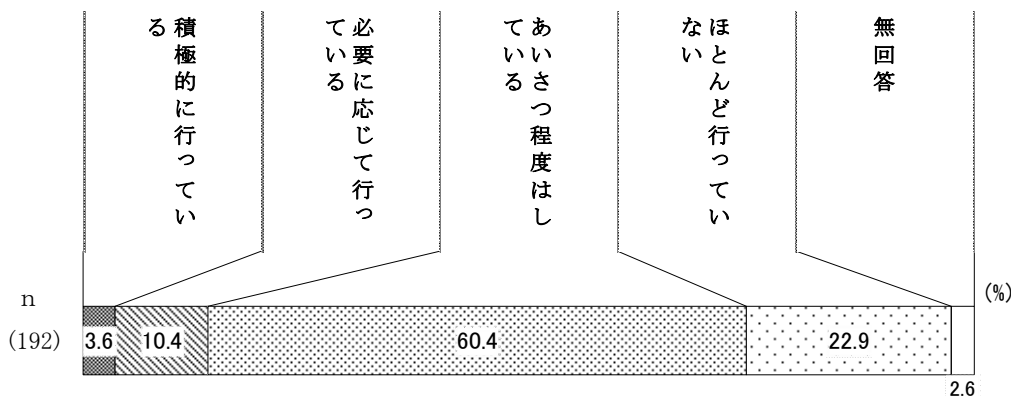


(3) 近所つき合い

「あいさつ程度はしている」が60.4%

問28 ご近所とのおつき合いは、次のうちどれにあてはまりますか。(○は1つ)

近所つき合いは、「積極的にしている」は3.6%とわずかですが、「必要に応じて行っている」は10.4%、「あいさつ程度はしている」は60.4%となっています。また、「ほとんど行っていない」は22.9%となっています。(障害の種類別の調査結果は19ページ4-(1)を参照)

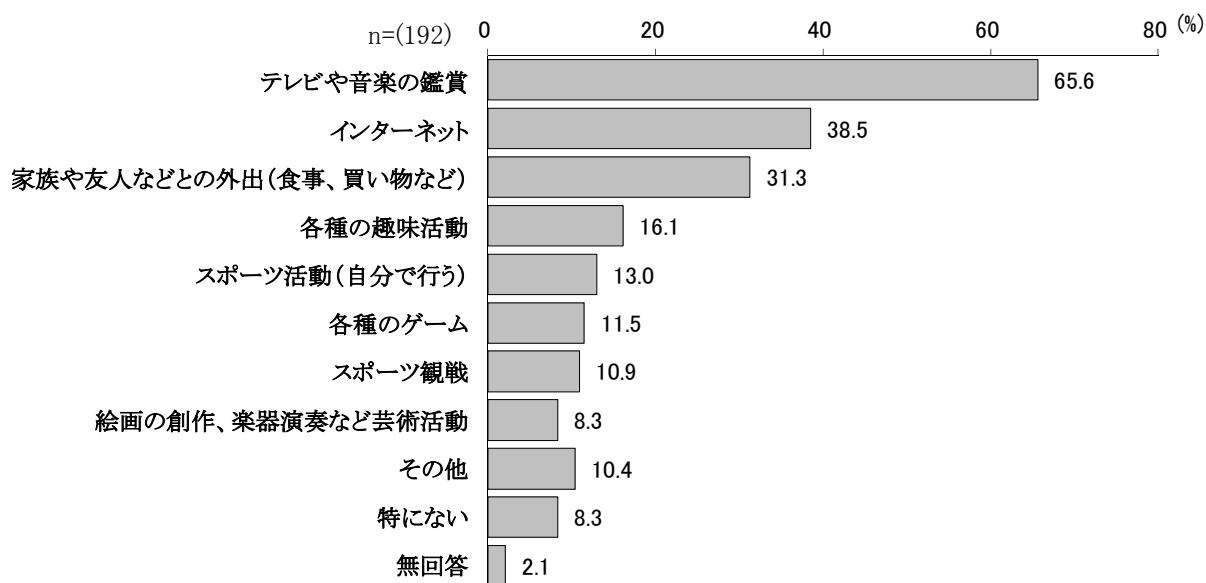


(4) 現在楽しんでいる余暇活動

「テレビや音楽の鑑賞」が65.6%

問29 あなたが今楽しんでいる主な余暇活動は何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

現在楽しんでいる余暇活動は、「テレビや音楽の鑑賞」が65.6%で最も多く、以下、「インターネット」(38.5%)、「家族や友人などとの外出(食事、買い物など)」(31.3%)が3割台で続いています。(障害の種類別の調査結果は20ページ4-(2)を参照)



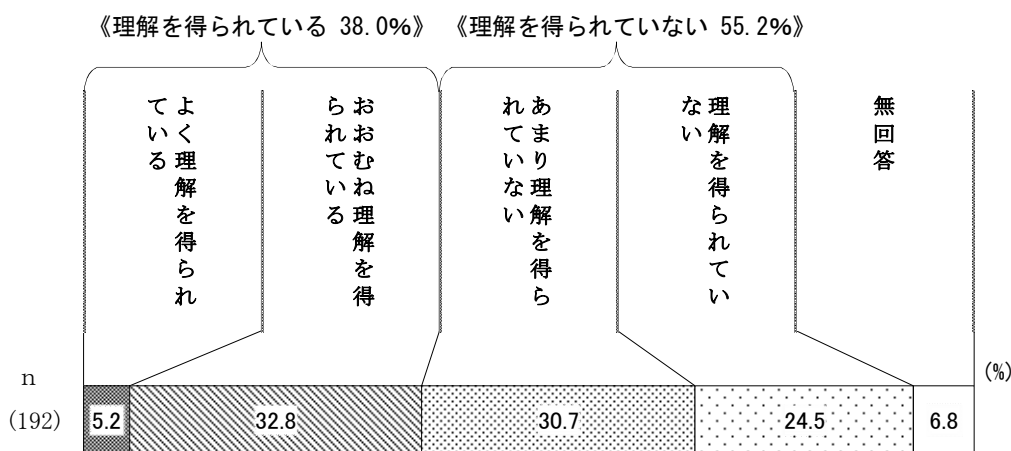
(5) 地域の方々の障害・疾病に対する理解

《理解を得られている》が38.0%、《理解を得られていない》が55.2%

問30 地域で暮らす上で、障害や疾病に対して理解を得られていると感じていますか。

(○は1つ)

地域の方々の障害・疾病に対する理解は、「よく理解を得られている」が5.2%、「おおむね理解を得られている」が32.8%で両者をあわせた《理解を得られている》は38.0%となっています。一方、「理解を得られていない」(24.5%)と「あまり理解を得られていない」(30.7%)をあわせた《理解を得られていない》は55.2%となっています。(障害の種類別の調査結果は21ページ4-(3)を参照)



(6) 運動やスポーツへの活動意向と現況

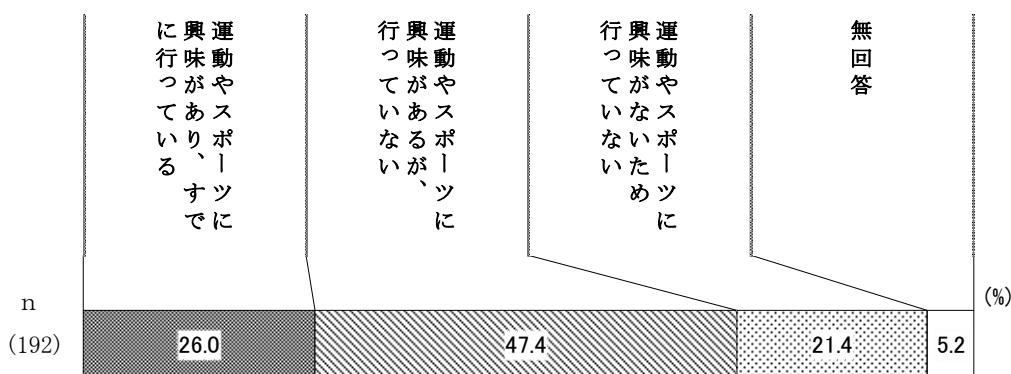
「行っている」が26.0%

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向け、運動やスポーツに関する意識や、現在の活動状況をお伺いします。

問31 運動やスポーツを行いたいと思いますか、また、行っていますか。(○は1つ)

※ここでの「運動やスポーツ」は、競技スポーツだけでなく、ウォーキングや体操、ストレッチなどの軽い運動も含みます。

運動やスポーツへの活動意向と現況は、「運動やスポーツに興味があり、すでに行っている」が26.0%となっています。「運動やスポーツに興味があるが、行っていない」は47.4%と多くなっています。(障害の種類別の調査結果は22ページ4-(4)を参照)



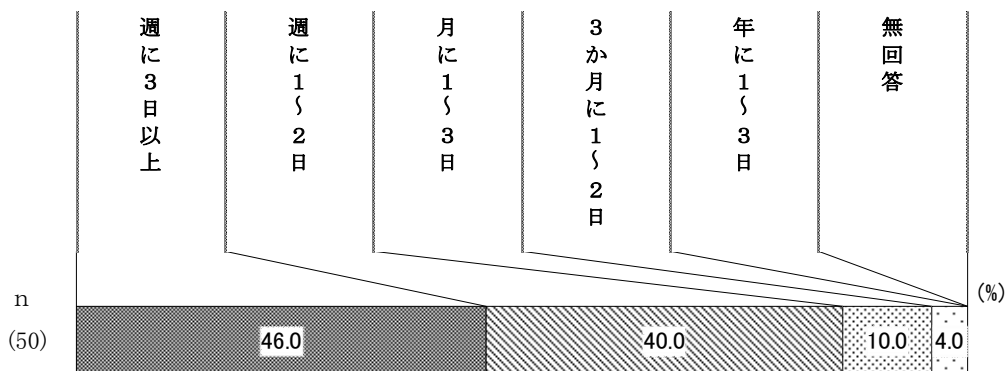
(7) 運動やスポーツの実施頻度

「週に3日以上」、「週に1~2日」が4割台

【問31で、「運動やスポーツに興味があり、すでに行っている」に回答した方のみにおうかがいします。】

問31-1 運動やスポーツをどれくらいの頻度で実施していますか。(○は1つ)

運動やスポーツを行っている方の実施頻度は、「週に3日以上」(46.0%)、「週に1~2日」(40.0%)が4割台となっており、「月に1~3回」が10.0%となっています。



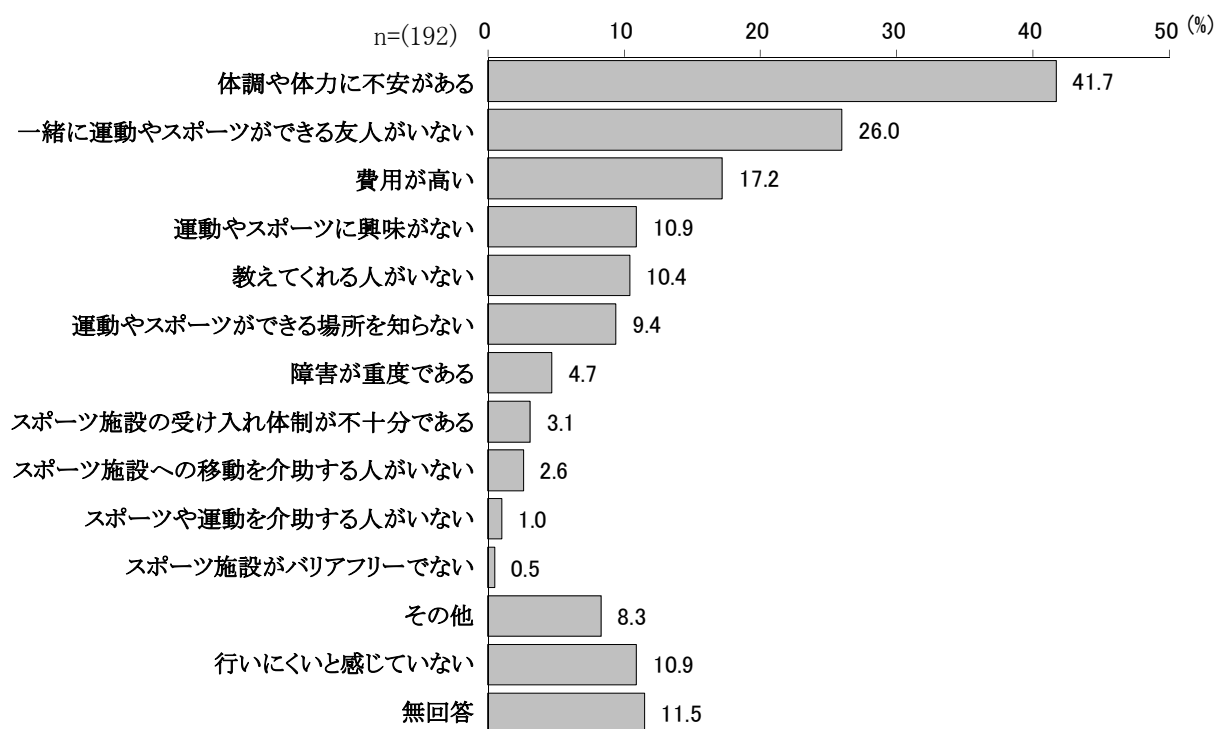
(8) 運動やスポーツを行いにくいと感ずること

「体調や体力に不安がある」が41.7%

問 32 運動やスポーツをする際に、何か困ること、行いにくいと感ずることはありますか。
(あてはまるもの3つまで○)

運動やスポーツを行いにくいと感ずることは、「体調や体力に不安がある」が41.7%で最も多く、以下、「一緒に運動やスポーツができる友人がいない」が26.0%、「費用が高い」(17.2%)、「運動やスポーツに興味がない」(10.9%)、「教えてくれる人がいない」(10.4%)が1割台で続いています。

(障害の種類別の調査結果は23ページ4-(5)を参照)



9. 障害者の権利

(1) 障害者の権利を守るために充実すべき内容

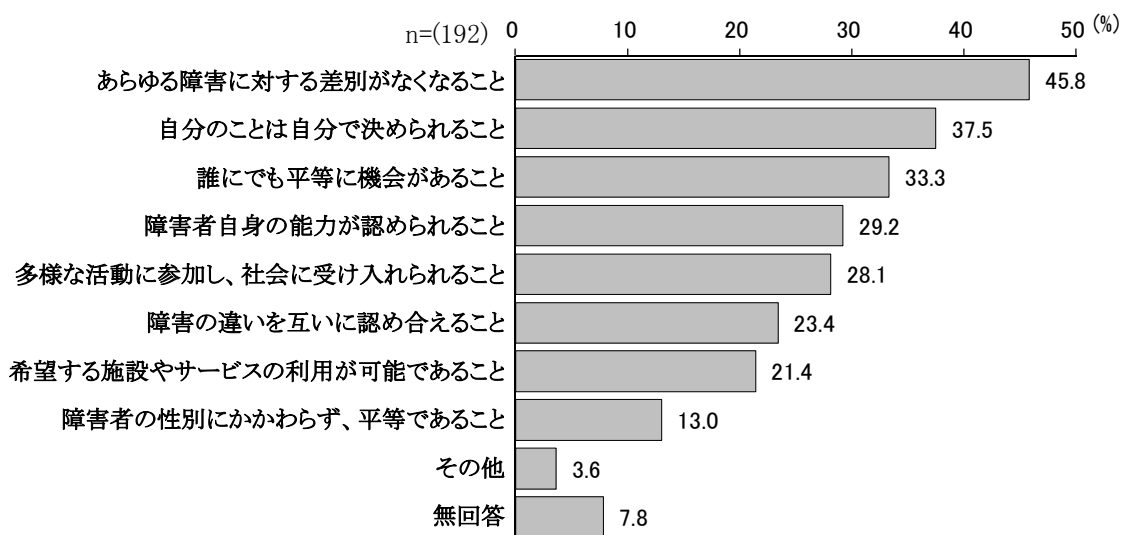
「あらゆる障害に対する差別がなくなること」が45.8%

問33 平成18年（2006年）に、国連では、「障害者の権利に関する条約」が採択されました。今後、障害者の権利を守るために、特に充実させるべき内容はどれですか。

（あてはまるもの3つまで○）

障害者の権利を守るために充実すべき内容は、「あらゆる障害に対する差別がなくなること」が45.8%で最も多く、以下、「自分のことは自分で決められること」（37.5%）、「誰にでも平等に機会があること」（33.3%）が3割台、「障害者自身の能力が認められること」（29.2%）、「多様な活動に参加し、社会に受け入れられること」（28.1%）が3割近くで続いています。

（障害の種類別の調査結果は24ページ5－（1）を参照）

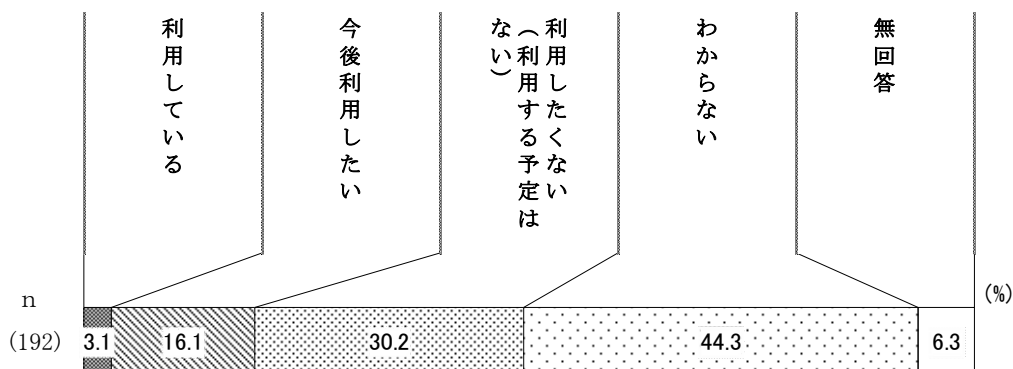


(2) 成年後見制度の利用意向

「今後利用したい」が16.1%

問34 成年後見とは、障害などで判断能力が不十分な人の「財産」や「権利」を保護し、支援していく制度です。あなたは、成年後見制度を利用したいですか。（○は1つ）

成年後見制度の利用意向は、「今後利用したい」が16.1%となっています。また、「利用したくない（利用する予定はない）」が30.2%となっています。



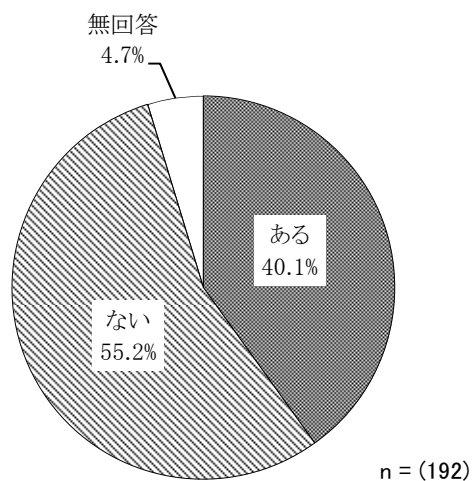
(3) 虐待を受けた経験

「ある」は40.1%

問35 あなたは、いままでに自分の体や心を傷つけられた（虐待された）ことがありますか。
(○は1つ)

虐待を受けた経験は、「ある」が40.1%、「ない」が55.2%となっています。

(障害の種類別の調査結果は25ページ5-(2)を参照)



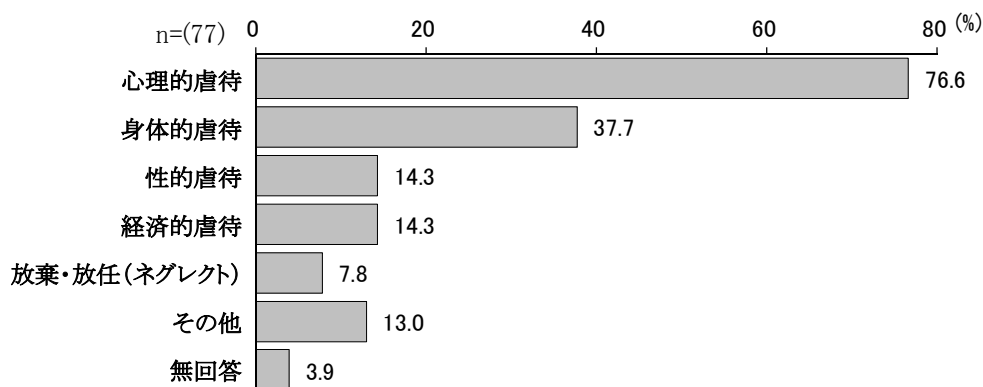
(4) 受けたことがある虐待の内容

「心理的虐待」が76.6%

【問35で、「ある」に回答した方のみにおうかがいします。】

問35-1 虐待の内容はどのような内容ですか。(あてはまるものすべてに○)

虐待を受けたことがある方の虐待の内容は、「心理的虐待」が76.6%で特に多く、これに「身体的虐待」が37.7%が続いています。



*心理的虐待：怒鳴る、悪口を言う、仲間に入れない、わざと無視する など

*身体的虐待：殴る、蹴る、縛りつける、閉じ込める、不要な薬を飲ませる など

*性的虐待：性交、性器への接触、裸にする、わいせつな話をする など

*経済的虐待：必要なお金を与えない、勝手に財産や預貯金を使う など

*放棄・放任(ネグレクト)：十分な食事を与えない、不潔な住環境で生活させる など

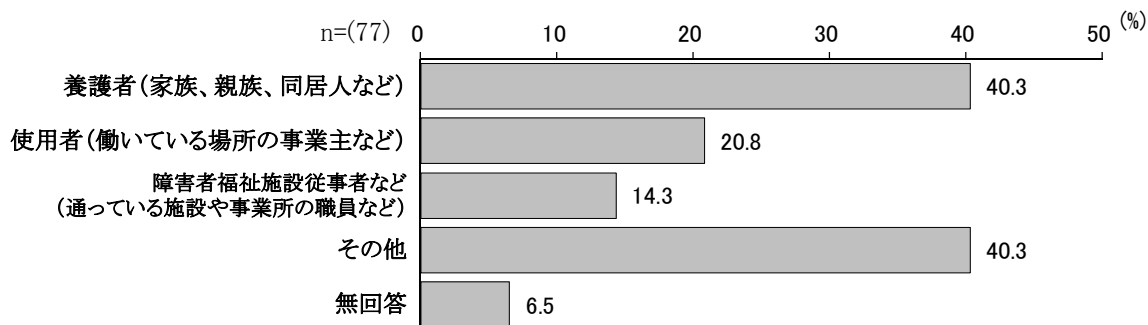
(5) 虐待を受けた相手

「養護者」が40.3%

【問35で、「ある」に回答した方のみにおうかがいします。】

問35-2 誰から虐待を受けましたか。(あてはまるものすべてに○)

虐待を受けたことがある方の虐待を受けた相手は、「養護者（家族、親族、同居人など）」が40.3%で最も多く、これに「使用者（働いている場所の事業主など）」が20.8%で続いています。



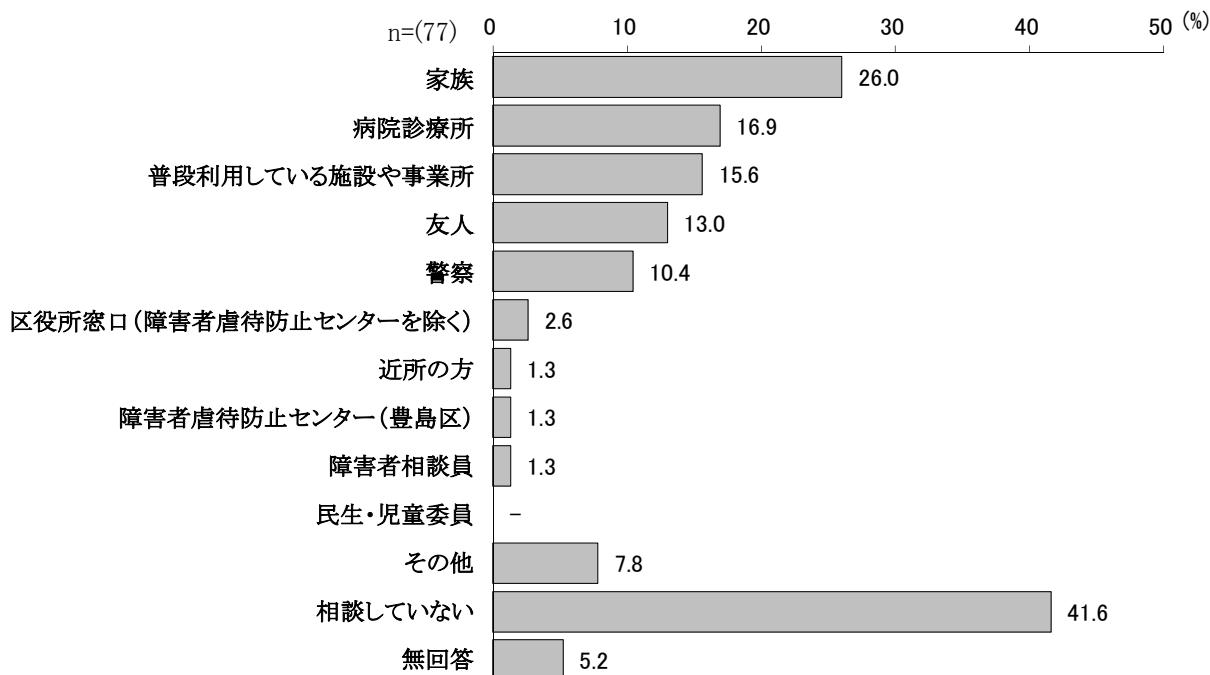
(6) 虐待について相談した相手

「家族」が26.0%

【問35で、「ある」に回答した方のみにおうかがいします。】

問35-3 虐待を受けた時、だれ(どこ)に相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

虐待を受けたことがある方の虐待について相談をした相手は、「家族」が26.0%で最も多く、「病院診療所」(16.9%)、「普段利用している施設や事業所」(15.6%)、「友人」(13.0%)、「警察」(10.4%)が1割台で続いています。

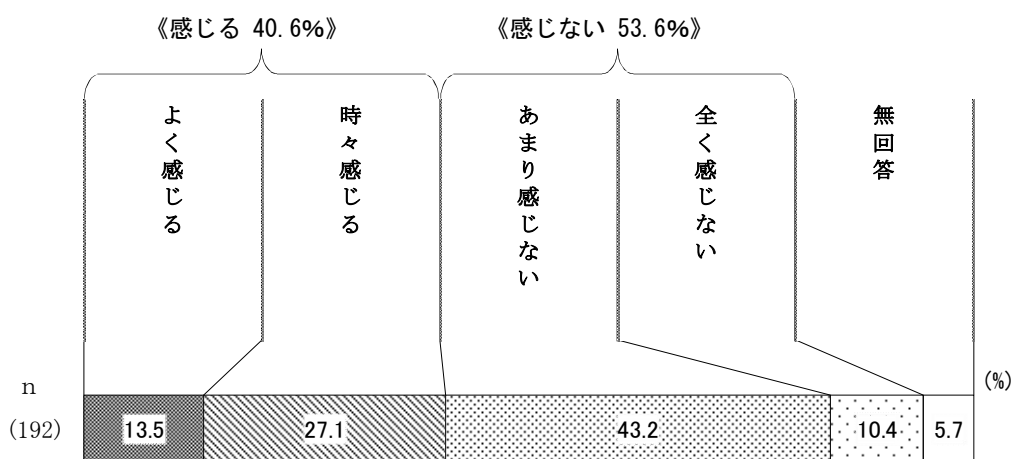


(7) 障害者への差別を感じること

《感じる》は40.6%、《感じない》は53.6%

問36 平成28年4月に障害者差別解消法が施行されましたが、障害者への差別を感じることはありますか。(〇は1つ)

障害者への差別を「よく感じる」は13.5%、「時々感じる」は27.1%で、両者をあわせた《感じる》は40.6%となっています。一方、「全く感じない」(10.4%)と「あまり感じない」(43.2%)をあわせた《感じない》は53.6%となっています。(障害の種類別の調査結果は26ページ5-(3)を参照)



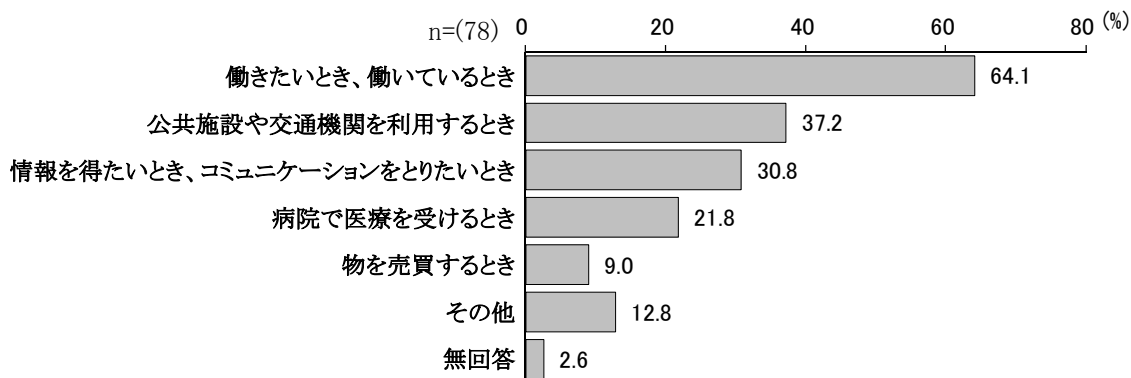
(8) 差別を感じる時

「働きたいとき、働いているとき」が64.1%

【問36で、「よく感じる」「時々感じる」に回答した方のみにおうかがいします。】

問36-1 どのようなときに差別を感じますか。(あてはまるもの3つまで〇)

障害者に対する差別を感じる方がどのようなときに差別を感じるかでは、「働きたいとき、働いているとき」が64.1%で最も多く、以下、「公共施設や交通機関を利用するとき」(37.2%)、「情報を得たいとき、コミュニケーションをとりたいとき」(30.8%)が3割台、「病院で医療を受けるとき」が21.8%で続いています。



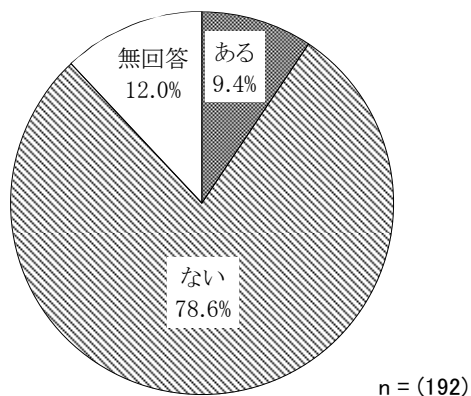
(9) 差別の相談経験

「ある」は9.4%

問37 障害者への差別を感じたときに、相談をしたことはありますか。(○は1つ)

差別の相談経験は、「ある」が9.4%、「ない」が78.6%となっています。

(障害の種類別の調査結果は27ページ5-(4)を参照)

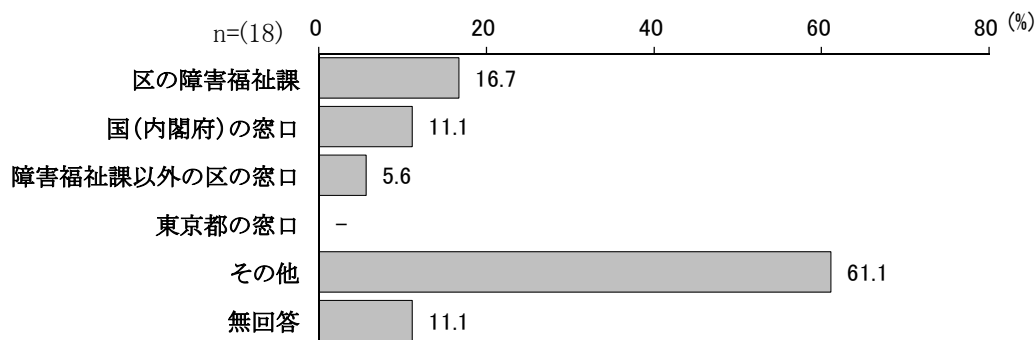


(10) 差別についての相談先

「区の障害福祉課」が16.7%

【問37で、「ある」に回答した方のみにおうかがいします。】

問37-1 どこに相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)



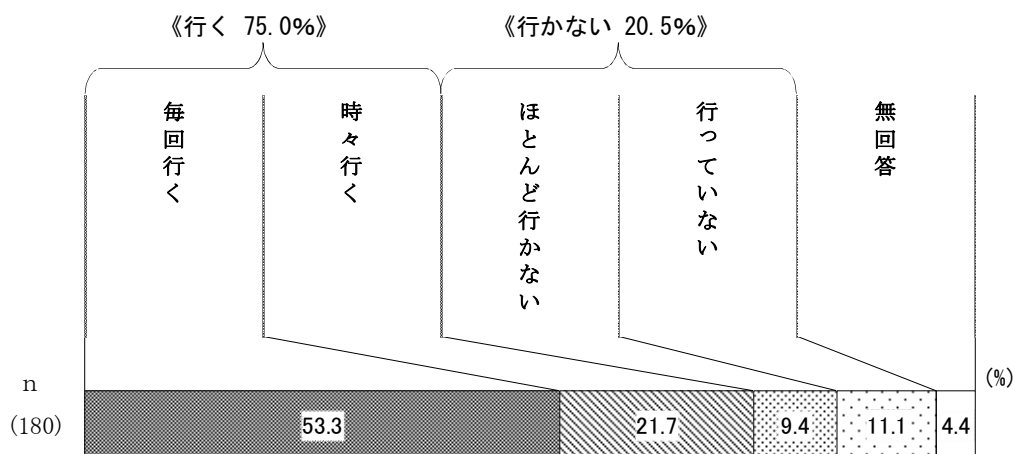
※回答者が少ないため、図は参考程度となります。

(11) 選挙投票への参加状況（18歳以上の方）

《行く》は75.0%

問38 あなたは選挙に行っていますか。（○は1つ）

選挙投票への参加状況は、「毎回行く」が53.3%、「時々行く」が21.7%となっており、両者をあわせた《行く》は75.0%となっています。一方、「行っていない」（11.1%）と「ほとんど行かない」（9.4%）をあわせた《行かない》は20.5%となっています。



(12) 選挙に行かない理由（18歳以上の方）

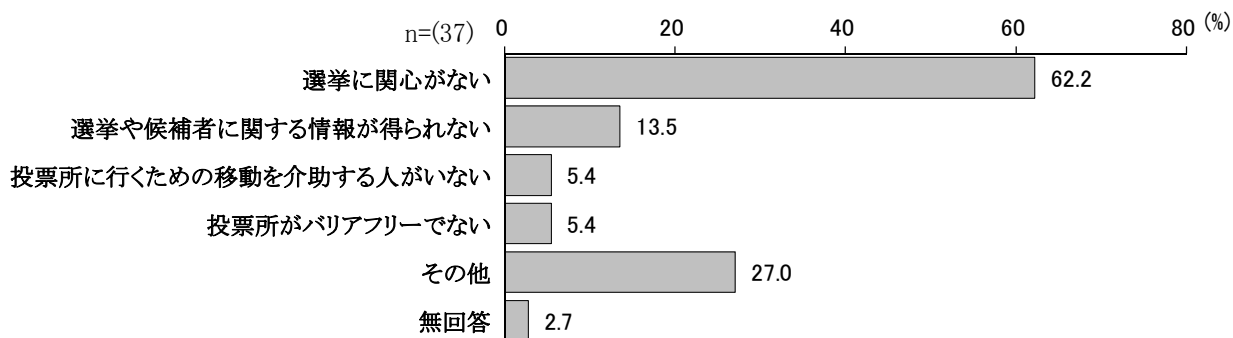
「選挙に関心がない」が62.2%

18歳以上の方のみ

【問38で、「ほとんど行かない」「行っていない」に回答した方のみにおうかがいします。】

問38-1 選挙に行かない理由は、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

選挙に行かない方の理由は、「選挙に関心がない」が62.2%で特に多くなっています。



10. 豊島区等への要望

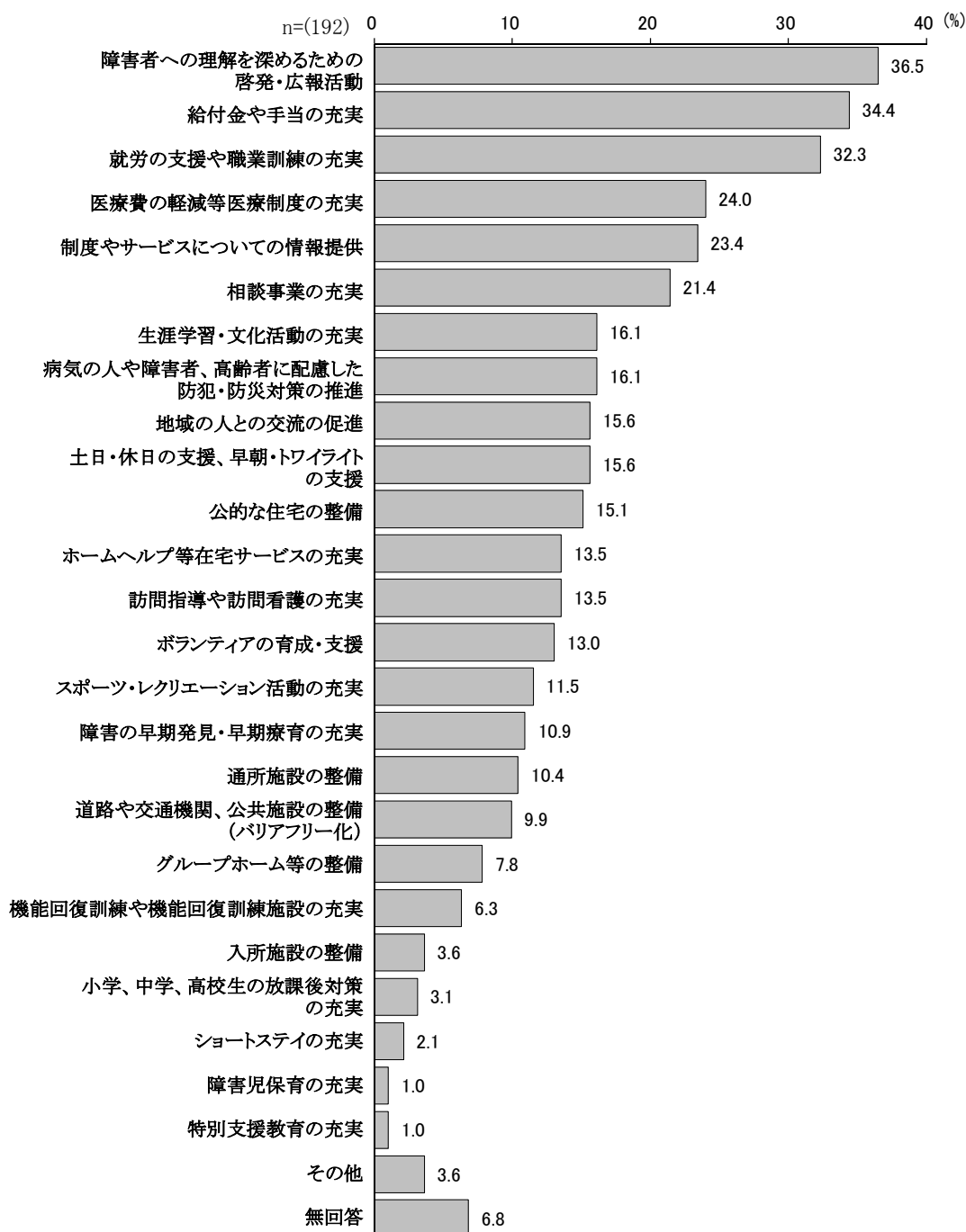
(1) 行政に対する要望

「啓発・広報活動」、「給付金や手当」、「就労の支援や職業訓練の充実」が3割台

問39 行政（豊島区）は次のうちどのようなことに取り組むことが望ましいと思いますか。
（あてはまるもの5つまで○）

行政に対する要望は、「障害者への理解を深めるための啓発・広報活動」（36.5%）、「給付金や手当の充実」（34.4%）、「就労の支援や職業訓練の充実」（32.3%）の3項目が3割台で多く、これに「医療費の軽減等医療制度の充実」（24.0%）、「制度やサービスについての情報提供」（23.4%）、「相談事業の充実」（21.4%）が2割台で続いています。

（障害の種類別の調査結果は28ページ6－（1）を参照）



第6章 難病患者調査

1. 難病患者調査の結果のまとめ

(1) 病気や医療の状況 (173ページ～177ページ)

- ・難病患者福祉手当を受給している対象の疾病は、「潰瘍性大腸炎」、「全身性エリテマトーデス」が多くなっています。
- ・難病患者福祉手当を受けている病気を発病した時期は、「40歳以上」が52%ですが、「18～39歳までの間」も38%となっています。
- ・医療機関の受診状況は、「通院している」が92%で最も多くなっています。
- ・医療機関を受診している方の医療機関の所在地は、「他区」が71%で最も多く、「豊島区内」は23%となっています。
- ・医療機関を受診している方の通院の頻度は、「1か月に1回程度」が46%で最も多くなっています。
- ・最近3か月に通院した方の医療機関への交通手段は、「電車・バス・地下鉄」、「タクシー」が多くなっています。
- ・過去3年以内の入院経験は、「入院したことがある」が23%で、入院したことがある方の入院回数は、「1回」が49%となっています。
- ・過去3年以内に入院したことがある方の通算入院期間は、「1か月以内」が59%で最も多くなっています。
- ・難病患者福祉手当を受けている病気の治療で、保険外治療を受けた経験は、「受けたことはない」が90%と多くなっています。

(2) 介助 (178ページ～179ページ)

- ・介助の必要性は、「介助は特に必要ない」が82%と多くなっています。
- ・介助、手助けを必要とする方の介助を必要とすることは、「外出」が最も多く、以下、「入浴」、「食事」、「衣類の着脱」、「室内の移動」などとなっています。
- ・介助、手助けを必要とする方の主な介助者は、「配偶者（夫または妻）」が最も多く、以下、「子ども（子どもの配偶者）」、「ホームヘルパー」などとなっています。

(3) 日常生活の状況や就労状況 (180ページ～183ページ)

- ・日常生活の状況は、「職業に就いている」が45%、「家事をしている」が33%、「療養をしている」が16%などとなっています。
- ・職業に就いている方の現在の就労の形態は、「常勤雇用」が47%、「パート・アルバイト」が30%などとなっています。
- ・職業に就いている方の現在の月収は、「20万円以上」、「10万円以上20万円未満」がともに36%などとなっています。
- ・職業に就いている方の現在の仕事・作業等を見つけた方法は、「直接自分で探した」が最も多く、以下、「家族、知人の紹介」、「公共職業安定所（ハローワーク）で探した」などとなっています。
- ・職業に就いている方の仕事を休む頻度は、「たまに休む」が30%、「1か月に1回以上」が20%となっています。また、「ほとんどない」が27%となっています。
- ・家事、あるいは療養をしている方の仕事・作業等をしていない理由は、「病状がよくないか

ら」、「家事があるから」などが多くなっています。

- ・家事、あるいは療養をしている方の今後希望する就労の形態は、「特に働きたくない」、「パート・アルバイト」などが多くなっています。

(4) 住居の状況 (184ページ)

- ・住居形態は、「持ち家（一戸建）」が最も多く、以下、「民間借家（アパート・マンション等）」、「持ち家（分譲マンション等）」などとなっています。
- ・住まいについて困っていることは、「家賃の負担が大きい」が最も多くなっています。また、「特にない」が36%となっています。

(5) 外出の状況 (185ページ～191ページ)

- ・外出の頻度は、「ほぼ毎日」が50%となっています。
- ・より利用する外出手段は、「電車・地下鉄」、「徒歩（歩行器・杖を含む）」、「自転車」などが多くなっています。
- ・外出時にけがをした経験は、「ある」が19%となっています。
- ・外出時にけがをしたことがある方の理由は、「歩道などの段差」、「歩道ですべって」などが多くなっています。
- ・外出時にけがをしたことがある方のけがの種類は、「打ぼく、うちみ」、「きり傷、さし傷、すり傷」などが多くなっています。
- ・外出時に危険を感じたことは、「自転車の通行」が最も多く、以下、「歩道の段差」、「自動車・バイクの通行」などとなっています。
- ・自宅内でけがをした経験は、「ある」が21%となっています。
- ・自宅内でけがをしたことがある方の自宅内の場所は、「居間」、「台所」、「浴室」などが多くなっています。
- ・自宅内でけがをしたことがある方のけがの種類は、「打ぼく、うちみ」、「きり傷、さし傷、すり傷」などが多くなっています。
- ・まちのバリアフリーについての満足度は、「とても満足している」と「おおむね満足している」をあわせた《満足》が42%、「とても不満である」と「やや不満である」をあわせた《不満》が52%となっています。
- ・急いでバリアフリーを進めてほしい施設は、「歩道」、「電車・バス等の公共交通機関」の2項目が多くなっています。

(6) 福祉に関する相談や情報 (192ページ～194ページ)

- ・健康・福祉に関する情報の入手手段は、「広報紙（東京都・豊島区）」が最も多く、以下、「病院・診療所」、「テレビ・ラジオ」、「インターネット（携帯電話利用を含む）」、「一般の新聞・雑誌」などとなっています。
- ・よく利用する相談窓口は、「病院・診療所」が最も多くなっています。また、「特にない」が46%となっています。
- ・病気についての相談相手は、「医療機関（医師等）」が81%で最も多くなっています。
- ・相談窓口の対応の満足度は、「とても満足している」と「おおむね満足している」をあわせた

《満足》が73%となっています。

- ・相談対応に不満を感じる理由は、「十分な助言が得られない」が最も多く、以下、「曜日・時間が限られている」、「窓口がわかりにくい」などとなっています。

(7) 社会参加等 (195ページ～198ページ)

- ・近所つき合いは、「あいさつ程度はしている」が53%で最も多くなっています。
- ・現在楽しんでいる余暇活動は、「テレビや音楽の鑑賞」が最も多く、以下、「家族や友人などとの外出（食事、買い物など）」、「インターネット」などとなっています。
- ・地域の方々の障害・疾病に対する理解は、「よく理解を得られている」と「おおむね理解を得られている」をあわせた《得られている》は38%となっています。「理解を得られていない」と「あまり理解を得られていない」をあわせた《得られていない》は54%となっています。
- ・運動やスポーツへの活動意向と現況は、「運動やスポーツに興味があり、すでに行っている」が29%となっています。
- ・運動やスポーツを行っている方の実施頻度は、「週に1～2日」が49%、「週に3日以上」が36%となっています。
- ・運動やスポーツを行いにいくと感じることは、「体調や体力に不安がある」が最も多く、以下、「費用が高い」などとなっています。

(8) 障害者の権利 (199ページ～205ページ)

- ・障害者の権利を守るために充実すべき内容は、「あらゆる障害に対する差別がなくなること」、「誰にでも平等に機会があること」などが多くなっています。
- ・成年後見制度の利用意向は、「今後利用したい」が10%となっています。
- ・虐待を受けた経験は、「ある」が10%となっています。
- ・虐待を受けたことがある方の虐待の内容は、「心理的虐待（怒鳴る、悪口を言う、仲間に入れない、わざと無視する など）」が最も多くなっています。
- ・虐待を受けたことがある方の虐待を受けた相手は、「養護者（家族、親族、同居人など）」、「使用者（働いている場所の事業主など）」などが多くなっています。
- ・虐待を受けたことがある方の虐待について相談をした相手は、「家族」、「友人」が多くなっています。また、「相談していない」が50%となっています。
- ・障害者に対する差別を「よく感じる」と「時々感じる」をあわせた《感じる》は22%、「全く感じない」と「あまり感じない」をあわせた《感じない》は69%となっています。
- ・障害者に対する差別を感じる方がどのようなときに差別を感じるかでは、「公共施設や交通機関を利用するとき」、「働きたいとき、働いているとき」の2項目が多くなっています。
- ・差別の相談経験は、「ある」が2%となっています。
- ・選挙投票への参加状況は、「毎回行く」と「時々行く」をあわせた《行く》は84%となっています。
- ・選挙に行かない方の理由は、「選挙に関心がない」が最も多く、以下、「投票所に行くための移動を介助する人がいない」などとなっています。

第6章 難病患者調査

(9) サービスの利用状況や今後の利用意向 (206ページ)

- ・サービスの利用状況について「今後利用したい」はいずれも1割台ですが、“通所サービス（就労継続支援、生活介護など）”、“日常生活用具の給付”が比較的多くなっています。

(10) 豊島区等への要望 (207ページ)

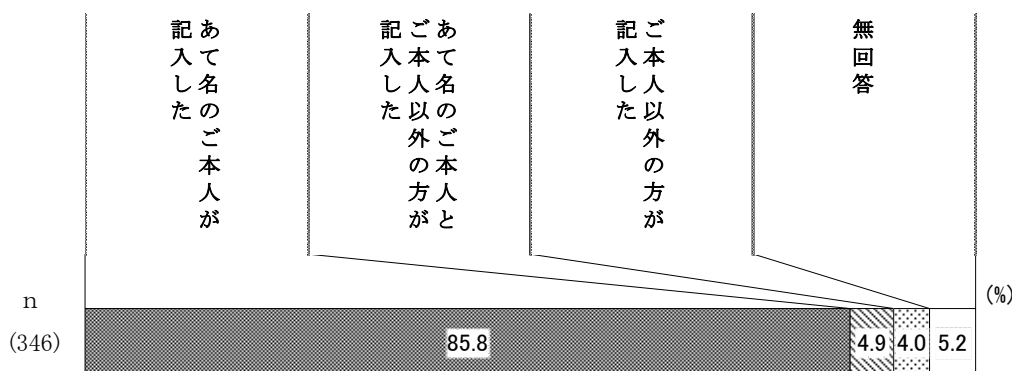
- ・行政に対する要望は、「給付金や手当の充実」、「医療費の軽減等医療制度の充実」、「道路や交通機関、公共施設の整備（バリアフリー化）」などが多くなっています。

2. 回答者の属性

(1) 調査票記入者

問41 ご記入者は、調査票のあて名になっていた方からみて、どなたにあたりますか。
(○は1つ)

調査票記入者は、「あて名のご本人が記入した」が85.8%となっています。



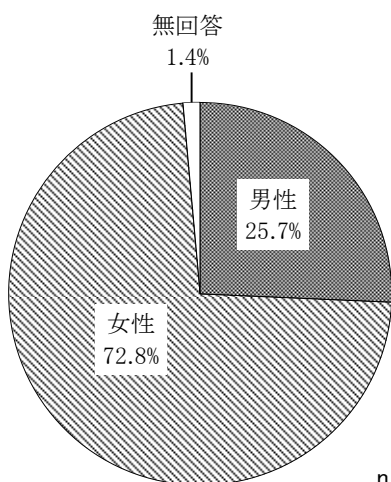
(2) 性別・年齢

問1 あなたの性別と年齢（本日の満年齢）を教えてください。

性別は、「男性」が25.7%、「女性」が72.8%となっています。

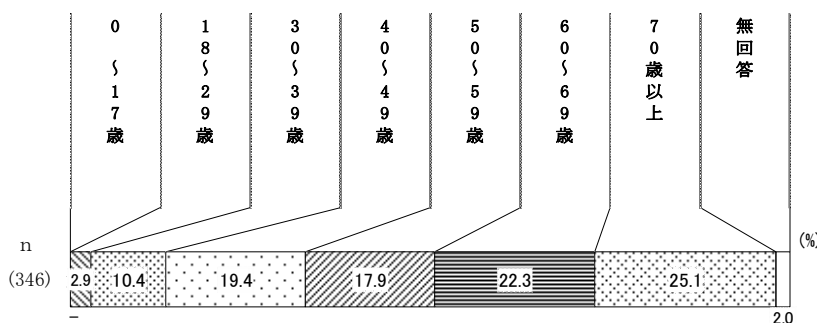
年齢は、「70歳以上」(25.1%)、「60～69歳」(22.3%)が2割台、「40～49歳」(19.4%)、「50～59歳」(17.9%)、「30～39歳」(10.4%)が1割台となっています。

【性別】



n = (346)

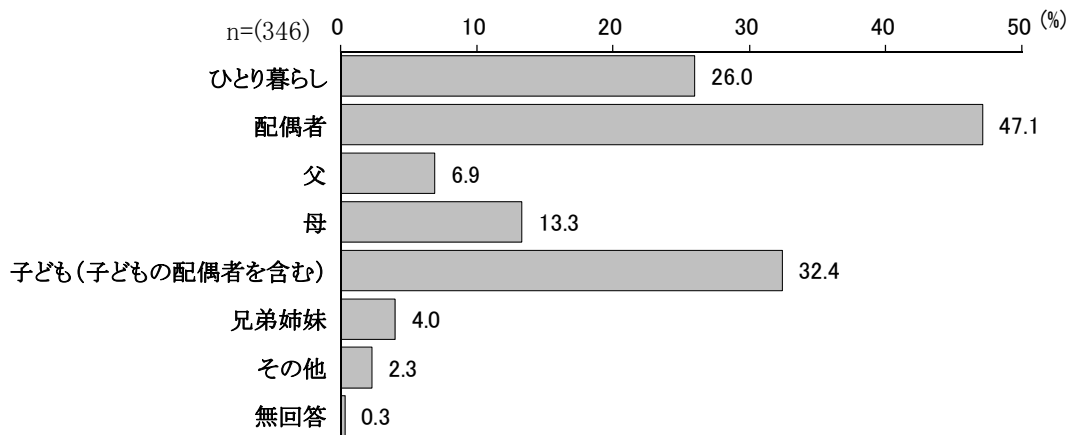
【年齢】



(3) 同居家族

問2 あなたと一緒に住んでいるご家族に○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

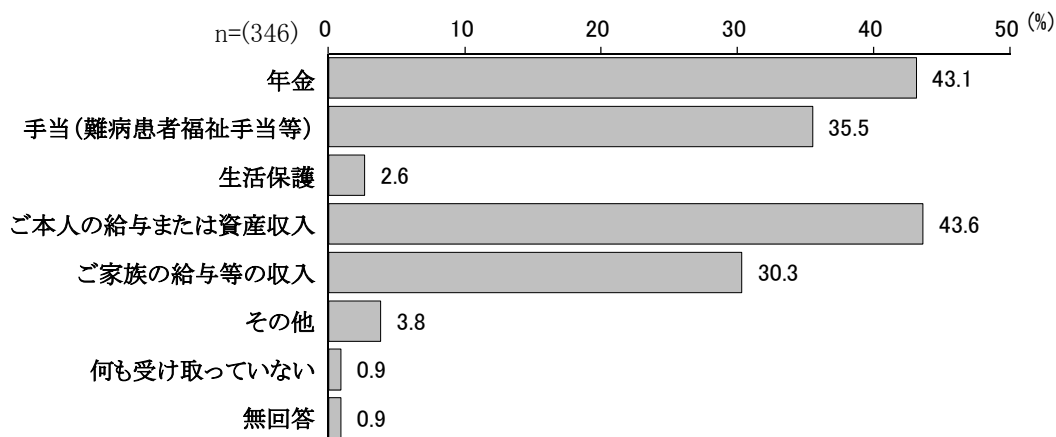
同居家族は、「配偶者」が47.1%で最も多く、以下、「子ども（子どもの配偶者を含む）」が32.4%、「ひとり暮らし」が26.0%で続いています。



(4) 主な収入

問3 あなたの主な収入は何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

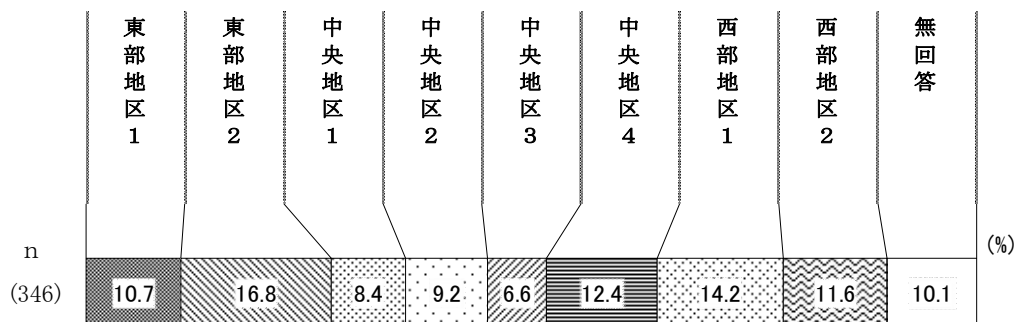
主な収入は、「ご本人の給与または資産収入」(43.6%)、「年金」(43.1%)が4割台、「手当（難病患者福祉手当等）」(35.5%)、「ご家族の給与等の収入」(30.3%)が3割台で続いています。



(5) 居住地区

問4 あなたのお住まいの地区はどこですか。

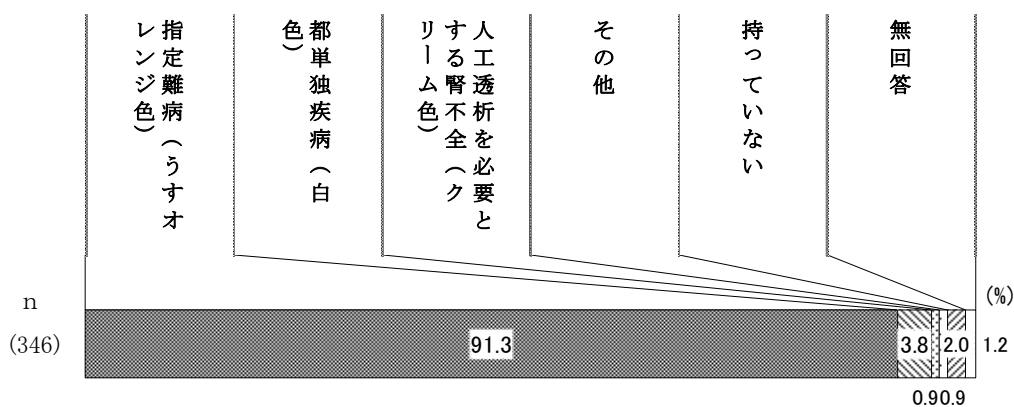
居住地区は、「東部地区2」(16.8%)、「西部地区1」(14.2%)、「中央地区4」(12.4%)、「西部地区2」(11.6%)、「東部地区1」(10.7%)が1割台となっています。(居住地区の内訳は5ページを参照)



(6) 医療券の種類

問5 医療券はどれをお持ちですか。(〇は1つ)

医療券の種類は、「指定難病(うすオレンジ色)」が91.3%を占めています。



(7) 他に取得している手帳等

問6 他にお持ちの手帳、障害等があれば教えてください。(あてはまるものすべてに○)

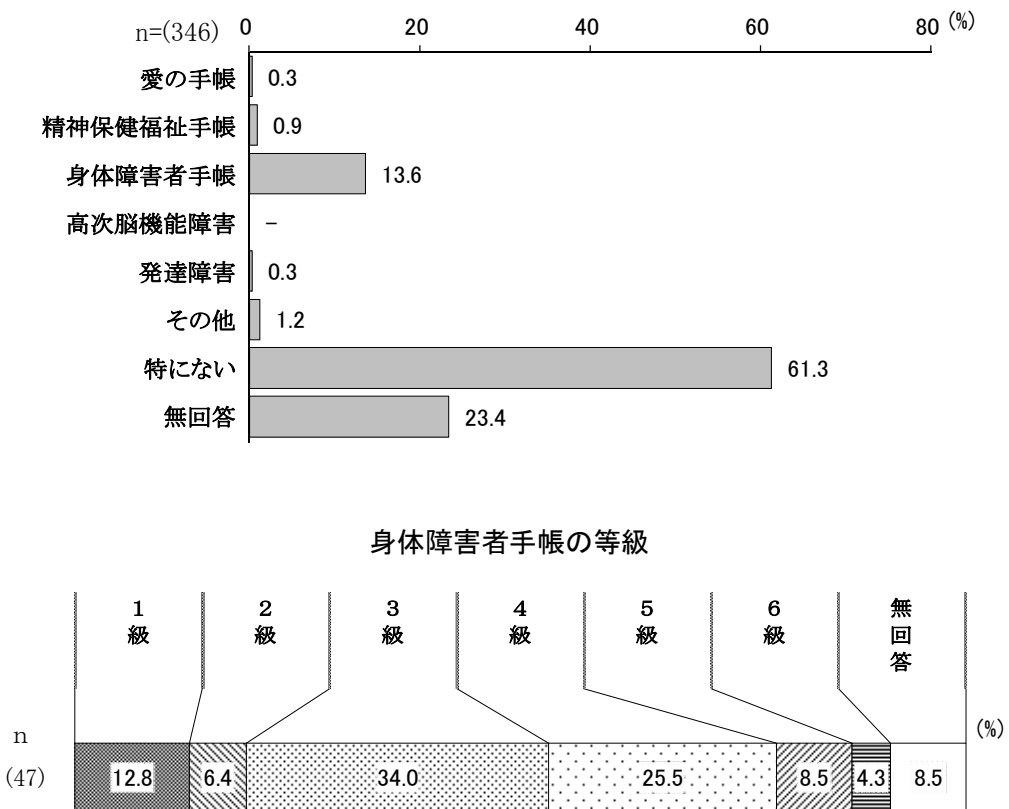
他に取得している手帳等は、「身体障害者手帳」が13.6%となっています。また、「特にない」が61.3%となっています。

愛の手帳所持者の等級は「4度」が1名のみとなっています。(図省略)

精神保健福祉手帳所持者の等級は「2級」が1名、3級が「1名」、無回答が1名となっています。

(図省略)

身体障害者手帳は「3級」が34.0%、「4級」が25.5%となっています。



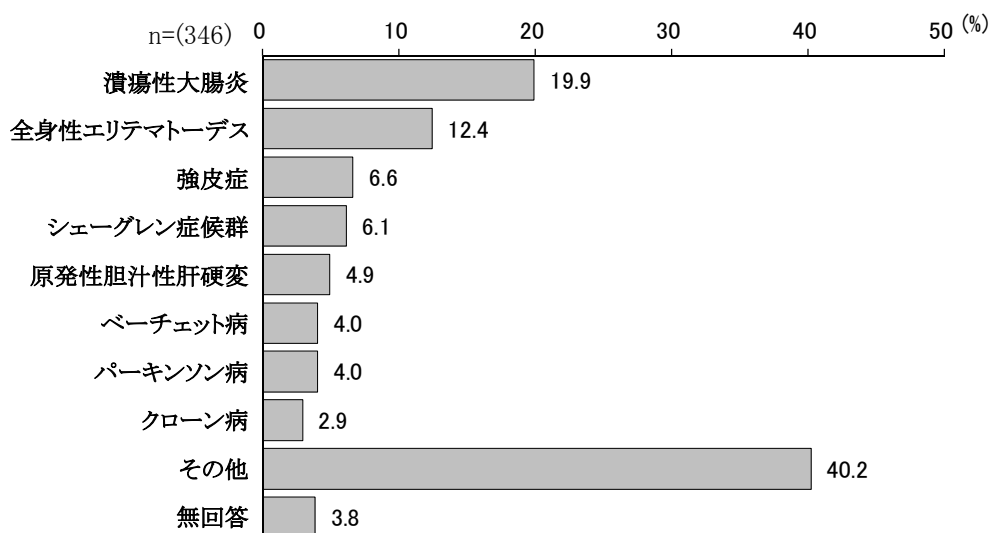
3. 病気や医療の状況

(1) 難病患者福祉手当を受給している対象の疾病

「潰瘍性大腸炎」が19.9%

問7 難病患者福祉手当を受給している対象の疾病はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

難病患者福祉手当を受給している対象の疾病は、「潰瘍性大腸炎」が19.9%で最も多く、これに「全身性エリテマトーデス」が12.4%が続いています。

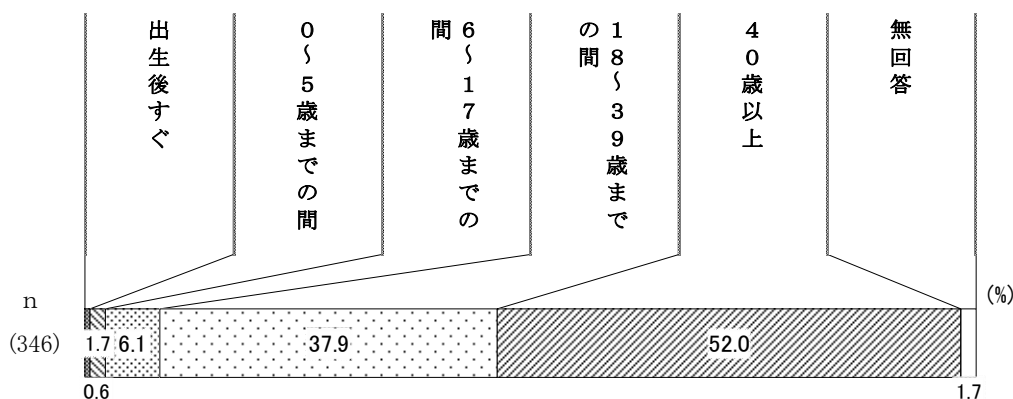


(2) 難病患者福祉手当を受けている病気を発病した時期

「40歳以上」が52.0%

問8 難病患者福祉手当を受けている主な病気を発病したのはいつ頃ですか。(○は1つ)

難病患者福祉手当を受けている病気を発病した時期は、「40歳以上」が52.0%、「18～39歳までの間」が37.9%となっており、約9割の人が18歳以上での発病となっています。

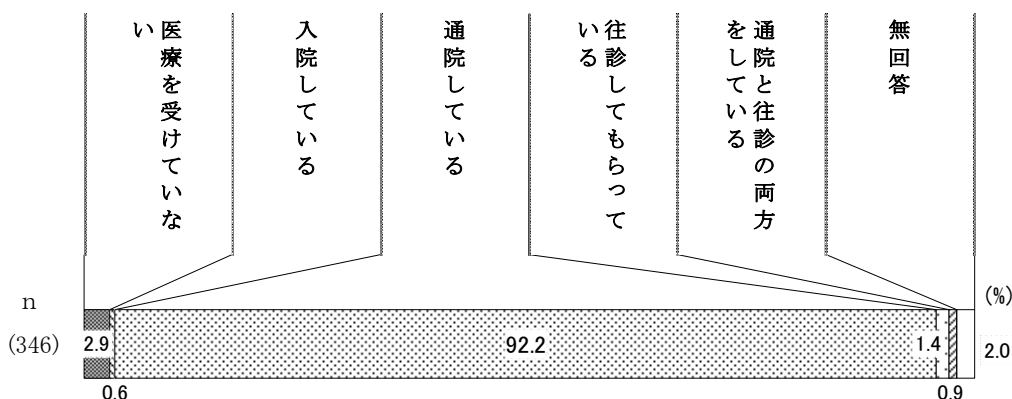


(3) 医療機関の受診状況

「通院している」が92.2%

問9 この病気のために、現在、継続的に医療を受けていますか。(○は1つ)

医療機関の受診状況は、「通院している」が92.2%を占めています。また、わずかですが「医療を受けていない」(2.9%)もみられます。



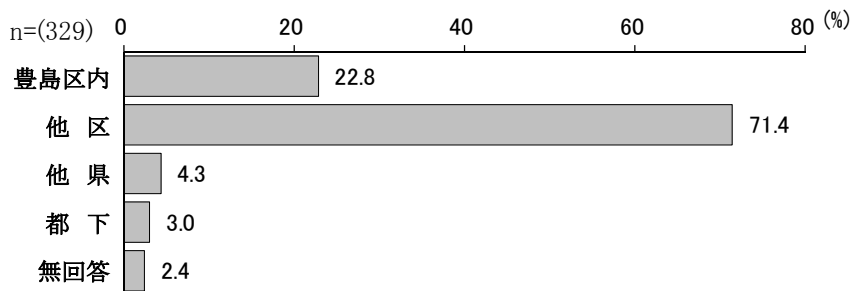
(4) 医療機関の所在地

「他区」が71.4%

【問9で、「入院している」「通院している」「往診してもらっている」「通院と往診の両方をしている」に回答した方のみにおうかがいします。】

問9-1 その医療機関はどこにありますか。(あてはまるものすべてに○)

医療機関を受診している方の医療機関の所在地は、「他区」が71.4%と特に多く、これに「豊島区内」22.8%が続いています。



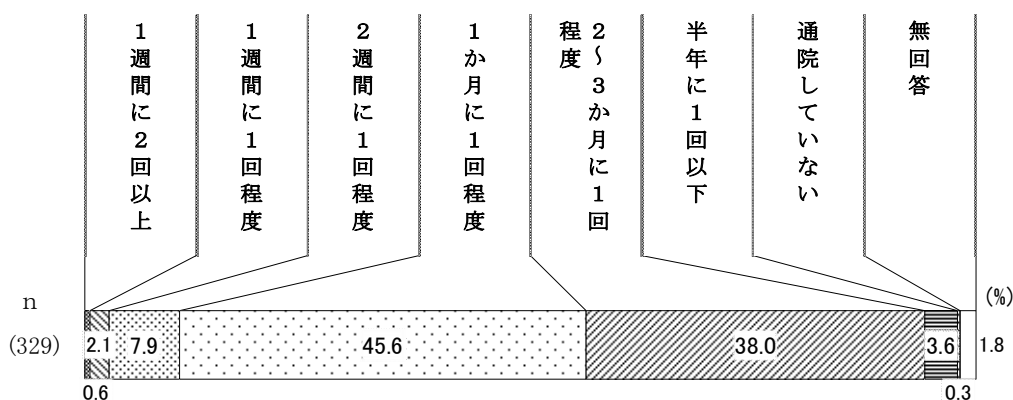
(5) 通院の頻度

「1か月に1回程度」が45.6%

【問9で、「入院している」「通院している」「往診してもらっている」「通院と往診の両方をしている」に回答した方のみにおうかがいします。】

問9-2 最近3か月程度の通院の頻度を教えてください。(○は1つ)

通院している方の通院の頻度は、「1か月に1回程度」が45.6%、「2～3か月に1回程度」が38.0%となっています。



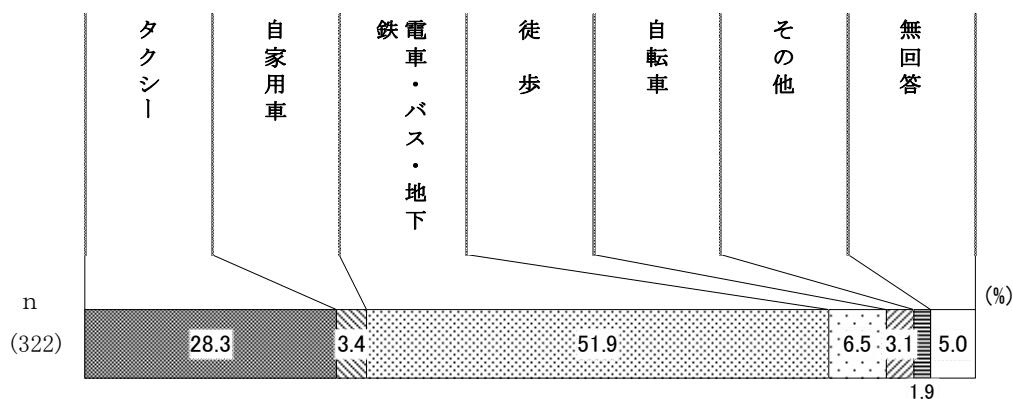
(6) 医療機関への交通手段

「電車・バス・地下鉄」が51.9%

【問9-2で、「1週間に2回以上」「1週間に1回程度」「2週間に1回程度」「1か月に1回程度」「2～3か月に1回程度」「半年に1回以下」に回答した方のみにおうかがいします。】

問9-3 主にどんな方法で通院していますか。(○は主なものに1つ)

最近3か月に通院した方の医療機関への交通手段は、「電車・バス・地下鉄」が51.9%で最も多く、これに「タクシー」が28.3%が続いています。



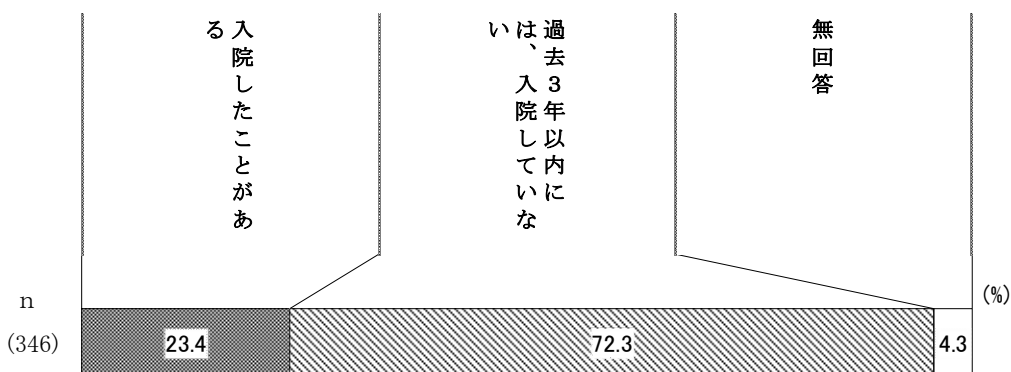
(7) 過去3年以内の入院経験

「入院したことがある」は23.4%、入院回数は「1回」が49.4%

問10 難病患者福祉手当を受けている病気のために、過去3年以内に入院しましたか。

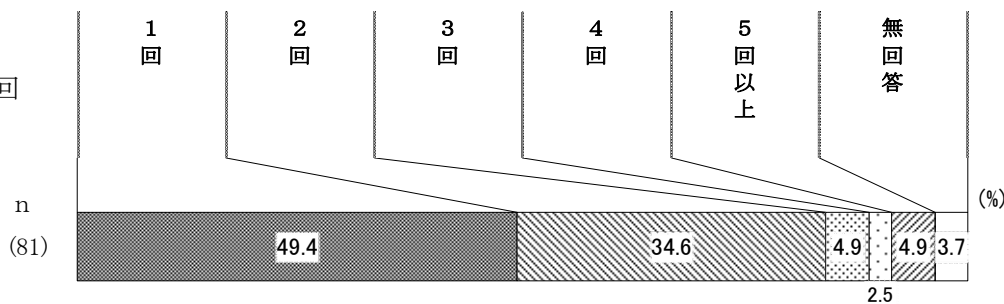
(○は1つ)

過去3年以内の入院経験は、「入院したことがある」が23.4%、「過去3年以内には、入院していない」が72.3%となっています。入院したことがある方の入院回数は、「1回」が49.4%、「2回」が34.6%となっており、平均の入院回数は1.9回となっています。



過去3年以内に入院したことがある方の入院回数

平均値：1.9回



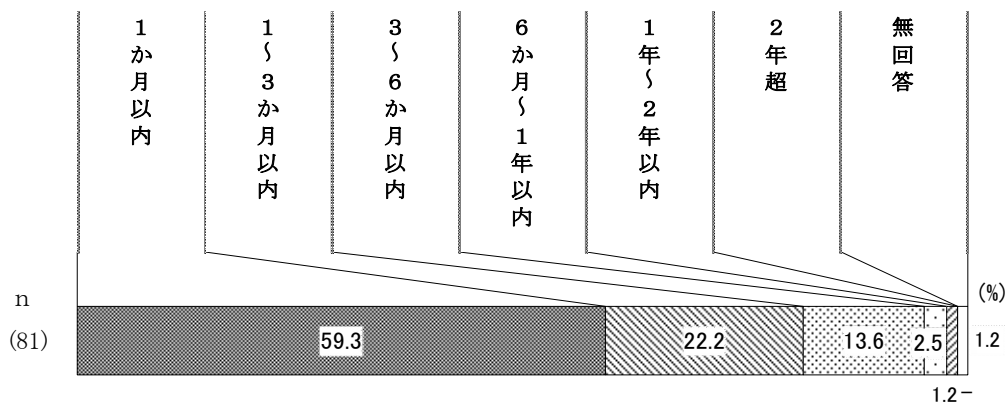
(8) 過去3年以内の通算入院期間

「1か月以内」が59.3%

【問10で、「入院したことがある」に回答した方のみにおうかがいします。】

問10-1 過去3年以内の入院期間は通算どのくらいですか。(○は1つ)

過去3年以内に入院経験のある方の通算入院期間は、「1か月以内」が59.3%、「1～3か月以内」が22.2%、「3～6か月以内」が13.6%となっています。

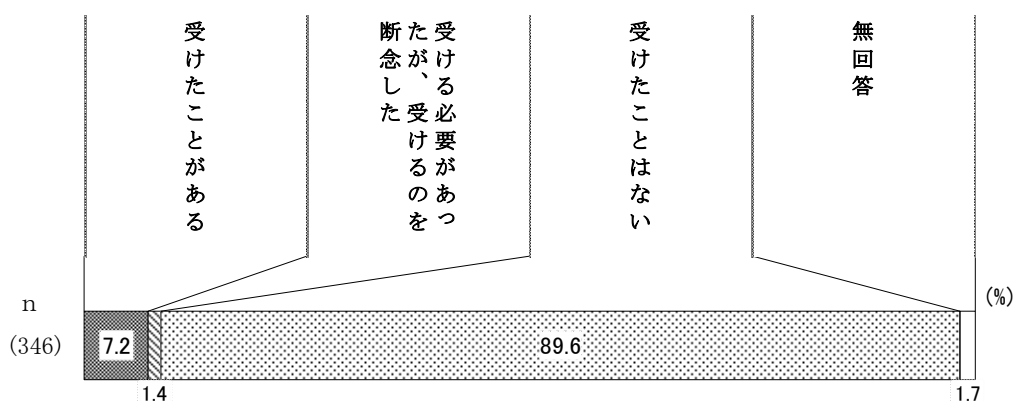


(9) 保険外治療を受けた経験

「受けたことはない」が89.6%

問11 過去3年以内に、難病患者福祉手当を受けている病気の治療で健康保険がきかない治療を受けたことがありますか。(○は1つ)

保険外治療を受けた経験は、「受けたことがある」が7.2%、「受ける必要があったが、受けるのを断念した」が1.4%、「受けたことはない」が89.6%となっています。



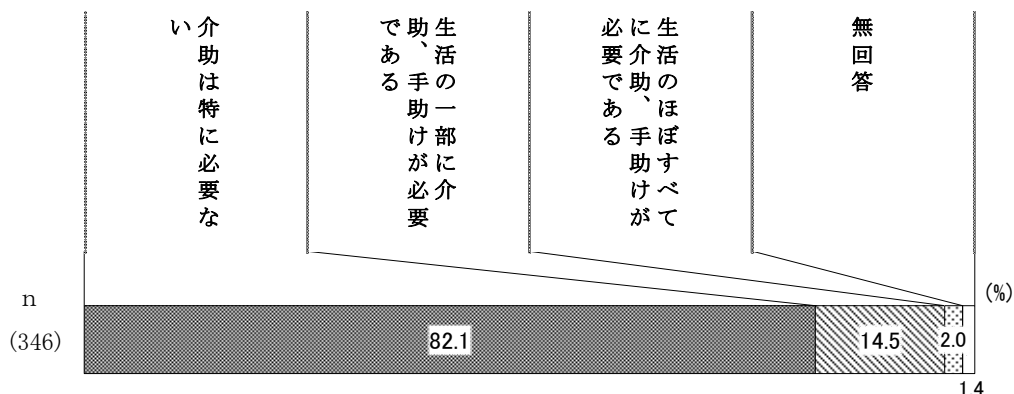
4. 介助

(1) 介助の必要性

「介助は特に必要ない」が82.1%

問12 あなたの普段の生活は、次のどれにあたりますか。(○は1つ)

介助の必要性は、「介助は特に必要ない」が82.1%と多くなっています。「生活の一部に介助、手助けが必要である」は14.5%となっています。



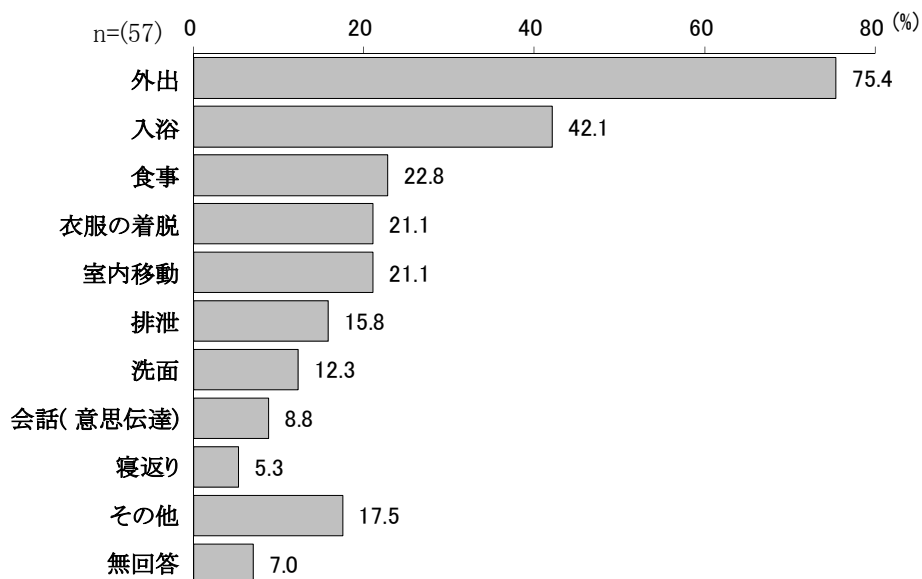
(2) 介助が必要なこと

「外出」が75.4%

【問12で、「生活の一部に介助、手助けが必要である」「生活のほぼすべてに介助、手助けが必要である」に回答した方のみにおうかがいします。】

問12-1 介助が必要なことにはどのようなものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

介助、手助けが必要とする方がどのような場面で必要とするかでは、「外出」が75.4%で最も多く、以下、「入浴」が42.1%、「食事」(22.8%)、「衣服の着脱」、「室内移動」(ともに21.1%)が2割台で続いています。



(3) 主な介助者

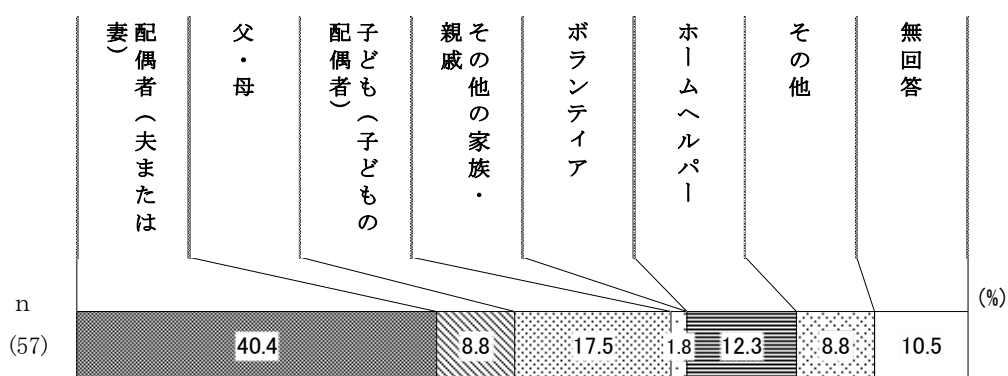
「配偶者（夫または妻）」が40.4%

【問12で、「生活の一部に介助、手助けが必要である」「生活のほぼすべてに介助、手助けが必要である」に回答した方のみにおうかがいします。】

問12-2 主な介助者（あなたをいちばん長い時間、介助している方）はどなたですか。

（○は1つ）

介助、手助けが必要とする方の主な介助者は、「配偶者（夫または妻）」が40.4%、「子ども（子どもの配偶者）」が17.5%、「ホームヘルパー」が12.3%となっています。



5. 日常生活の状況や就労状況

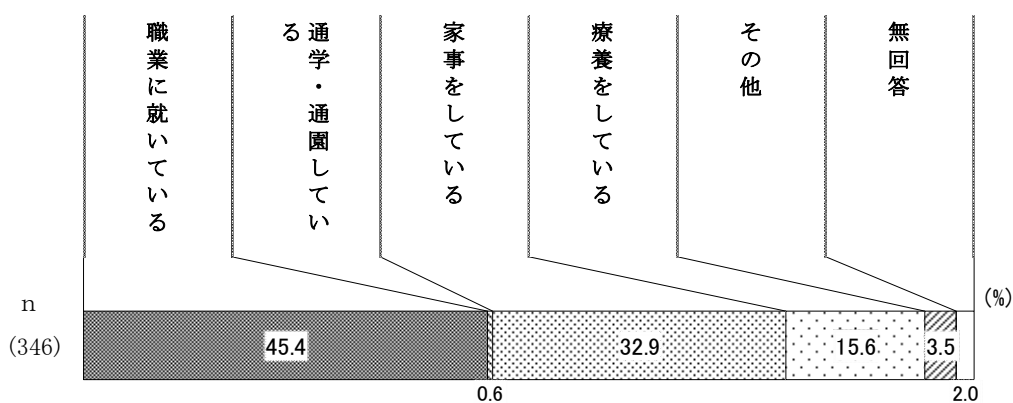
(1) 日常生活の状況

「職業に就いている」が45.4%

すべての方におうかがいします。

問13 あなたは、日常生活を主にどのようにおすごしですか。(○は1つ)

日常生活の状況は、「職業に就いている」が45.4%、「家事をしている」が32.9%、「療養をしている」が15.6%となっています。



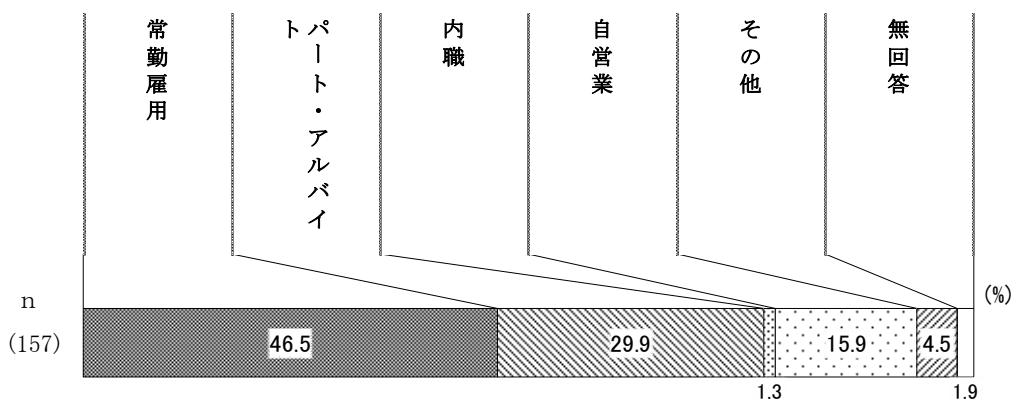
(2) 現在の就労の形態

「常勤雇用」が46.5%

【問13で、「職業に就いている」に回答した方のみにおうかがいします。】

問13-1 どのように働いていますか。(○は1つ)

職業に就いている方の現在の就労の形態は、「常勤雇用」が46.5%で最も多く、これに「パート・アルバイト」(29.9%)、「自営業」(15.9%)が続いています。



(3) 現在の月収

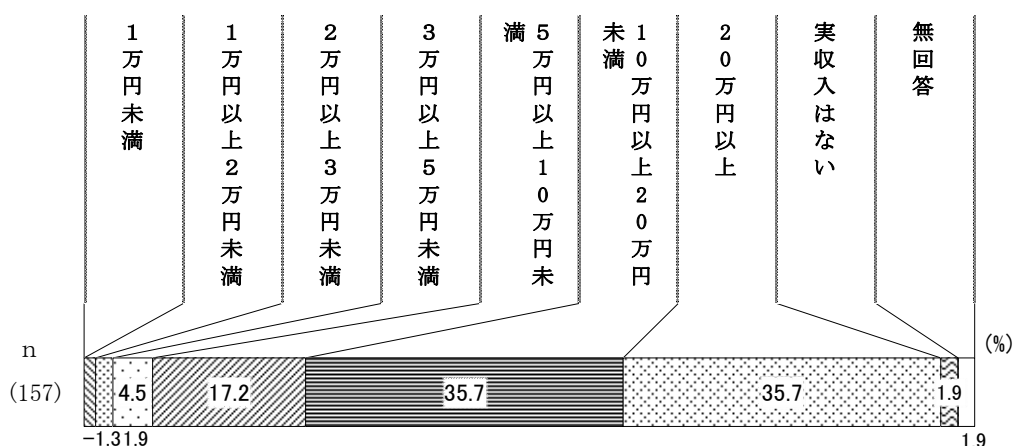
「10万円以上20万円未満」、「20万円以上」が35.7%

【問13で、「職業に就いている」に回答した方のみにおうかがいします。】

問13-2 仕事・作業等で得る1か月の収入はおおよそどれくらいですか。(○は1つ)

職業に就いている方の現在の月収は、「20万円以上」、「10万円以上20万円未満」がともに35.7%、「5万円以上10万円未満」が17.2%となっています。

(障害の種類別の調査結果は18ページ3-(2)を参照)



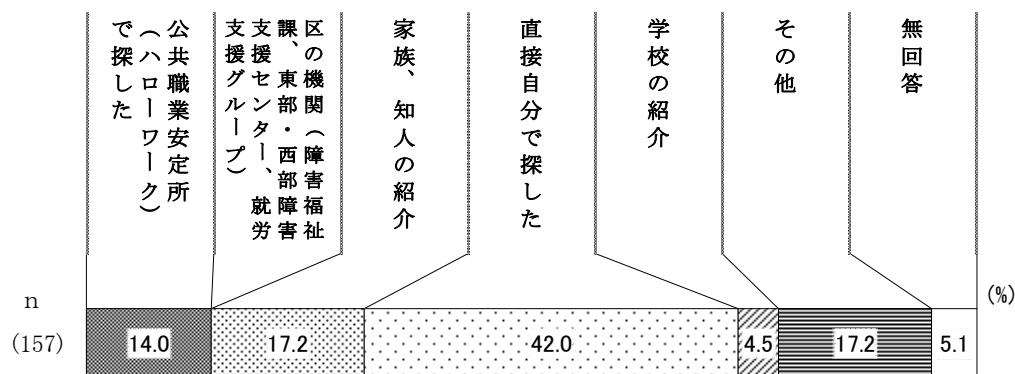
(4) 現在の仕事・作業等を見つけた方法

「直接自分で探した」が42.0%

【問13で、「職業に就いている」に回答した方のみにおうかがいします。】

問13-3 今の仕事・作業等は、どのような方法で見つけましたか。(○は1つ)

職業に就いている方の現在の仕事・作業等を見つけた方法は、「直接自分で探した」が42.0%で最も多く、以下、「家族、知人の紹介」が17.2%、「公共職業安定所（ハローワーク）で探した」が14.0%で続いています。



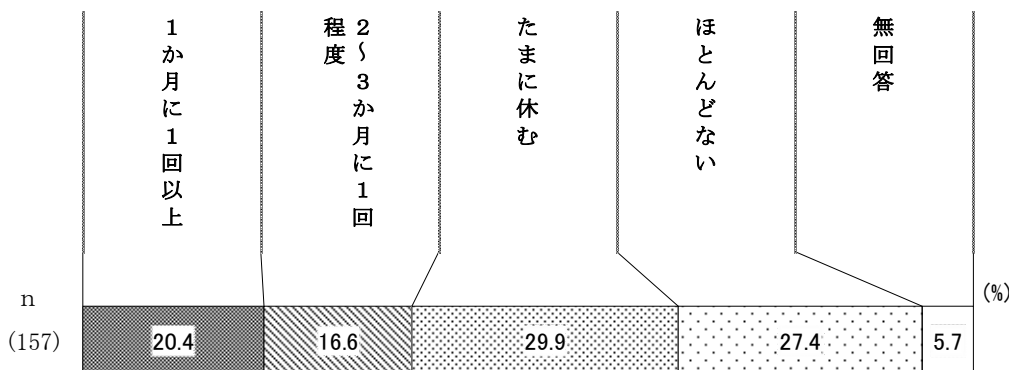
(5) 仕事を休む頻度

「たまに休む」が29.9%

【問13で、「職業に就いている」に回答した方のみにおうかがいします。】

問13-4 通院や体調不良で仕事を休むことはありますか。(○は1つ)

職業に就いている方の仕事を休む頻度は、「たまに休む」が29.9%、「1か月に1回以上」が20.4%、「2～3か月に1回程度」が16.6%となっています。また、「ほとんどない」が27.4%となっています。



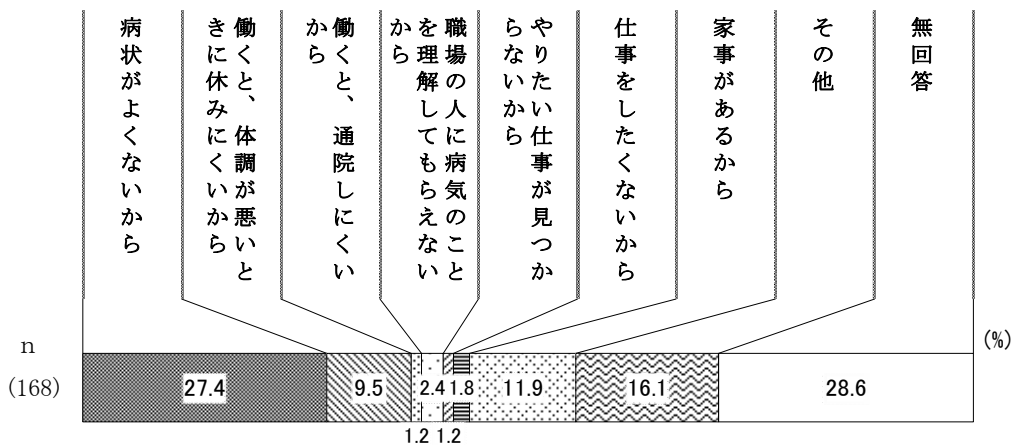
(6) 仕事・作業等をしていない理由

「病状がよくないから」が27.4%

【問13で、「家事をしている」「療養をしている」に回答した方のみにおうかがいします。】

問14 働いていない理由を教えてください。(○は1つ)

家事、あるいは療養をしている方の仕事・作業等をしていない理由は、「病状がよくないから」が27.4%で最も多く、以下、「家事があるから」(11.9%)、「働くとき、体調が悪いから」(9.5%)が1割前後で続いています。



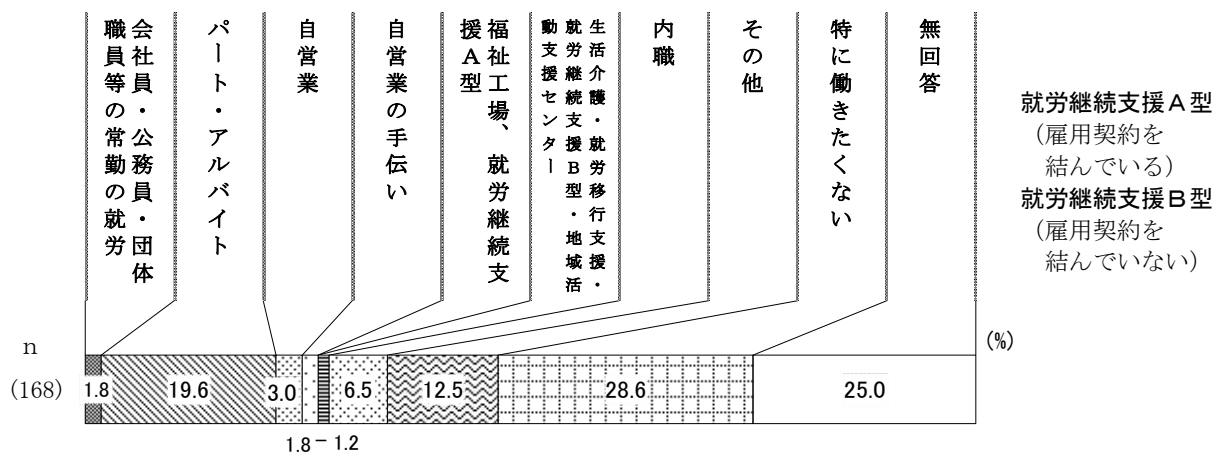
(7) 今後希望する就労の形態

「特に働きたくない」が28.6%

【問13で、「家事をしている」「療養をしている」に回答した方のみにおうかがいします。】

問14-1 あなたは、今後どのような仕事・作業等をしたいですか。(〇は1つ)

家事、あるいは療養をしている方の今後希望する就労の形態は、「特に働きたくない」が28.6%、「パート・アルバイト」が19.6%となっています。



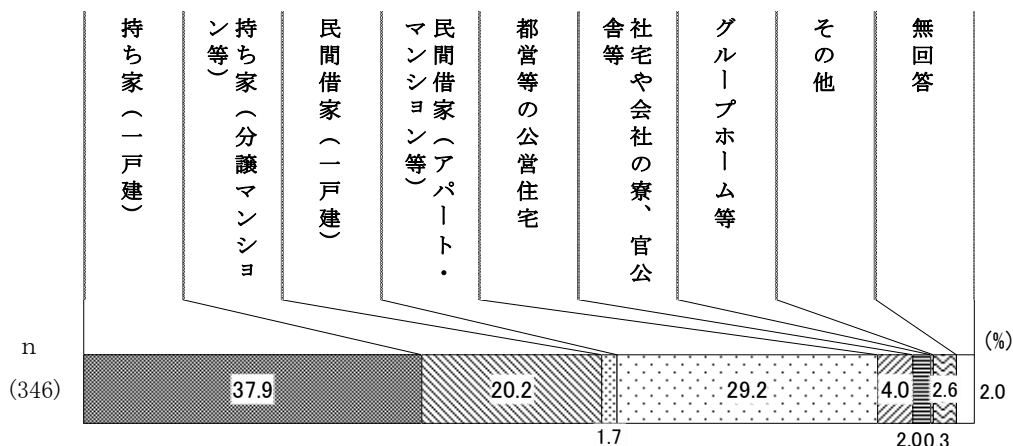
6. 住居の状況

(1) 住居形態

「持ち家（一戸建）」が37.9%

問15 あなたのお住まいは、次のうちどれですか。（○は1つ）

住居形態は、「持ち家（一戸建）」が37.9%、「民間借家（アパート・マンション等）」が29.2%、「持ち家（分譲マンション等）」が20.2%となっています。

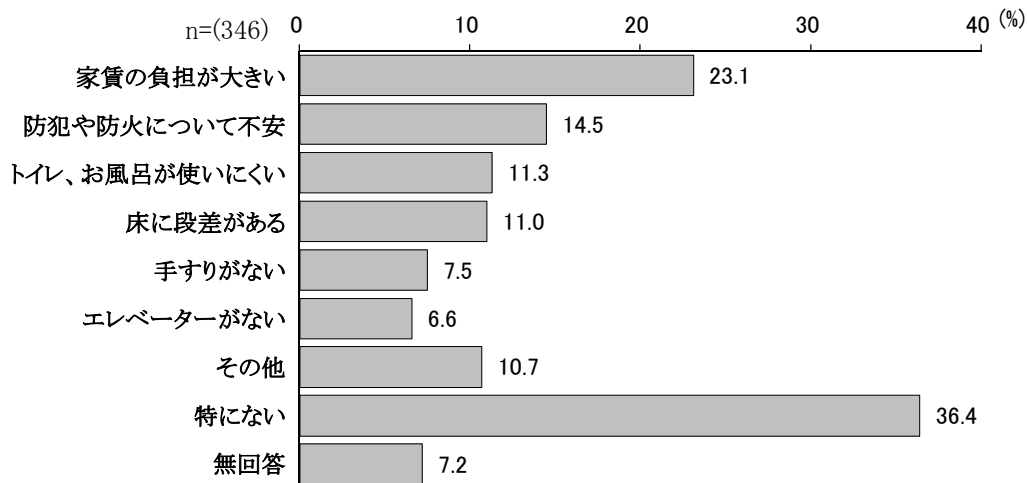


(2) 住まいについて困っていること

「家賃の負担が大きい」が23.1%

問16 お住まいについて、困っていることは何ですか。（あてはまるもの3つまで○）

住まいについて困っていることは、「家賃の負担が大きい」が23.1%で最も多く、これに「防犯や防火について不安」(14.5%)、「トイレ、お風呂が使いにくい」(11.3%)、「床に段差がある」(11.0%)が1割台で続いています。また、「特にない」が36.4%となっています。



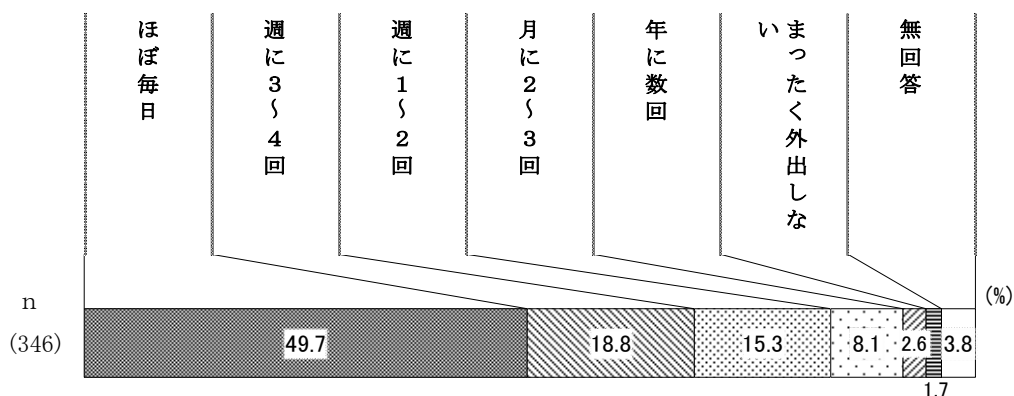
7. 外出の状況

(1) 外出の頻度

「ほぼ毎日」が49.7%

問17 外出の頻度は、どのくらいですか。(○は1つ)

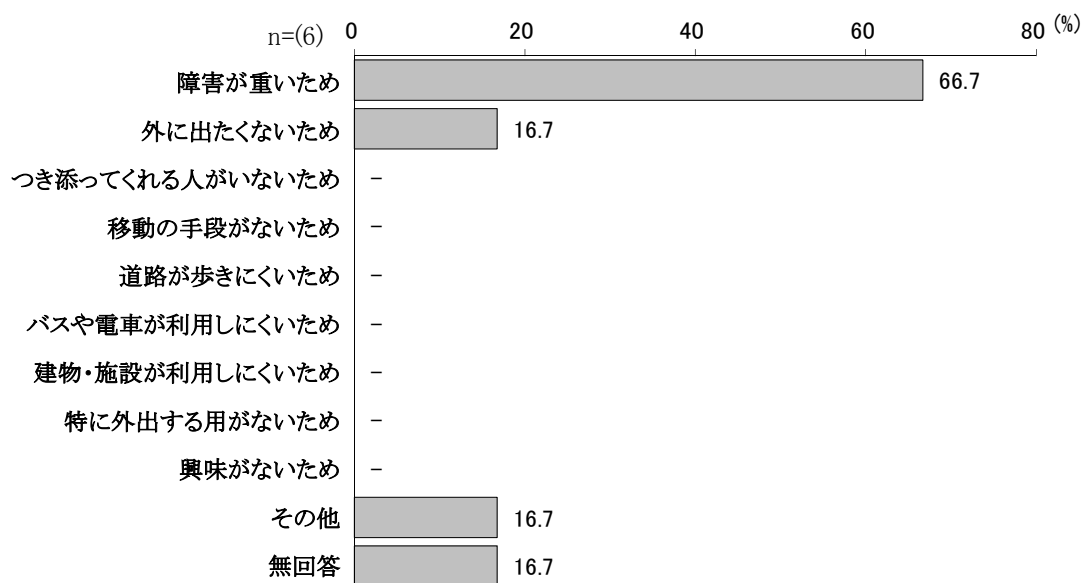
外出の頻度は、「ほぼ毎日」が49.7%、「週に3～4回」が18.8%、「週に1～2回」が15.3%となっています。(障害の種類別の調査結果は12ページ2-(1)を参照)



(2) 外出をしない理由

【問17で、「まったく外出しない」に回答した方のみにおうかがいします。】

問17-1 外出しない理由は、次のうちどれですか。(あてはまるもの3つまで○)



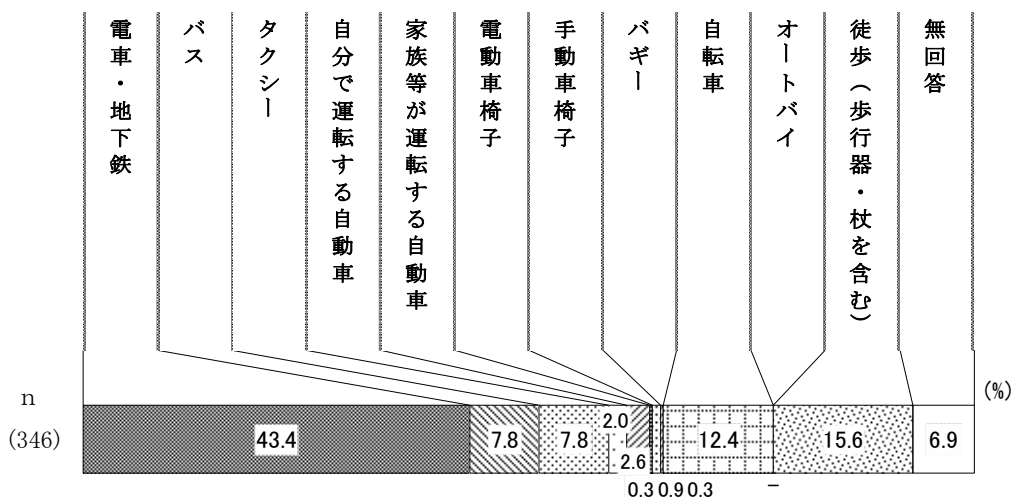
※回答者が少ないため、図は参考程度となります。

(3) よく利用する外出手段

「電車・地下鉄」が43.4%

問18 あなたがもっともよく利用する外出の方法は何ですか。(〇は1つ)

よく利用する外出手段は、「電車・地下鉄」が43.4%で最も多く、以下、「徒歩（歩行器・杖を含む）」が15.6%、「自転車」が12.4%が続いています。



(4) 外出時にけがをした経験

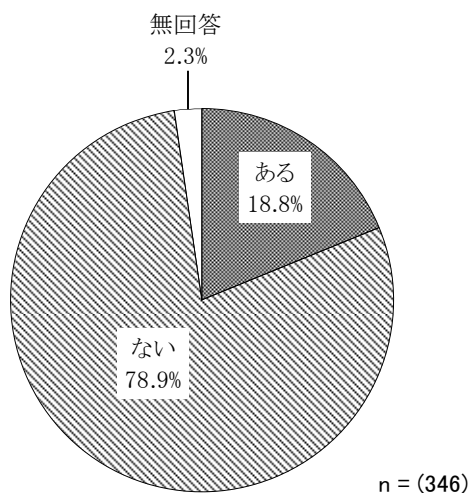
「ある」は18.8%

豊島区では、平成24年5月にWHO(世界保健機関)による「セーフコミュニティ」の認証を取得しました。セーフコミュニティとは、「けがや事故等は、偶然の結果ではなく、予防できる」という考え方のもと、地域コミュニティの力を活用して、安全と健康の質を高めていくまちづくり活動です。以下、「けが」についてのご質問にお答えください。

問19 外出時に、ここ1年以内に「けが」をしたことがありますか。(〇は1つ)

外出時にけがをした経験は、「ある」が18.8%、「ない」が78.9%となっています。

(障害の種類別の調査結果は13ページ2-(2)を参照)



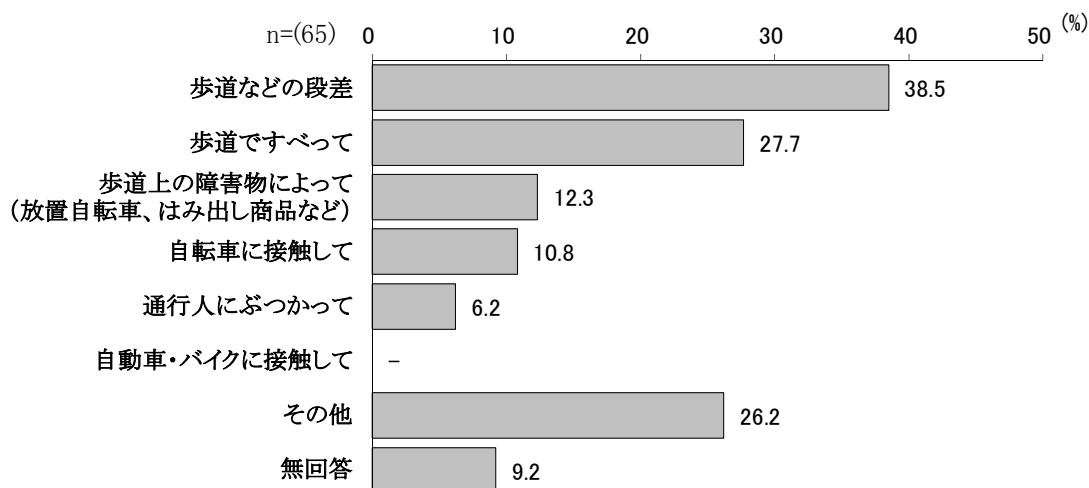
(5) けがをした理由

「歩道などの段差」が38.5%

【問19で、「ある」に回答した方のみにおうかがいします。】

問19-1 「けが」をした理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

外出時にけがをしたことがある方の理由は、「歩道などの段差」が38.5%で最も多く、以下、「歩道ですべて」(27.7%)、「歩道上の障害物によって(放置自転車、はみ出し商品など)」(12.3%)、「自転車に接触して」(10.8%)が1割台で続いています。



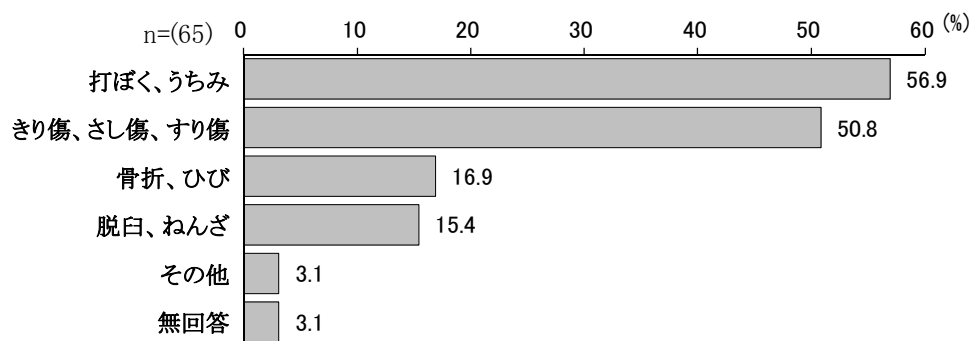
(6) 外出時のけがの種類

「打ぼく、うちみ」、「きり傷、さし傷、すり傷」が5割台

【問19で、「ある」に回答した方のみにおうかがいします。】

問19-2 どのような「けが」をしましたか。(あてはまるものすべてに○)

外出時にけがをしたことがある方のけがの種類は、「打ぼく、うちみ」(56.9%)、「きり傷、さし傷、すり傷」(50.8%)が5割台で特に多くなっています。

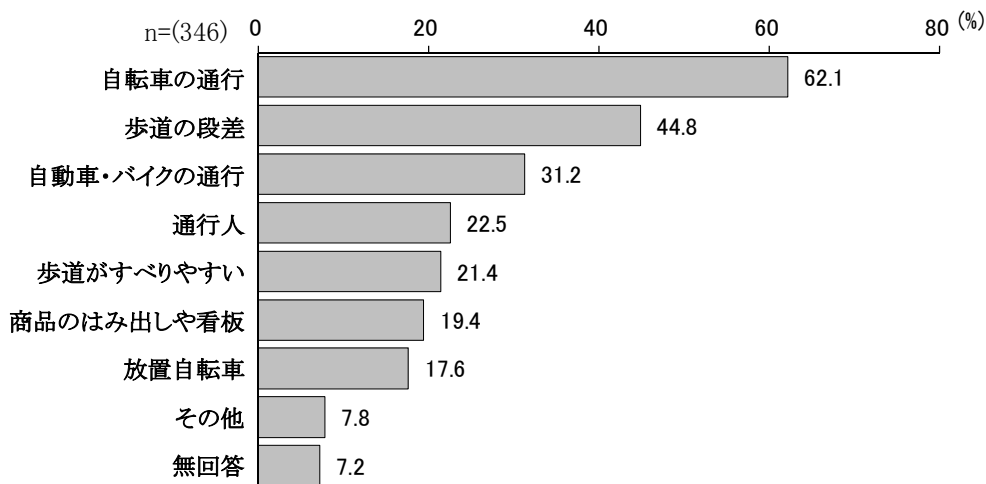


(7) 外出時に危険を感じたこと

「自転車の通行」が62.1%

問20 最近、外出時に危険を感じたことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

外出時に危険を感じたことは、「自転車の通行」が62.1%で最も多く、以下、「歩道の段差」が44.8%、「自動車・バイクの通行」が31.2%、「通行人」(22.5%)、「歩道がすべりやすい」(21.4%)が2割台で続いています。



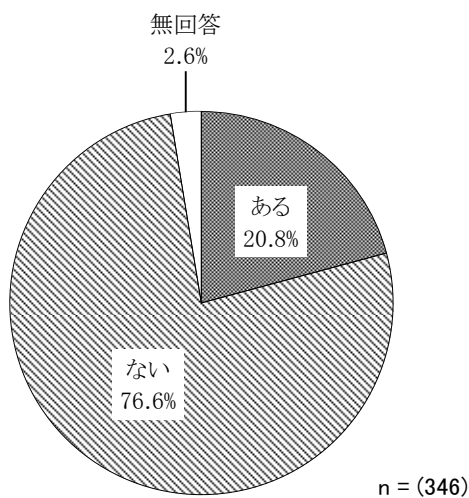
(8) 自宅内でけがをした経験

「ある」は20.8%

問21 自宅内で、ここ1年以内に「けが」をしたことがありますか。(○は1つ)

自宅内でけがをした経験は、「ある」が20.8%、「ない」が76.6%となっています。

(障害の種類別の調査結果は14ページ2-(3)を参照)



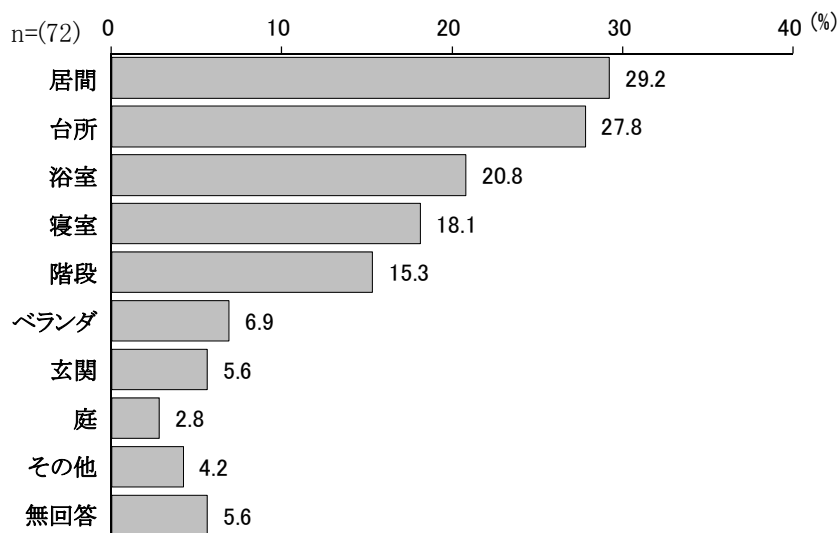
(9) けがをした自宅内の場所

「居間」、「台所」が2割後半

【問21で、「ある」に回答した方のみにおうかがいします。】

問21-1 けがをした場所は、どこですか。(あてはまるものすべてに○)

自宅内でけがをしたことがある方の自宅内の場所は、「居間」(29.2%)、「台所」(27.8%)の2項目が僅差で多く、以下、「浴室」が20.8%、「寝室」(18.1%)、「階段」(15.3%)が1割台で続いています。



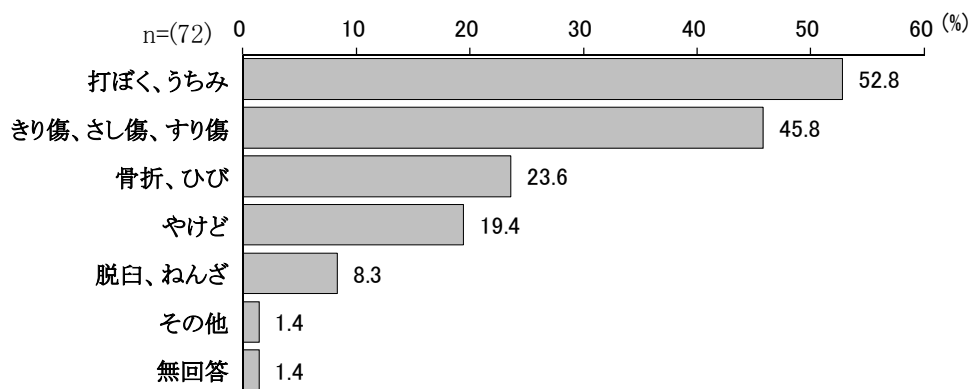
(10) 自宅内のけがの種類

「打ぶく、うちみ」が52.8%、「きり傷、さし傷、すり傷」も45.8%

【問21で、「ある」に回答した方のみにおうかがいします。】

問21-2 どのような「けが」をしましたか。(あてはまるものすべてに○)

自宅内でけがをしたことがある方のけがの種類は、「打ぶく、うちみ」が52.8%、「きり傷、さし傷、すり傷」が45.8%とこの2項目が特に多く、これに「骨折、ひび」が23.6%が続いています。



(11) まちのバリアフリーについての満足度

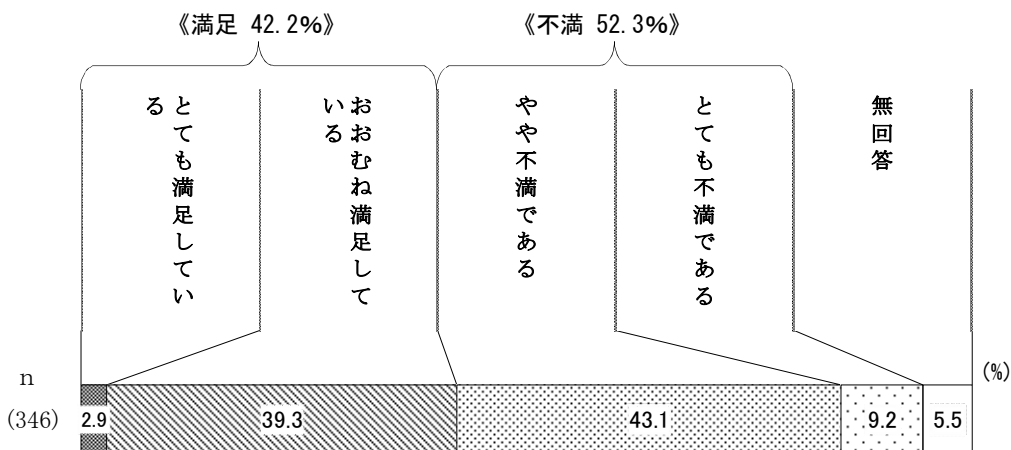
《満足》は42.2%、《不満》は52.3%

問22 まちのバリアフリーについて満足していますか。(○は1つ)

※バリアフリーとは、障害者や高齢者等が社会生活をしていく上で、障壁（バリア）となるものを取り除くという意味です。例えば、歩道の段差や駅のエレベーター、わかりやすい掲示板等です。

まちのバリアフリーについての満足度は、「とても満足している」が2.9%、「おおむね満足している」は39.3%で、両者をあわせた《満足》は42.2%となっています。一方、「とても不満である」(9.2%)と「やや不満である」(43.1%)をあわせた《不満》は52.3%となっています。

(障害の種類別の調査結果は15ページ2-(4)を参照)



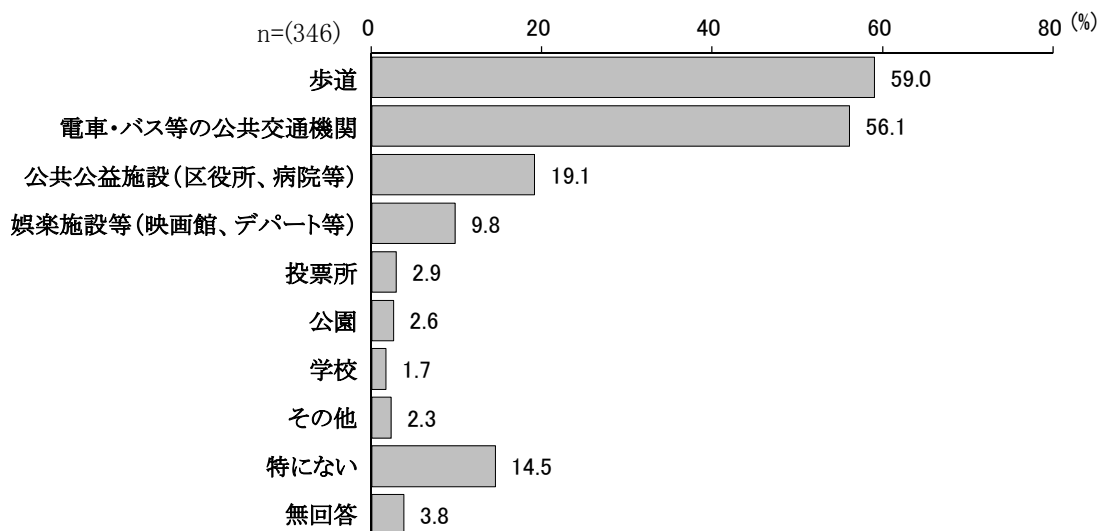
(12) 急いでバリアフリーを進めてほしい施設

「歩道」、「電車、バス等の公共交通機関」が5割台後半

問23 今後、区内で急いでバリアフリーを進めていくべきと思う施設は何ですか。

(あてはまるもの3つまで○)

急いでバリアフリーを進めてほしい施設は、「歩道」(59.0%)、「電車・バス等の公共交通機関」(56.1%)が5割台で特に多くなっています。



8. 福祉に関する相談や情報

(1) 健康・福祉に関する情報の入手手段

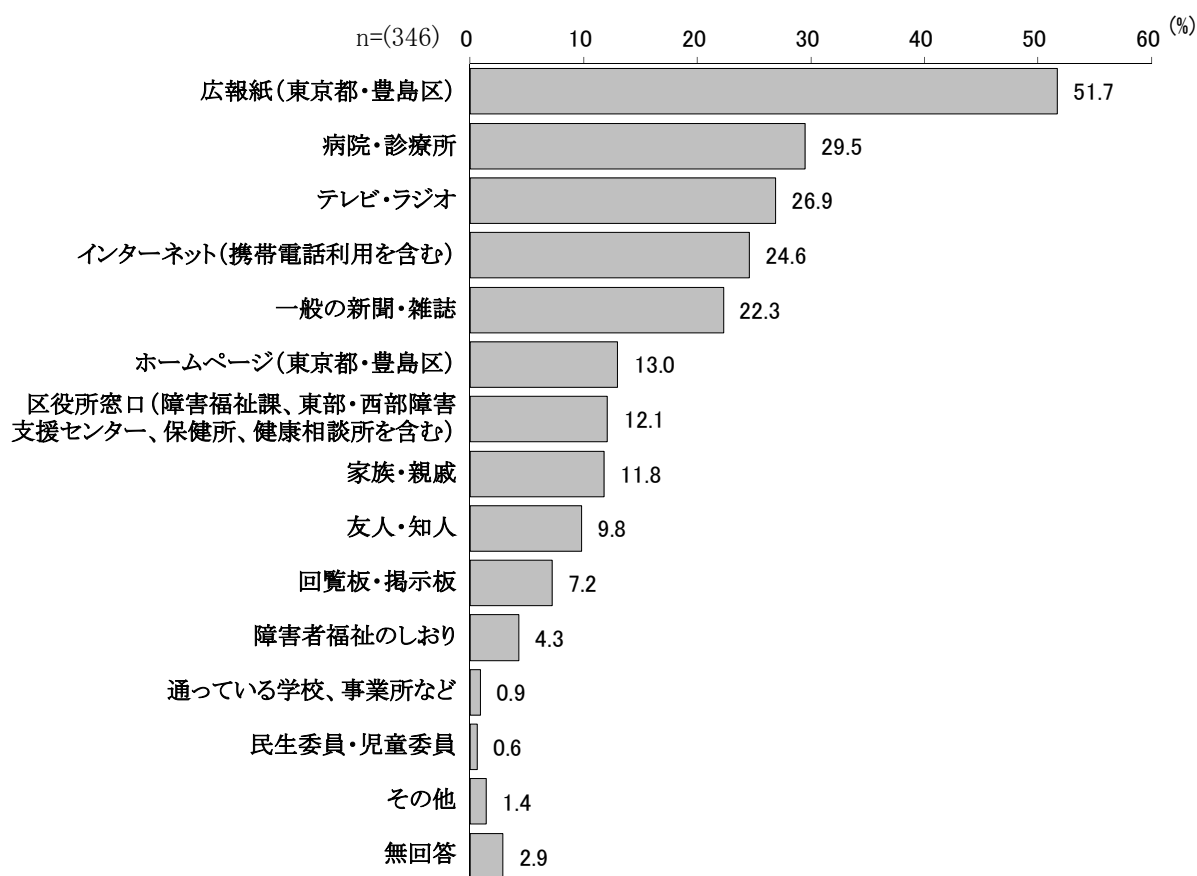
「広報紙」が51.7%

問24 健康や福祉に関する情報を主にどのようなところから得ていますか。

(あてはまるもの3つまで○)

健康・福祉に関する情報の入手手段は、「広報紙（東京都・豊島区）」が51.7%で最も多く、以下、「病院・診療所」（29.5%）、「テレビ・ラジオ」（26.9%）、「インターネット（携帯電話利用を含む）」（24.6%）、「一般の新聞・雑誌」（22.3%）が2割台となっています。

(障害の種類別の調査結果は9ページ1－(1)を参照)



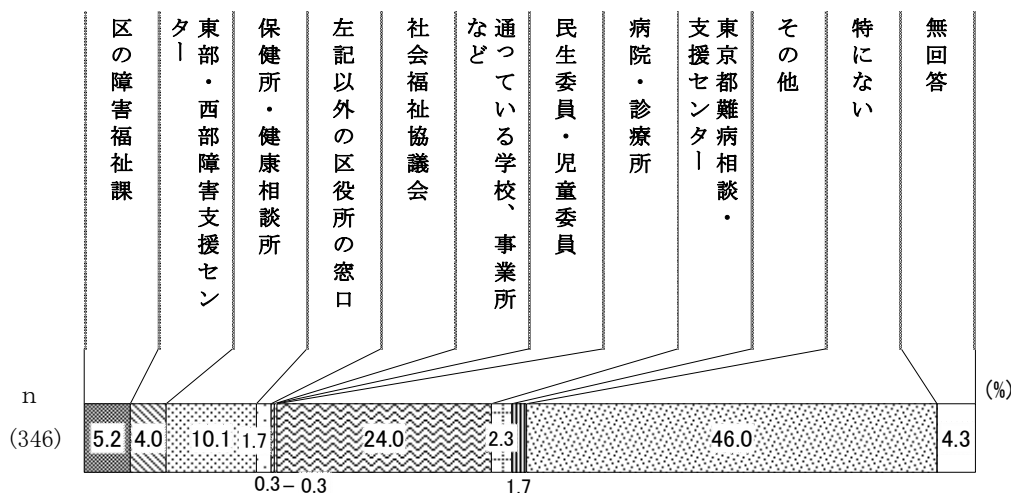
(2) よく利用する相談窓口

「病院・診療所」が24.0%

問25 よく利用する相談窓口はどこですか。(〇は1つ)

よく利用する相談窓口は、「病院・診療所」が24.0%で最も多く、これに「保健所・保健相談所」が10.1%が続いています。また、「特にない」が46.0%となっています。

(障害の種類別の調査結果は10ページ1-(2)を参照)



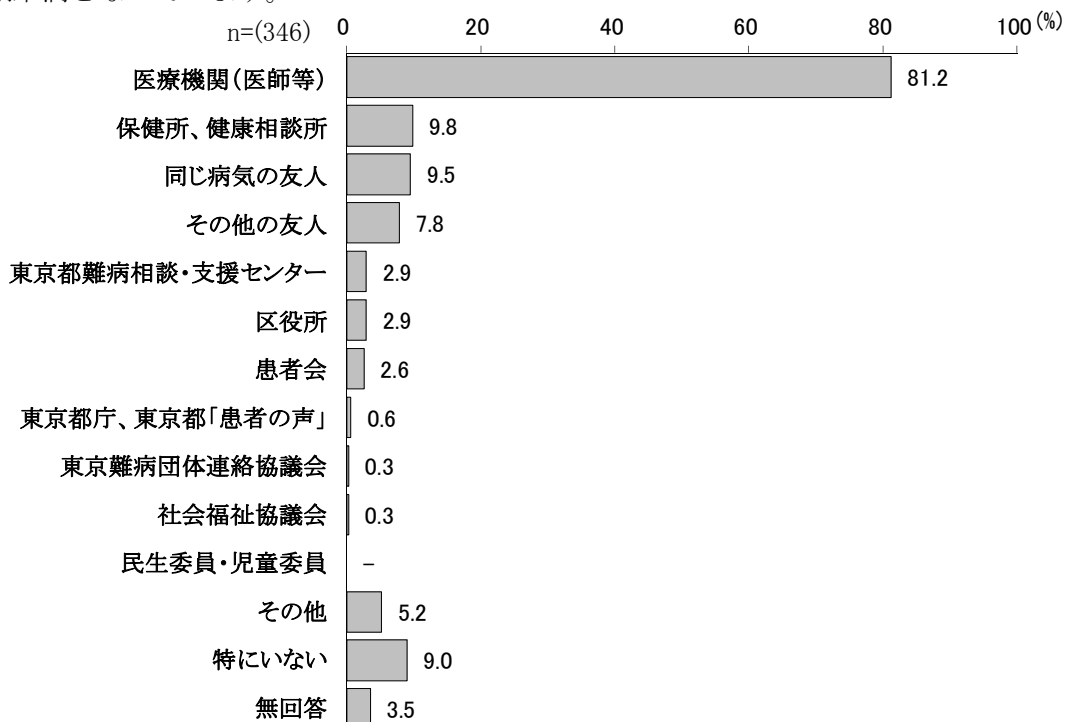
(3) 病気についての相談相手

「医療機関」が81.2%

問26 難病患者福祉手当を受けている病気について、主に相談する相手はどなたですか。

(あてはまるもの3つまで〇)

病気についての相談相手は、「医療機関 (医師等)」が81.2%で特に多くなっており、それ以外の相談先は1割未満となっています。



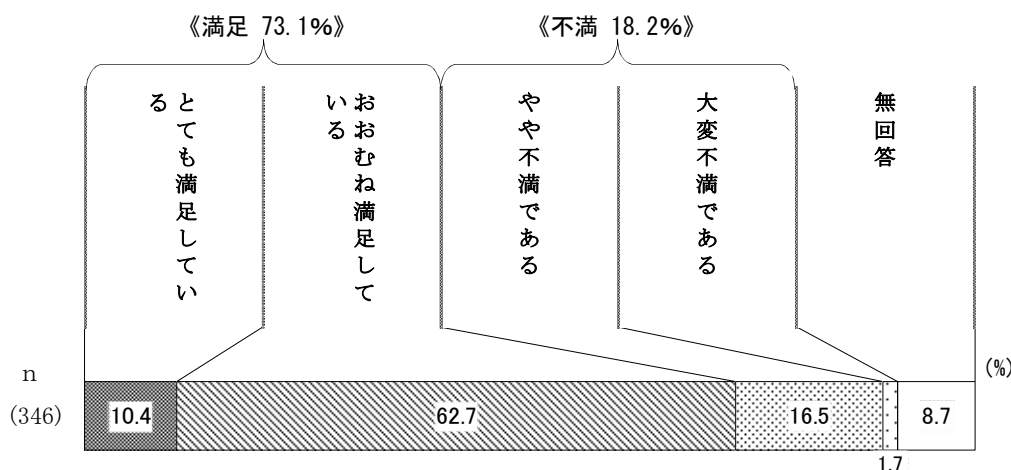
(4) 相談対応の満足度

《満足》が73.1%、《不満》が18.2%

問27 相談について満足していますか。(○は1つ)

相談対応の満足度は、「とても満足している」は10.4%、「おおむね満足している」は62.7%で、両者をあわせた《満足》は73.1%となっています。一方、「大変不満である」(1.7%)と「やや不満である」(16.5%)をあわせた《不満》は18.2%となっています。

(障害の種類別の調査結果は11ページ1-(3)を参照)



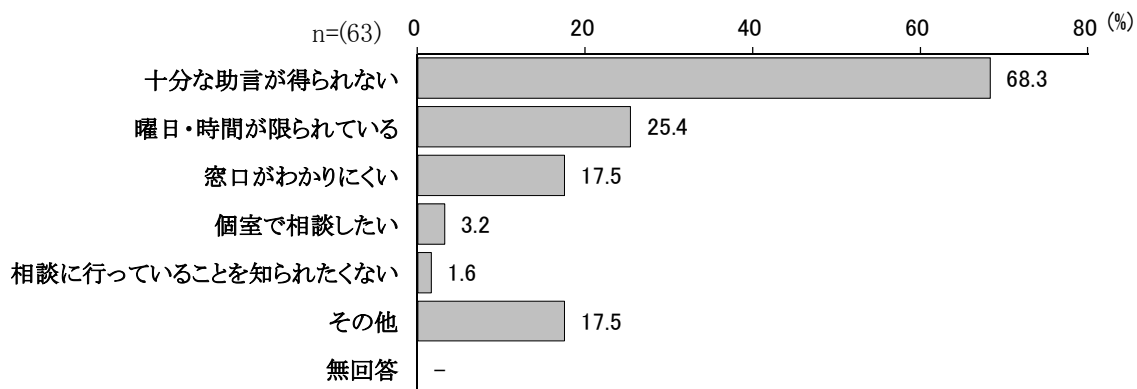
(5) 不満の理由

「十分な助言が得られない」が68.3%

【問27で、「やや不満である」「大変不満である」に回答した方のみにおうかがいします。】

問27-1 不満な理由は何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

相談対応に不満を感じる理由は、「十分な助言が得られない」が68.3%で特に多く、以下、「曜日・時間が限られている」が25.4%、「窓口がわかりにくい」が17.5%が続いています。



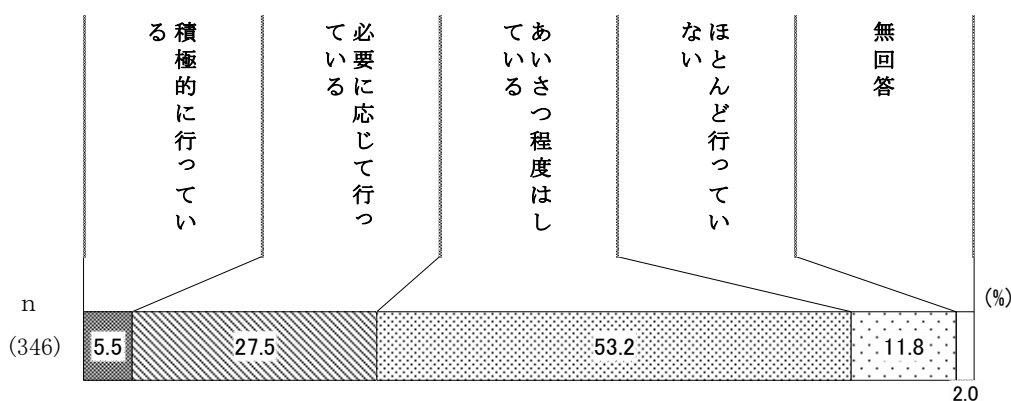
9. 社会参加等

(1) 近所つき合い

「あいさつ程度はしている」が53.2%

問28 ご近所とのおつき合いは、次のうちどれにあてはまりますか。(〇は1つ)

近所つき合いは、「積極的にやっている」は5.5%とわずかですが、「必要に応じてやっている」が27.5%、「あいさつ程度はしている」が53.2%となっています。また、「ほとんど行っていない」が11.8%となっています。(障害の種類別の調査結果は19ページ4-(1)を参照)

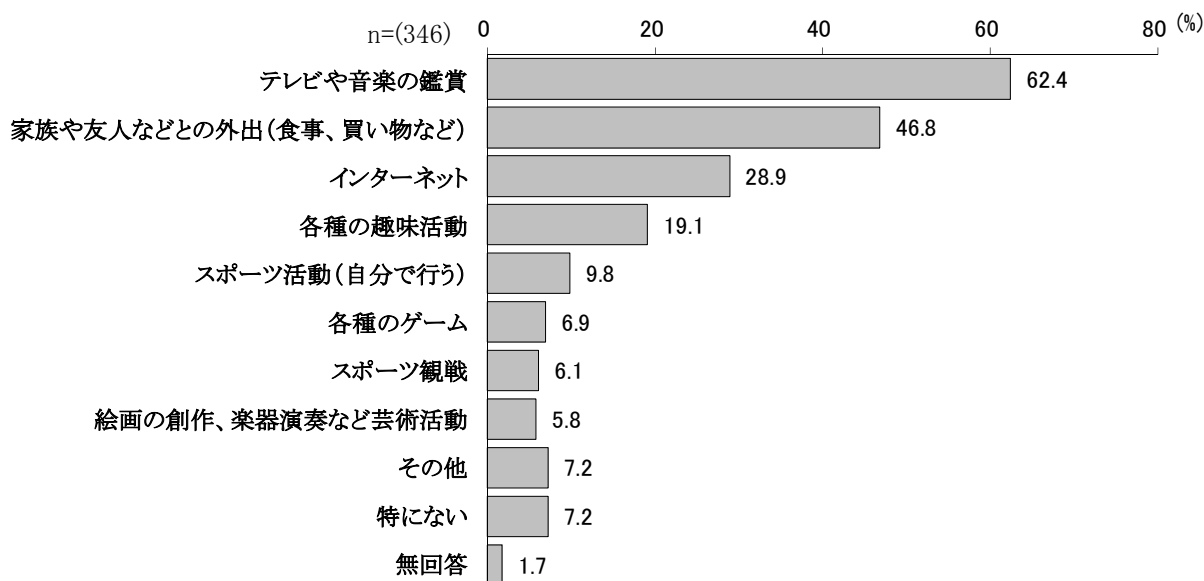


(2) 現在楽しんでいる余暇活動

「テレビや音楽の鑑賞」が62.4%

問29 あなたが今楽しんでいる主な余暇活動は何ですか。(あてはまるもの3つまで〇)

現在楽しんでいる余暇活動は、「テレビや音楽の鑑賞」が62.4%で最も多く、以下、「家族や友人などとの外出(食事、買い物など)」が46.8%、「インターネット」が28.9%、「各種の趣味活動」が19.1%で続いています。(障害の種類別の調査結果は20ページ4-(2)を参照)



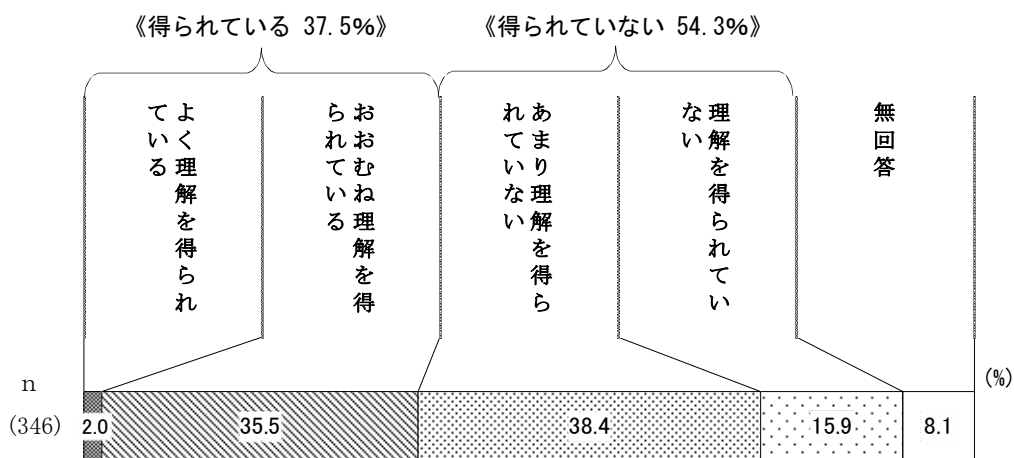
(3) 地域の方々の障害・疾病に対する理解

《得られている》が37.5%、《得られていない》が54.3%

問30 地域で暮らす上で、障害や疾病に対して理解を得られていると感じていますか。

(○は1つ)

地域の方々の障害・疾病に対する理解は、「よく理解を得られている」が2.0%、「おおむね理解を得られている」が35.5%で両者をあわせた《得られている》は37.5%となっています。「理解を得られていない」(15.9%)と「あまり理解を得られていない」(38.4%)をあわせた《得られていない》は54.3%となっています。(障害の種類別の調査結果は21ページ4-(3)を参照)



(4) 運動やスポーツへの活動意向と現況

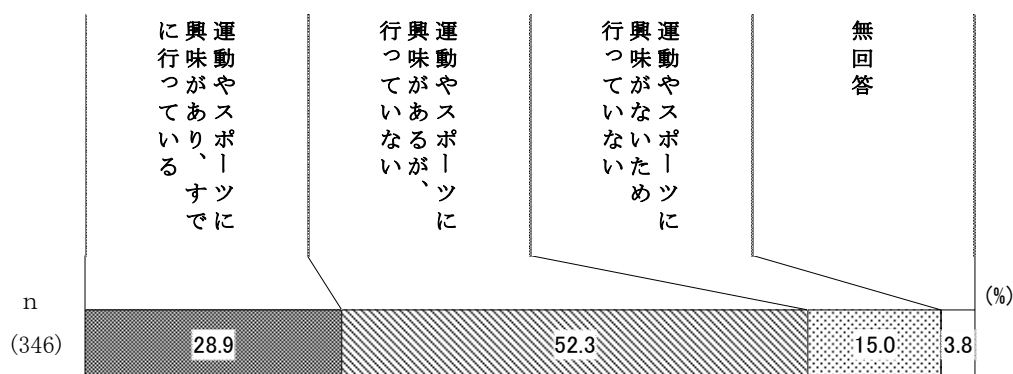
「行っている」が28.9%

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向け、運動やスポーツに関する意識や、現在の活動状況をお伺いします。

問31 運動やスポーツを行いたいと思いますか、また、行っていますか。(〇は1つ)

※ここでの「運動やスポーツ」は、競技スポーツだけでなく、ウォーキングや体操、ストレッチなどの軽い運動も含まれます。

運動やスポーツへの活動意向と現況は、「運動やスポーツに興味があり、すでに行っている」が28.9%となっています。「運動やスポーツに興味があるが、行っていない」は52.3%と多くなっています。(障害の種類別の調査結果は22ページ4-(4)を参照)



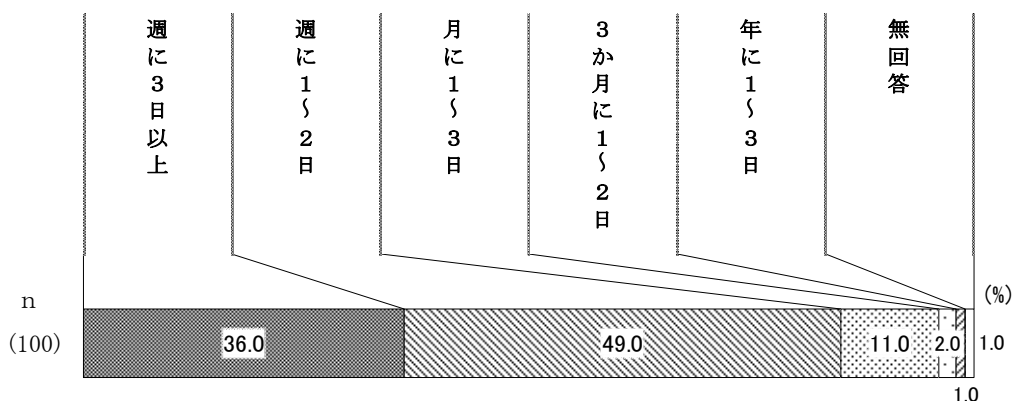
(5) 運動やスポーツの実施頻度

「週に1~2日」が49.0%

【問31で、「運動やスポーツに興味があり、すでに行っている」に回答した方のみにおうかがいします。】

問31-1 運動やスポーツをどれくらいの頻度で実施していますか。(〇は1つ)

運動やスポーツを行っている方の実施頻度は、「週に1~2日」が49.0%、「週に3日以上」が36.0%となっており、「月に1~3日」が11.0%となっています。

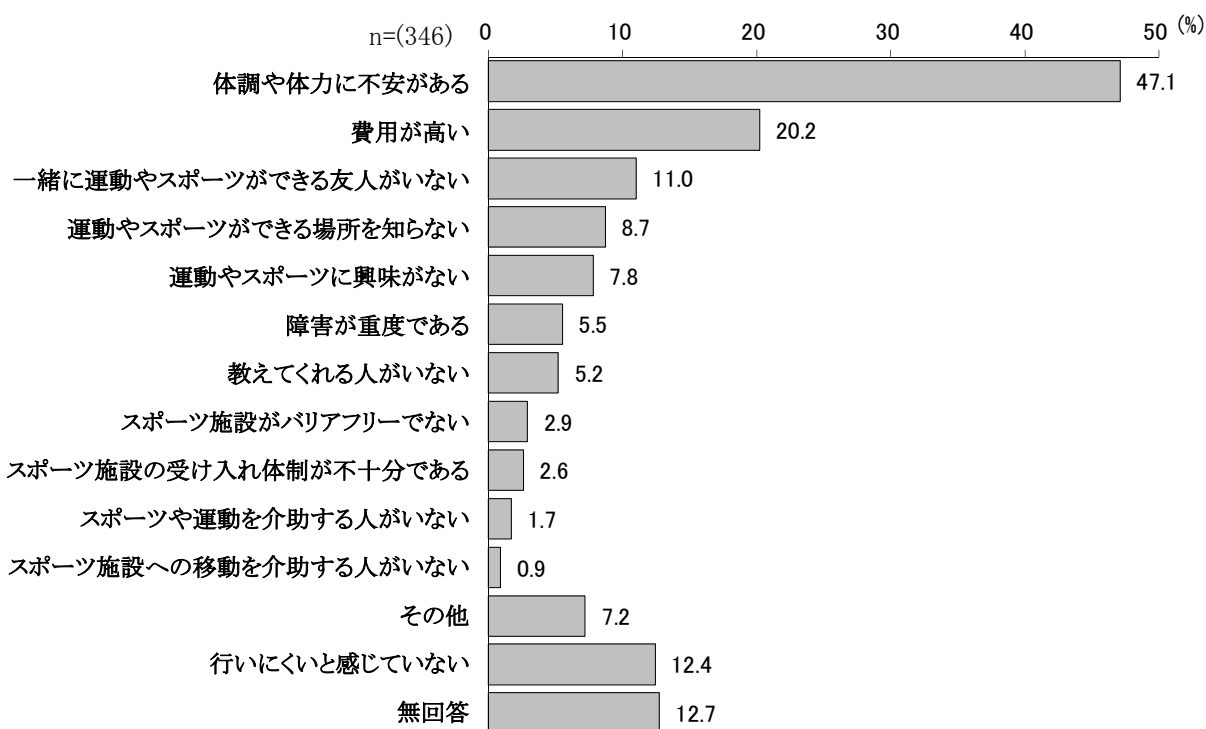


(6) 運動やスポーツを行いにくいと感ずること

「体調や体力に不安がある」が47.1%

問32 運動やスポーツをする際に、何か困ること、行いにくいと感ずることはありますか。
(あてはまるもの3つまで○)

運動やスポーツを行いにくいと感ずることは、「体調や体力に不安がある」が47.1%で最も多く、以下、「費用が高い」が20.2%、「一緒に運動やスポーツができる友人がいない」が11.0%が続いています。(障害の種類別の調査結果は23ページ4-(5)を参照)



10. 障害者の権利

(1) 障害者の権利を守るために充実すべき内容

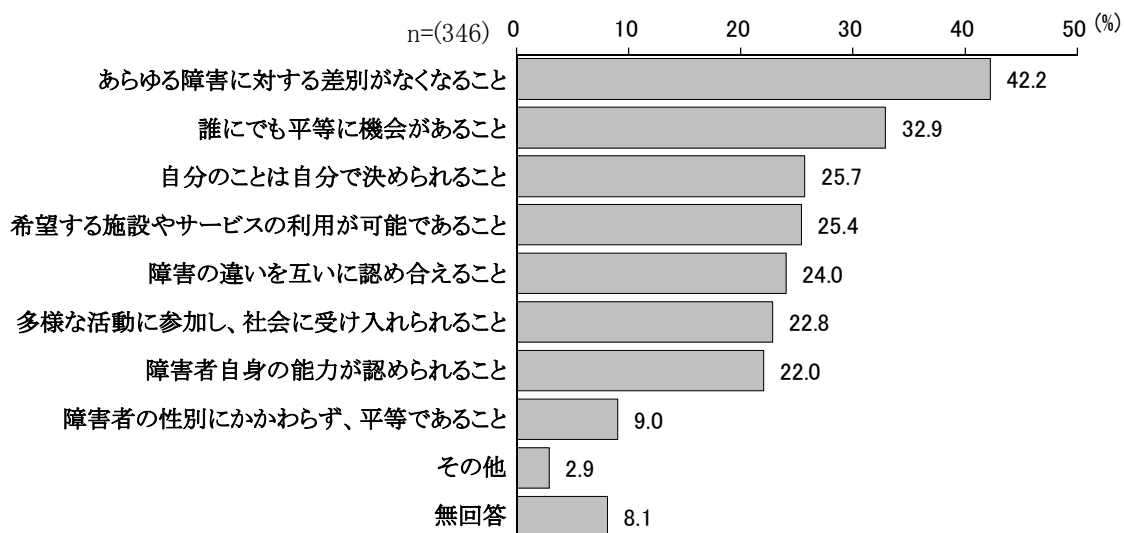
「あらゆる障害に対する差別がなくなること」が42.2%

問33 平成18年（2006年）に、国連では、「障害者の権利に関する条約」が採択されました。今後、障害者の権利を守るために、特に充実させるべき内容はどれですか。

（あてはまるもの3つまで○）

障害者の権利を守るために充実すべき内容は、「あらゆる障害に対する差別がなくなること」が42.2%で最も多く、以下、「誰にでも平等に機会があること」（32.9%）、「自分のことは自分で決められること」（25.7%）、「希望する施設やサービスの利用が可能であること」（25.4%）、「障害の違いを互いに認め合えること」（24.0%）、「多様な活動に参加し、社会に受け入れられること」（22.8%）、「障害者自身の能力が認められること」（22.0%）が2割台が続いています。

（障害の種類別の調査結果は24ページ5－（1）を参照）

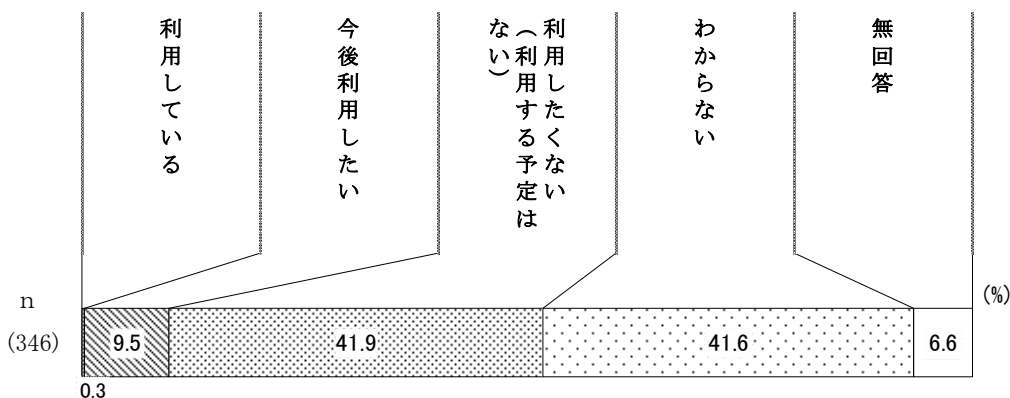


(2) 成年後見制度の利用意向

「今後利用したい」が9.5%

問34 成年後見とは、障害などで判断能力が不十分な人の「財産」や「権利」を保護し、支援していく制度です。あなたは、成年後見制度を利用したいですか。(〇は1つ)

成年後見制度の利用意向は、「今後利用したい」が9.5%となっています。また、「利用したくない(利用する予定はない)」が41.9%となっています。



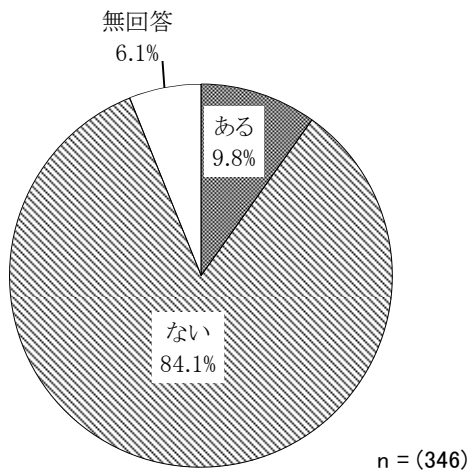
(3) 虐待を受けた経験

「ある」は9.8%

問35 あなたは、いままでに自分の体や心を傷つけられた(虐待された)ことがありますか。(〇は1つ)

虐待を受けた経験は、「ある」が9.8%、「ない」が84.1%となっています。

(障害の種類別の調査結果は25ページ5 - (2)を参照)



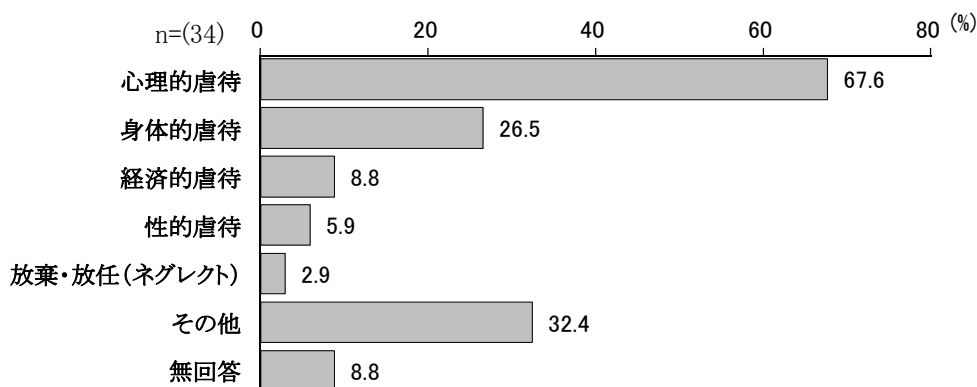
(4) 受けたことがある虐待の内容

「心理的虐待」が67.6%

【問35で、「ある」に回答した方のみにおうかがいします。】

問35-1 虐待の内容はどのような内容ですか。(あてはまるものすべてに○)

虐待を受けたことがある方の虐待の内容は、「心理的虐待」が67.6%で特に多く、これに「身体的虐待」が26.5%が続いています。



*心理的虐待：怒鳴る、悪口を言う、仲間に入れない、わざと無視する など

*身体的虐待：殴る、蹴る、縛りつける、閉じ込める、不要な薬を飲ませる など

*経済的虐待：十分なお金を与えない、勝手に財産や預貯金を使う など

*性的虐待：性交、性器への接触、裸にする、わいせつな話をする など

*放棄・放任(ネグレクト)：十分な食事を与えない、不潔な住環境で生活させる など

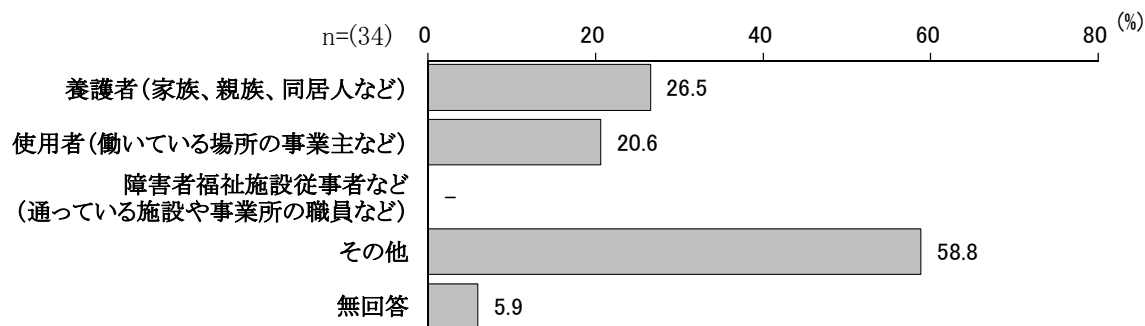
(5) 虐待を受けた相手

「養護者」、「使用者」が2割台

【問35で、「ある」に回答した方のみにおうかがいします。】

問35-2 誰から虐待を受けましたか。(あてはまるものすべてに○)

虐待を受けたことがある方の虐待を受けた相手は、「養護者(家族、親族、同居人など)」(26.5%)、「使用者(働いている場所の事業主など)」(20.6%)が2割台となっています。



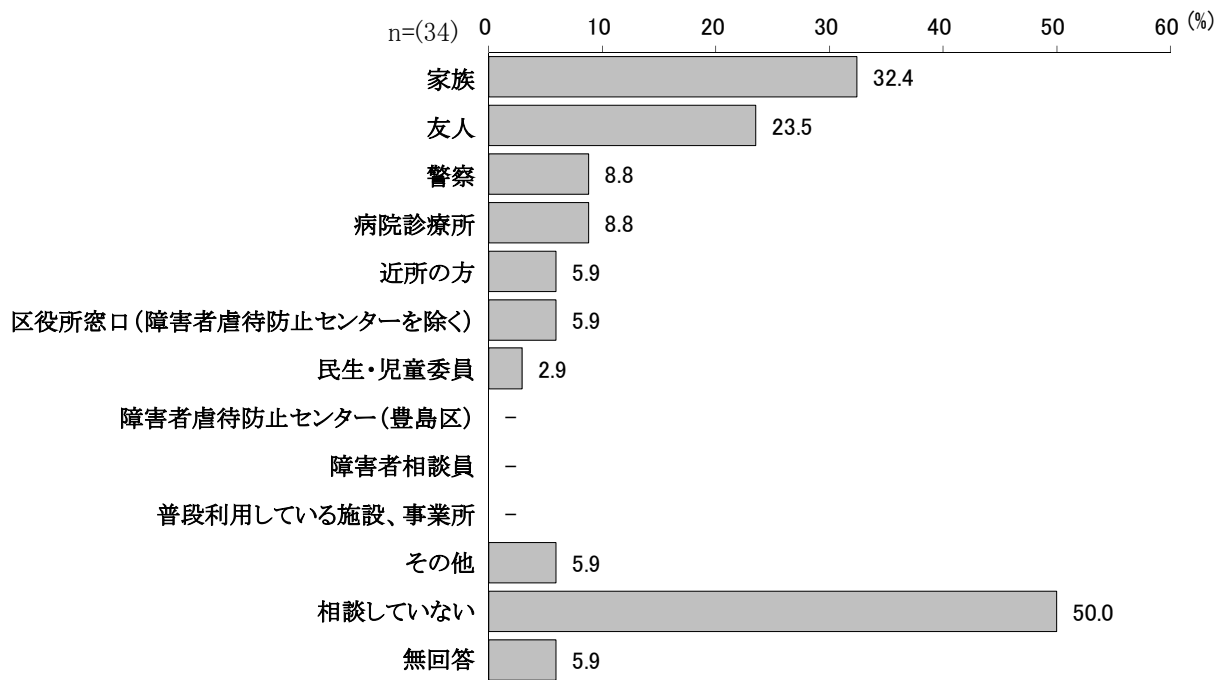
(6) 虐待について相談した相手

「家族」が32.4%

【問35で、「ある」に回答した方のみにおうかがいします。】

問35-3 虐待を受けた時、だれ（どこ）に相談しましたか。（あてはまるものすべてに○）

虐待を受けたことがある方の虐待について相談をした相手は、「家族」が32.4%で最も多く、これに「友人」が23.5%が続いています。また、「相談していない」が50.0%となっています。

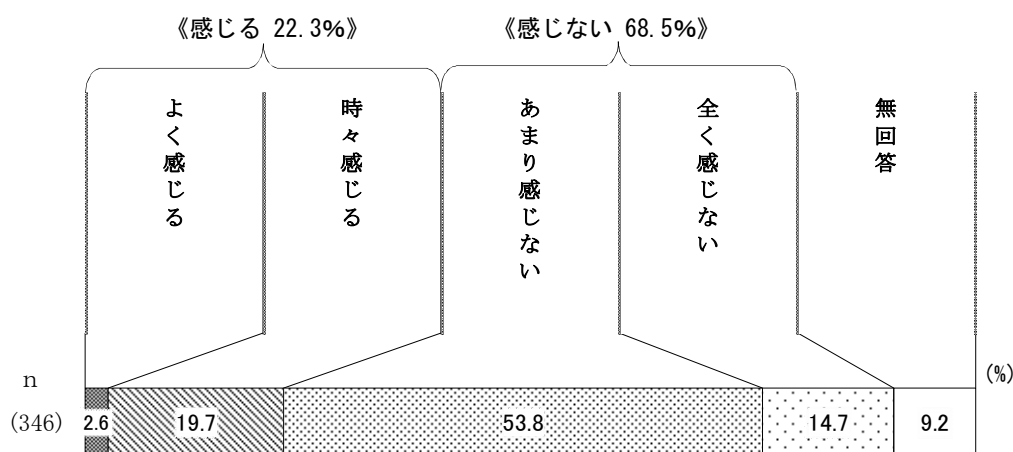


(7) 障害者への差別を感じること

《感じる》は22.3%、《感じない》は68.5%

問36 平成28年4月に障害者差別解消法が施行されましたが、障害者への差別を感じることはありますか。(〇は1つ)

障害者への差別を「よく感じる」は2.6%、「時々感じる」は19.7%で、両者をあわせた《感じる》は22.3%となっています。一方、「全く感じない」(14.7%)と「あまり感じない」(53.8%)をあわせた《感じない》は68.5%となっています。(障害の種類別の調査結果は26ページ5-(3)を参照)



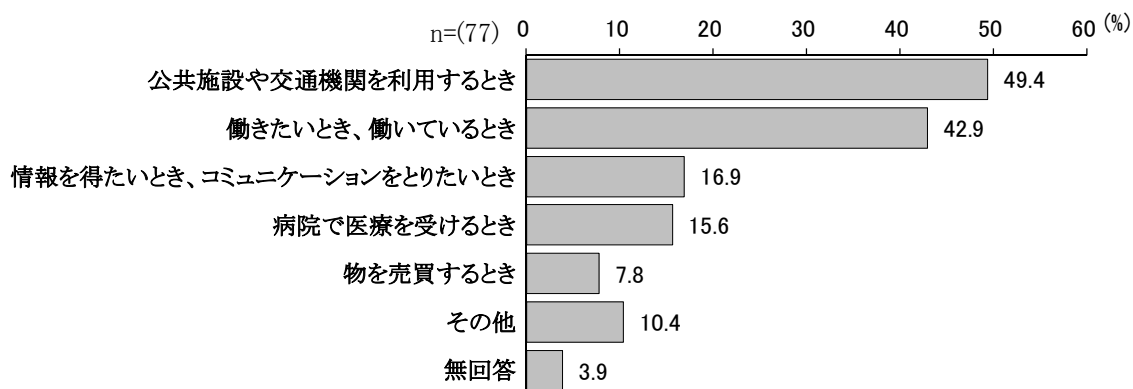
(8) 差別を感じるとき

「公共施設や交通機関を利用するとき」、「働きたいとき、働いているとき」が4割台

【問36で、「よく感じる」「時々感じる」に回答した方のみにおうかがいします。】

問36-1 どのようなときに差別を感じますか。(あてはまるもの3つまで〇)

障害者に対する差別を感じる方がどのようなときに差別を感じるかでは、「公共施設や交通機関を利用するとき」(49.4%)、「働きたいとき、働いているとき」(42.9%)が4割台で多くなっています。



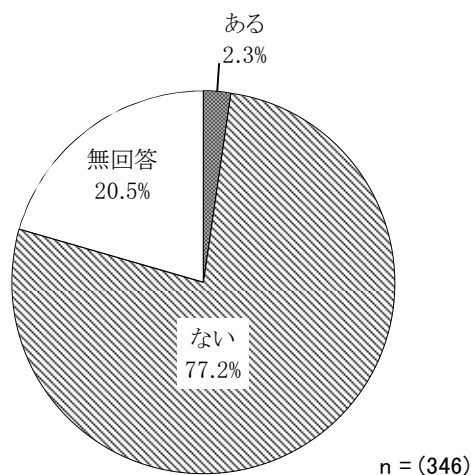
(9) 差別の相談経験

「ある」は2.3%

問37 障害者への差別を感じたときに、相談をしたことはありますか。(○は1つ)

差別の相談経験は、「ある」が2.3%、「ない」が77.2%となっています。

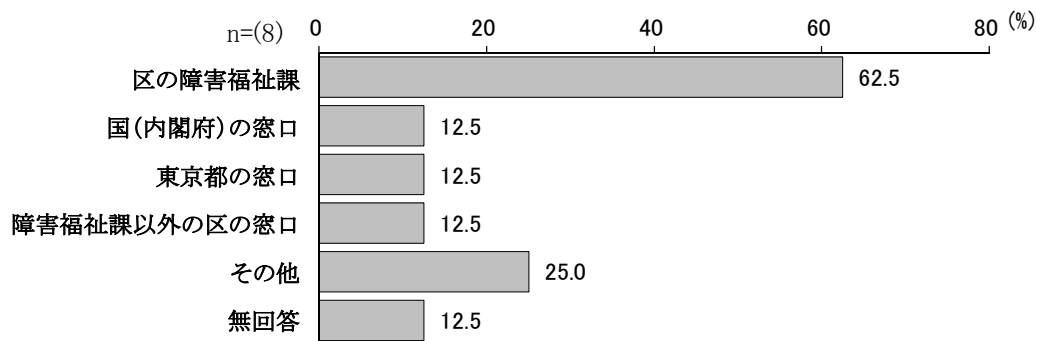
(障害の種類別の調査結果は27ページ5-(4)を参照)



(10) 差別についての相談先

【問37で、「ある」に回答した方のみにおうかがいします。】

問37-1 どこに相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)



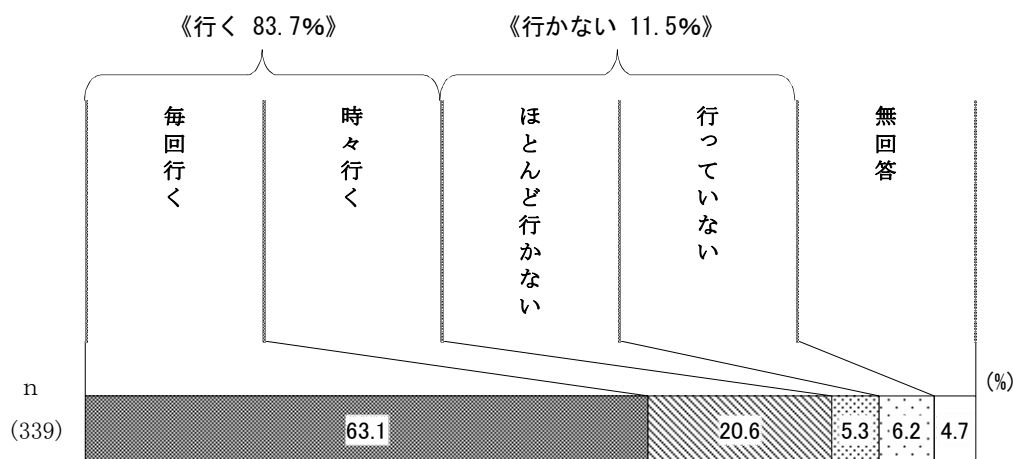
※回答者が少ないため、図は参考程度となります。

(11) 選挙投票への参加状況 (18歳以上の方)

《行く》は83.7%

問38 あなたは選挙に行っていますか。(○は1つ)

選挙投票への参加状況は、「毎回行く」が63.1%、「時々行く」が20.6%となっており、両者をあわせた《行く》は83.7%となっています。一方、「行っていない」(6.2%)と「ほとんど行かない」(5.3%)をあわせた《行かない》は11.5%となっています。



(12) 選挙に行かない理由 (18歳以上の方)

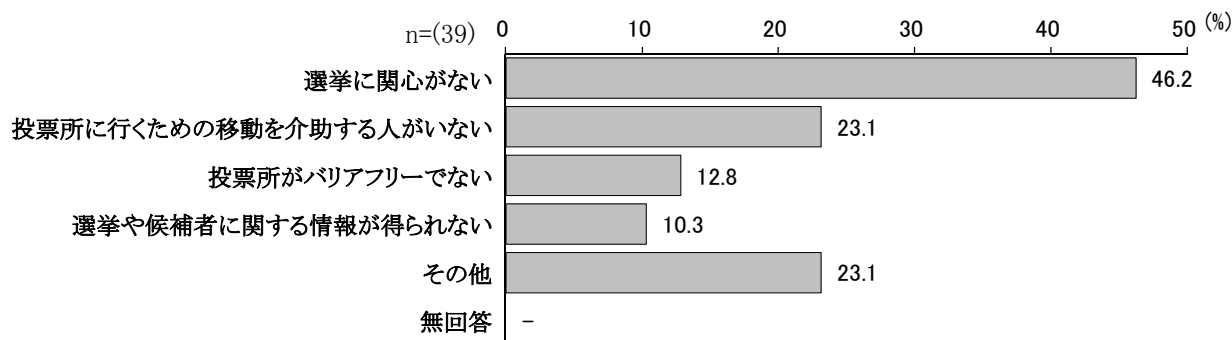
「選挙に関心がない」が46.2%

18歳以上の方のみ

【問38で、「ほとんど行かない」「行っていない」に回答した方のみにおうかがいします。】

問38-1 選挙に行かない理由は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

選挙に行かない方の理由は、「選挙に関心がない」が46.2%で最も多く、これに「投票所に行くための移動を介助する人がいない」が23.1%が続いています。



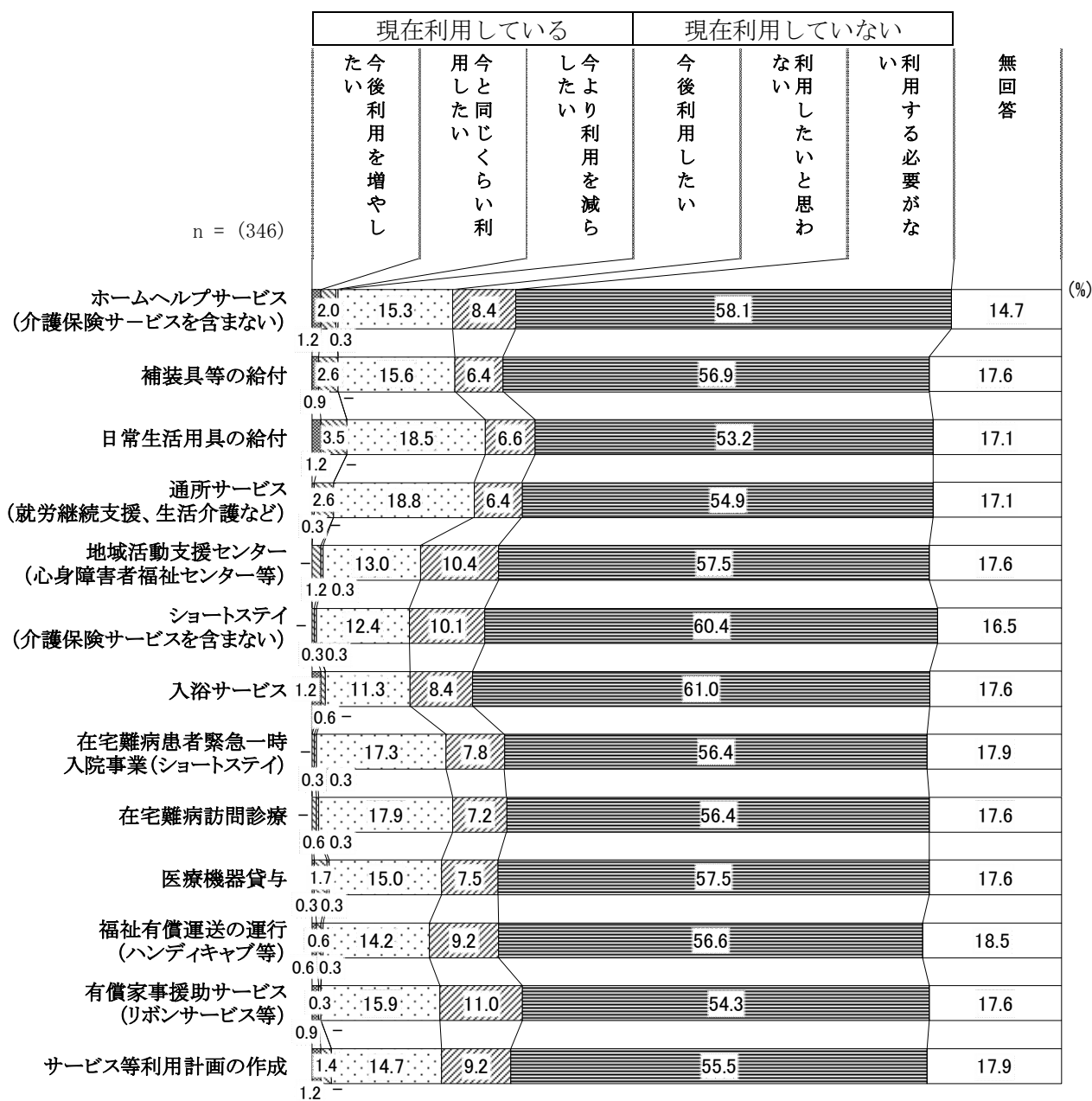
11. サービスの利用状況や今後の利用意向

(1) サービスの利用状況

「今後利用したい」は、「通所サービス」、「日常生活用具の給付」が2割弱

問39 あなたは次のサービスを利用したことがありますか。(各項目について○は1つ)

サービスの利用状況については、いずれの項目も「今後利用を増やしたい」はわずかで、「今後利用したい」が1割台となっており、その中では“通所サービス（就労継続支援、生活介護など）”（18.8%），“日常生活用具の給付”（18.5%）が比較的多くなっています。



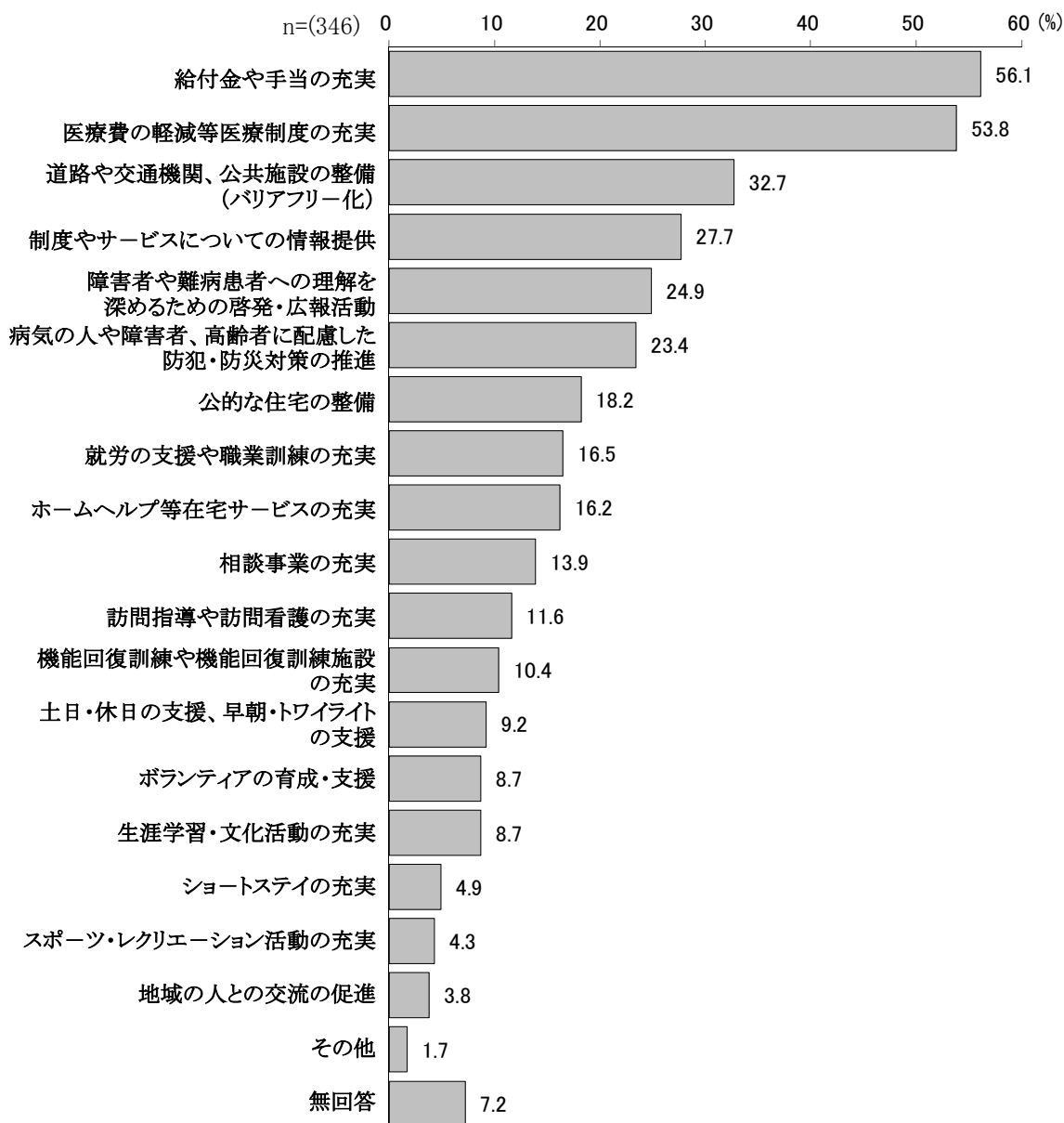
12. 豊島区等への要望

(1) 行政に対する要望

「給付金や手当の充実」、「医療費の軽減等医療制度の充実」が5割台

問40 行政（豊島区）は次のうちどのようなことに取り組むことが望ましいと思いますか。
（あてはまるもの5つまで○）

行政に対する要望は、「給付金や手当の充実」（56.1%）、「医療費の軽減等医療制度の充実」（53.8%）が5割台で多く、以下、「道路や交通機関、公共施設の設備（バリアフリー化）」が32.7%、「制度やサービスについての情報提供」（27.7%）、「障害者や難病患者への理解を深めるための啓発・広報活動」（24.9%）、「病気の人や障害者、高齢者に配慮した防犯・防災対策の推進」（23.4%）が2割台で続いています。（障害の種類別の調査結果は28ページ6－（1）を参照）



第 7 章 自由回答

さいごに 障害者施策（難病患者に対する施策）について自由に思うことをご記入ください。

障害者施策や難病患者に対する施策について、自由に記入してもらったところ、身体障害者から287件、知的障害者から58件、精神障害者から100件、難病患者から136件、計581件の貴重な回答をいただきました。1人で2つ以上の内容について記入されている場合は、それぞれを1とカウントするため、件数は延べ件数となります。いただいた記入内容を分類した上で、代表的な意見を掲載しています。

なお、それぞれの回答の末尾のかつこ内に障害区分を示しています。

1. 福祉に関する情報や相談

(1) 相談窓口について

- ・普段仕事をしているので、相談できる時間、曜日が限られます。土日の相談、メール対応など充実されると助かります。（身体）
- ・区役所の窓口について：障害者施策に限らないが、住民からおそらく何度も尋ねられている質問等については、「都の制度」、「国の制度」に関係なく案内できるように窓口対策の担当者が対応力を高めてほしい。窓口担当者が（自分の家族が）そういう状況になったら絶対に知りたい」と思う情報は一覧表にしてでも配付（用意）してほしい。ベテランの窓口担当者に頼る必要のない形にしてほしいです。大変でしょうけど頑張ってください。（身体）
- ・障害が出たとき、気軽に相談出来る場所があればいいと思います。（身体）
- ・区役所、保健所ともいつも丁寧に対応してもらっています。わざわざ窓口に出かけて行くが、それを大変うれしく思います。区役所は池袋駅から少し遠くなりましたが、窓口丁寧に丁寧に対応してもらって帰り道も大変楽しく帰ってきます。（身体）
- ・私、本人は早いうちに障害者の認定を受け、現在はまだ動けてあちこち自分で行動できますが、将来の不安は限りなくあり、誰にも話せず悩むこともある。そのことを相談できる（結果は出なくても）といいし、自分もできる範囲で相談に乗れるボランティアでもあるといいと思う。（身体）
- ・何かにつけて、相談したくても窓口の対応の方法があまりよくわからないことや、制度がよく変わることでわかりにくくなっている。本庁が遠いため、つい自分で対応に関して消極的になってしまいます。何かにつけて「明日は我が身」と自分を戒めています。そして無理を言ったり、決まり事の建前だけで処理されてしまうことが辛いです。生きている人達のための法的なものであるため、血の通った対応がほしいです。この地で一生を過ごすので、やはり地縁をご縁と思って穏やかに生きていきたいです。（知的）
- ・障害者施策は1つの窓口で相談できるようにしてください。（精神）
- ・職員には病気に対する知識に基づいた対応を身に付けてから職務にあたってほしいと願います。（精神）
- ・豊島区の役所、保健所の職員の方の対応は非常に丁寧で親切です。（難病）
- ・困ったときの相談先がわからない。（難病）

(2) 情報の周知・提供

- ・いろいろな設備等の利用についての情報をより細かく日常的に知りたい。（身体）
- ・行き届いた障害者への情報提供（ホームページに掲載してあるだけでは不十分）（身体）

第7章 自由回答

- ・単身で生活している人にとって助成や手当は本当に助かります。仕事をしていてもいつ倒れて仕事ができなくなり、収入が得られなくなるかわかりません。年金も年々減っていき、月約6万円です。家賃の方が高いので、働かないと暮らせません。なので、変更など改正があったら必ず知らせてほしいです。NHKの受信料の助成もこちらから問い合わせを行っていただきました。いろんな助成があることを知らない人はきっと多いと思います。よろしくお願いします。
(身体)
- ・親として成年後見制度を詳しく知りたいと思います。(知的)
- ・サービスの内容はほとんど知らないです。いつどこで教えていただけますか。(またはいつ案内してもらったのでしょうか。)
「障害者福祉のしおり」もこちらから出向かないといただけません。「しおり」は厚くて読み込むのが大変です。(精神)
- ・施策について、よくわからない。目や耳にすることがほとんどない。どういった方法でPRすることが様々な人に行き届くのかよくわからないが、詳しい人(職業の人)に入ってもらい、もっともっとどういう社会にしたいのか、そのためにどんなことをしているのか、情報開示してアピールしてほしい。自分が必要としている情報が何なのかかわからない。判断もつかない。
(難病)
- ・区として閉じるのではなく、他の区にも広く公開してほしい。(難病)

2. サービスの利用状況・要望、経済的支援

(1) ホームヘルプ

- ・この度、体調が悪くて一か月以上も床から離れられずひとり暮らしのため、自宅で治療を受けたりと医師に連絡をしたり、ヘルパーを待っていたり、大変な思いをしました。消防に通じる装置はつけていただいています。そこまではしたくないので、ヘルパーを活用できる時間を増やすとか、「もしも」の事を考えて計画にも盛り込んでいただければと思っています。よろしくお願いします。(身体)

(2) ショートステイ・入所施設

- ・安心して入所できる(親なきあと)施設をつくってほしい。(身体)
- ・障害者対策について 在宅支援も必要ですが、近くで施設に入れることが親なきあとの対策の大前提になると思います。親なきあと、兄弟姉妹に全面的に頼るのは不可能だと思います。施設に入っている障害者や精神的な支え、財産の管理などをきちんとやることが兄弟姉妹にとってもとても大変なことであり、大事なことだと思います。(知的)
- ・介護離職の方が増えております。お泊りデイサービスやショートステイを利用するときの値段、価格を下げてもらいたい。破たんして家族共倒れになってしまうのも時間の問題です。(難病)

(3) グループホーム

- ・利用料が少なく、24時間365日体制でみてくれるグループホームがほしいです。人が変わると不安になるので、一人～三人で運営してほしいです。(知的)
- ・重度の障害者が将来、親の病気や死亡したとき、地元で幸せに暮らせるよう、グループホームや入所施設をたくさんつくってほしいです。(知的)

- ・親の立場からなのですが、子どももう30歳になろうとしていて、親の年齢も65歳を過ぎると、親が元気なうちに、子どもが生活していける場所を探してあげたいと考えています。豊島区内にも充実したグループホーム（障害者のためのもの）ができればと思っています。グループホームに関する情報も知りたいです。（知的）
- ・グループホームなどにもっと入りやすくしてほしいです。（知的）
- ・グループホームの空きがないため、もっと増やしてほしいです。（精神）
- ・難病のため、手足が不自由で家の中のそうじができないで困っています。グループ生活を組んで協力して助け合えきたらよいと思います。（難病）

（4）移動支援

- ・遠くまでの外出に同行。ガイドヘルパーさんが希望。（身体）
- ・現在、ショートステイ（さくらんぼ含む）を利用していますが、移動支援を使つての利用ができないため、家族の送迎に頼っています。しかし母親も仕事をしていて、兄弟も会社・大学と忙しく、時間がとれません。私はもっと利用したいのですが、付き添ってくれる人がいなくて利用できる日が限られています。移動支援を利用できるようにしてください。また、家⇄行き先だけではなく、作業所⇄行き先 出先⇄行き先等もっと利用しやすくしてください。移動支援の使い方をもっと自由度の高いものにしてください。いろいろなところへ出かけたり、生活を楽しみたいです。よろしくをお願いします。（知的）
- ・小学校就学より移動支援を利用していますが、学校休業日の学童の往復利用ができずとても困っています。なぜ学童利用は不可でスキップ一般利用なら可なののでしょうか。本人が自分で登室、下室することはできません。一般利用では利用時間も限られ、また見守りの（登下確認）もありません。学童は保護者の就労等により利用できるのに、障害児の利用を制限させてしまうのではないのでしょうか。障害児の就学は本人・保護者の希望にもっと寄り添っていただきたいです。難しいケースもあるかと思いますが、わが校では受入れ体制ができません、という前に本人のためにどのようなことならできるのか一緒に考えていただきたいです。一昨年、8月の就学の集まりで「障害児は学童に入れません」と間違つた案内をされた方がいました。徹底してください。（精神）

（5）福祉タクシー券

- ・移動の際の介護タクシーが高額であるため、福祉タクシー券では不足する。増額を希望する。（身体）
- ・週三日通院が必要であるが、具合が悪いことが多く、特に病院からの帰路は体にキツイことが多いです。支給されているタクシー券では到底足りず（1年間で）多額を自費で払います。もう少し金額を増やすか、都バス無料券のように、常に提示するといくらかの割引きになるようなサービスがほしいと感じます。私の場合はこれから一生生きるためには、週3日の通院が必須です。これから歳を重ねることを考えると、とても不安です。ちなみに1回タクシーを片道使用すると、家から病院まで約2500円かかります。（身体）
- ・福祉タクシー券ではなく、現金での支給にしてほしいです。具合が悪くなって仕事を休んだ分の生活費に当てることができれば、経済的な負担に対する不安が少し軽減されます。このように病気であるがゆえの生活のしづらさを聞いてもらえる機会があることに感謝します。（難病）

第7章 自由回答

- ・豊島区の医療手当（難病）にタクシーチケットが含まれていますが、他区（板橋、北、文京）等のように全額現金支給にするよう希望します。タクシー券は使用しません。同じ手当を支給されている仲間も同じ意見です。使いきれず無駄になります。（難病）
- ・現在通院のため、他区の医療機関（2か所）を月に1回程度受診していますが、入院の影響で足腰の筋力が低下して公共交通機関の利用が難しいので、タクシーを利用しています。「福祉タクシー券」の支給は助かりますが、半年を待たずして使い切ってしまいました。（難病）

（6）補装具・日常生活用具

- ・区の方から補聴器を支給してもらって助かっています。ありがたいと思っています。ただ人にもよるけど、汗かきがひどい。私には5年はもちません。修理代がかなりかかります。ある程度補助があると嬉しいです。（身体）
- ・おむつの支給も130枚では足りません。昔は240枚くらい出ていたのにもっと増やして下さい。補装具や日常生活用具の修理代を限度額関係なく出してほしいです。（身体）
- ・車いす等、もっと気軽に借りられると良い。（福祉事務所までいけないので）（難病）

（7）その他のサービス

- ・もっと利用できるサービスを増やしてほしい。障害により利用できるサービスが異なるので、すべてのサービスを手帳をもった方は利用できるようにしていただきたいです。（身体）
- ・公共交通機関を使用することが多いが、私鉄の利用時交通費用に負担がかかっている。都営並みにとはいかないまでも、少しでも免除の制度があれば助かると思います。（身体）
- ・タブレット端末を使った遠隔手話通訳サービスを実施してほしい。（図書館や心身障害者福祉センター、東部・西部障害支援センター等、タブレット端末を設置する）（身体）
- ・視覚障害者に対する理解・支援等に力を注いでください。特に点字による情報提供の充実を図ってください。（身体）
- ・脳梗塞後遺症で右半身の麻痺があります。運動障害性構音障害もあります。長期間のさまざまなリハビリがあれば大変助かります。（身体）
- ・安心な生活が送れて利用しやすいサービスを希望します。（身体）
- ・障害者のデイサービスを増やしてほしい。雨の日は散歩に行けず、ずっと一日中、家の中にいるので、欲求不満になる。デイサービスは雨でも行ける。週2日では当然足りないです。（身体）
- ・都営バス、地下鉄のフリーパスは続けてほしい。（身体）
- ・在宅リハビリを行いたい。（身体）
- ・障害者級によって受けられるサービスの違いをなくしてもらいたい。（身体）
- ・若年層の介護施設（デイサービス施設）がない。介護保険が利用できる年齢になると介護保険を優先して、高齢者と同じデイサービス施設を利用せざるを得ない。何とかならないだろうか、と思います。（身体）
- ・一人での外出時に同伴者がいない時に、障害者割引が出来なかったり、距離によって出来たり出来なかったりすること。同伴者がいないと駄目というのは、子ども扱いをいつまでもされているように感じます。（身体）

- ・歳をとってくると、一番の心配は身元保証人になってくれる人がいなくなることです。入院する時はいないと困るそうです。足立区では身元保証サービスを行政でやってくれると雑誌で読みました。豊島区はそういうのがあるのでしょうか。そういう方面に力を入れていただければ嬉しいし、安心です。（知的）
- ・18歳以上の障害者が通所後、過ごせる場所をつくってほしい。（現在ある活動を支援してほしい）18歳以上でも親が働いている場合、一人で過ごすことのできない人たちはいるので。（知的）
- ・特に精神障害者が心のうちを話せる電話相談やお話しを聞いてくれるサービスがもっとあっても良いと思う。充実させてほしい。（いのちの電話や東京都夜間心の相談サービスだけでは足りないと思う）特に夜間の精神科の救急外来がもっとあっても良いと思う。（時には看護師さんが電話だけで済めば、適切な対応を教えてくださいととても助かります。）もっと充実させてほしい。（精神）
- ・行政の立場からではなく、利用者の立場にたってサービスを提供してほしい。事務的に「はい、どうぞ」というのは嫌です。支援者が利用する側になったときを考えて、もし自分が利用したらってことを考えてほしい。まだまだ豊島区は他区に比べたらサービスが悪いと思う。他区だと区民じゃないと利用できませんという場合が多い。グループホーム、地域活動センターなど豊島区も区民に還元してほしい。地域生活支援センターなどは、他区の人が多く利用していて、豊島区民の役に立っているのか疑問です。他区では区民しか利用できないところもある。（精神）
- ・外出の機会を増やすなら、手帳のサービス等は役立っていますが、相談窓口やイベントなど、外に気持ちが向かうような公的施設及びサービスが充実してほしい。しかし、基本的には自身で組み立て計画していくべきとも考えています。「精神<身障」の「<」を「=」に。サービス内容が平等になりますよう望みます。（精神）
- ・軽度のため、都単独医療券から国指定医療券になることができないのかとても不安に思っています。難病指定の病気が増えたことでいろいろなサービスがなくなってきたことも不安に思っています。同じ難病であっても軽度に難病指定サービスが受けられなくなるのではと思うと、どうしたらいいのかと思ってしまう。（難病）
- ・今、希望といえば電車のグリーン券が使えるとうれしいです。満員時など座ることができないととてもつらいこともあります。湘南新宿ラインに乗って病院へ行くのですが、座るところか朝ですと乗るのさえ大変なことが多いです。せめて月に1度くらいの関東内だけの通用でよいので、グリーン券が出るとうれしいです。（難病）
- ・制度上の狭間にいるため、使えるサービス等が少ないことに不満を持っている。（難病）
- ・機能回復受術券はありがたく利用させていただいていますが、子供を預ける場所がなく、子連れで利用できる治療院があると助かります。（難病）
- ・歩くのがつらいので、このような障害者用に自転車カードなどを発行し、自由に駐輪できるようにしてほしいです。お願いします。一般の人より重力が何倍にも感じてつらいのです。自転車邪魔な障害者だけが障害者ではないのです。駐輪機はほとんどいつも埋まっています。出し入れが力の要る地下の駐輪場へ入れることは一般の方でしたら大丈夫かもしれませんが、血液が一般人の何分の一程度の人間にとっては、ひどくつらいことですし、難しいことです。（難病）

(8) 生活費、医療費等の助成

- ・生活するためにバイトをしなくてはならず、給付金の充実をお願いしたい。特に国民健康保険料の金額の負担を重く感じる。そこで貯めたお金がなくなってしまう。(身体)
- ・なかなか実現はむずかしいとは思いますが、年金が減らないようにしてほしい。障害とは別の病気でも多額の医療費や薬剤費がかかり、大変なため、増額してほしい。(身体)
- ・障害年金の金額を少々あげてほしい。(身体)
- ・自立して働く若者(20~30代)に対して、手当等の支援がほしい。結婚とか人並みの生活を送りたいから。(身体)
- ・65歳を過ぎてからの福祉障害者の手当が不足のように思います。(身体)
- ・ある一定の年収を超えた際に、手当(給付)の権利を失う障害者への手当は、年収に関係なく、平等に行われるべきものと考えています。高額な税金を支払い、行政サービス授与ができなくなった事は不平等、特に障害者への対応は年収に関係のないものではないでしょうか。(身体)
- ・障害の等級が低くても補助金が支給されるようにしてほしい。(身体)
- ・私は人工内耳手術のおかげで、聴力を取り戻したが、手術への保険金給付基準も緩和して、もっと多くの人々が手術を受けやすくなれば良い。(身体)
- ・医療費負担が都内に転入してきたら、有料となったことに負担を感じる。(身体)
- ・金銭的サポートはおおいに評価しており、今後も継続していただきたい。(知的)
- ・薬代を無料にしてほしいです。(精神)
- ・給付費がとても少ないと思う。(精神)
- ・医療費の軽減と給付金や手当の更なる充実を望みます。(難病)
- ・難病患者福祉手当が少ないと思う。(難病)
- ・医療費が高額になる傾向がありますが、医療補助は削減傾向となり、生活が苦しくなります。完治しない病気のため、人生設計の支障となっています。豊島区の医療制度につきましては、充実を念頭においた継続をお願いします。(難病)
- ・現在でも十分な手当が受けられていてよいと思うが、より重症な方にはより厚い手当が必要だと思う。(難病)
- ・医療費(薬代含む)の補助が減額されたので、もとに戻してほしいです。(難病)
- ・医療費が高いので、軽減等、医療制度の充実、給付金や手当の充実を希望します。(難病)
- ・難病患者でありながら働いているので、耳も、目も悪いので手当を増やしてほしい。(難病)
- ・疾病ゆえに健常者同様の給与はもらえないことがあることに対しても、手当、年金をカットされると生き延びるのに困難さを感じる。(難病)

3. 外出

(1) 駅・交通機関

- ・エレベーター、エスカレーターのない駅もあり、とても不便でしんどい。(身体)
- ・私は見た目には健常者とまったく変わりませんが、まったく走れないし、階段も登れません。豊島区に限らず、駅構内の昇降機設置場所の案内表示がわからないし、そもそも設備が少ない。よく利用する駅は自分でわかっているのでよいが、あまり行かない駅等では昇降機もない駅がまだまだ多いと思う。早急なる対策を希望します。(身体)

- ・池袋駅東口にエレベーターやエスカレーターがほとんどなく、不便を感じています。また丸の内線も東口方面からホームに下りる際、エスカレーターもエレベーターもなく、とても使いづらいです。南口方面に出るルート上にエスカレーターやエレベーターがほしいです。デパートが営業していない時間帯は上記の理由で駅がとても利用しづらいです。（身体）
- ・女性専用車両に男性障害者は乗りづらいと感じる。障害者専用車両を設ける。（身体）
- ・交通機関の充実とエレベーター、エスカレーターの充実。（JR板橋駅等、今工事が進んでいますが、設置数が少なく探すのが大変。）（身体）
- ・駅のトイレがどこにあるか分かりづらいので、音をつけ案内してほしい。（身体）
- ・鉄道利用のとき、LEDや液晶の車両をどんどん増やしてほしいです。（知的）
- ・足も悪いので、杖をつけて行動しておりますので、階段、電車とホームの隙間等、危ない場所は改善していただきたい。怖いと思うことがあるので。（難病）

（2）道路、歩道等

- ・数年前より歩道がレンガとなり、雨の日の水はけが良くなったし歩きやすくなったのに、最近の水道工事で掘り起こされて元に戻っていない。レンガは1つ1つ外されているのは見えています。そのうち元に戻りますか。古い水道管の交換も必要ですが、つまずいて危ない時がありました。（身体）
- ・道路の段差や傾斜をなくしてほしい。路面をなめらかにしてほしい。（身体）
- ・狭い道路での看板や多数の植木類のはみ出し、粗大ゴミのような家庭不用品の放置。放置自転車など車いす走行の妨げになり、とても困ります。（身体）
- ・視覚障害というと、段差のことが問題になるが、1例として段差について言えば、世の中から段差をなくせば視覚障害者は幸せだということにはならない。段差には必要なものと不要なものがある。目が悪いだけの単純な視覚障害者なら杖と足を正しく使えば段差を踏み外したり、段差につまづいたりすることはない。視覚障害者には全員に正しい歩行ができるような訓練を施すのが本来の姿である。かつてある大学で全盲の学生が入学するというので、周辺の車道と歩道の段差を埋めたことがある。すると全盲の学生が車道に迷い出て、車にひかれそうになった。そこで大学は車道と歩道の段差を元に戻した。おかげで全盲の学生は車にひかれる心配がなくなったが、大学は対策の予算を使い果たした。この事例は教訓に満ちている。およそ人を、つまり障害者と支援者を徹底的に鍛えることなくして、真の福祉は実現しない。（身体）
- ・LED付音響装置を広めてほしい。通常信号は見えづらく音が出ないものもあるため、歩行の時に困っている。（身体）
- ・夫、娘、孫たちと公園へ行った帰り道、駐車場が坂道でスピード止めに気づかず、つまづき転倒、骨折。スピード止めにははっきりした色をつけてもらいたいです。（難病）
- ・街の歩道のカラーブロック状の敷き詰めてあるところ（点字ブロックとは別）これが意外と凸凹で杖を歩いても転びそうになります。（難病）

（3）事故防止

- ・長いエスカレーターを歩行する方が多いですが、こちらも危険ですので（障害者や高齢者が怪我をする可能性も捨て切れません）もう少し、対策を強化していただきたいです。（身体）

第7章 自由回答

- ・歩道がきれいになってとても歩きやすくなりましたが、それで自転車に当て逃げされました。交通ルールに沿った自転車の取締りを徹底してほしいです。（身体）
- ・障害者のこととは関係のないことですが、私が常日頃感じることですが、自転車に乗る方のマナーの悪いことには驚きます。自転車と歩行者の道路があるにもかかわらず、歩行者側の道路を猛スピードで走っているのにはびっくりします。本人のモラルでしょうが、同じ成人としてがっかりします。子供の見ている前では絶対にしてほしくない行為です。（難病）

（4）バリアフリー

- ・公共交通機関などのバリアフリーを進めてほしい。池袋駅はエスカレーター、エレベーターが少なすぎるため、地下から地上に出るのにとても苦勞する。（身体）
- ・行政はかなり進んでいると思いますが、民間のお店などのバリアフリーはまだまだだと思えます。（身体）
- ・短い距離なら自転車には乗れるが、歩行が大変なので目的地の建物内で車いす等借りられるとありがたい。それと、最近、スーパー等、自転車駐輪スタンドの設置があるが出し入れが相当大変なため、障害者用等配慮がほしい。（身体）
- ・公共施設の小便器が使いづらい。（身体）
- ・障害者、高齢者、子供が生活しやすくなるようにしてほしいです。（バリアフリー）（知的）
- ・学校がまったくバリアフリーになっていません。入り口から階段があるので選挙にも行けないし、子供の学校の行事にも参加できません。（難病）

（5）その他

- ・車いす専用の四季折々の花をたのしめるような公園があるといいと思います。葉陰で休めるような場所もほしいです。（身体）
- ・一部の公園でのトイレの利用時間制限をなくしてほしい。（精神）
- ・池袋駅のタクシー乗り場や待ち合わせのとき、ベンチ、いす、時計がないのがいつも不満です。（難病）

4. 住居

- ・都営団地や住居の優先入居。（身体）
- ・障害者が生活しやすい住宅があると嬉しいです。（身体）
- ・公営住宅を増やしてほしい。（身体）
- ・住居：介助者（家族）がいなくなった場合、保証人なしでも入居できるように厳しい条件をなくして審査してもらえるのか。（身体）
- ・道路拡張のため、またアパート（鉄筋）が古く、壊すため、転居先を探すのが難しい（親が75歳以上のため）。（知的）
- ・区営の単身申込みがない。都営の申込み条件に都に3年以上住んでいるというものがあるので、不便がある。（精神）
- ・難病患者が住むことのできる住宅を考えてほしいです。障害者や高齢者向けのバリアフリー・手すりつきなど同じ仕様で大丈夫なので、いくつか難病患者にも用意してほしいと思います。（難病）

5. 防犯・防災

- ・実際の訓練に参加したいが、参加しにくい。呼びに来て一緒に連れて行ってくれるなど、手伝ってほしい。（身体）
- ・障害者施策を狙った犯罪はイラつきます。自分の右手足がマヒとしびれで不自由だから。（身体）
- ・腎臓透析者にとっては、災害時における病院の確保ということが最大の心配事です。現在一日置き4時間の透析ですが、その帰路に非常な困難を要していることを考慮しますと、災害緊急時の通院・退院の交通手段を十分整えておかないとと考えております。このことは生死にかかわる問題です。行政におきましても、私どもの意をくみ取っていただき、施策の推進に災害時の課題のひとつとして取り上げていただきたく強く願うものです。（身体）

6. 仕事・就労

- ・働きたくても正社員として受け入れてもらえないことが多いので、就職窓口を充実してほしい。（身体）
- ・障害の理由により職業的選択が出来ないため、もっと民間企業に障害者の能力を知ってもらい、障害者を受け入れてほしい。（身体）
- ・家族に視覚障害者もいます。マッサージ師です。しかし、平もみやカイロプラクティックなど無資格者が多く、障害者として生活すべく資格を取りましたが、仕事はそのせいではありません。無資格者による圧迫をなんとかしてほしいと思っています。本当に困っています。（身体）
- ・ハード面（制度や施設）を充実させるのも大事だが、ソフト面の対策が足りないように感じる。本人の意欲をいかに向上させるかの対策が必要。社会に出たら親も先生も守ってくれないのだから、就職支援時等にそういった点も強化すべき。（身体）
- ・豊島区内での障害者を受け入れる就職場所が少ない。障害者基礎年金を受けていない者は障害者でも働いていかないと生活が出来ないので、パートやアルバイトなど気楽に働ける環境を多く作っていただきたいです。（身体）
- ・自分は障害を持っていても、障害者としてではなく仕事をしています。給料をいただくことで仕事中心になっていますが、体調を見て出来る仕事となっていて、苦手や重荷になった時でも他の職種ではやっていけないため、厳しい仕事についています。転職したいと思っても、なかなかできず悩んでいます。障害者でもいろいろな仕事ができるような支援があったり、給料も一般社会人と同じようにもらえたら嬉しいです。（身体）
- ・手話講習会3年で修了。その後も学びたい方が多いのに、受け入れがなくて、それっきり。そのうちに手話を忘れてしまう。地域のどこに行っても手話のできる耳の聞こえる方が多ければ多いほどいいわけで、現状ではもったいないと思う。優れた方は手話通訳者になる道があるが、そうでない多くの方はどこへ。（身体）
- ・ハローワークにて障害者向けの求人を探しましたが、一般の求人に比べて待遇がよくないものが多いと感じました。（身体）
- ・障害者の公共交通機関の割引制度を利用し、通勤手当も半額の支給にする事業主（大手企業）がいます。事業主が障害者割を悪意をもって利用しないよう、事業主への警告をお願いしたいです。これは私の体験例ですが、他にも理不尽に給料や手当を差し引かれている方がいらっしやるかもしれません。（身体）

第7章 自由回答

- ・視覚障害者（三療有資格者）の就労支援の一環として、区内の老人向けマッサージ事業を実施してほしい。（中野区、新宿区、葛飾区等、多くの自治体を実施しています。）（身体）
- ・会社訪問に来てほしいです。（知的）
- ・就労支援センターの方々がいろいろとお世話くださり、今の会社に就職できたことを感謝しています。（知的）
- ・平等に健常者と同様に十分な賃金をもらえるチャンスを得るか、可能性を得られること。（精神）
- ・単純な仕事で良いから、続けられる仕事があると良いと思います。（指導者がついて）（精神）
- ・民間企業にも障害を持っている人の雇用を進めてほしい。パソコンなど簡単な入力で収入が少しでも得られる在宅ワークを紹介してほしい。ブラック企業の報告から改善してほしい。（精神）
- ・障害者の仕事の時給が低い。労働日数や一日の働く時間が短い。オープンで働いて、正社員になり、生活保護を打ち切られるぐらいの給料をもらいたい。（精神）
- ・障害者が民間企業の正社員になるのは、ものすごく高いハードルもあるし、採用されても重要な仕事はまずさせてもらえない。法で義務づけられているのなら、数%は雇うけど、ほぼ雑用。特に私のような精神を患っている人は、正直に話すと不採用なので、派遣で病を隠しながら働いている人が多い。勤務先は当然知らないから、結局心を壊して辞める人ばかり。そういう人を救いあげる場所があると良いと思う。（精神）
- ・職場での人間関係がもっとスムーズにいくと良い。差別と偏見をなくしたい。（精神）
- ・私は中卒なのですが、こんな私でも働ける場所がほしいです。現在は施設に通っていますが、施設に通っている人達は皆良い人ばかりです。コミュニケーションが苦手だったり、疲れやすかったりするだけで、それ以外は健常者に変わりません。豊島区でも支援をよろしく願います。（精神）
- ・がんばっているけれど、感染症にかかりやすく、休みが多いため、人より疲れやすいことをなかなか理解してもらえず、いつまでこの状況を維持できるのか不安。身体的な理由で仕事をやめたりしている（力仕事、接客は炎症があるからNO）。今より悪化した時に家族に迷惑をかけたためにも働き続けたいが、体が言うことをきかなくなったときに、相談者、働き口が不安。（難病）
- ・難病患者でも働かないと生活できません。主人と二人で生活していますが、夫も病気を持っており、二人でなんとか働いて生きています。体がきつく、つらいとき職場で早退を願い出たら、そんな身体では今後働けないし、よく考えたほうがいいと言われました。その言葉で仕事をやめたかったけど、生活が困ります。そのため公休以外に休むこともできません。もっともっと本当に身体が悪い人にやさしい国にしてほしいです。病院の費用もとても夫婦二人となるときついです。（難病）
- ・難病者は会社側の理解を得ることが難しいです。現在私は入社時からずっと同じ企業に勤めています。入社してから発病し、2回休職しています。そのせいで人事部と所属部長から圧迫面談を昨年度から今年もずっと受けています。病気を話を持ち出され、会社で勤務をしていくのは厳しいと1時間ほど言われ続けます。昨年の面談は6回行われ、毎回自尊心を傷つけられ、涙を流し我慢しております。勤務形態の変更を申し出ても話をまったく聞かず却下され、辞職を勧められ、面談されている次第です。本当は転勤の不安のない生活をしたいけども、自身が勤

めている会社の態度を見ると、転職活動も大変不安です（同様の態度や姿勢が見られ、採用すらされないのではとおもいます）。大手企業ですら難病者差別がある実態をぜひ改善してください。「働かない」という選択肢がない不況の中、せめて制度をどうにかしてください。たとえば難病者、障害者理解説明会への企業参加（強制）、たとえば難病者採用制度（障害者同様の） よろしく願います。（難病）

- ・いつもご配慮いただきありがとうございます。私自身は病気はありますが、幸運にも一般就労の枠組みで仕事できていますが、今の会社で働けなくなったとき、障害者手帳を持たない、でも告知すべき病気を抱えた状態で働き続けるのはとても大変だろうと感じています。働き方についてのイベントなどがあれば参加したいです。（難病）

7. 障害への理解・差別・虐待

- ・私はオストメイトです。でも外見は普通なので、回りの人々にSOSが出しにくいです。特にトイレには困ります。障害者トイレは入るのにも躊躇します。また災害がおきたら、その後の通勤生活を考えるとぞっとします。オストメイトのことを皆に知ってもらいたいです。（身体）
- ・特に電車は優先席に座れない。ヘルプカードをつけていても知らんぷり。携帯の電源を切るところかスマホゲームに夢中。（身体）
- ・理解が進んだいい世の中になってきた。誰でもいつかは障害者になり得るのだと思って、受け入れる社会を築いていけたらと思います。（身体）
- ・「障害」と一言と言っても、その内容は各人ですべて異なっており、また等級で表されるように程度の違いもある。一目で「どこか不自由だ」とわかる人もいれば、私のように外見ではほとんどわからない人もいる。それらを一括りにして施策を考えるというのは難しいと思うが、重要なことは健常者であっても、「明日は我が身だ」ということだと思う。（どこで事故・事件があるかわからないということ）それは「相手を思いやる」ということであり、その心のゆとりを一人でも多くの人々が持ってほしいと思う今日この頃です。（身体）
- ・日本の社会福祉制度は不十分。健常者の障害者に関する知識が不十分。相手を思いやる心がない。言動が障害者を配慮していない。不必要な関心、詮索が多い（何障害であるか等々）。地域社会の協力、援助が足りない。軽はずみな言動が多すぎる。友人・恋人ができにくい環境下にある。プライバシー、プライベートの保護が足りない。（身体）
- ・昨年（2016年）、視覚障害者が電車のホームから転落する事故がありましたが、ホームドアを設置するようにするのはもちろんのこと、健常者の声かけが大切なのではないかと感じました。私たちは特別な目で距離を置いてみていたのではないか。例えば信号待ちの場所で「大丈夫ですか」「何か手伝うことはありますか。」等の声かけが自然にできたらいいなと思います。（身体）
- ・健常者もいつ自分が障害を持つかわからないのだから、そういった視点で世の中を見ていけたら、みんなが暮らしやすい社会になると思う（私も中途障害者）。もっと「ヘルプ」を言いやすい世の中にしたい。（身体）
- ・明らかに健常者と思われる方が優先席（バスや電車）を陣取って座っている人が多いので、もう少し考えてほしいです。スマホに熱中している人も多く、靴のかかとをよく踏まれます。（歩きスマホは明らかに危険です。たばこと同様に罰金制度を考慮していただきたい）（身体）

第7章 自由回答

- ・電車乗車時、優先席の意味がなく、譲ってくれる人がいない。譲ってくれる人は60代以上の健康な人で、それ以下の人ではほぼ譲ってくれない。(身体)
- ・いくら施策を行っても人の心は変わらない。差別は永久になくならない。なぜなら人間は「自分より劣る」障害者を決して同等とは認めないからだ。(身体)
- ・差別がなくなる事。平等に情報が得られたら良い。(身体)
- ・障害者が社会の邪魔者扱いされるのは悲しいことです。ひとりの人間として尊重される日常になることを願っています。(身体)
- ・公共施設でのバリアフリーのトイレの使用について不快な思いをしたことがあります。車いす優先という理解がどこまでなされているのか。一般の人と障害のある人との共存する場での施策が必要かと思いました。(身体)
- ・パラリンピックに向けた認知と理解のある社会となるような施策を期待しております。(身体)
- ・区がどんなに取り組んでくださっても、個人個人の障害者を理解し、また地域に受け入れようという気持ちをもってくださらなくては何にも変わらない。障害者を嫌いな方はたくさんいらして、「家の前を通らないで」と言われたこともあります。好きになってくれとは言わないまでも、もう少しわかっていただければと思う。病院や薬局ではとても配慮した対応をしていただけてありがたい限り。感謝している。(知的)
- ・エチケット教育を保育園から大学生まで。(精神)
- ・障害者への理解はまったく期待できない。自分がかつてそうであったように皆、健全な人ほど煙たがる。障害者の未来はない。どんなによい政策を講じても、効果は期待できない。当事者と家族の苦悩は闇に葬られる。役所の力ですべてが解決はしない。一人ひとりが皆、自分の弱さを表せない社会、解決は難しい。(精神)
- ・ヘルプマーク(赤字に白抜き十字のもの)をつけると、かえって差別されるのではないかと懸念する。(精神)
- ・精神障害は身体障害と比較して、目に見えない、わかりにくいと感じるので、その部分のケアがもっと充実されたら良いと感じました。(精神)
- ・精神障害者への偏見は大きいと思うので、小学教育への導入などもしてほしい。(精神)
- ・今は健康でも何かのきっかけで障害者になってしまうことがある。だから、障害に関係ないと思わないで、いろいろな立場の人がいることをわかってほしいです。(精神)
- ・障害に対してすべて理解してほしいとは思わない。自分も障害に対して苦手に思うことはしばしばある。障害者を守るばかりではなく、自分の状況を理解してもらって自分で考えて行動するようになってもらいたい。弱者が強者になることに不満と不安がある。そしてそれを当たり前のように利用しつつある自分に怒りを感じる。(精神)
- ・健全者は精神障害者についてまったく理解していません。病気や具合が悪いこともすべて障害ではなく、私が悪いせいだと思われてしまいます。パラリンピックでも精神障害者がとりあげられることはありません。もっと精神障害者への理解を深めてほしいです。犯罪や事故が起きると、精神障害者のせいとされるような報道もやめてほしいです。(精神)
- ・うつ病患者が増えたため、精神病の理解が進んだが、まだ偏見を持っている人も多いので、啓発、広報活動に注力していただきたい。(精神)
- ・健全者に「障害者」とバカにされたくない。早く良い薬が出て欲しい。(精神)

- ・障害者差別解消法が施行されたが、一部の人にはのみ知られる程度で、健常者にとってはやはり他人ごとのように感じられるため、同法を広めるような活動が必要かと思われる。また区が進んで福祉機器メーカーと連携し、展示会や相談会、勉強会などをしてほしいと思う。（難病）
- ・内臓等が悪いため、体調がすぐれず、電車などでシルバーシートに座るのだが、見た目からはわからないので、変な目でみられることがある。希望者だけでもいいから、難病のマーク（バッジ）などを考えてもいいのではないかと思います。（難病）
- ・障害者、難病患者には税金、医療等手当が優遇されていると非難めいたことを言われることがある。長い間、働き続け、税金もしっかり納めてきた者にとって悔しい。そのような情報はあまり大々的に知られたくない。（難病）
- ・難病について。医師の中でもほとんどの人が理解してくださらないので、つらいです。都内の病院でも受診拒否されたりします。（難病）
- ・ヘルプマークの普及啓発の活動をもっとしていただきたいです。（難病）
- ・（電車に乗るとき）難病がわかるようなバッジ等のようなものをつくってもらいたい。（難病）
- ・目に見える障害者の方や障害者手帳を持っている方は働き方や様々なものに支援の制度があるが、難病の患者さんはまず病気の名称すらわかってもらえない。働いている年齢から発症した方もだが、生まれつきの方や小さいときに発症した方のためにはもっと知ってもらう必要がある。（難病）

8. 行政

(1) 行政への要望

- ・今のところ、生活実習所で楽しく過ごしています。自分でできることはなるべくやらせていただいています。親なきあとのことを考えると、不安ですからそういう時の対策をよろしく願います。（身体）
- ・公の情報や申請用紙など最近、活字が（色）が薄いので、せめて色濃く太い文字にしてほしい。（身体）
- ・区役所が新しくなって、エコなどと言っていますが、エレベーターを降りたら右左どちらに行けば良いかわからない、表示は見えない、各窓口の違いがわからない、番号札の機械の場所もわかりづらい・・・、と言いたいことはたくさんありますが、要はすごいバリアな施設ですね、と思っています。（身体）
- ・障害者に対する補助金をいただける事はありがたいのですが、そのための手続きが具合の悪い者にしてみれば、とても大変なので（診断書、役所の手続き、本人確認等）もう少し簡素化していただければ嬉しい限りです。書類が集められず、あきらめた給付金も結構ありました。老人と病人に優しい区を目指して願います。（身体）
- ・絶対に障害は回復しないのに、毎回必要ない書類を提出させるのはおかしい。治らない病気障害に対して診断書やは税金の無駄であり、また障害者の負担も大きい。（身体）
- ・毎年「〇障（障を〇で囲む）」の受給者証と特定医療費受給者証の手続きをするのが大変です。なんとか手続きを簡単に病院から治ったとされるまで、自動で受給してくださいますようお願いいたします。（身体）
- ・視覚障害があるのに記入しなければならない書類が多く、家族等に頼まなければならないのが非常に不便です。聞き取りなどの方法にしてもらえるとありがたいです。（身体）

第7章 自由回答

- ・障害者手帳をカード化してもらいたい。（身体）
- ・毎年行われる認定調査のあり方について、一方的に軽症側の認定を受け、実態と合っていないので、単に介護サービスの削減だけとなり、危険性が増え、万一怪我等した場合、行政はどのように責任を取ってもらえるのかを議論すべきで、一律に介護保険料削減ありきで必要なサービスの削減があってはならないと考える。（身体）
- ・友達と活動する機会を増やしてください。彼女をつくって結婚したいです。（知的）
- ・音楽とかダンス教室とかを月1回ぐらい、土日でもやってもらいたい。（知的）
- ・区役所の各課の業務が縦割りなので、もっと可能なところは横の連携ができたらと期待します。福祉課の方から共有してほしいと思います。そんな余裕はないのかもしれませんが、そこから始めないと、区内での障害者理解は進まないと感じます。（知的）
- ・庁舎のロビー（1階）にゆっくり座れる椅子がほしい。（知的）
- ・成年後見を安心して利用できる制度をつくってほしい。（後見人から騙されるなどの被害を受けた場合の補償など）（知的）
- ・これまでわが子のサポートに必死に取り組んできた親の努力を絶たないよう、親亡きあとのサポート体制をさらに整備していただきたい。具体的には資産を守るための後見制度などの向上、障害ごとの特徴（例 自閉症）に応じたスキルを持つ職員やボランティアの育成、増強などです。（知的）
- ・成人して思うことですが、ぜひ支援学級の教員の専門性、知識、環境などお願いしたいです。小さな頃からの積み重ねは習慣などが大事で、大きくなってからはなかなかいし、親の方も年を取って、体力・気力がなくなり難しいのです。一緒に親子が成長していく時の先生（学校）が大事です。（知的）
- ・障害者作の「ポエム堂」や「エッセイ大賞」を立ち上げてみてはどうか。（都や区主催で）
「クラシックコンサート」のチケットや「ミュージカル」のチケットの障害者割引を行ってほしい。（都や区の制度として）（精神）
- ・このようなアンケートのように、意見が自由に言える場所があったらよい。（精神）
- ・障害者同士の交流会の機会がほしい。豊島区でも料理教室やその他の活動をやってほしい。当事者会がもっと増えてほしい。沢山居場所がほしい。（精神）
- ・保健所は土日やっていないので、手続きや更新等のとき大変困ります。（精神）
- ・私はうつ病です。健康な頃はまさか自分がうつ病になるとは思っていませんでしたし、差別的な考えもありました。うつ病は誰でもストレスが続くと発症してしてしまう病気です。今、健康な人々が今後うつ病にならない予防をしてあげてください。決して他人事と思わないでください。うつ病はつらいです。死にたくなります。健康なうちから対策をしてあげてください。今、健康な人々をうつ病にしないであげてください。よろしくお願いします。私も何とかやっていきます。（精神）
- ・我が家では障害者本人がまだ未成年なので、家族が各種申請・手続きをしていますが、本人が申請するとなると難しすぎます。（精神）
- ・自分達のような人は、歯がない人が多いです。若い時点で。統計などを取って何らかの対策をしてほしいです。奥歯だけでも保険適用のインプラントを検討してほしいです。贅沢だ、入歯にしろと言われるかも知れませんが、嘔吐反射がある人にはつらいです。どうして日本はオリンピックに2兆円、アフリカに3兆円、ミャンマーに8千億円を買いでいるのでしょうか。社

会に否定されていることも理解しているので、これだけ書いても健常者には理解されないだろうなという思いが強いです。(精神)

- ・ 医師から右足は動かないと診断されましたが、歩けています。本人の努力、自活が大切であり、がんばればなんとかなるものです。行政の方は言えないでしょうが、障害者や難病患者を税金で甘やかす必要はないと思います。私自身が動くことが不可能になった際は、尊厳死したいと思います。税金を無駄に使っては区、都、国が破たんします。仮病で障害手帳を持っている者もいるので、大学病院以外の診断書を認めない方向にすべき。(難病)
- ・ 選挙投票台の各記入台に杖をひっかける(あるいはおける)すべりどめなどの用具をつけてください。いつも投票所で杖を何回も倒したり、落としたりします。(難病)
- ・ 歩きタバコも取り止まってほしい。ぜんそくの人がきつそうだったし、自分も気分が悪い。歩きタバコの監視員は、5時以降や土日はいないので警察署で罰金とか。(難病)
- ・ 難病申請における書類について 申請に必要な書類の多さ、説明の不十分さ、毎年変更があるように思える。必要な書類を集めるにも、労力・時間がかかる。提出場所に何度も足を運ばせなければならないようです。不十分な説明や小さな字、わかりやすくしていただきたい。(難病)
- ・ 健康と体力を維持するため週に2~3回程程度の運動をしたいと思いますが、仕事についているので、土日と平日は夜しかできません。巣鴨体育館に行っていますが、平日の夜、ヨガ等のコースができると嬉しいです。数年前は平日2~3日のコースがあり、その頃は参加者もいました。(女性がほとんどでしたが) また復活すると嬉しいのですが、よろしく願いいたします。(難病)
- ・ 車いす等、もっと気軽に借りられると良い。(福祉事務所までいけないので)(難病)
- ・ 毎回(毎年)の医療券の更新の手続き、提出書類が面倒で煩雑すぎる。もっと簡略化できないものか。こういう手続きこそマイナンバーを有効に利用してほしい。(難病)
- ・ 区役所内の保健所の出張窓口の前には待っている人のための椅子がなく、少し離れている。歩いたり立っていることが大変であることをまったく考えていないのだと毎回いく度にがっかりする。(難病)
- ・ 難病指定がたとえ解除されても病気が変わらない間は制度の縮小はあっても、継続を希望する。(難病)
- ・ 申請等がインターネット経由、または土日夜間等対応していただけると、ありがたいです。申請のときに有給休暇を使うなどするのが少々心苦しいです。(難病)

(2) 障害者施策全般

- ・ 家族がいるとほとんど何もしてもらえない。家族も休養が必要だし、家族が快くやってくれるとは限らない。介護保険の方がいろいろな面で手厚いが、障害者への支援は遅れていると思う。(身体)
- ・ 65歳になると、障害福祉から介護保険になり、障害の特性での支援が希薄になってしまうのが心配。(身体)
- ・ なんでも平等はまちがっている。差があつて当たり前、同じようにできないからこそ、何かしてほしい、何をされたい、何かをしたいを教宣してほしい。サービスしすぎても増長して、~してくれて当たり前になってしまう。過剰なクレーム的障害者は逆に罰してよい。ほんのお

互い様の手助けでいいと思う。それこそ生活保護が給与より高収入とかと同じで過剰は良くない。健常者が「出してやっている」になってしまう。難しいとは思いますが、適度なサービス・福祉であることを切に願う。(身体)

- ・障害判定を厳しく。自分は6級だが階段が上がれず電車も乗れない。移動は自転車。3級でタクシー券までもらって遊びまわっている人もいる(生活保護でも)。障害者施設は利用したいが、障害者にも金持ちもいれば生活保護もいる。自分は後者、ひきめを感じて利用できない。(身体)
- ・他区の手本となる施策を出し、将来消滅都市などと言わせないつもりで進めてください。フォローし、きめこまかくすればきっとリターンがあると考えます。(身体)
- ・障害の程度は人それぞれであり、各々困っていることや必要としていることが違う。だから何が正解か、一概には言えないし、行政側も大変だとは思いますが、弱者に寄り添う気持ちを忘れずに粘り強く取り組んでいただきたい。(身体)
- ・以前、相模原市の障害者施設で重複障害者の殺害事件で恐怖を感じました。私たち障害者は身を守りたくてもできない。今後は障害者の方々の保護を強く守っていただきたい、そう願います。(身体)
- ・障害の有無にかかわらず、安心安全で落ち着いて暮らせることを望みます。(身体)
- ・障害者が高齢の家族を介護しなければならない「障老介護」について考えてほしいと思います。(身体)
- ・いろいろな障害を持った人も普通のことができるだけ普通にできるような社会を望みます。(身体)
- ・介護施設等の職員やヘルパー等の増員など障害者の意見を取り入れてもらいたい。(身体)
- ・障害者個々の程度の違いがあると思うので、障害者の現在の状況に応じたきめ細かな区の取り組みが必要であると思います。(知的)
- ・福祉の予算は多めにとってほしい。(知的)
- ・自閉症(発達障害)に対する理解、取り組みが不十分だと思います。施設に頼っていくこともできない者の生き方、どうすればいいのか。学校も行政も病院でさえが、こうした障害者に対する対策ができていないのです。(知的)
- ・当事者の意見が反映されていない。様々な希望が経済支援なしに実現しない。成育環境からすると、貧困度が高くギャップが大きい。(精神)
- ・幸福に感じるような施策をしてほしい。(精神)
- ・いつも障害者一人ひとりの個人的な自由の尊重がある施策であってほしいと思っています。障害者の人権を守り、障害者の個人の良識を生かし、更なる社会参加をしていき、いきいきとした希望を持ちながら、真に自由で伸びやかに健全な明るい人生を歩んでいける前向きな障害者施策であってほしいと思っています。(精神)
- ・障害の特性や規模は人それぞれなので、どうとは言えないが、充実させてほしい。施策は充実しておらず、もう十分な施策は過度に充実させようとしている感じがする。(精神)
- ・障害はなかなか克服できませんが、本人がどうしたら良いのかもわからないことが多いと思う。できる範囲で本人が望む方向へ進むのが一番良いのではないか。(精神)
- ・障害者や難病患者だけではなく、すべての住人が安心してらせる区になってほしいと思っています。(難病)

- ・機会均等な社会をつくっていただきたい。（難病）
- ・他区での遭遇した出来事ですが、「誰でもトイレ」の前で、子ども連れのお母さんと障害を持つ高齢者がもめており、高齢者が「私は障害者手帳をもらっているのよ！」と大声で叫んでいました。障害を持つ人への配慮が必要という認識は世の中に浸透している一方、障害を持つ側も「錦の御旗」として掲げるものではないと考えます。障害者施策、難病施策は微妙なバランスを求められる難しい領域かと思いますが、うまく進んでいくことを願っています。（難病）
- ・私はまだ若く、主人がいろいろ手助けしてくれるため、介助等の希望はありませんが、先々2人とも年齢を重ねていくにつれ必要なことが増えてくると思います。その時に人にやさしい豊島区であってほしいと思います。（難病）

（3）感謝や応援等

- ・20年前脳の病気で障害になりましたが、幸い命を助けていただき、身体に障害はありますが、病気をしてからいろいろな事に気づかされ、何事もプラスに考えることができるようになりました。身体は障害があっても心まで障害は持つてはならないと自分自身に言い聞かせて、この20年間生きてまいりました。今では病気に感謝ができるようになりました。ありがとうございます。すべての物は考え次第だと思います。年の功です。スタッフの皆様もどうぞお身体ご自愛くださいませ。（身体）
- ・巢鴨に住んで60年近くになるが、とても住みやすい街です。池袋の分所で福祉課の方にお世話になっています。家にも見に来ていただきとても親切で楽しく、時には厳しく指導していただいています。これからも母と二人、よろしくお願いします。ありがとうございます。（身体）
- ・私は障害者であるが、ほとんどの施策は把握しておりません。時にはネットニュース等でそれらが（障害者マークのこと）裏目に出ている記事も読みますが、基本、私たち障害者が暮らしやすいように考えていただいていることなので、大変感謝しています。ありがとうございます。（身体）
- ・障害者になってはじめて、様々な制度があることを知りました。私のようにある日突然障害を抱えると、それが当たり前でできていたことができず、様々な方々のお世話にならなければならなくなり、途方に暮れてしまいます。しかし区や都の制度、国の制度のおかげで今では元の生活と変わらない程度に活動や生活ができるようになり、感謝しています。（身体）
- ・いろいろ大変かと思いますが、豊島区が一番いいと思われるよう引き続きがんばっていただきたいと思います。（身体）
- ・福祉に従事されている皆様に感謝しています。日本は仏教の影響で障害者は因果応報と見なされ、嫌われてきました。終戦後やっと新憲法で基本的人権が認められましたが、まだ71年しか経っていません。欧米並みになるにはまだまだ年月を要すると思います。皆様のご活躍を祈ります。（身体）
- ・転勤で引っ越してきました。他県では障害福祉課との懇談会などありませんでしたので嬉しく思います。（知的）
- ・大変熱心に取り組まれていると思います。非常に感謝しております。（知的）
- ・国や自治体は障害者施策についてはとてもよくやっていると思う。区役所や保健所の職員の方も親切で手続きなどいろいろこちらの意向に合わせて手を尽くしてくれるので、とても助かっています。（精神）

第7章 自由回答

- ・今医療や福祉が受けることができるのは、行政だけではなく、豊島区民の一人一人の支えがあってと思っています。区民の一人一人の汗と力が福祉を支えて私たちは医療を受けることができます。ありがとうございます。（難病）
- ・他の地域に比べて充実している。（難病）
- ・難病の者です。52歳で発症しまして、20年経過しました。年々高齢になり、体力・体調も思わしくなくなってきています。豊島区の福祉サービスのおかげで医療費の補助&タクシー券で安心して通院しております。ありがとうございます。これからもお世話になりますがよろしくお願ひします。感謝、感謝（ありがとう！）（難病）
- ・いろいろとお世話になっています。かかわっている方たちはとてもよくしてくださっていつも感謝しています。ありがとうございます。（難病）

9. その他

(1) 今回のアンケート

- ・紙だけではなく、インターネット回答も考えてほしい。（身体）
- ・質問が多すぎて、回答が大変なのでアンケートはあまり楽しくありません。（身体）
- ・今回、このようなアンケートをしていただきありがとうございます。これが今後の障害者福祉活動に反映されることを願ひます。
あわせて母子（子育て）の福祉ももっと充実できたらいいなと思います。（身体）
- ・調査結果の有効活用を期待します。（身体）
- ・アンケートを減らしてほしい。（身体）
- ・アンケートの設問をもう少しわかりやすくしてほしい。（知的）
- ・（自由回答意見欄について）区の誰が取り組んでいるのかわからない。目に見えない者に意見を書いても伝わるかどうかかわからず、意味がないと思う。（知的）
- ・返送用封筒が小さすぎると思ひます。（知的）
- ・行政には精神障害者の声を救う努力をもっとしてほしい。この種のアンケートを頻繁にやってほしい。それと行政はお仕着せではなく、障害者本人が多く参加する組織で障害者施策をつくってほしい。（問39の行政への施策要望の「その他」の欄が狭いことと連動している。お仕着せの選択肢25個に対し、記入欄1つでは狭いです。）（精神）
- ・これまでのアンケートの中で最も長いボリュームのあるアンケートでした。障害者等にはかなり苦痛です。途中で嫌になる、また1つの設問に26項目あり、そこから5つ選べというのはかなり大変です。宛名（回答者）の立場に立ったアンケート作成が必要です。肝心の障害者等は途中放棄してしまい、肝心の施策への声が反映されにくいのではないかと危惧します。（精神）
- ・個人を特定できるような回答のさせ方はやめていただきたい。（難病）
- ・問39の質問に矛盾を感じ回答しづらい。「利用する必要がない」は現在の状態であり、「今後利用したい」は将来のことであり、どちらで答えるか迷う。（難病）

(2) その他

- ・複合（家族の複数が）して、身障者が生活するようになりそうです。将来が不安です。私本人以外に夫も次男も難病と診断され、今後重症化してゆきます。今のところは何とかセルフで家族内で暮らしていますが、今後を考えると不安です。（身体）

- ・自分で障害者と自覚していないので、利用したことはありませんが、歳をとるごとに体が重くなるという感じがあるので、何かしらお世話になる事が増えると思います。「自覚を持つこと」と「声を出す」ということが必要になると思うので、自分や家族以外の人に「頼っても良いんだよ」と教えてくれる人が必要かと思います。(身体)
- ・年老いた母、引きこもりの子ども(成人になったけど心が昔のまま)、自分の老後といったように障害者であることに悔しくはありませんが、ともに歩んでゆく人々が増えると良いです。一歩出ると“カベ”に当たります。(身体)
- ・障害者の息子であるがために、49歳になる息子は結婚できなくて困っています。なんとかならないでしょうか。両親が障害者なものですから。(身体)
- ・夫婦そろって身体障害者のため、家事が大変です。(身体)
- ・東京都は他県に比べて障害者手当等が手厚いと思います。しかし、一方で私が特定疾患に認定されなかったのが納得できません。(身体)
- ・今は母子で過ごしています。ヘルパーさんに手伝ってもらっています。親が動けなくなったときの不安がいっぱいです。(身体)
- ・卓球ができる施設が近くにほしい。(身体)
- ・現在のところは自分自身のことはできるが、今後のことが心配である。(身体)
- ・病院の障害者トイレはもっときちんと作ってほしい。ベッドがないところやあっても高さが低くて介助の腰を痛める。特に都立病院にないのは残念です。デパートにもあってもいいのに…。(身体)
- ・お世話になっております。ありがとうございます。私は「脊椎管腰椎狭窄症」で手術をしました。今は手足のしびれから体中のしびれが出て来ました。膝も左、右、ヒアルロン酸の注射をしています。同じ手術をした方々と会って話がしたいと思っています。(身体)
- ・障害のある・なしに関係なく、よりよい生活をしたいと常々思っています。(知的)
- ・66歳 男性です。年金の加入期間が足りず、年金をもらえない。どうしたらよいものか。働けなくなったと不安に思います。(精神)
- ・早期に完治させ、社会復帰したいです。(精神)
- ・貧困産業で多額のお金(税金)を不正に搾取している人や生活保護などを偽って受け取っている人は許せません。(精神)
- ・難病患者になぜ自分がなってしまったのか。自己嫌悪に陥るときがあります。その時は自分なりに外出したり、好きな趣味をしたりして気分転換を図っています。(難病)
- ・全身性エリテマトーデスで長い間、患って暮らしていますが、老化と共にあちこちが劣化して難病のせいではないと言われる症状で思うようにいなくて辛いです。難病で長生きも嬉しくありません。福祉の世話になるばかりかと思うと申し訳なく思ったりします。(難病)
- ・今は元気ですが、配偶者の介護などで自分の体調の不具合が出てくるのが心配。(難病)
- ・昨年は体調を崩して1年間少し大変でしたが、今後歳を重ねて病気の進行がどうなるか心配です。(難病)
- ・薬でなんとか生きていますが、予約で病院に行き長い時間待たされるのも考えものだと思います。(難病)
- ・改めての施策というのではないのですが、これ以上病気を悪くしないよう、少しでも医療費を抑えるようにと年齢が増す中、家に閉じこもることのないように、外出するようにしています。

第7章 自由回答

退院するときも含め、タクシーを本当にありがたく利用させていただいています。今後もよろしくをお願いします。（難病）

- ・今回障害者差別解消法が施行されたことを知りましたので、あまりにもつらい思いをするようであれば、ご相談に伺いたいと思います。（難病）